

### 第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲の自然的・社会的状況（以下「地域特性」という。）は、令和3年8月時点で入手可能な文献資料を基に、取りまとめた。

調査範囲は、対象事業の実施に伴う環境影響評価項目を選定するために必要となる範囲とした。

#### 3.1 自然的状況

##### 3.1.1 大気環境の状況

###### 1) 気象の状況

対象事業実施区域が位置する一関市の西側は、日本海側の影響を受け降水量も多く冬期間は雪に覆われる。市の中央から東側にかけては、太平洋の気候に属し冬期間も晴れやすい地域となっている。

対象事業実施区域の最寄りの気象観測所は、一関地域気象観測所（以下「一関」という。）及び千厩地域気象観測所（以下「千厩」という。）である。

最寄りの地域気象観測所の所在地及び観測項目を表 3.1-1 に、位置を図 3.1-1 に示す。

表 3.1-1 気象観測所の所在地及び観測項目

観測所名	住所	緯度・経度	標高 (m)	観測項目*1				
				気温	降水量	風向 風速	日照 時間	積雪
一関	岩手県一関市竹山町	北緯 38° 56.0' 東経 141° 7.5'	32	○	○	○	○	○
千厩	岩手県一関市千厩町 千厩字北方	北緯 38° 55.3' 東経 141° 19.8'	120	○	○	○	○	—

\*1. ○：観測項目有り —：観測項目無し

出典等：「地域気象観測所一覧」(気象庁 HP、閲覧：令和3年8月)より作成

一関及び千厩の平成23年～令和2年の過去10年間の気象観測結果を表 3.1-2、年間風配図を図 3.1-2、令和2年の月ごとの気象観測結果を表 3.1-3、季節別風配図を図 3.1-3 に示す。



過去10年間の平均気温は、一関で11.9℃、千厩で10.9℃、年間降水量は、一関で1,171.7mm、千厩で1,113.9mmである。平均風速は一関及び千厩ともに1.5m/sであり、年間の風向は、一関で北北西、千厩で北西の風が卓越している。

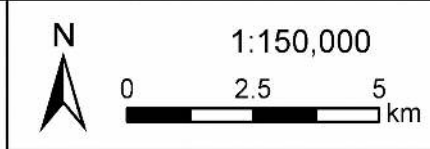
令和2年についてみると、平均気温は、一関で12.4℃、千厩で11.4℃であり、月別平均気温はともに8月が最も高く、12月が最も低くなっている。年間降水量は、一関で1,306.0mm、千厩で1,211.5mmであり、月別降水量はともに7月が最も多く、11月が最も少なくなっている。年間の平均風速は、一関及び千厩ともに1.4m/sであり、1月から4月にかけて若干高くなる傾向がある。風向は、一関では春季・秋季・冬季は北北西、夏季は南南東の風が卓越している。千厩では、春季・夏季は西北西～北西、秋季・冬季は北西の風が卓越している。



図 3.1-1 気象観測所位置図

凡例

-  対象事業実施区域
-  気象観測所



出典等：「地域気象観測所一覧」(気象庁HP、閲覧：令和3年8月)より作成

表 3.1-2(1) 平成 23 年～令和 2 年 地上気象観測結果（一関）

年	気温(°C)			降水量(mm)		日照時間(h)	風向・風速(m/s)			雪(cm)
	日平均	最高	最低	合計	日最大		平均風速	最大風速	風向	
平成 23	11.6	35.7	-10.8	1,006.5	102.0	1,703.9	1.5	8.8	西	28.0
平成 24	11.6	35.8	-12.1	1,083.0	60.5	1,618.7	1.5	8.9	南西	32.0
平成 25	11.4	35.1	-10.5	1,380.0	92.5	1,585.6	1.4	10.0	西	20.0
平成 26	11.5	36.9	-10.7	1,250.5	72.0	1,779.1	1.5	9.4	北西	36.0
平成 27	12.5	38.0	-6.7	1,202.5	59.0	1,879.3	1.5	9.2	北北西	22.0
平成 28	12.1	35.2	-6.9	1,091.5	60.5	1,753.2	1.5	10.7	西北西	21.0
平成 29	11.5	35.0	-10.5	1,080.0	64.5	1,634.2	1.4	9.3	西	20.0
平成 30	12.1	35.8	-11.0	1,182.5	99.0	1,766.0	1.4	8.9	南南東	22.0
令和 1	12.2	36.9	-7.1	1,134.5	92.0	1,816.7	1.5	10.7	北北西	15.0
令和 2	12.4	37.8	-7.6	1,306.0	87.0	1,540.2	1.4	9.7	西北西	11.0
平均値	11.9	36.2	-9.4	1,171.7	78.9	1,707.7	1.5	9.6	—	22.7

表 3.1-2(2) 平成 23 年～令和 2 年 地上気象観測結果（千厩）

年	気温(°C)			降水量(mm)		日照時間(h)	風向・風速(m/s)		
	日平均	最高	最低	合計	日最大		平均風速	最大風速	風向
平成 23	10.6	34.4	-13.6	923.5	87.5	1,771.6	1.5	12.0	西北西
平成 24	10.5	34.9	-14.3	1,048.0	57.0	1,735.3	1.5	15.0	南南東
平成 25	10.5	33.5	-13.3	1,142.0	116.5	1,649.5	1.5	11.5	西
平成 26	10.5	34.5	-13.0	1,231.5	70.0	1,854.4	1.6	11.2	西
平成 27	11.4	36.2	-8.8	1,238.0	87.0	1,915.7	1.6	10.4	西北西
平成 28	11.1	33.6	-7.9	1,056.5	79.5	1,805.9	1.6	10.8	西
平成 29	10.6	34.4	-11.6	1,052.5	66.0	1,694.1	1.5	10.1	西北西
平成 30	11.0	34.5	-11.9	1,113.5	91.0	1,828.0	1.4	10.9	西
令和 1	11.1	36.4	-8.9	1,122.0	90.5	1,869.2	1.5	10.8	西
令和 2	11.4	36.1	-8.8	1,211.5	59.0	1,584.3	1.4	13.2	西
平均値	10.9	34.9	-11.2	1,113.9	80.4	1,770.8	1.5	11.6	—

出典等：「過去の気象データ検索」(気象庁 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

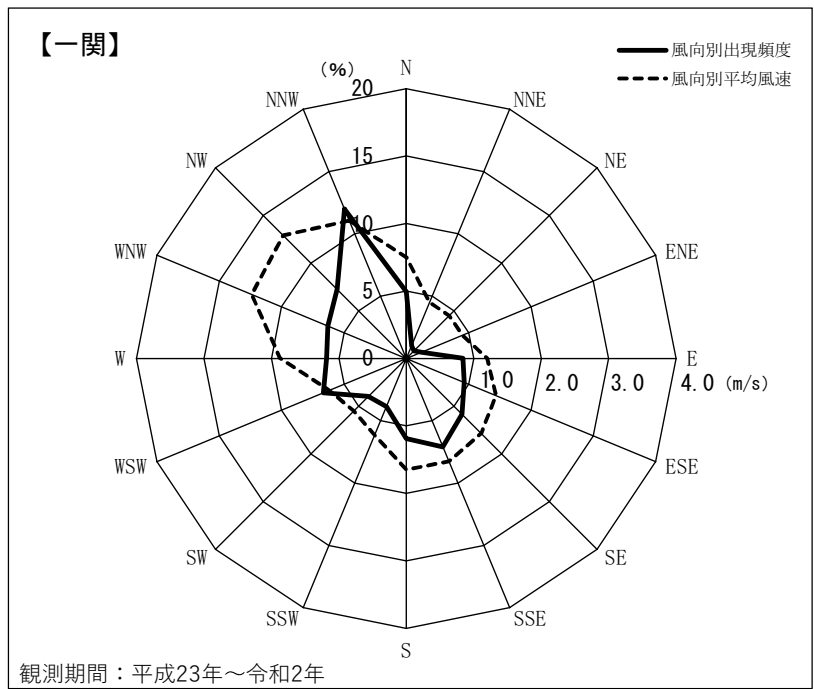


図 3.1-2(1) 年間風向別出現頻度（過去10年間）（一関）

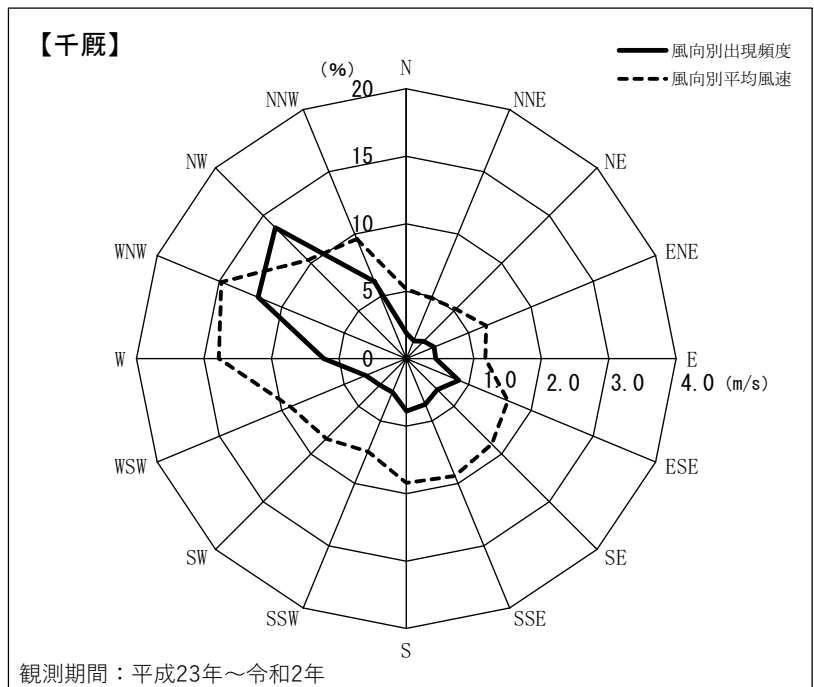


図 3.1-2(2) 年間風向別出現頻度（過去10年間）（千厩）

表 3.1-3(1) 令和2年 地上気象観測結果 (一関)

月	気温(°C)			降水量(mm)		日照時間(h)	風向・風速(m/s)			雪(cm)	
	日平均	最高	最低	合計	日最大		平均風速	最大風速	風向		
1	1.9	10.1	-4.7	58.5	22.5	109.0	1.5	7.4	西北西	11.0	
2	2.5	12.4	-5.9	32.5	8.0	113.8	1.4	7.8	西	11.0	
3	6.1	18.9	-3.1	84.0	55.0	149.4	1.8	9.7	西北西	0.0	
4	8.9	20.5	-0.7	105.0	38.0	175.9	2.0	6.8	北西	0.0	
5	16.2	30.3	4.1	101.5	58.0	175.2	1.5	6.8	西北西	0.0	
6	21.2	34.3	11.8	58.5	19.5	180.0	1.5	5.8	北西	0.0	
7	21.5	30.2	15.7	411.5	87.0	38.0	1.0	4.8	南東	0.0	
8	25.8	37.8	18.4	97.0	49.5	150.5	1.2	4.6	西北西	0.0	
9	21.8	35.3	11.2	211.5	64.5	102.9	1.4	5.9	北北西	0.0	
10	13.7	24.7	2.0	46.5	22.0	111.8	1.0	5.8	西	0.0	
11	8.1	20.3	-2.3	20.5	5.5	152.6	1.3	7.5	西北西	0.0	
12	1.1	11.0	-7.6	79.0	15.5	81.1	1.1	6.6	北西	45.0	
平均(合計)	12.4	23.8	3.2	(1,306.0)	37.1	(1,540.2)	1.4	6.6	—	(67.0)	
最大	観測値	25.8	37.8	18.4	411.5	87.0	180.0	2.0	9.7	西北西	45.0
	発生月	8月	8月	8月	7月	7月	6月	4月	3月	—	12月
最小	観測値	1.1	10.1	-7.6	20.5	5.5	38.0	1.0	4.6	—	0.0
	発生月	12月	1月	12月	11月	11月	7月	7月	8月	—	3月

表 3.1-3(2) 令和2年 地上気象観測結果 (千厩)

月	気温(°C)			降水量(mm)		日照時間(h)	風向・風速(m/s)			
	日平均	最高	最低	合計	日最大		平均風速	最大風速	風向	
1	0.9	8.9	-7.3	75.0	41.0	114.5	1.5	7.4	西	
2	1.6	11.3	-7.8	28.0	7.5	119.9	1.7	7.9	西	
3	5.1	18.8	-5.0	60.0	35.0	154.6	2.1	13.2	西	
4	7.7	19.6	-2.4	125.0	51.0	168.7	2.1	8.4	西	
5	15.1	30.4	1.2	64.0	24.5	170.1	1.5	8.6	西	
6	19.9	33.5	10.1	58.5	16.5	183.5	1.3	5.4	南	
7	20.8	30.4	15.1	406.5	59.0	42.0	0.9	4.7	南南東	
8	24.9	36.1	16.3	101.5	50.5	173.3	1.0	4.9	西	
9	20.9	35.4	9.3	175.5	38.5	97.9	1.0	5.7	南南東	
10	12.7	24.0	0.3	41.0	11.0	118.5	1.0	6.8	西	
11	7.1	20.8	-4.6	20.5	6.5	154.1	1.5	8.4	西北西	
12	0.1	11.5	-8.8	56.0	11.5	87.2	1.2	6.5	西北西	
平均(合計)	11.4	23.4	1.4	(1,211.5)	29.4	(1,584.3)	1.4	7.3	—	
最大	観測値	24.9	36.1	16.3	406.5	59.0	183.5	2.1	13.2	西
	発生月	8月	8月	8月	7月	7月	6月	3月	3月	—
最小	観測値	0.1	8.9	-8.8	20.5	6.5	42.0	0.9	4.7	—
	発生月	12月	1月	12月	11月	11月	7月	7月	7月	—

出典等：「過去の気象データ検索」(気象庁HP、閲覧:令和3年8月)より作成

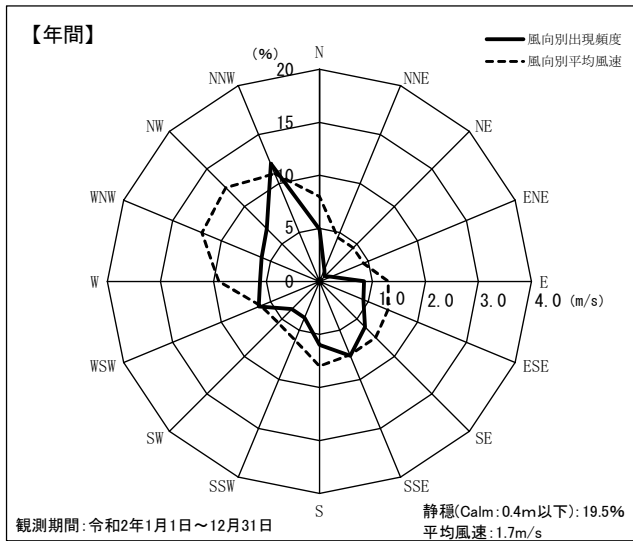
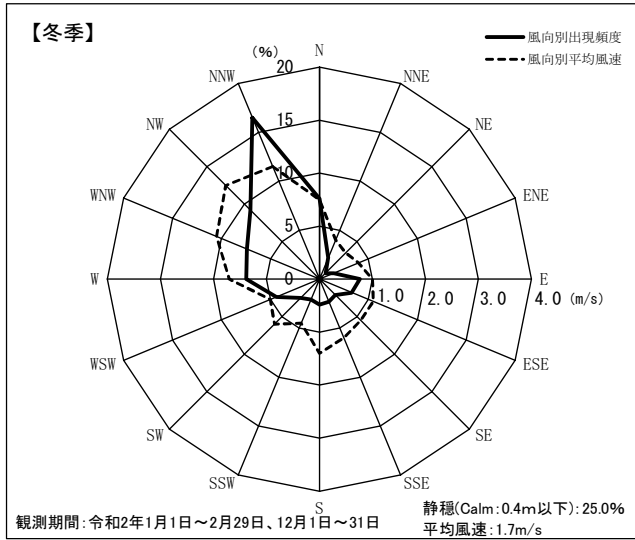
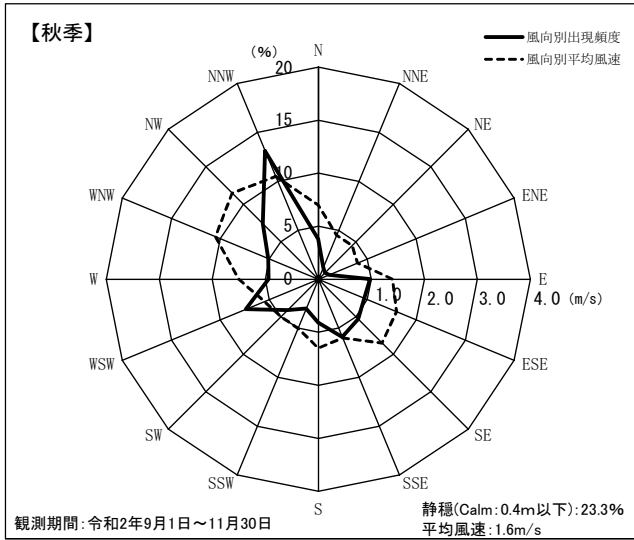
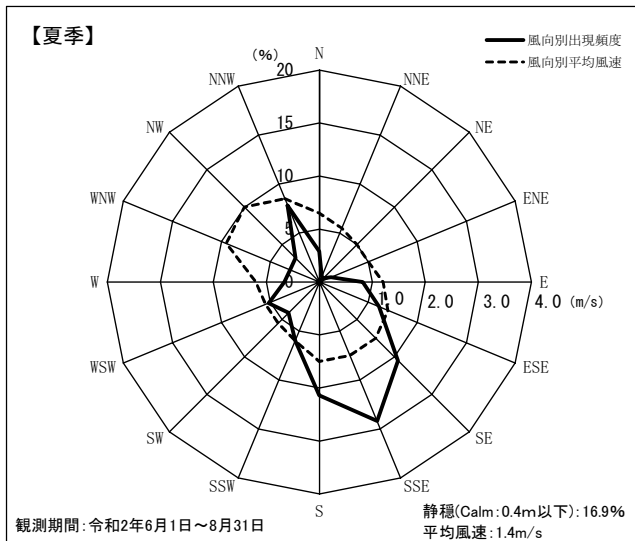
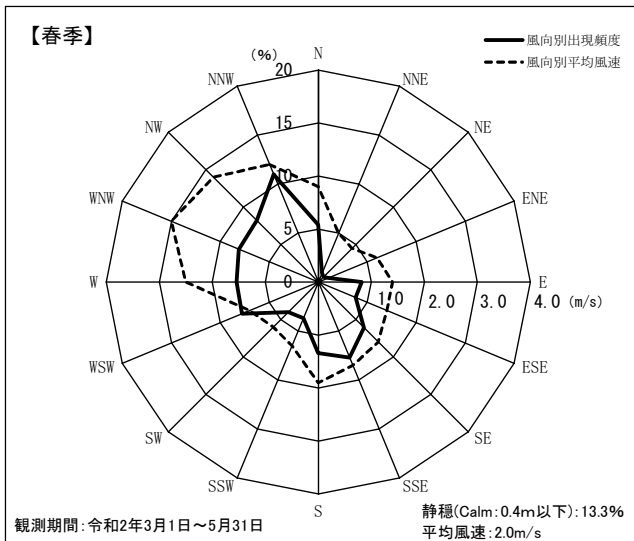


図 3.1-3(1) 季節別風配図 (令和2年 一関)

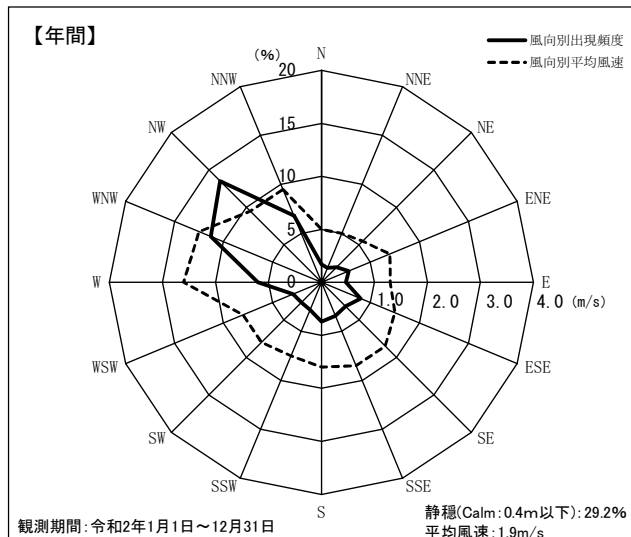
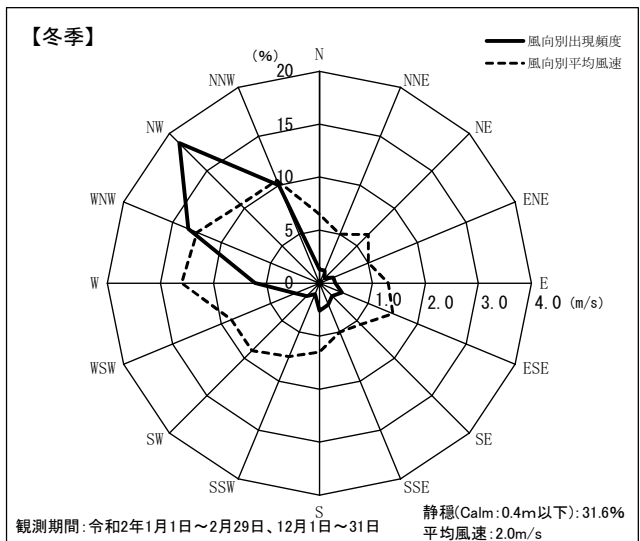
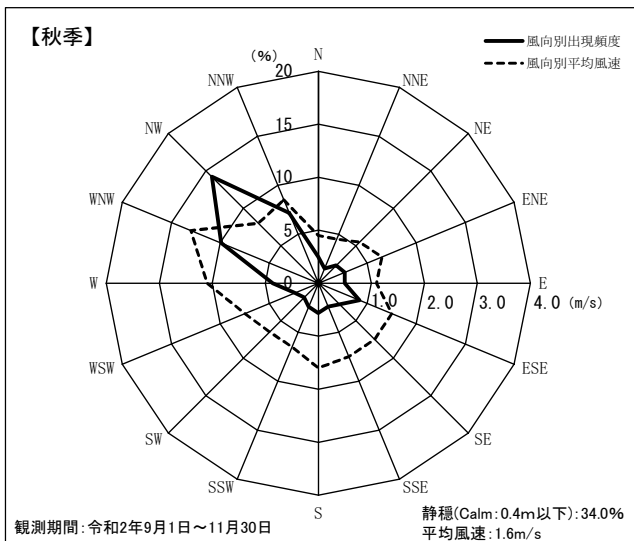
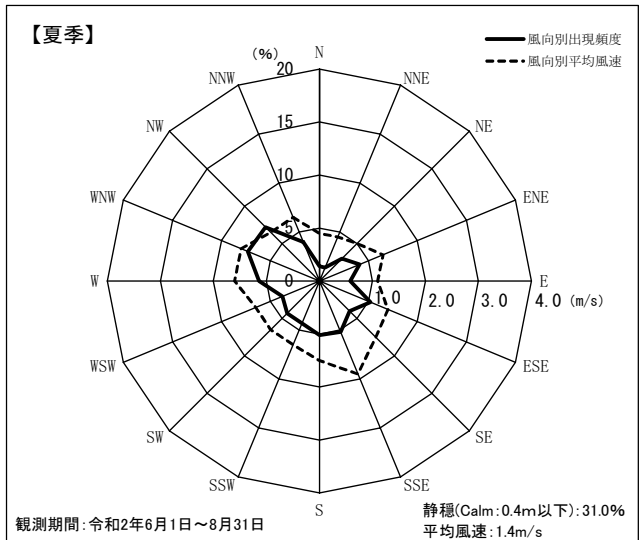
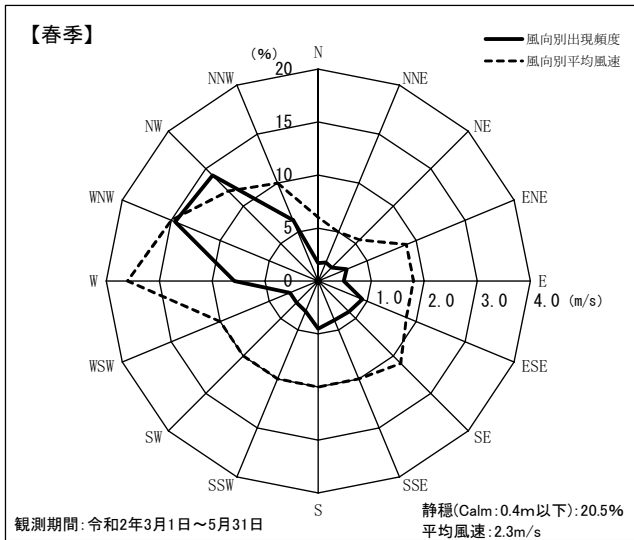


図 3.1-3(2) 季節別風配図 (令和2年 千厩)

## 2) 大気質の状況

対象事業実施区域の最寄りの大気汚染常時監視測定局は、一般環境大気測定局の竹山町局及び自動車排出ガス測定局である三反田局である。

竹山町局及び三反田局の測定項目を表 3.1-4 に、大気汚染常時監視測定局の位置を図 3.1-4 に示す。

なお、三反田局では、表 3.1-5 に示す有害大気汚染物質及びダイオキシン類も測定されている。

各測定項目における大気質の測定結果及び環境基準<sup>※1</sup>の達成状況を以降に示した。

表 3.1-4 大気汚染常時監視測定局の測定項目（令和元年度）

局区分 <sup>*1</sup>	測定局	設置場所	用途地域 <sup>*2</sup>	測定項目 <sup>*3</sup>					
				二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	光化学オキシダント (Ox)	浮遊粒子状物質 (SPM)	非メタン炭化水素 (NMHC)	微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )
一般局	竹山町	一関地区合同庁舎	商業	—	○	○	○	○	○
自排局	三反田	一関土木センター	近商	○	—	—	○	—	○

\*1. 一般局：一般環境大気測定局 自排局：自動車排出ガス測定局

\*2. 商業：商業地域 近商：近接商業地域

都市計画法第8条1項に規定する用途地域には、次の13種類がある。第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、田園住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域又は工業専用地域として定められている。それぞれの地域の指定目的は同法第9条に規定されている。

\*3. ○：観測項目有り —：測定項目無し

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧：令和3年8月)より作成

表 3.1-5 三反田局の有害大気汚染物質及びダイオキシン類の測定項目（令和元年度）

区分	測定物質
揮発性有機化合物	アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,3-ブタジエン、ベンゼン、塩化メチル、トルエン
アルデヒド	アセトアルデヒド、ホルムアルデヒド
—	ベンゾ [a] ピレン
—	ダイオキシン類

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧：令和3年8月)より作成

※1 環境基準：環境基本法第16条による定義は、「大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音に係る環境上の条件について、それぞれ、人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準。」とされている。





図 3.1-4 大気汚染常時監視測定局等位置図

凡例



対象事業実施区域



一般環境大気測定局



自動車排出ガス測定局、ダイオキシン類測定局



1:150,000

0 2.5 5 km

出典等: 「令和元年度 測定結果」(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成

(1) 一般大気環境

① 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

二酸化硫黄は、石炭、石油等を燃焼する際に、硫黄分から生成する硫黄酸化物の一種であり、環境基準が定められている。

令和元年度における竹山町局の二酸化硫黄の測定結果を表 3.1-6 に示す。

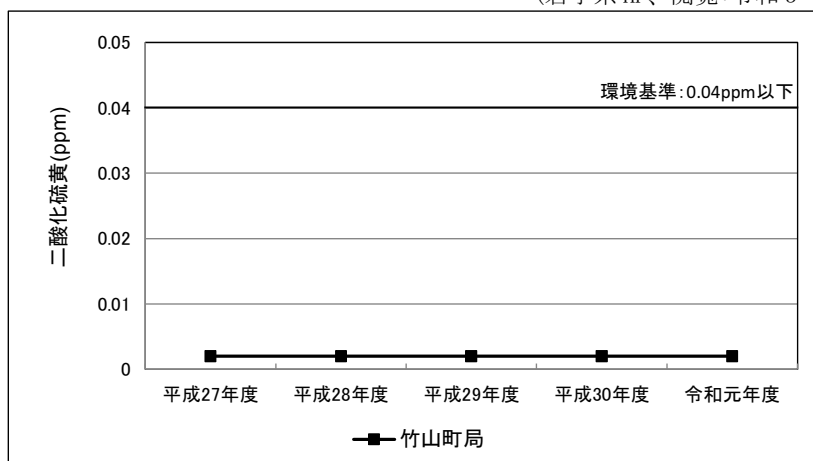
二酸化硫黄の日平均値の2%除外値※1は0.002 ppm※2、1時間値の最高値は0.007 ppmであり、長期的・短期的環境基準をとともに達成している。

また、日平均値の2%除外値は、図 3.1-5 に示すとおり、過去5年間(平成27年度～令和元年度)は横ばい傾向で推移している。

表 3.1-6 二酸化硫黄の測定結果(令和元年度)

区分	測定局	用途地域	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値 (ppm)	日平均値の2%除外値 (ppm)	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無 (有・無)	環境基準の適否		
						(時間)	(%)	(日)	(%)				環境基準の長期的評価による日平均値0.04ppmを超えた日数 (日)	短期的評価 長期的評価 (適○・否×)	
一般局	竹山町	商業	364	8,699	0.001	0	0.0	0	0.0	0.007	0.002	無	0	○	○

出典等: 「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」  
(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成



出典等: 「平成27年度～令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」  
(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成

図 3.1-5 二酸化硫黄の日平均値の2%除外値の経年変化(平成27年度～令和元年度)

《参考: 大気汚染に係る環境基準について(二酸化硫黄)》

評価項目	環境基準
環境基準	長期的評価 1日平均値の2%除外値が0.04 ppm以下であること。ただし、1日平均値が0.04 ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。
	短期的評価 1時間値の1日平均値が0.04 ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1 ppm以下であること。
評価方法	1時間値の1日平均値が0.04 ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1 ppm以下であること。

出典等: 「大気汚染に係る環境基準について」(昭和48年5月16日 環境庁告示第35号)  
「大気汚染に係る環境基準について」(昭和48年6月12日 環境庁大気保全局長通知)より作成

※1 2%除外値: 1年間に測定されたすべての日平均値(欠測日を除く)を、1年間での最高値を第1番目として、値の高い方から低い方に順(降順)に並べたとき、高い方(最高値)から数えて2%の日数に1を加えた番号に該当する日平均値。

※2 ppm: 容量比や重量比を表す単位で、1 ppmとは、空気1 m<sup>3</sup>中に物質が1 cm<sup>3</sup>含まれる場合をいう。ppmは、「part per million」の略称で100万分の1のことをいう。

## ② 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

二酸化窒素は、窒素酸化物の一種であり、高温で燃焼する際に空気中の窒素分から生成するほか、自然由来のものもあり、環境基準が定められている。

また、窒素酸化物は紫外線により光化学反応を起こし、オゾンなど光化学オキシダントを生成する。

令和元年度における三反田局の二酸化窒素の測定結果を表 3.1-7 に示す。

二酸化窒素の日平均値の年間 98 %値<sup>※1</sup>は 0.019 ppm であり、環境基準である 0.04～0.06 ppm を下回り環境基準を達成している。

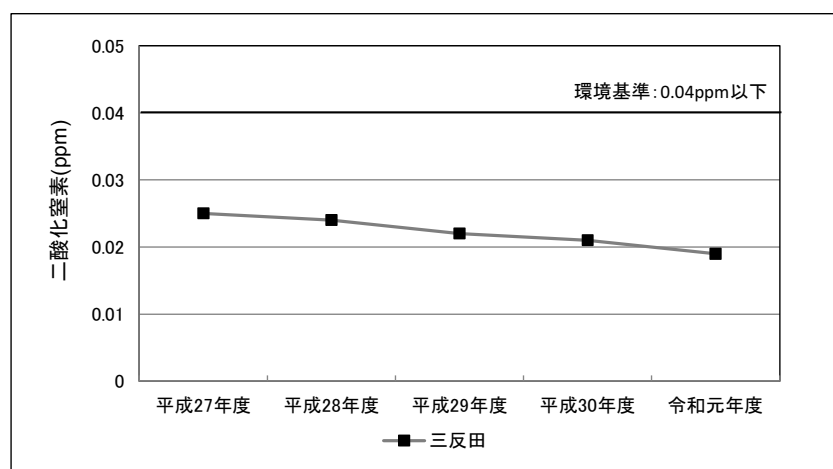
また、日平均値の年間 98%値の経年変化は、図 3.1-6 に示すとおり、過去 5 年間(平成 27 年度～令和元年度)は減少傾向で推移している。

表 3.1-7 二酸化窒素の測定結果(令和元年度)

区分	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値が 0.06ppm を超えた日数とその割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日数とその割合		日平均値の年間 98%値	98%値評価による日平均値が 0.06ppm を越えた日数
			(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(日)
自排局	三反田	近商	364	8,707	0.010	0.042	0	0.0	0	0.0	0.019	0

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシソキシソ類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成



出典等：「平成 27 年度～令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシソキシソ類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

図 3.1-6 二酸化窒素の日平均値の年間 98%値の経年変化(平成 27 年度～令和元年度)

### 《参考:大気汚染に係る環境基準について(二酸化窒素)》

評価項目	環境基準
環境基準	1 時間値の 1 日平均値が 0.04 ppm から 0.06 ppm のゾーン内又はそれ以下であること。
評価方法	年間における 1 日平均値のうち、低い方から 98%に相当するものが 0.06 ppm 以下であること。

出典等：「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和 53 年 7 月 11 日 環境庁告示第 38 号)

「二酸化窒素に係る環境基準の改定について」(昭和 53 年 7 月 17 日 環境庁通知第 262 号)より作成

※1 年間 98 %値：1 年間に測定されたすべての日平均値(欠測日を除く)を、1 年間での最低値を第 1 番目として、値の低い方から高い方に順(昇順)に並べたとき、低い方(最低値)から数えて 98 %目に該当する日平均値。

### ③ 光化学オキシダント (Ox)

光化学オキシダントは、窒素酸化物や炭化水素が太陽からの紫外線を受けて光化学反応を起こすことにより発生する二次的な汚染物質であり、環境基準が定められている。

令和元年度における竹山町局の光化学オキシダントの測定結果を表 3.1-8 に示す。

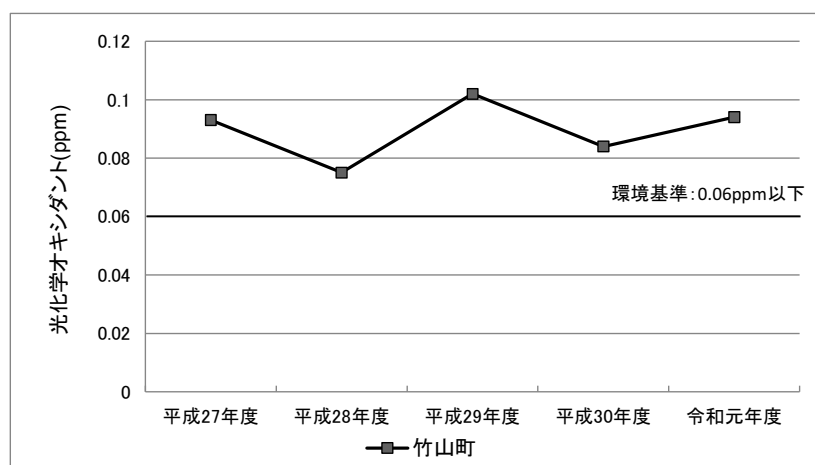
光化学オキシダントの昼間の1時間値の年平均値は0.030 ppmであるが、昼間の1時間値が0.06 ppmを超えた日が発生しており、環境基準を超過している。

また、昼間の1時間値の最高値の経年変化は、図 3.1-7 に示すとおり、過去5年間(平成27年度～令和元年度)は横ばい傾向で推移している。

表 3.1-8 光化学オキシダントの測定結果(令和元年度)

区分	測定局	用途地域	有効測定日数 (日)	昼間の測定時間 (時間)	昼間の1時間値の年平均値 (ppm)	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間の1時間値の最高値 (ppm)	昼間の日最高1時間値の年平均値 (ppm)	環境基準の適否 (適○・否×)
						(日)	(時)	(日)	(%)			
一般局	竹山町	商業	360	5,330	0.030	30	160	0	0	0.094	0.041	×

出典等:「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシソ類測定結果」  
(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成



出典等:「平成27年度～令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシソ類測定結果」  
(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成

図 3.1-7 光化学オキシダントの昼間の1時間値の最高値の経年変化  
(平成27年度～令和元年度)

#### 《参考:大気汚染に係る環境基準について(光化学オキシダント)》

評価項目	環境基準
環境基準	1時間値が0.06 ppm以下であること。
評価方法	昼間(5時から20時まで)の1時間値が0.06 ppm以下であること。

出典等:「大気汚染に係る環境基準について」(昭和48年5月16日 環境庁告示第35号)  
「大気汚染に係る環境基準について」(昭和48年6月12日 環境庁大気保全局長通知)より作成

#### ④ 浮遊粒子状物質 (SPM)

浮遊粒子状物質は、大気中の粒子状物質のうち粒径 10 $\mu$ m 以下のものをいい、工場等の事業活動や自動車の走行に伴い発生するほか、風による巻き上げ等の自然現象によるものもあり、環境基準が定められている。

令和元年度における竹山町局及び三反田局の浮遊粒子状物質の測定結果を表 3.1-9 に示す。

浮遊粒子状物質の日平均値の 2% 除外値は 0.026~0.032 mg/m<sup>3</sup> ※1、1 時間値の最高値は 0.064~0.073 mg/m<sup>3</sup> であり、長期的・短期的環境基準をともに達成している。

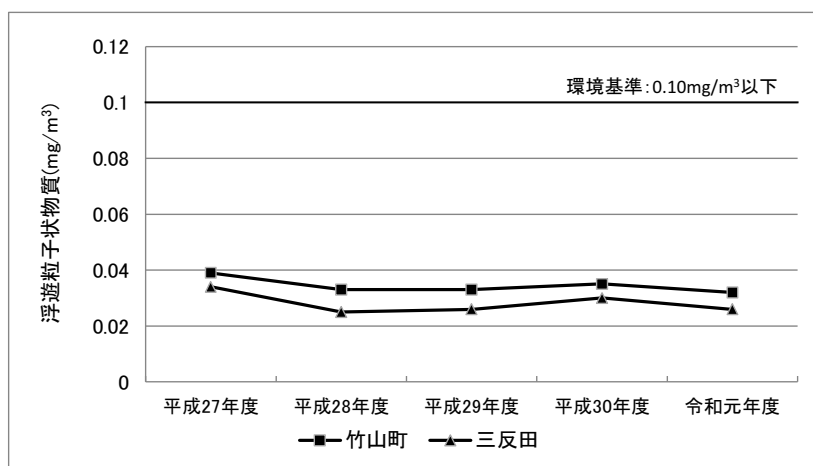
また、日平均値の 2% 除外値の経年変化は、図 3.1-8 に示すとおり、過去 5 年間(平成 27 年度~令和元年度)は横ばい傾向で推移している。

表 3.1-9 浮遊粒子状物質の測定結果(令和元年度)

区分	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数とその割合		1 時間値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合		1 時間値の最高値	日平均値の 2% 除外値	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が 2 日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価による日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数		環境基準の適否	
						(時間)	(%)	(時間)	(%)				(日)	(日)	短期的評価	長期的評価
一般局	竹山町	商業	363	8,713	0.013	0	0.0	0	0.0	0.073	0.032	無	0	○	○	
自排局	三反田	近商	364	8,730	0.011	0	0.0	0	0.0	0.064	0.026	無	0	○	○	

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧：令和 3 年 8 月)より作成



出典等：「平成 27 年度~令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧：令和 3 年 8 月)より作成

図 3.1-8 浮遊粒子状物質の日平均値の 2% 除外値の経年変化(平成 27 年度~令和元年度)

#### 《参考：大気汚染に係る環境基準について(浮遊粒子状物質)》

評価項目	環境基準
短期的評価方法	1 時間値の 1 日平均値が 0.10 mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
長期的評価方法	年間における 1 日平均値について、高い方から 2% の範囲内にあるものを除外した 1 日平均値が 0.10 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。ただし、1 日平均値が 0.10 mg/m <sup>3</sup> を越えた日が 2 日以上連続しないこと。

出典等：「大気汚染に係る環境基準について」(昭和 48 年 5 月 8 日 環境庁告示第 25 号)

「大気汚染に係る環境基準について」(昭和 48 年 6 月 12 日 環境庁通知第 143 号)より作成

※1 mg/m<sup>3</sup>：重量濃度を表す単位で、1 mg/m<sup>3</sup>とは、空気 1 m<sup>3</sup>中に物質が 1 mg 含まれる場合をいう。

### ⑤ 非メタン炭化水素 (NMHC)

非メタン炭化水素は、メタン以外の炭化水素の総称である。そのうちガソリンなどの揮発性有機炭素は光化学オキシダントの原因物質として対策が進められており、環境基準は定められていないが、指針値が定められている。

令和元年度における竹山町局の非メタン炭化水素の測定結果を表 3.1-10 に示す。

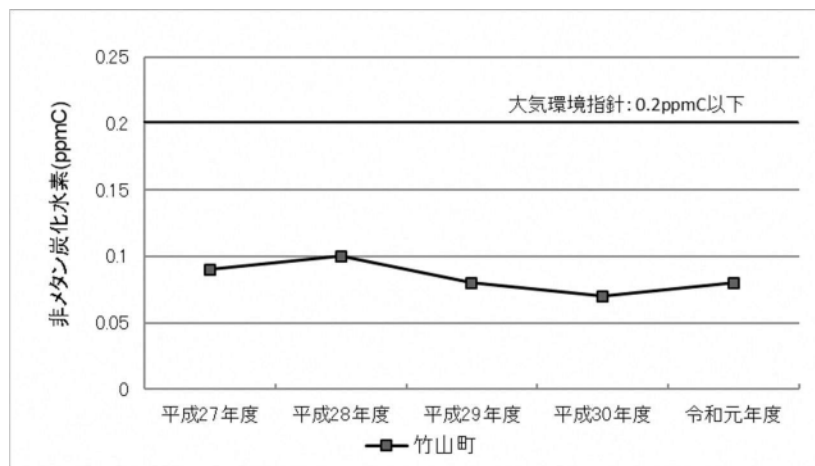
非メタン炭化水素の6時～9時の年間平均値は0.08 ppmC<sup>\*1</sup>であるが、0.31 ppmCを超えた日が発生している。

また、年平均値の経年変化は、図 3.1-9 に示すとおり、過去5年間(平成27年度～令和元年度)は0.07～0.10 ppmCと減少傾向で推移している。

表 3.1-10 非メタン炭化水素の測定結果(令和元年度)

区分	測定局	用途地域	測定時間	年平均値	6時～9時の年間平均値	6時～9時の測定日数	6時～9時の3時間平均値の最高値	6時～9時の3時間平均値の最低値	6時～9時の3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合		6時～9時の3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合	
			(時間)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(%)	(日)	(%)
一般局	竹山町	商業	6,768	0.08	0.08	284	0.39	0.02	6	2.1	1	0.4

出典等:「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」  
(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成



出典等:「平成27年度～令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」  
(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成

図 3.1-9 非メタン炭化水素の年平均値の経年変化(平成27年度～令和元年度)

#### 《参考:大気汚染に係る指針について(非メタン炭化水素)》

評価項目	指針値
大気環境指針	光化学オキシダントの日最高1時間値0.06 ppmに対応する午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20 ppmCから0.31 ppmCの範囲にある。

出典等:「光化学オキシダントの生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針について(答申)」  
(昭和51年8月13日 中央公害対策審議会)

※1 ppmC:大気中の炭化水素類を表す単位で、1 ppmCとは、空気1 m<sup>3</sup>中にメタンに換算された物質が1 cm<sup>3</sup>含まれる場合をいう。

⑥ 微小粒子状物質 (PM<sub>2.5</sub>)

微小粒子状物質は、大気中の粒子状物質のうち粒径 2.5 μm 以下のものをいい、物の燃焼により排出されるものと、環境大気中の化学反応で生成されるものがある。微小粒子状物質は、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器疾患への影響のほか、肺がんのリスク上昇や循環器系への影響も懸念されており、環境基準が定められている。

令和元年度における竹山町局及び三反田局の微小粒子状物質の測定結果を表 3.1-11 に示す。

微小粒子状物質の年平均値は 6.8~7.0 μg/m<sup>3</sup>\*1、日平均値の最高値は 23.6~28.0 μg/m<sup>3</sup>であり、長期的・短期的環境基準をともに達成している。

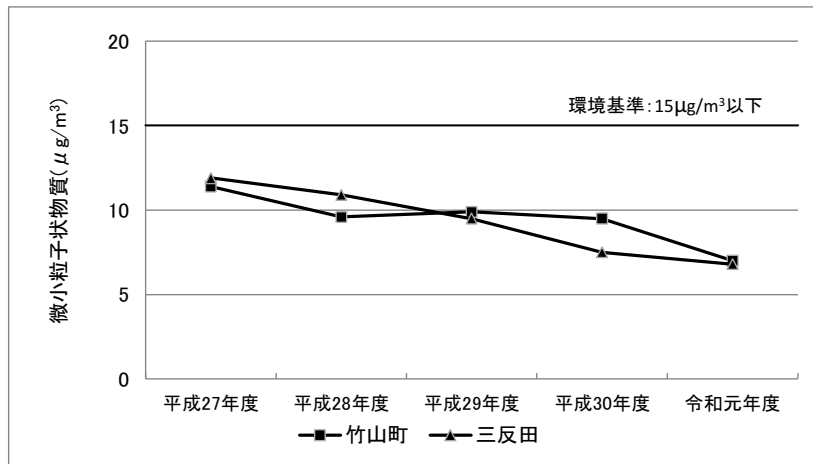
また、微小粒子状物質の年平均値の経年変化は、図 3.1-10 に示すとおり、過去 5 年間(平成 27 年度~令和元年度)は 11.9~6.8 μg/m<sup>3</sup>と減少傾向で推移している。

表 3.1-11 微小粒子状物質の測定結果(令和元年度)

区分	測定局	用途地域	有効測定日数	測定時間	年平均値	日平均値の最高値	日平均値が 35 μg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合		日平均値の 98% 値	年間 98% 値評価による日平均値が 35 μg/m <sup>3</sup> を超えた日数	環境基準の適否	
							(時間)	(%)			(時間)	(時間)
			(日)	(時間)	(μg/m <sup>3</sup> )	(μg/m <sup>3</sup> )	(時間)	(%)	(μg/m <sup>3</sup> )	(時間)	(適○・否×)	(適○・否×)
一般局	竹山町	商業	364	8,723	7.0	28.0	0	0.0	20.4	0	○	○
自排局	三反田	近商	341	8,173	6.8	23.6	0	0.0	17.3	0	○	○

出典等: 「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成



出典等: 「平成 27 年度~令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

図 3.1-10 微小粒子状物質の年平均値の経年変化(平成 27 年度~令和元年度)

《参考:大気汚染に係る環境基準について(微小粒子状物質)》

評価項目	環境基準
環境上の条件	1 年平均値が 15 μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 日平均値が 35 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。

出典等: 「微笑粒子状物質による大気の汚染に係る環境基準について」

(昭和 48 年 5 月 8 日 環境庁告示第 33 号)より作成

\*1 μg/m<sup>3</sup>: 重量濃度を表す単位で、1 μg/m<sup>3</sup>とは、空気 1 m<sup>3</sup>中に物質が 1 μg(0.001mg)含まれる場合をいう。

## (2) 有害大気汚染物質の状況

三反田局の平成 27 年度から令和元年度までの有害大気汚染物質の測定結果を表 3.1-12 に示す。

環境基準が定められているベンゼン等 4 物質の過去 5 年間(平成 27 年度～令和元年度)の測定値は、ジクロロメタン及びベンゼンは環境基準を超過しているが、それ以外の物質は環境基準を下回っている。

また、指針値が定められているアクリロニトリル等 7 物質の過去 5 年間(平成 27 年度～令和元年度)の測定値についても、いずれも指針値を下回っている。

表 3.1-12 有害大気汚染物質の測定結果（平成 27 年度～令和元年度）

測定物質	単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
VOC	アクリロニトリル	μg/m <sup>3</sup>	0.028	0.022	0.025	0.014	0.0076
	塩化ビニルモノマー	μg/m <sup>3</sup>	0.0084	0.0062	0.0055	0.0033	0.0028
	クロロホルム	μg/m <sup>3</sup>	0.17	0.15	0.19	0.15	0.20
	1,2-ジクロロエタン	μg/m <sup>3</sup>	0.11	0.086	0.095	0.11	0.096
	ジクロロメタン	μg/m <sup>3</sup>	0.52	0.75	0.67	0.59	0.51
	テトラクロロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.028	0.031	0.034	0.028	0.028
	トリクロロエチレン	μg/m <sup>3</sup>	0.046	0.040	0.021	0.018	0.016
	1,3-ブタジエン	μg/m <sup>3</sup>	0.070	0.064	0.076	0.051	0.048
	ベンゼン	μg/m <sup>3</sup>	0.94	0.74	0.67	0.54	0.51
	塩化メチル	μg/m <sup>3</sup>	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
アルデヒド	トルエン	μg/m <sup>3</sup>	7.4	1.8	4.0	1.2	0.85
	アセトアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	0.60	0.58	0.91	0.85	1.3
	ホルムアルデヒド	μg/m <sup>3</sup>	1.3	0.92	1.4	1.4	1.8
	ベンゾ [a] ピレン	ng/m <sup>3</sup>	0.13	0.17	0.13	0.092	0.055

注 1) 表中の測定値は、各年ともに 12 回の測定結果の平均値

注 2) 網掛け：環境基準を超過している数値を示す。

出典等：「平成 27 年度～令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧：令和 3 年 8 月)より作成

### 《参考：有害大気汚染物質（ベンゼン等）に係る環境基準》

物質	環境基準
ジクロロメタン	1 年平均値が 0.15 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
テトラクロロエチレン	1 年平均値が 0.2 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
トリクロロエチレン	1 年平均値が 0.13 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
ベンゼン	1 年平均値が 0.003 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

出典等：「ベンゼン等による大気汚染に係る環境基準について」（平成 9 年 2 月 4 日 環境庁告示第 4 号）

### 《参考：有害大気汚染物質（アクリロニトリル等）に係る指針値》

物質	指針値
アクリロニトリル	1 年平均値が 2 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
塩化ビニルモノマー	1 年平均値が 10 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
クロロホルム	1 年平均値が 18 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
1,2-ジクロロエタン	1 年平均値が 1.6 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
1,3-ブタジエン	1 年平均値が 2.5 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
塩化メチル	1 年平均値が 94 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
アセトアルデヒド	1 年平均値が 120 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。

出典等：「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第七次答申）」（平成 15 年 7 月 31 日 中央環境審議会）

「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第八次答申）」（平成 18 年 11 月 8 日 中央環境審議会）

「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第十二次答申）」（令和 2 年 8 月 20 日 中央環境審議会）



### (3) ダイオキシン類の状況

ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン (PCDF) およびコプラナーポリ塩化ビフェニル (Co-PCB) の3種類の化合物の総称で、有機塩素を含むプラスチックを不完全燃焼すると発生しやすい。非常に毒性が強く、生殖や成長面の問題を引き起こす可能性がある。免疫システムやホルモンに障害をもたらし、発がん性もあることから「ダイオキシン類対策特別措置法」により環境基準が定められている。

三反田局の平成27年度から令和元年度までのダイオキシン類の測定結果を表 3.1-13に示す。

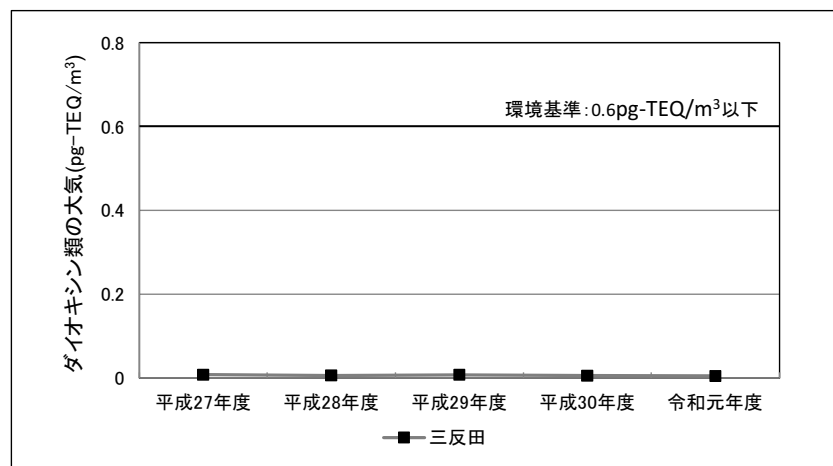
過去5年間(平成27年度～令和元年度)の測定値は図 3.1-11に示すとおり、環境基準を下回っている。

表 3.1-13 ダイオキシン類の大気測定結果(平成27年度～令和元年度)

測定局	ダイオキシン類の大気 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> *)				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
三反田	0.0080	0.0061	0.0076	0.0056	0.0051

\*1. pg-TEQ/m<sup>3</sup>: 単位の「pg(ピコグラム)」は1兆分の1gを意味し、「TEQ」は測定されたダイオキシン類を、ダイオキシン類の中で最も毒性が強いとされる2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した量(「毒性等量」という)。

出典等: 「平成27年度～令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成



出典等: 「平成27年度～令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」(岩手県HP、閲覧:令和3年8月)より作成

図 3.1-11 ダイオキシン類の大気の大気経年変化(平成27年度～令和元年度)

#### 《参考:大気汚染に係る環境基準について(ダイオキシン類)》

媒体	環境基準
大気	0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下

出典等: 「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌の汚染に係る環境基準」(平成11年12月27日 環境庁告示第68号)より作成

### 3) 騒音の状況

岩手県では、「騒音に係る環境基準について（平成10年環境庁告示第64号）」及び「騒音規制法」に基づき、県及び市町村によって一般環境騒音及び自動車騒音の常時監視が実施されている。

#### (1) 一般環境騒音の状況

一関市では、「令和2年度 環境報告書」（令和3年3月、一関市）によると、一般環境騒音の測定が20箇所で行われ、令和元年度の測定結果では、全ての地点で環境基準を達成している。

対象事業実施区域及びその周囲では、川崎支所で測定が行われており、過去5年間の経年変化を表3.1-14に、調査地点位置を図3.1-12に示す。

なお、川崎支所には騒音に係る環境基準の類型<sup>\*1</sup>を当てはめる地域の指定はないが、参考としてA類型の基準を示した。

表 3.1-14 一般環境騒音の測定結果

測定年度	測定結果（デシベル(dB <sup>*1</sup> ））											
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		環境基準 (参考:A類型 <sup>*2</sup> )	
	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜
川崎支所	46.9	40.5	49.2	39.0	57.2	39.5	48.0	41.6	46.4	36.5	55	45

\*1. デシベル(dB)：音レベルや振動レベルの単位に用いられる対数尺度。

\*2. A類型：第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、田園住居地域

出典等：「平成29年度～令和2年度 環境報告書」（一関市HP、閲覧：令和3年8月）より作成

#### (2) 自動車騒音の状況

一関市では、自動車騒音の常時監視を行っており、令和元年度は、評価区間延長28.8km、評価区間の数22区間で調査を実施している。

対象事業実施区域及びその周囲には自動車騒音の常時監視箇所はないが、一関市の評価区間内の住居等戸数3,348戸のうち、昼間・夜間ともに環境基準を達成した戸数は3,304戸(98.7%)であった。

参考として令和元年度に行われた一関市の評価結果を表3.1-15に示す。

表 3.1-15 一関市の自動車騒音の評価結果(令和元年度)

市町村	延長 (km)	評価区 間の数 (区間)	評価結果								
			住居等 戸数	昼夜間とも 基準値以下		昼間のみ 基準値以下		夜間のみ 基準値以下		昼夜間とも 基準値超過	
			(戸)	(戸)	(%)	(戸)	(%)	(戸)	(%)	(戸)	(%)
一関市	28.8	22	3,348	3,304	98.7	8	0.23	6	0.18	30	0.90

出典等：「令和2年度 環境報告書」（一関市HP、閲覧：令和3年8月）より作成

※1 環境基準の類型：水質汚濁の生活環境項目及び騒音の環境基準については、全国一律の環境基準値を設定していない。国において類型別に基準値が示され、これに基づき都道府県が河川等の状況や、騒音に係る地域の土地利用状況や時間帯等に応じてあてはめ、指定していく方式となっている。これを、「類型あてはめ」または「類型指定」という。

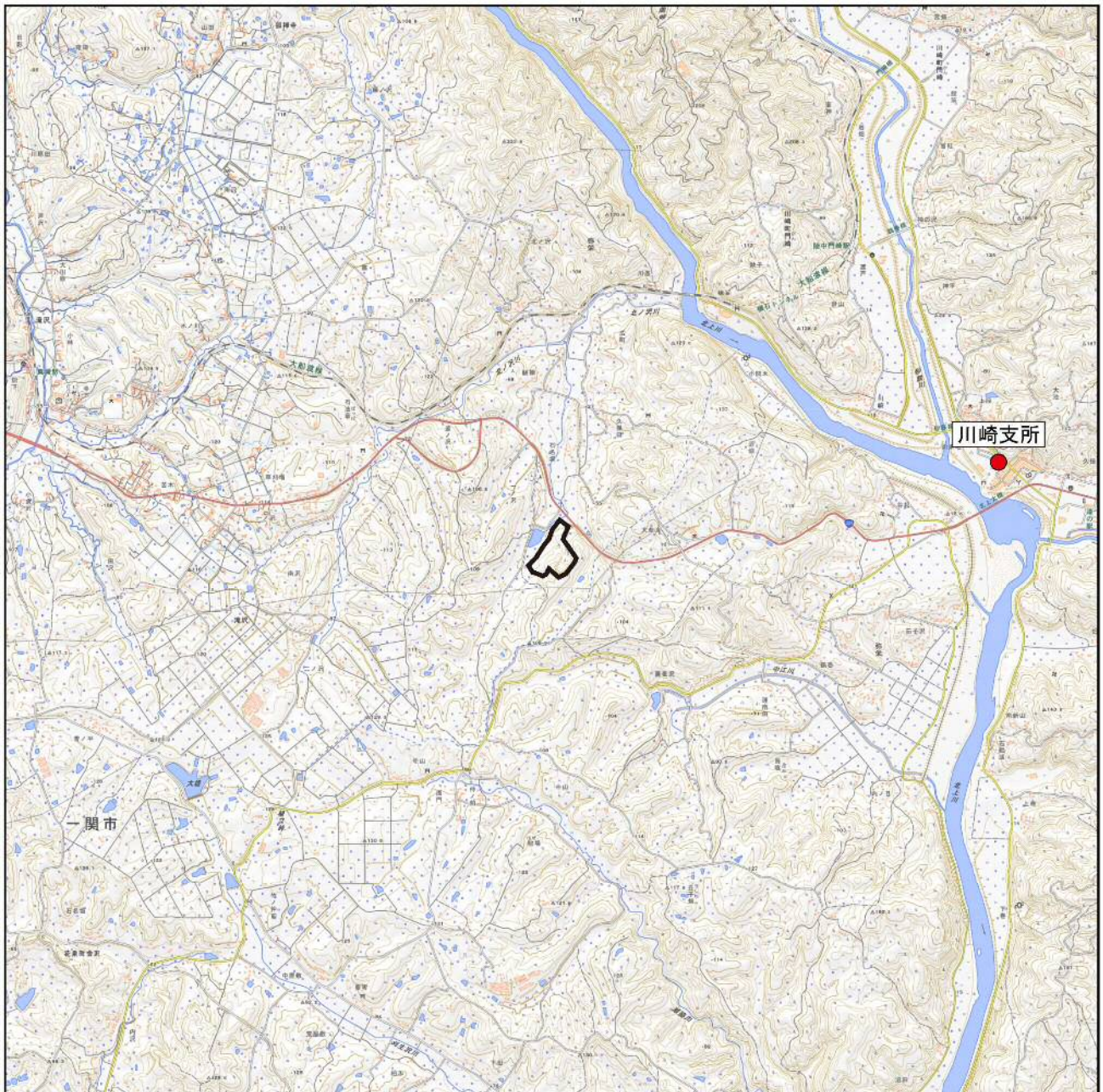


図 3.1-12 一般環境騒音測定地点位置図

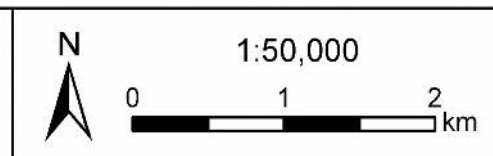
凡例



対象事業実施区域



一般環境騒音測定地点



出典等: 「令和2年度 環境報告書」(一関市 HP、閲覧:令和3年8月)より作成

#### 4) 振動の状況

対象事業実施区域及びその周囲では、岩手県及び一関市における振動測定は実施されていない。

なお、「令和2年度版 環境報告書」（令和3年3月、一関市）によると、一関市内9箇所において道路交通振動の測定が実施されており、令和元年度の測定結果は全ての地点で「振動規制法」（昭和51年6月10日 法律第64号）に基づく要請限度<sup>※1</sup>を下回っている。

#### 5) 悪臭の状況

対象事業実施区域及びその周囲では、岩手県及び一関市における悪臭測定は実施されていない。

なお、岩手県では、「悪臭防止法」（昭和46年6月1日 法律第91号）に基づき県内9市町において規制地域を指定しているが、一関市は対象外である。

---

※1 要請限度：市町村長は、振動の測定を行った場合において、指定地域内における道路交通振動が総理府令で定める限度を超えていることにより道路周辺の生活環境が著しく損なわれていると認めるときは、道路管理者に当該道路の修繕等の措置を要請し、又は都道府県公安委員会に対し道路交通法の規定による措置を要請する。

### 3.1.2 水環境の状況

#### 1) 水象の状況

対象事業実施区域及びその周囲における河川の状況を図 3.1-13 に示す。

対象事業実施区域の北東側には一級河川である北上川が北から南へ流れている。対象事業実施区域西側のため池から流れる河川は、北上川水系の北ノ沢川へ流下し、北上川へ合流する。また、対象事業実施区域及びその周囲には、北上川へ流れる砂鉄川、千厩川、中江川、瀬脇川、刈生沢川が分布している。

なお、対象事業実施区域及びその周囲には海域は分布しない。

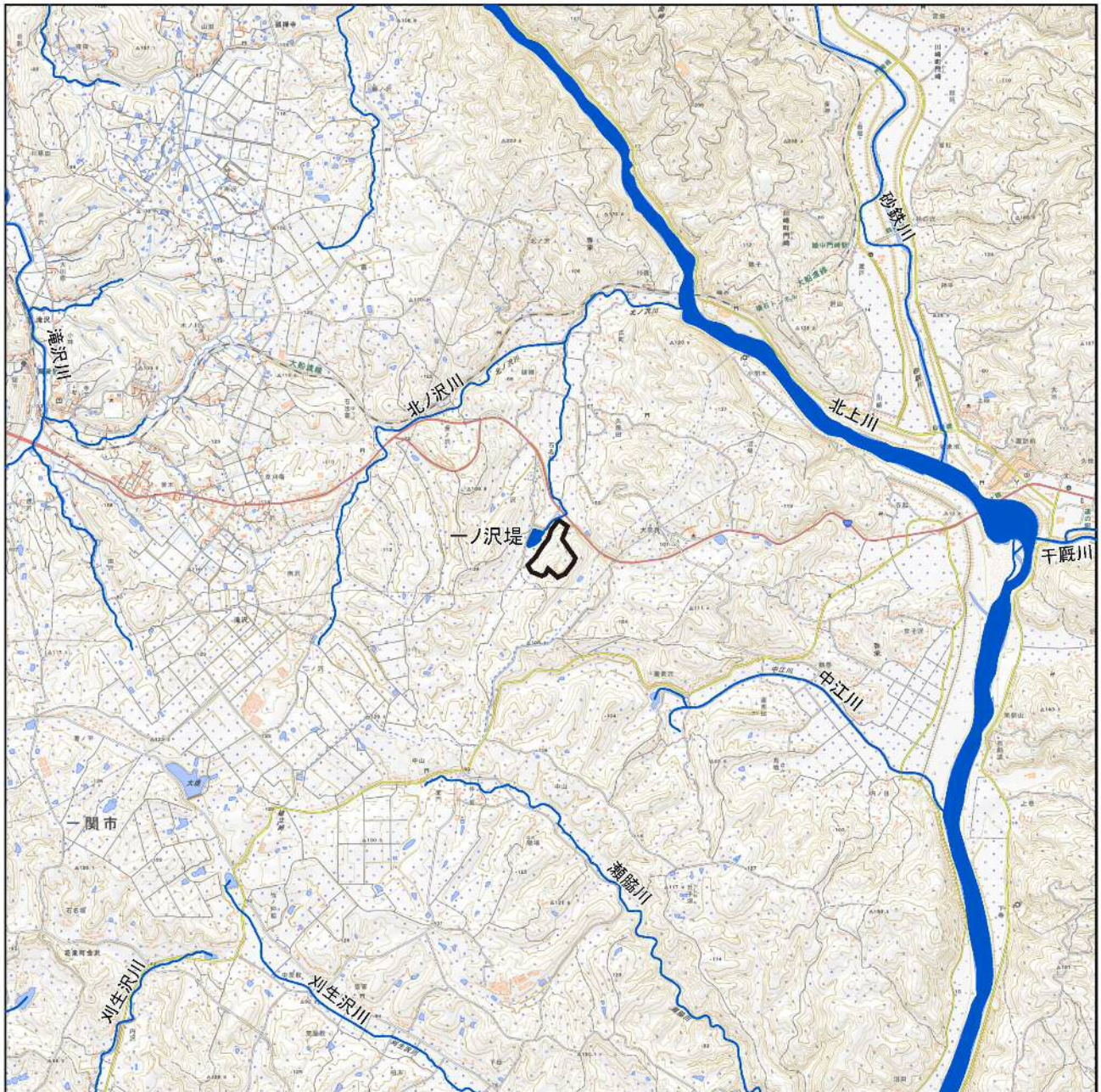


図 3.1-13 河川位置図

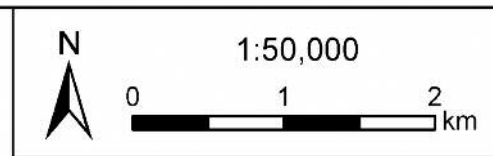
凡例



対象事業実施区域



河川



出典等：「国土数値情報ダウンロード 河川」(国土交通省 HP)、「農業用ため池データベース (令和 3 年 3 月版)」(岩手県 HP)、(閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

## 2) 水質の状況

### (1) 公共用水域の水質の状況

対象事業実施区域及びその周囲では、公共用水域<sup>※1</sup>の水質の測定が行われている。

「人の健康の保護に関する項目」が千厩川で、「生活環境の保全に関する項目」が北上川及び千厩川、砂鉄川で測定されている。測定地点位置図を図 3.1-14 に示す。

#### ① 人の健康の保護に関する項目

千厩川（水門）における令和元年度の測定結果を表 3.1-16 に示す。

測定結果は、全ての物質について環境基準を下回っている。

表 3.1-16 水質測定結果（健康項目 令和元年度）

物質名	単位	平均値		環境基準
		河川(北上川水系)		
		千厩川(水門)		
カドミウム	mg/L	—		0.003 以下
全シアン	mg/L	—		検出されないこと。
鉛	mg/L	—		0.01 以下
六価クロム	mg/L	—		0.05 以下
砒素	mg/L	—		0.01 以下
総水銀	mg/L	—		0.0005 以下
アルキル水銀	mg/L	—		検出されないこと。
PCB	mg/L	—		検出されないこと。
ジクロロメタン	mg/L	<0.002		0.02 以下
四塩化炭素	mg/L	<0.0002		0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004		0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002		0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002		0.04 以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005		1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006		0.006 以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001		0.01 以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005		0.01 以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—		0.002 以下
チウラム	mg/L	—		0.006 以下
シマジン	mg/L	—		0.003 以下
チオベンカルブ	mg/L	—		0.02 以下
ベンゼン	mg/L	—		0.01 以下
セレン	mg/L	—		0.01 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—		10 以下
ふっ素	mg/L	—		0.8 以下
ほう素	mg/L	—		1 以下
1,4-ジオキサン	mg/L	—		0.05 以下

注1) —：測定されていないことを示す。 <：定量下限値未満であることを示す。

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧:令和3年8月)より作成

※1 公共用水域：水質汚濁防止法では「公共用水域とは、河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共の用に供される水域及びこれに接続する公共溝渠、かんがい水路その他公共の用に供される水路をいう。ただし、下水道法で定めている公共下水道及び流域下水道であって、終末処理場を有しているもの、又はこの流域下水道に接続している公共下水道は除く。」と定義している。

したがって、一般にいわれる水域のほか、終末処理場を設置している下水道以外のすべての溝渠、水路が公共用水域に包含される。

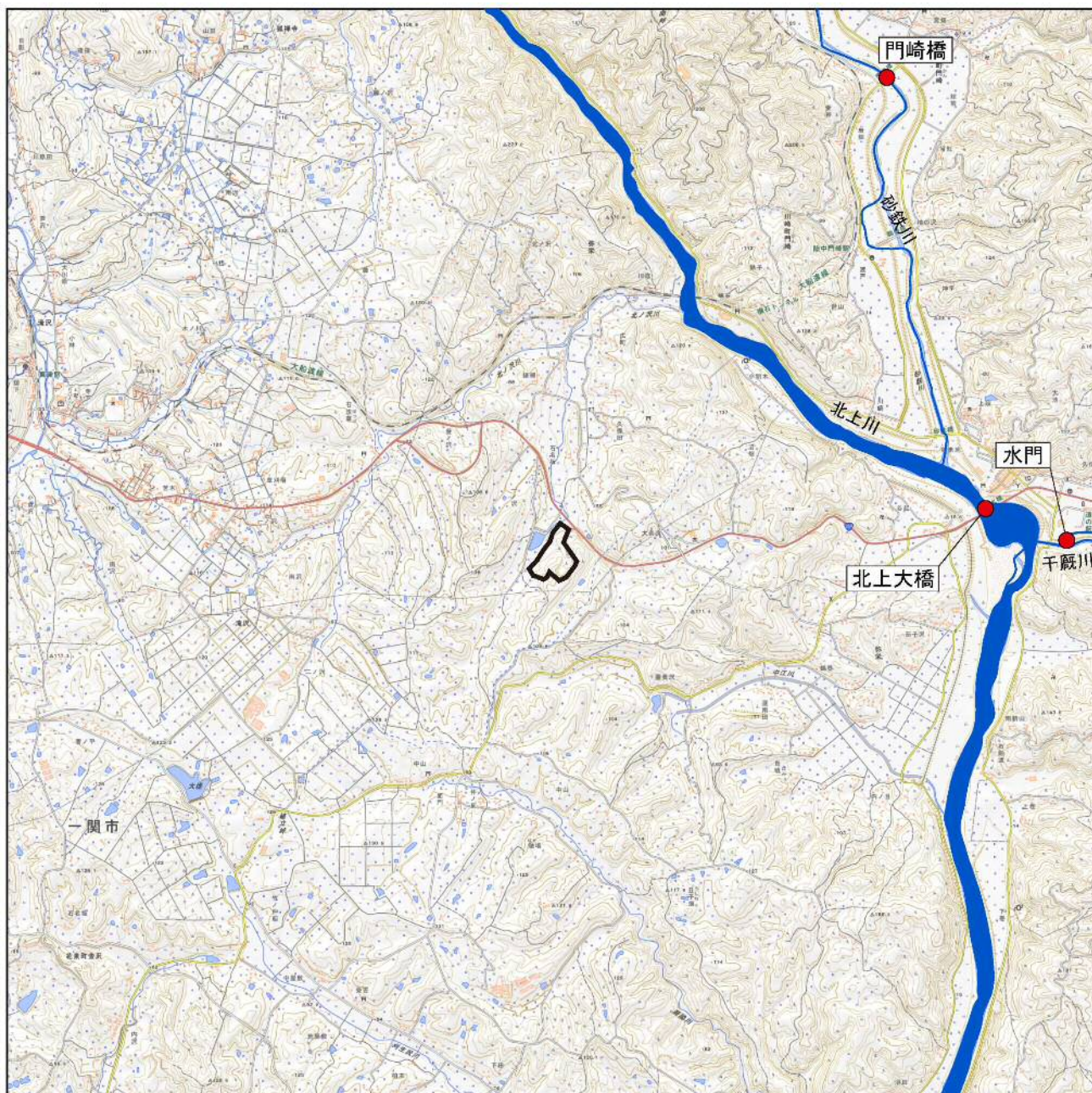
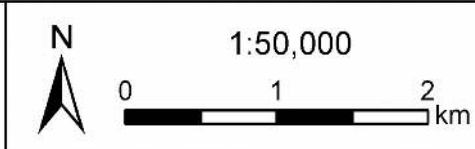


図 3.1-14 公共用水域測定地点位置図

凡例

 対象事業実施区域



記号	水質測定地点	測定項目
●	千厩川（水門）	健康項目
	北上川（北上大橋）	生活環境項目
	千厩川（水門）	
	砂鉄川（門崎橋）	

出典等：「水環境総合情報サイト」(環境省 HP、閲覧:令和3年8月)より作成



## ② 生活環境の保全に関する項目

北上川（北上大橋）、千厩川（水門）、砂鉄川（門崎橋）の令和元年度における水質測定結果を表 3.1-17 に示す。

北上川、砂鉄川には、A 類型の環境基準<sup>※1</sup> が設定されており、大腸菌群数を除いては環境基準を達成している。

千厩川には、C 類型の環境基準が設定されており、全ての項目で環境基準を達成している。

なお、化学的酸素要求量(COD)、全窒素、全リン、全亜鉛の測定が行われているが、測定地点には環境基準の類型指定はない。

表 3.1-17 水質測定結果（生活環境項目 令和元年度）

物質名	単位	測定値		環境基準	測定値	環境基準
		北上川 (北上大橋)	砂鉄川 (門崎橋)	A 類型 (生物A 類型)	千厩川 (水門)	C 類型 (生物A 類型)
水素イオン濃度 (pH)	最大値	7.4	7.7	6.5 以上	7.5	6.5 以上
	最小値	7.8	8.0	8.5 以下	7.8	8.5 以下
溶存酸素量(DO)	mg/L	10	10	7.5 以上	10	5 以上
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	1.0	0.7	2 以下	1.9	5 以下
	75%値	mg/L	1.1		0.8	
化学的酸素要求量(COD)	mg/L	2.7	1.6	—	—	—
	75%値	mg/L	3.3		1.6	
浮遊物質(SS)	mg/L	4	2	25 以下	5	50 以下
大腸菌群数	MPN/100mL	12,000	18,000	1,000 以下	21,000	—
全窒素	mg/L	1.1	0.91	—	—	—
全リン	mg/L	0.047	0.031	—	—	—
全亜鉛	mg/L	0.005	0.002	0.03 以下	—	0.03 以下

注1) —：環境基準が設定されていないことを示す。

注2) 網掛け：環境基準を超過している数値を示す。

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシソ類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧:令和3年8月)より作成

※1 環境基準の類型は、以下の利用目的の適応性により指定されている。

類型	利用目的の適応性
AA	水道1級（ろ過等による簡易な浄水操作を行なうもの） 自然環境保全（自然探勝等の環境保全）及びA以下の欄に掲げるもの
A	水道2級（沈澱ろ過等による通常の浄水操作を行なうもの） 水産1級（ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用） 水浴及びB以下の欄に掲げるもの
B	水道3級（前処理等を伴う高度の浄水操作を行なうもの） 水産2級（サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用）及びC以下の欄に掲げるもの
C	水産3級（コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用） 工業用水1級（沈澱等による通常の浄水操作を行なうもの）及びD以下の欄に掲げるもの
D	工業用水2級（薬品注入等による高度の浄水操作を行なうもの） 農業用水及びEの欄に掲げるもの
E	工業用水3級（特殊の浄水操作を行なうもの） 環境保全（国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む）において不快感を生じない限度）

類型	水生生物の生息状況の適応性
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域

## (2) 地下水の水質の状況

対象事業実施区域が位置する一関市では、令和元年度に概況調査 6 地点、継続監視調査 12 地点の計 18 地点で、地下水質の汚染状況に関する調査が実施されている。

概況調査の測定結果を表 3.1-18 に、継続監視調査の測定結果を表 3.1-19 に示す。

概況調査が実施された地点の測定値は、全ての項目で環境基準を達成している。

継続監視調査が実施された地点の測定値は、砒素が 6 地点、テトラクロロエチレン・ほう素・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が 1 地点で環境基準を超過している。

表 3.1-18 地下水質測定結果（概況調査 令和元年度）

項目	地区名	単位	狐禅寺	舞川*1	舞川*2	舞川*3	沖田	薄衣	環境基準
カドミウム		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 以下
鉛		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 以下
六価クロム		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05 以下
砒素		mg/L	ND	ND	ND	0.005	ND	ND	0.01 以下
総水銀		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005 以下
アルキル水銀		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと
ジクロロメタン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02 以下
四塩化水素		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 以下
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006 以下
トリクロロエチレン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03 以下
テトラクロロエチレン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 以下
ベンゼン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 以下
セレン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素		mg/L	1.1	0.9	3.4	1.5	1.6	1.2	10 以下
亜硝酸性窒素		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—
1,2-ジクロロエチレン		mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04 以下
pH		—	6.1	7.1	6.3	6.7	6.4	6.1	—
電気伝導度		μS/cm	260	130	190	160	110	290	—
水温		℃	15	11	8	11	16	15	—

\*1：地点番号 209028000110 \*2：地点番号 209028000160 \*3：地点番号 209028000190

注1) 表中の「ND」は定量下限値未満であること（検出されないこと）を示す。

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

（岩手県 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成

表 3.1-19(1) 地下水質測定結果（継続監視調査 令和元年度）

項目	地区名	単位	青葉*1	青葉*2	狐禅寺	中里	舞川	渋民	環境基準
鉛		mg/L	—	—	—	—	—	0.005	0.01 以下
砒素		mg/L	—	—	—	—	0.011	—	0.01 以下
1,1-ジクロロエチレン		mg/L	ND	ND	—	—	—	—	0.1 以下
1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	ND	ND	—	—	—	—	1 以下
トリクロロエチレン		mg/L	ND	0.008	—	—	—	—	0.03 以下
テトラクロロエチレン		mg/L	0.0024	0.0230	—	—	—	—	0.01 以下
ほう素		mg/L	—	—	—	2.5	—	—	1 以下
クロロエチレン		mg/L	ND	0.0002	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエチレン		mg/L	ND	0.028	—	—	—	—	0.04 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素			—	—	15	—	—	—	10 以下
亜硝酸性窒素			—	—	ND	—	—	—	—
pH		—	6.6	6.9	6.1	8.2	7.2	6.3	—
電気伝導度		μS/cm	320	400	270	980	180	120	—
水温		℃	16.5	16	13.5	20	13	15	—

\*1：地点番号 2090050000202 \*2：地点番号 2090050000203

注1) 表中の「ND」は定量下限値未満であること（検出されないこと）、「—」は測定されていないことを示す。

注2) 表中の網掛けは、環境基準を超過している数値を示す。

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧：令和3年8月)より作成

表 3.1-19(2) 地下水質測定結果（継続監視調査 令和元年度）

項目	地区名	単位	長坂*1	長坂*2	長坂*3	長坂*4	田河津*5	田河津*6	環境基準
砒素		mg/L	0.009	0.021	0.016	0.047	0.021	0.013	0.01 以下
pH		—	6.7	6.8	7.0	7.7	7.1	7.3	—
電気伝導度		μS/cm	270	190	100	170	300	360	—
水温		℃	16	15	16	15	19	13	—

\*1：地点番号 2094010001100 \*2：地点番号 2094010001101 \*3：地点番号 2094010001102

\*4：地点番号 2094010001103 \*5：地点番号 2094020000103 \*6：地点番号 2094020000108

注1) 表中の網掛けは、環境基準を超過している数値を示す。

出典等：「令和元年度 公共用水域 地下水質 大気汚染状況 ダイオキシン類測定結果」

(岩手県 HP、閲覧：令和3年8月)より作成

### (3) ダイオキシン類（水質、底質、地下水質）の状況

岩手県では、令和元年度に水質及び底質のダイオキシン類の測定を、河川 32 地点、湖沼 1 地点、海域 3 地点で実施している。また、7 地点で地下水質の測定を実施している。

そのうち、一関市内では、河川 3 地点、地下水 1 地点の計 4 地点で測定を実施しているが、対象事業実施区域及びその周囲には、測定地点はない。

### 3.1.3 土壌及び地盤の状況

#### 1) 土壌の状況

##### (1) 土壌の状況

対象事業実施区域及びその周囲における土壌の状況を図 3.1-15 に示す。

対象事業実施区域は、乾性褐色森林土壌<sup>※1</sup>で占められており、西側の一部はグライ土壌（低湿な沖積地の土壌）<sup>※2</sup>が分布している。

##### (2) 土壌汚染の状況

岩手県では、令和元年度に一般環境 7 地点及び廃棄物焼却施設の周辺 45 地点で土壌中のダイオキシン類を測定している。

そのうち、一関市内では、廃棄物焼却施設の周辺 9 地点で測定が行われているが、対象事業実施区域及びその周囲には、測定地点はない。

#### 2) 地盤の状況

「令和 2 年版 環境報告書」（令和 3 年 1 月、岩手県）によると、岩手県において地盤沈下は発生していない。

---

※1 褐色森林土壌：火山灰の影響の少ない山地・丘陵地に分布する褐色あるいは黄褐色の風化変質層（風化を受けて色が変わったり粘土が多くなったり塊状の構造が出来たりした層）をもつ土壌。乾性褐色森林土壌は、山の尾根の上部に見られ、堅果状（堅くて、中味のつまったかたまり）で粒子が粗いのが特徴。

※2 グライ土壌：平地、凹地などで地下水位が高く季節的変動の少ない所に生成する土壌で、青灰～緑灰色を呈している。

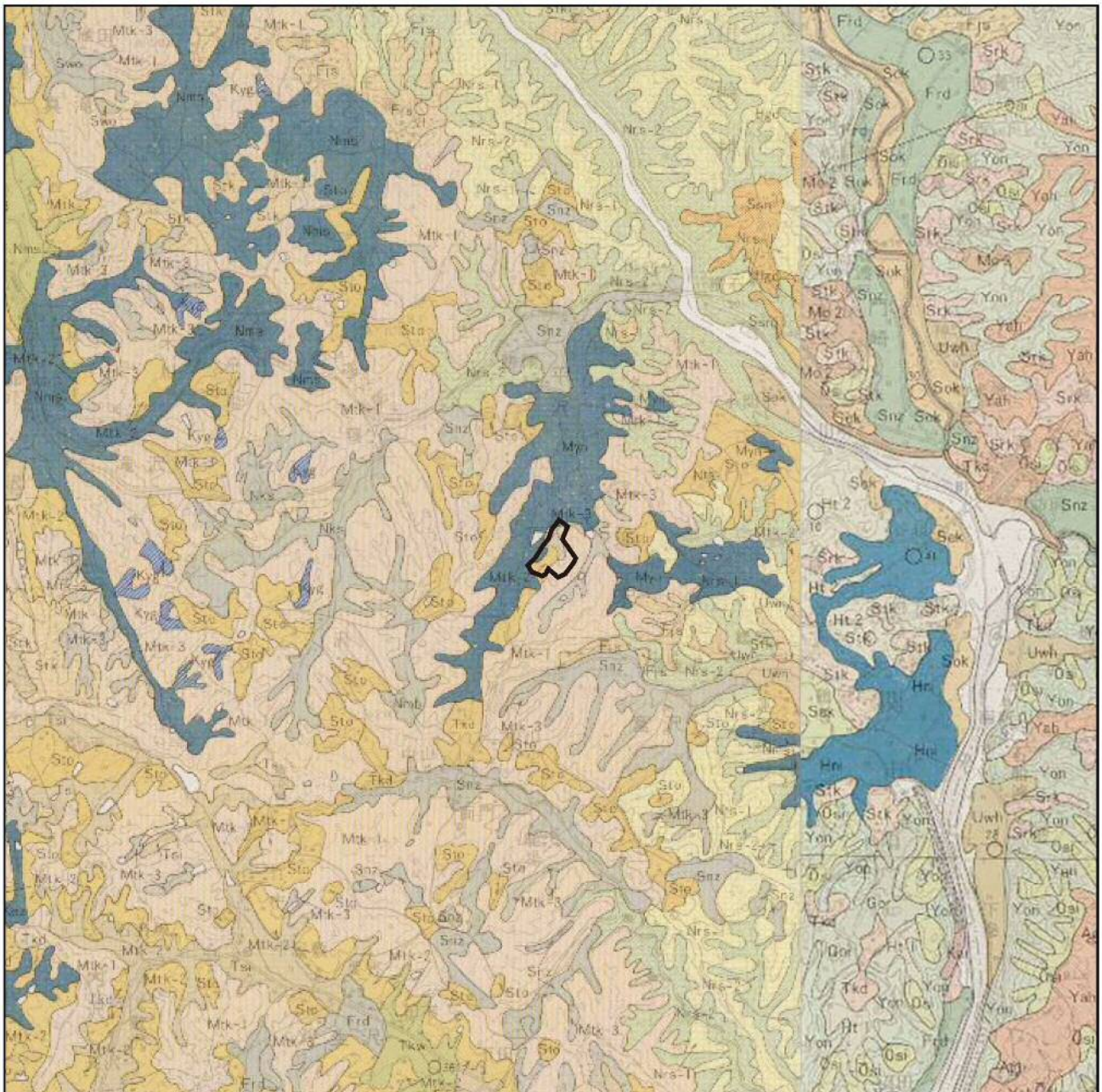
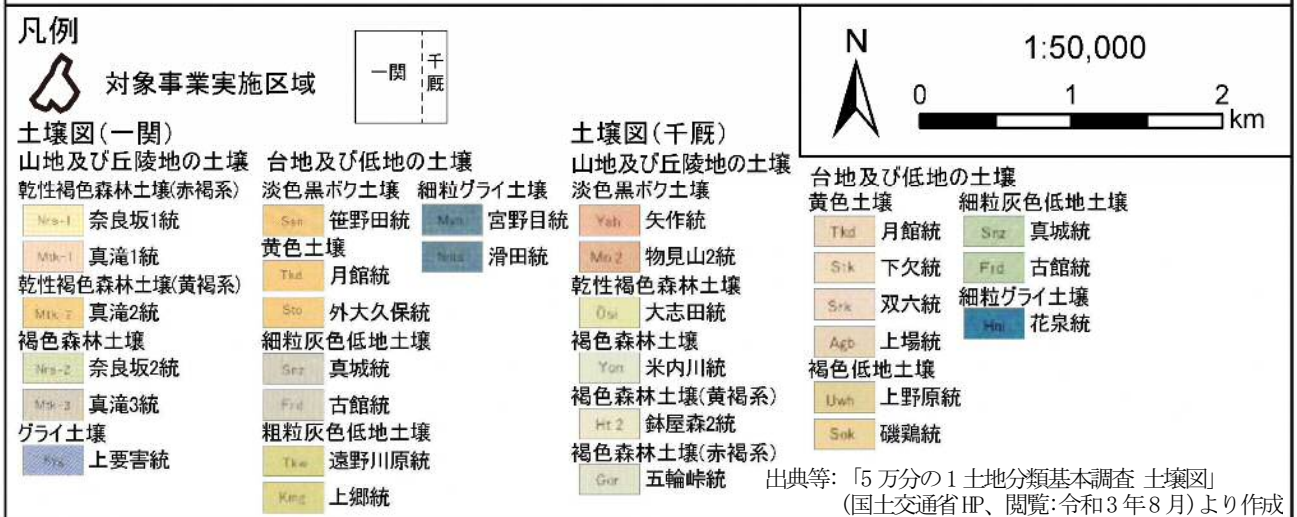


図 3.1-15 土壌の状況



### 3.1.4 地形及び地質の状況

#### 1) 地形の状況

対象事業実施区域及びその周囲の地形の状況を図 3.1-16 に示す。

対象事業実施区域は、丘陵地（丘陵地Ⅱ：起伏量 100 m 未満）となっており、周辺には低地（谷底平野）、丘陵地（丘陵地Ⅰ：起伏量 200～100 m）等が分布している。

#### 2) 地質の状況

対象事業実施区域及びその周囲の地質の状況を図 3.1-17 に示す。

対象事業実施区域は、半固結堆積物の砂岩となっており、その周囲には未固結堆積物の砂礫、固結堆積物の泥岩等が分布している。

#### 3) 重要な地形及び地質

対象事業実施区域及びその周囲では、「日本の典型地形」によって選定された典型地形として、表 3.1-20 及び図 3.1-18 に示す地形が存在する。

なお、「日本の地形レッドデータブック 第1集 ―危機にある地形―」及び「日本の地形レッドデータブック 第2集 ―保存すべき地形―」によって選定された保存すべき地形は存在しない。

表 3.1-20 対象事業実施区域及びその周囲の典型地形の概況

番号	典型地形項目	名称	地形項目	定義	所在地
1	河川的作用による地形	砂鉄川下流	谷底平野	沖積低地の一種で、幅 1～2km 以下の狭長な谷間の低平地を指して用いる。	一関市

出典等：「日本の典型地形ウェブサイト」（国土地理院 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成






図 3.1-16 地形の状況

凡例




 対象事業実施区域

地形分類図




山地

-  小起伏山地(起伏量200m未満)
-  丘陵地 I (起伏量200~100m)
-  丘陵地 II (起伏量100m未満)

台地

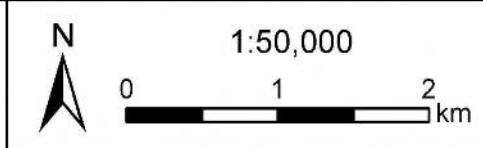
-  砂礫段丘 I
-  砂礫段丘 II
-  砂礫段丘 III

低地

-  谷底平野及び氾濫平野
-  自然堤防
-  河原

その他

-  人工改変地



出典等：「5万分の1土地分類基本調査土地分類基本調査 地形分類図」(国土交通省 HP、閲覧:令和3年8月)より作成

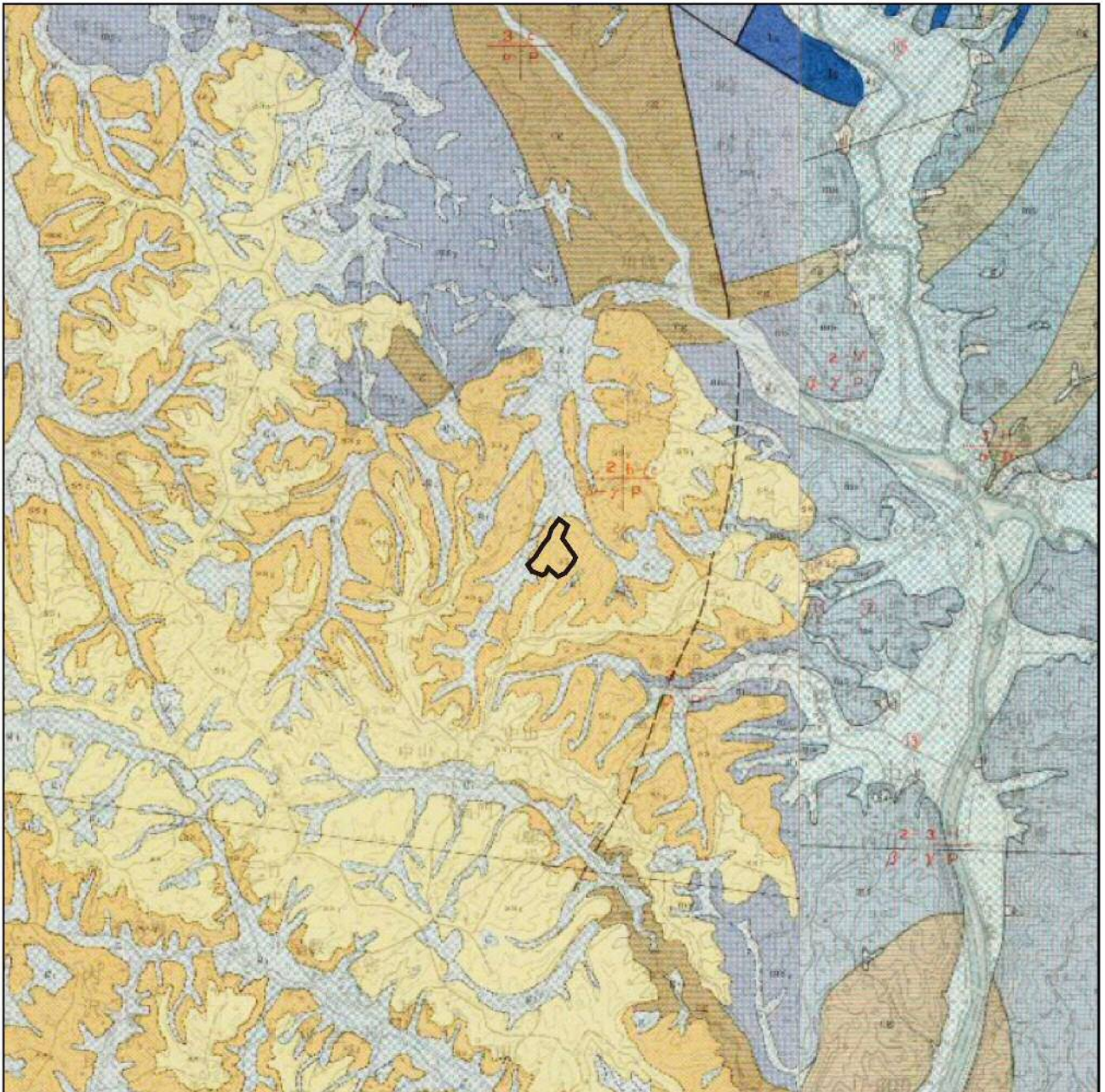


図 3.1-17 地質の状況

凡例



対象事業実施区域

表層地質図

未固結堆積物



砂礫



碎屑物



砂礫

固結堆積物



泥岩



礫岩



石灰岩

半固結堆積物



砂岩



砂岩



1:50,000

0 1 2 km

出典等：「5万分の1土地分類基本調査土地分類基本調査 表層地質図」(国土交通省 HP、閲覧:令和3年8月)より作成



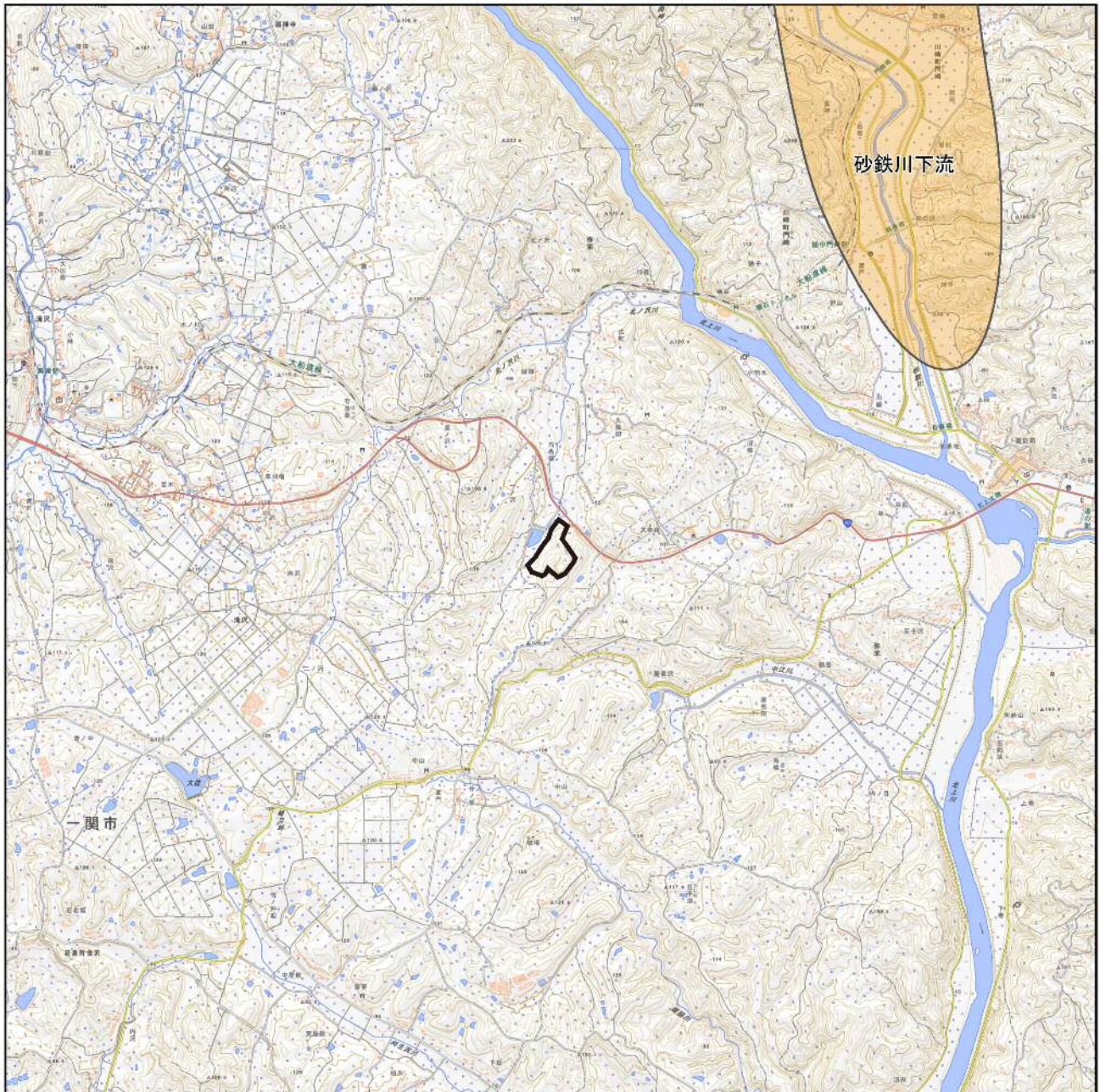


図 3.1-18 重要な地形の状況

凡例



対象事業実施区域



河川的作用による地形



1:50,000



出典等：「日本の典型地形ウェブサイト」（国土地理院HP、閲覧：令和3年8月）より作成

### 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

#### 1) 動物

対象事業実施区域及びその周囲に生息する動物の情報について、表 3.1-21 に示す文献に基づいて整理した。

また、重要種の選定基準及びカテゴリーを、表 3.1-22 に示すとおり設定した。

なお、調査対象範囲は図 3.1-19 に示すとおり対象事業実施区域を含む範囲とした。

表 3.1-21 収集した文献及び選定項目

No.	文献名	対象項目						
		哺乳類	鳥類	爬虫類・ 両生類	昆虫類	魚類	底生 動物	陸産 貝類
1	「第4～6回自然環境保全基礎調査」(環境省自然環境局)	○	○	○	○	○	○	○
2	「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014年版)」(2014年3月、岩手県環境生活部自然保護課)	○	○	○	○	○	○	○
3	「平成30年度(2018年度)中大型哺乳類分布調査 調査報告書 クマ類(ヒグマ・ツキノワグマ)・カモシカ」(平成31年、環境省)	○						
4	「ガンカモ類の生息調査(第37回 2006年1月一斉調査)」(平成17年、環境省)		○					
5	「作山宗樹ほか, 2007, 岩手県内陸部におけるヒナコウモリ <i>Vespertilio superans</i> 出産・哺育コロニーの分布, 東北のコウモリ, 1, 14-19」(平成19年)	○						
6	「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」(国土交通省水情報国土データ管理センター)	○	○	○	○	○	○	

表 3.1-22 重要な種の選定基準及びカテゴリー

分類	No.	重要な種の選定基準	カテゴリー
法規制等	I	『文化財保護法』 (昭和 25 年、法律第 214 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国天:天然記念物</li> <li>・国特:特別天然記念物</li> </ul>
	II	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』 (平成 4 年、法律第 75 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内:国内希少野生動植物</li> <li>・国際:国際希少野生動植物</li> </ul>
	III	『岩手県希少野生動植物の保護に関する条例』(平成 14 年 3 月 29 日、条例第 26 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指:指定希少野生動植物</li> <li>・特:特定希少野生動植物</li> </ul>
レッドデータブック等	IV	『環境省レッドリスト』 (令和 2 年、環境省)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EX:絶滅</li> <li>・EW:野生絶滅</li> <li>・CR+EN:絶滅危惧 I 類</li> <li>・CR:絶滅危惧 I A 類</li> <li>・EN:絶滅危惧 I B 類</li> <li>・VU:絶滅危惧 II 類</li> <li>・NT:準絶滅危惧</li> <li>・DD:情報不足</li> <li>・LP:絶滅のおそれのある地域個体群</li> </ul>
	V	『いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物』 (平成 26 年、岩手県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EX:絶滅</li> <li>・EW:野生絶滅</li> <li>・A:絶滅危惧 I 類</li> <li>・B:絶滅危惧 II 類</li> <li>・C:準絶滅危惧</li> <li>・D:C ランクに準ずる種</li> <li>・DD:情報不足</li> </ul>

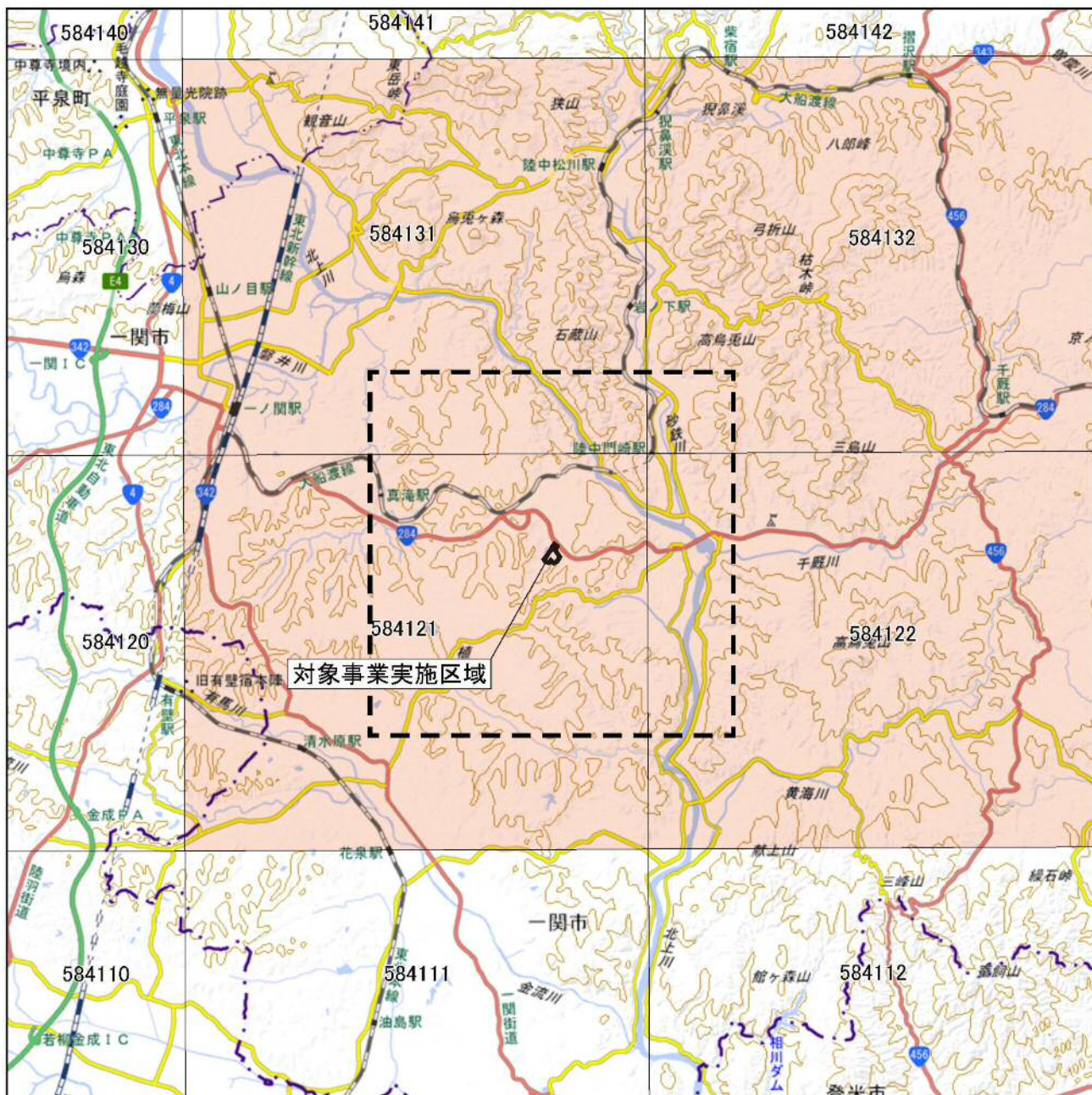





図 3.1-19 調査対象範囲

凡例

 対象事業実施区域

 調査範囲

 全国標準地域メッシュ・2次メッシュ

 該当メッシュ



※2次メッシュとは、日本全国を緯度経度で細かく区分した「標準地域メッシュ」のひとつであり、自然環境保全基礎調査で、動植物分布調査などで用いられている。ここでは上記の「584121」、「584122」、「584131」、「584132」メッシュで確認された種を抽出した。

出典等：「全国標準地域メッシュ・2次メッシュ(約10km四方)」(生物多様性センターHP、閲覧:令和3年8月)より作成

(1) 哺乳類

① 文献調査における哺乳類

対象事業実施区域及びその周囲では、表 3.1-23 に示す 7 目 15 科 36 種の哺乳類が確認されている。

表 3.1-23 文献調査における哺乳類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2							
					1	2	3	4	5	6		
1	モグラ	トガリネズミ	ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>							○	
2			ホンシュウジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi chisai</i>							○	
3			カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephala</i>			○					
4		モグラ	—	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i>							○
5				アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>	○						○
—				モグラ	<i>Mogera sp.</i>							○
—				モグラ科	<i>Talpidae sp.</i>							○
—				モグラ類	<i>Insectivora sp.</i>							○
6	コウモリ	ヒナコウモリ	クロホオヒゲコウモリ	<i>Myotis pruinosus</i>			○					
7			アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>							○	
8			ヤマコウモリ	<i>Nyctalus aviator</i>			○					
9			ヒナコウモリ	<i>Vespertilio sinensis</i>						○		
10			ウサギコウモリ	<i>Plecotus sacrimontis</i>			○					
—			ヒナコウモリ科	<i>Vespertilionidae sp.</i>							○	
—		—	コウモリ目	<i>Chiroptera sp.</i>							○	
11		サル	オナガザル	ホンドザル	<i>Macaca fuscata fuscata</i>		○	○				
12	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>	○						○	
13	ネズミ	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	○						○	
14			ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i>	○							○
15			ヤマネ	ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i>			○				
16			ネズミ	ハタネズミ	<i>Microtus montebelli</i>							
17		アカネズミ		<i>Apodemus speciosus</i>								○
18		ホンドアカネズミ		<i>Apodemus speciosus speciosus</i>								○
19		ヒメネズミ		<i>Apodemus argenteus</i>								○
20		ドブネズミ		<i>Rattus norvegicus</i>								○
—		ネズミ科		<i>Muridae sp.</i>								○
—		—	ネズミ類	<i>Rodentia sp.</i>								○
21	ネコ	クマ	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus japonicus</i>	○	○	○	○				
22			イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>	○	○					○
23		ホンドタヌキ		<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>								○
24		キツネ		<i>Vulpes vulpes</i>	○	○						○
25		ホンドキツネ		<i>Vulpes vulpes japonica</i>								○
26		ノイヌ		<i>Canis familiaris</i>	○							
27		イタチ		テン	<i>Martes melampus</i>	○						
28			ホンドテン	<i>Martes melampus melampus</i>								○
29			イタチ	<i>Mustela itatsi</i>	○							○
30			ホンドイタチ	<i>Mustela itatsi itatsi</i>								○
31			ニホンアナグマ	<i>Meles meles anakuma</i>	○	○						
—		—	イタチ科	<i>Mustelidae sp.</i>								○
32		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>								○
33		ネコ	ノネコ	<i>Felis catus</i>	○							
34	ウシ	シカ	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>	○	○						
35			ホンシュウジカ	<i>Cervus nippon centralis</i>								○
36		ウシ	カモシカ	<i>Capricornis crispus</i>	○	○	○	○				
—		—	ウシ目	<i>Artiodactyla sp.</i>								○
合計	7 目	15 科	36 種		14 種	7 種	8 種	2 種	1 種	23 種		

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(令和2年 国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである。

- 1：「第4回自然環境保全基礎調査」（平成7年、環境庁）
- 2：「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査」（平成16年、環境省）
- 3：「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物（2014年版）」（2014年3月、岩手県環境生活部自然保護課）
- 4：「平成30年度(2018年度)中大型哺乳類分布調査 調査報告書 クマ類(ヒグマ・ツキノワグマ)・カモシカ」（平成31年、環境省）
- 5：作山宗樹ほか，2007，岩手県内陸部におけるヒナコウモリ *Vespertilio superans* 出産・哺育コロニーの分布，東北のコウモリ，1, 14-19
- 6：「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」（国土交通省水情報国土データ管理センター）

注1) 文献資料の○は、同一の分類群に属する種などが確認されていれば、計上しない。

## ② 文献調査における重要な哺乳類

文献調査によって確認された哺乳類のうち重要な種は、表 3.1-24 に示す6目6科9種である。

表 3.1-24 文献調査で確認された重要な哺乳類一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	選定基準 <sup>*2</sup>				
				I	II	III	IV	V
1	モグラ	トガリネズミ	カワネズミ					D
2	コウモリ	ヒナコウモリ	クロホオヒゲコウモリ				VU	A
3			ヤマコウモリ				VU	B
4			ヒナコウモリ					B
5			ウサギコウモリ					B
6	サル	オナガザル	ホンダザル				LP	A
7	ネズミ	ヤマネ	ヤマネ	天				C
8	ネコ	クマ	ツキノワグマ				LP	D
9	ウシ	ウシ	カモシカ	特天				D
合計	6目	6科	9種	2種	0種	0種	4種	9種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」（令和2年、国土交通省水情報国土データ管理センター）に準拠した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-22 に示したとおりである。

## (2) 鳥類

## ① 文献調査における鳥類

対象事業実施区域及びその周囲では、表 3.1-25 に示す 18 目 43 科 129 種の鳥類が確認されている。

表 3.1-25(1) 文献調査における鳥類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2					
					1	2	3	4	5	
1	キジ	キジ	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus thoracicus</i>	○					
2			ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii scintillans</i>	○	○				
3			キジ	<i>Phasianus colchicus robustipes</i>	○	○			○	
4	カモ	カモ	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>			○			
5			マガン	<i>Anser albifrons albifrons</i>			○	○		
6			コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus jankowskyi</i>				○		
7			オオハクチョウ	<i>Cygnus cygnus</i>				○	○	
8			オシドリ	<i>Aix galericulata</i>			○	○		
9			ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>				○		
10			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>					○	
11			マガモ	<i>Anas platyrhynchos platyrhynchos</i>					○	
12			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	○	○			○	
13			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>					○	
14			コガモ	<i>Anas crecca crecca</i>					○	
15			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula clangula</i>					○	
16			カワアイサ	<i>Mergus merganser merganser</i>				○	○	
17			カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis poggei</i>		○		○
18	アカエリカイツブリ	<i>Podiceps grisegena holbollii</i>					○			
19	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus cristatus</i>						○		
20	ハト	ハト	カワラバト (ドバト)	<i>Columba livia</i>				○		
21			キジバト	<i>Streptopelia orientalis orientalis</i>	○	○		○		
22	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>			○			
23	カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo hanedae</i>				○		
24	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis sinensis</i>			○			
25			オオヨシゴイ	<i>Ixobrychus eurhythmus</i>				○		
26			ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax nycticorax</i>			○		○	
27			ササゴイ	<i>Butorides striata amurensis</i>					○	
28			アオサギ	<i>Ardea cinerea jouyi</i>					○	
29			ダイサギ	<i>Ardea alba alba</i>					○	
30			チュウサギ	<i>Egretta intermedia intermedia</i>				○		
31			ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Porzana fusca erythrothorax</i>			○	
32	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	○	○		○		
33			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>		○				
34			カッコウ	<i>Cuculus canorus telephonus</i>	○	○			○	
35	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus jotaka</i>			○			
36	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus kurodae</i>				○		
37	チドリ	チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>		○	○			
38			イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>					○	
39			コチドリ	<i>Charadrius dubius curonicus</i>				○	○	
40			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus stegmanni</i>					○	
41			シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>			○		
42				タンギ	<i>Gallinago gallinago gallinago</i>					○
43				クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>					○
44		キアシシギ		<i>Heteroscelus brevipes</i>					○	
45		イソシギ		<i>Actitis hypoleucos</i>					○	
46		ハマシギ		<i>Calidris alpina sakhalina</i>					○	
47		カモメ		ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>				○	
48			アジサシ	<i>Sterna hirundo longipennis</i>			○			
49		タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus haliaetus</i>			○		
50			タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus orientalis</i>			○		

表 3.1-25(2) 文献調査における鳥類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3	4	5
51	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans lineatus</i>	○	○			○
52			オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla albicilla</i>			○		
53			チュウヒ	<i>Circus spilonotus spilonotus</i>			○		
54			ツミ	<i>Accipiter gularis gularis</i>			○		
55			ハイタカ	<i>Accipiter nisus nisosimilis</i>			○		
56			オオタカ	<i>Accipiter gentilis fujiyamae</i>			○		
57			サシバ	<i>Butastur indicus</i>			○	○	
58			ノスリ	<i>Buteo buteo japonicus</i>			○		○
59			イヌワシ	<i>Aquila chrysaetos japonica</i>			○		
60			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis orientalis</i>			○		
61	フクロウ	フクロウ	コノハズク	<i>Otus sunia japonicus</i>			○		
62			フクロウ	<i>Strix uralensis hondoensis</i>			○		
63			アオバズク	<i>Ninox scutulata japonica</i>			○		
64	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda major</i>			○		
65			カワセミ	<i>Alcedo atthis bengalensis</i>	○	○	○		
66			ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris lugubris</i>			○		
67	ブッポウソウ	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis calonyx</i>			○			
68	キツツキ	キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla japonica</i>			○		
69			コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki nippon</i>		○		○	
70			オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos stejnegeri</i>		○			
71			アカゲラ	<i>Dendrocopos major hondoensis</i>	○	○		○	
72			アオゲラ	<i>Picus awokera awokera</i>	○	○		○	
73	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus interstinctus</i>		○	○		
74			チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo subbuteo</i>			○		
75			ハヤブサ	<i>Falco peregrinus japonensis</i>			○		
76	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus divaricatus</i>	○		○		
77		カササギヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata atrocaudata</i>	○		○	○	
78		モズ	チゴモズ	<i>Lanius tigrinus</i>		○			
79			モズ	<i>Lanius bucephalus bucephalus</i>	○	○		○	
80		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius japonicus</i>	○	○		○	
81			オナガ	<i>Cyanopica cyanus japonica</i>		○		○	
82			ハシボソガラス	<i>Corvus corone orientalis</i>	○	○		○	
83			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos japonensis</i>	○	○		○	
84		シジュウカラ	コガラ	<i>Poecile montanus restrictus</i>		○		○	
85			ヤマガラ	<i>Poecile varius varius</i>	○	○		○	
86			ヒガラ	<i>Periparus ater insularis</i>		○			
87			シジュウカラ	<i>Parus minor minor</i>	○	○		○	
88		ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis japonica</i>		○		○	
89		ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica gutturalis</i>	○	○		○	
90			イワツバメ	<i>Delichon dasypus dasypus</i>		○		○	
91		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis amaurotis</i>	○	○		○	
92		ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone cantans</i>	○	○		○	
93			ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	○	○		○	
94		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus trivirgatus</i>	○	○		○	
95		ムシクイ	メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>				○	
96			センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	○	○			
97		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus japonicus</i>	○	○		○	
98		ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>				○	
99			コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps bistrigiceps</i>			○		
100		キバシリ	キバシリ	<i>Certhia familiaris japonica</i>			○		
101		ミソサザイ	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes fumigatus</i>		○			
102		ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	○	○		○	
103	コムクドリ		<i>Agropsar philippensis</i>		○		○		
104	カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii pallasii</i>		○				



表 3.1-25(3) 文献調査における鳥類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2					
					1	2	3	4	5	
105	スズメ	ヒタキ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>		○			○	
106			ツグミ	<i>Turdus naumanni eunomus</i>					○	
107			コルリ	<i>Luscinia cyane bochaiensis</i>		○				
108			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus cyanurus</i>					○	
109			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus aureus</i>					○	
110			ノビタキ	<i>Saxicola torquatus stejnegeri</i>			○			
111			コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica dauurica</i>			○			
112			キビタキ	<i>Ficedula narcissina narcissina</i>	○	○			○	
113			オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana cyanomelana</i>	○	○				
114			スズメ	スズメ	<i>Passer montanus saturatus</i>	○	○			○
115			セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea cinerea</i>	○	○			○
116				ハクセキレイ	<i>Motacilla alba lugens</i>		○			○
117	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>		○	○			○		
118	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>					○		
119		カワラヒワ	<i>Chloris sinica minor</i>	○	○			○		
120		マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	○						
121		ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus sanguinolentus</i>					○		
122		イスカ	<i>Loxia curvirostra japonica</i>			○				
123		ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula griseiventris</i>		○					
124		シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes japonicus</i>					○		
125		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides ciopsis</i>	○	○			○	
126	ホオアカ		<i>Emberiza fucata fucata</i>			○		○		
127	カシラダカ		<i>Emberiza rustica latifascia</i>					○		
128	ノジコ		<i>Emberiza sulphurata</i>		○	○		○		
129	アオジ		<i>Emberiza spodocephala personata</i>		○			○		
合計	18 目	43 科	129 種		35 種	55 種	48 種	3 種	73 種	

\*1. 種名等は「日本鳥類目録改訂第7版」(2014年、日本鳥学会)に準拠した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである

- 1: 「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査(1974-1978)」(平成16年、環境省)
- 2: 「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査(1997-2002)」(平成16年、環境省)
- 3: 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014年版)」(2014年3月、岩手県環境生活部自然保護課)
- 4: 「ガンカモ類の生息調査(第37回 2006年1月一斉調査)」(平成17年、環境省)
- 5: 「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」(国土交通省水情報国土データ管理センター)

## ② 文献調査における重要な鳥類

文献調査によって確認された鳥類のうち重要な種は、表 3.1-26 に示す 14 目 25 科 53 種である。

表 3.1-26(1) 文献調査で確認された重要な鳥類一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2				
				I	II	III	IV	V
1	キジ	キジ	ヤマドリ					D
2	カモ	カモ	ヒシクイ	天			VU	B
3			マガン	天			NT	C
4			オシドリ				DD	D
5			ヨシガモ					D
6			カワアイサ					D
7			カイツブリ	カイツブリ	アカエリカイツブリ			
8	カンムリカイツブリ						D	
9	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	特天	国内		CR	A
10	ペリカン	サギ	ヨシゴイ				NT	C
11			オオヨシゴイ		国内		CR	A

表 3.1-26(2) 文献調査で確認された重要な鳥類一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2					
				I	II	III	IV	V	
12	ペリカン	サギ	チュウサギ				NT	C	
13	ツル	クイナ	ヒクイナ				NT	B	
14	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ				NT	C	
15	チドリ	チドリ	ケリ				DD	C	
16			コチドリ						C
17			メダイチドリ		国際				
18		シギ	ヤマシギ					C	
19			ハマシギ				NT		
20		カモメ	アジサシ					C	
21		タカ	ミサゴ	ミサゴ				NT	B
22			タカ	ハチクマ				NT	C
23				オジロワシ	天	国内		VU	A
24				チュウヒ		国内		EN	B
25	ツミ							C	
26	ハイタカ						NT	C	
27	オオタカ						NT	B	
28	サシバ						VU	B	
29	ノスリ							D	
30	イヌワシ			天	国内		EN	A	
31	クマタカ				国内		EN	A	
32	フクロウ	フクロウ	コノハズク					C	
33			フクロウ					D	
34			アオバズク					B	
35	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン					C	
36			カワセミ					D	
37			ヤマセミ					D	
38		ブッポウソウ	ブッポウソウ				EN	B	
39	キツツキ	キツツキ	アリスイ					B	
40			オオアカゲラ					D	
41	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ					D	
42			チゴハヤブサ					D	
43			ハヤブサ		国内		VU	A	
44	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ				VU	C	
45		カササギヒタキ	サンコウチョウ					D	
46		モズ	チゴモズ				CR	A	
47		ヨシキリ	コヨシキリ					D	
48		キバシリ	キバシリ					D	
49		ヒタキ	ノビタキ					C	
50			コサメビタキ					D	
51		アトリ	イスカ					D	
52		ホオジロ	ホオアカ					D	
53			ノジコ				NT	D	
合計	14 目	25 科	53 種	5 種	8 種	0 種	25 種	51 種	

\*1. 種名等は「日本鳥類目録改訂第7版」（2014年、日本鳥学会）に準拠した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-22 に示したとおりである。

(3) 爬虫類・両生類

① 文献調査における爬虫類・両生類

対象事業実施区域及びその周囲では、表 3.1-27 に示す 1 目 3 科 7 種の爬虫類、2 目 6 科 14 種の両生類が確認されている。

表 3.1-27(1) 文献調査における爬虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1	有鱗	トカゲ	ニホントカゲ	<i>Plestiodon japonicus</i>		○	
2		カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	○		○
3		ナミヘビ	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	○		○
4			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>			○
5			ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	○		○
6			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari vibakari</i>		○	
7			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	○		○
-			ナミヘビ科	<i>Colubridae sp.</i>			○
合計	1 目	3 科	7 種		4 種	2 種	5 種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 2 年度生物リスト」(令和 2 年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである

- 1: 「第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成 13 年、環境省)
- 2: 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014 年版)」(2014 年 3 月、岩手県環境生活部自然保護課)
- 3: 「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」(国土交通省水情報国土データ管理センター)

注 1) 文献資料の○は、同一の分類群に属する種などが確認されていれば、計上しない。

表 3.1-27(2) 文献調査における両生類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ	<i>Hynobius lichenatus</i>	○	○	
2			クロサンショウウオ	<i>Hynobius nigrescens</i>	○	○	
3			ハコネサンショウウオ	<i>Onychodactylus japonicus</i>		○	
4		イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	○		
5	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i>	○		○
6		アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>	○		○
7		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	○	○	○
8			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>	○		
9			トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	○	○	○
10			ウンガエル	<i>Lithobates catesbeianus</i>	○		○
11			ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>			○
12			アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	○	
13		モリアオガエル		<i>Zhangixalus arboreus</i>		○	
14		カジカガエル		<i>Buergeria buergeri</i>		○	
合計	2 目	6 科	14 種		10 種	7 種	7 種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 2 年度生物リスト」(令和 2 年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである。

- 1: 「第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成 13 年、環境省)
- 2: 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014 年版)」(2014 年 3 月、岩手県環境生活部自然保護課)
- 3: 「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」(国土交通省水情報国土データ管理センター)

## ② 文献調査における重要な爬虫類・両生類

文献調査によって確認された爬虫類・両生類のうち重要な種は、表 3.1-28 に示すとおり、爬虫類は1目2科2種、両生類は2目3科7種である。

表 3.1-28(1) 文献調査で確認された重要な爬虫類一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	選定基準 <sup>*2</sup>				
				I	II	III	IV	V
1	有鱗	トカゲ	ニホントカゲ					D
2		ナミヘビ	ヒバカリ					C
合計	1目	2科	2種	0種	0種	0種	0種	2種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(令和2年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-22 に示したとおりである。

表 3.1-28(2) 文献調査で確認された重要な両生類一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	選定基準 <sup>*2</sup>				
				I	II	III	IV	V
1	有尾	サンショウウオ	トウホクサンショウウオ				NT	C
2			クロサンショウウオ				NT	C
3			ハコネサンショウウオ					D
4	無尾	アカガエル	ニホンアカガエル					C
5			トウキョウダルマガエル				NT	D
6		アオガエル	モリアオガエル					D
7			カジカガエル					D
合計	2目	3科	7種	0種	0種	0種	3種	7種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(令和2年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-22 に示したとおりである。

(4) 魚類

① 文献調査における魚類

対象事業実施区域及びその周囲では、表 3.1-29 に示す 6 目 10 科 33 種の魚類が確認されている。

表 3.1-29 文献調査における魚類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ南方種	<i>Lethenteron</i> sp.S.		○	
2	コイ	コイ	コイ (型不明)	<i>Cyprinus carpio</i>	○		
3			ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	○		
4			キンブナ	<i>Carassius buergeri</i> subsp.2	○	○	
5			ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>		○	
6			カネヒラ	<i>Acheilognathus rhombeus</i>	○		
7			タナゴ	<i>Acheilognathus melanogaster</i>		○	
8			タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	○		○
9			オイカラ	<i>Opsariichthys platypus</i>	○		○
10			アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii steindachneri</i>	○		○
-			アブラハヤ類	<i>Rhynchocypris</i> sp.	○		
11			ウグイ	<i>Pseudaspius hakonensis</i>	○		○
12			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	○		○
13			シナイモツゴ	<i>Pseudorasbora pumila</i>		○	
14			ヒガイ類	<i>Sarcocheilichthys variegatus</i>	○		
15			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>			○
-			タモロコ類	<i>Gnathopogon</i> sp.	○		
16			カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus</i>	○	○	
17			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	○		○
18	ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	○			
19		カラドジョウ	<i>Misgurnus dabryanus</i>			○	
20	ナマズ	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>			○
21	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	○		○
22		サケ	サケ	<i>Oncorhynchus keta</i>			○
23		サクラマス(ヤマメ)	サクラマス	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	○		
24	ダツ	メダカ	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	○	○	
25	スズキ	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>		○	
26			ハナカジカ	<i>Cottus nozawae</i>	○	○	
27		ハゼ	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>			○
28			チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>	○		
29			シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>			○
30			オオヨシノボリ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>			○
31			トウヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp.OR unidentified			○
-			ヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp.	○		
32		ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>			○	
33		タイワンドジョウ	カムルチー	<i>Channa argus</i>			○
合計	6 目	10 科	33 種		20 種	9 種	17 種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 2 年度生物リスト」(令和 2 年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである。

- 1: 「第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成 14 年、環境省)
- 2: 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014 年版)」(2014 年 3 月、岩手県環境生活部自然保護課)
- 3: 「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」(国土交通省水情報国土データ管理センター)

注 1) 文献資料の○は、同一の分類群に属する種などが確認されていれば、計上しない。

## ② 文献調査における重要な魚類

文献調査によって確認された魚類のうち重要な種は、表 3.1-30 に示す 5 目 7 科 13 種である。

表 3.1-30 文献調査で確認された重要な魚類一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2				
				I	II	III	IV	V
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ南方種				VU	C
2	コイ	コイ	ゲンゴロウブナ				EN	
3			キンブナ				VU	C
4			ヤリタナゴ				NT	DD
5			タナゴ				EN	D
6			シナイモツゴ				CR	A
7			カマツカ					DD
8			ドジョウ	ドジョウ				NT
9	サケ	サケ	サクラマス (ヤマメ)				NT	
10	ダツ	メダカ	ミナミメダカ				VU	B
11	スズキ	カジカ	カジカ				NT	C
12			ハナカジカ				LP	B
13		ハゼ	チチブ					D
合計	5 目	7 科	13 種	0 種	0 種	0 種	11 種	10 種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(令和2年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-22 に示したとおりである。

## (5) 昆虫類

## ① 文献調査における昆虫類

対象事業実施区域及びその周囲では、表 3.1-31 に示す 15 目 237 科 1,704 種の昆虫類が確認されている。

表 3.1-31(1) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1	カゲロウ	トビイロカゲロウ	ヒメトビイロカゲロウ	<i>Choroterpes altiocus</i>			○
2		カワカゲロウ	キイロカワカゲロウ	<i>Potamanthus formosus</i>			○
3		モンカゲロウ	トウヨウモンカゲロウ	<i>Ephemera orientalis</i>			○
4			モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>			○
5		シロイロカゲロウ	オオシロカゲロウ	<i>Ephoron shigae</i>			○
6		マダラカゲロウ	Drunella 属の一種	<i>Drunella</i> sp.			○
7		コカゲロウ	Baetis 属の数種	<i>Baetis</i> spp.			○
8			フタバカゲロウ	<i>Cloeon dipterum</i>			○
9		チラカゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>			○
10		ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ	<i>Eccyonurus yoshidae</i>			○
11			エルモンヒラタカゲロウ	<i>Epeorus latifolium</i>			○
-	-	-	カゲロウ目(蜉蝣目)の数種	<i>Ephemeroptera</i> spp.			○
12	トンボ	アオイトトンボ	ホソミオツネトンボ	<i>Indolestes peregrinus</i>			○
13			アオイトトンボ	<i>Lestes sponsa</i>	○		
14			オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>	○		
15			オツネトンボ	<i>Sympecma paedisca</i>	○		○
16		イトトンボ	キイトトンボ	<i>Ceragrion melanurum</i>	○		○
17			エゾイトトンボ	<i>Coenagrion lanceolatum</i>	○		
18			アジアイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>			○
19			ヒヌマイトトンボ	<i>Mortonagrion hirosei</i>			○
20			モートンイトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i>	○	○	
21			クロイトトンボ	<i>Paracercion calamarum calamarum</i>	○		
22			セスジイトトンボ	<i>Paracercion hieroglyphicum</i>	○		
23			オオイトトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i>	○		
24			モノサシトンボ	モノサシトンボ	<i>Copera annulata</i>	○	
25		カワトンボ	ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>	○		○
26			アオハダトンボ	<i>Calopteryx japonica</i>	○		
27			アサヒナカワトンボ	<i>Mnais pruinosa</i>			○
28		ヤンマ	ルリボシヤンマ	<i>Aeshna juncea</i>	○		
29			マルタンヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i>	○	○	
30			クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>	○		
31			ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>	○		○
32			コシボソヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	○		
33			カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	○		
34			ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei milnei</i>	○		
35			サラサヤンマ	<i>Sarasaeschna pryeri</i>	○	○	
36		サナエトンボ	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>		○	
37			オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	○		
38			アオサナエ	<i>Nihogomphus viridis</i>	○	○	
39			ホンサナエ	<i>Shaogomphus postocularis</i>	○	○	
40			コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	○		
41			ウチワヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>	○		
42			オジロサナエ	<i>Sylogomphus suzukii</i>	○	○	
43			コサナエ	<i>Trigomphus melampus</i>	○		
44		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ	<i>Tanypteryx pryeri</i>	○	○	

表 3. 1-31 (2) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
45	トンボ	オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	○		○
46		エゾトンボ	トラフトンボ	<i>Epiheca marginata</i>	○	○	
47			オオヤマトンボ	<i>Epophthalmia elegans</i>	○		○
48			コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	○		○
49			タカネトンボ	<i>Somatochlora uchidai</i>	○		○
50			トンボ	ショウジョウトンボ	<i>Crocthemis servilia mariannae</i>	○	
51		コフキトンボ		<i>Deiella phaon</i>	○		
52		ヨツボシトンボ		<i>Libellula quadrimaculata asahinai</i>	○		
53		ハラビロトンボ		<i>Lyriothemis pachygastra</i>	○		○
54		ハッチョウトンボ		<i>Nannophya pygmaea</i>	○	○	
55		シオカラトンボ		<i>Orthemis albistylum speciosum</i>	○		○
56		シオヤトンボ		<i>Orthemis japonicum</i>	○		
57		オオシオカラトンボ		<i>Orthemis melania</i>	○		○
58		ウスバキトンボ		<i>Pantala flavescens</i>	○		○
59		コシアキトンボ		<i>Pseudothemis zonata</i>	○		○
60		チョウトンボ		<i>Rhyothemis fuliginosa</i>	○		
61		コノシメトンボ		<i>Sympetrum baccha matutinum</i>	○		
62		キトンボ		<i>Sympetrum croceolum</i>	○	○	
63		ナツアカネ		<i>Sympetrum darwinianum</i>	○		○
64		マユタテアカネ		<i>Sympetrum eroticum eroticum</i>	○		○
65		アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>	○		○	
66	ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>	○		○		
67	マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkeli</i>	○		○		
68	ヒメアカネ	<i>Sympetrum parvulum</i>			○		
69	ミヤマアカネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>	○				
70	リスアカネ	<i>Sympetrum risi risi</i>	○		○		
71	オオキトンボ	<i>Sympetrum uniforme</i>	○	○			
72	カマキリ	カマキリ	ウスバカマキリ	<i>Mantis religiosa sinica</i>			○
73			コカマキリ	<i>Stalilia maculata</i>			○
74			チョウセンカマキリ	<i>Tenodera angustipennis</i>			○
75	チャタテムシ	ケブカチャタテ	Kolbea 属の一種	<i>Kolbea sp.</i>			○
76	ハサミムシ	マルムネハサミムシ	ヒゲジロハサミムシ	<i>Anisolabella marginalis</i>			○
77			ハマベハサミムシ	<i>Anisolabis maritima</i>			○
78		クロハサミムシ	ミジンハサミムシ	<i>Labia minor</i>			○
79		クギヌキハサミムシ	クギヌキハサミムシ	<i>Forficula scudderii</i>			○
-			クギヌキハサミムシ科の数種	<i>Forficulidae spp.</i>			○
80		オオハサミムシ	オオハサミムシ	<i>Labidura riparia</i>			○
-		-	ハサミムシ目(革翅目)の数種	<i>Dermaptera spp.</i>			○
81	カワゲラ	オナシカワゲラ	<i>Amphinemura dichotoma</i>	<i>Amphinemura dichotoma</i>			○
82		カワゲラ	フタツメカワゲラ	<i>Neoperla geniculata</i>			○
83		アミメカワゲラ	Isoperla 属の数種	<i>Isoperla spp.</i>			○
84	バッタ	コロギス	ハネナシコロギス	<i>Nippancistroger testaceus</i>			○
85		カマドウマ	カマドウマ	<i>Atachycines apicalis apicalis</i>			○
86			マダラカマドウマ	<i>Diastrammena japonica</i>			○
87		ツユムシ	セスジツユムシ	<i>Ducetia japonica</i>			○
88			エゾツユムシ	<i>Kuwayamaea sapporensis</i>			○
89			ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>			○
90		キリギリス	ウスイロササキリ	<i>Conocephalus chinensis</i>			○
91			ホシササキリ	<i>Conocephalus maculatus</i>			○
92			ヒメギス	<i>Eobiana engelhardti subtropica</i>			○
93			ヒメクササキリ	<i>Ruspolia dubia</i>			○
94	クササキリ		<i>Ruspolia lineosa</i>			○	
-	-	キリギリス科の数種	<i>Tettigoniidae gen.spp.</i>			○	



表 3.1-31(3) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
95	バッタ	ケラ	ケラ	<i>Gryllotalpa orientalis</i>			○	
96		マツムシ	スズムシ	<i>Meloidomorpha japonica</i>		○		
97			カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>			○	
98		コオロギ	タンボオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus aomoriensis</i>			○	
99			モリオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus sylvestris</i>			○	
100			タンボコオロギ	<i>Modicogryllus siamensis</i>			○	
101			エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>			○	
102			ツヅレサセコオロギ	<i>Velarifictorus micado</i>			○	
-			コオロギ科の数種	<i>Gryllidae</i> spp.			○	
103			ヒバリモドキ	マダラスズ	<i>Dianemobius nigrofasciatus</i>			○
104				ヤマトヒバリ	<i>Homoeoxipha obliterated</i>			○
105		シバズ		<i>Polionemobius mikado</i>			○	
106		ヒメスズ		<i>Pteronemobius nigrescens</i>			○	
107		ヤチスズ		<i>Pteronemobius ohmachi</i>			○	
108		エゾスズ		<i>Pteronemobius yezoensis</i>			○	
109		バッタ		ショウリョウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>			○
110			マダラバッタ	<i>Aiolopus thalassinus tamulus</i>			○	
111			ヒジグロヒナバッタ	<i>Chorthippus fumatus</i>			○	
112			ヤマトマダラバッタ	<i>Epacromius japonicus</i>			○	
113			カワラバッタ	<i>Eusphingonotus japonicus</i>		○		
114			クルマバッタ	<i>Gastrimargus marmoratus</i>			○	
115			ヒナバッタ	<i>Glyptothrus maritimus maritimus</i>			○	
116			トノサマバッタ	<i>Locusta migratoria</i>			○	
117			イナゴモドキ	<i>Mecostethus parapleurus</i>			○	
118			クルマバッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>			○	
119	イボバッタ		<i>Trilophidia japonica</i>		○			
120	イナゴ		ハネナガフキバッタ	<i>Ognevia longipennis</i>			○	
121			コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>			○	
122			ミカドフキバッタ	<i>Parapodisma mikado</i>			○	
123			ヤマトフキバッタ	<i>Parapodisma setouchiensis</i>			○	
124			オンブバッタ	オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>			○
125	ヒシバッタ		ハネナガヒシバッタ	<i>Euparattix insularis</i>			○	
126			コバネヒシバッタ	<i>Formosatettix larvatus</i>			○	
127			ハラヒシバッタ	<i>Tetrix japonica</i>			○	
-			Tetrix 属の一種	<i>Tetrix</i> sp.			○	
-		ヒシバッタ科	<i>Tetrigidae</i> sp.			○		
128	ノミバッタ	ノミバッタ	<i>Xya japonica</i>			○		
-	-	バッタ目(直翅目)の数種	<i>Orthoptera</i> spp.			○		
129	カメムシ	コガシラウンカ	ウスグロコガシラウンカ	<i>Akotropis fumata</i>			○	
130		ヒシウンカ	ヤナギカワウンカ	<i>Andes marmoratus</i>			○	
131			ヒシウンカ	<i>Pentastiridius apicalis</i>			○	
132		ウンカ	タケウンカ	<i>Epeurysa nawaii</i>			○	
133			クロスジオウンカ	<i>Euides basilinea</i>			○	
134			タテゴトウンカ	<i>Falcoetya lyraeformis</i>			○	
135			ナガラガウンカ	<i>Garaga nagaragawana</i>			○	
-			Garaga 属の一種	<i>Garaga</i> sp.			○	
136			ヒメトビウンカ	<i>Laodelphax stratellus</i>			○	
137			トビイロウンカ	<i>Nilaparvata lugens</i>			○	
138			セジロウンカ	<i>Sogatella furcifera</i>			○	
139			ハリマナガウンカ	<i>Stenocranus harimensis</i>			○	
140			エゾナガウンカ	<i>Stenocranus matsumurai</i>			○	
141			タマガワナガウンカ	<i>Stenocranus tamagawanus</i>			○	
142			セスジウンカ	<i>Terthron albivittatum</i>			○	

表 3.1-31(4) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
143	カメムシ	ウンカ	コブウンカ	<i>Tropidocephala brunneipennis</i>			○	
144		ハネナガウンカ	アカハネナガウンカ	<i>Diostrombus politus</i>			○	
145		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>			○	
146		セミ	アブラゼミ		<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>	○		○
147			ミンミンゼミ		<i>Hyalessa maculaticollis</i>			○
148			チッチゼミ		<i>Kosemia radiator</i>	○		
149			ツクツクボウシ		<i>Meimuna opalifera</i>			○
150			ニイニイゼミ		<i>Platypleura kaempferi</i>			○
151			ヒグラシ		<i>Tanna japonensis</i>			○
152			ハルゼミ		<i>Terpnosia vacua</i>		○	
153			ツノゼミ	トビイロツノゼミ		<i>Machaerotypus sibiricus</i>		
154		モジツノゼミ			<i>Tsunozemia paradoxa</i>			○
155	アワフキムシ	クロスジホソアワフキ		<i>Aphilaemus nigripectus</i>			○	
156		マツアワフキ		<i>Aphrophora flavipes</i>			○	
157		シロオビアワフキ		<i>Aphrophora intermedia</i>			○	
158		イシダアワフキ		<i>Aphrophora ishidae</i>			○	
159		モンキアワフキ		<i>Aphrophora major</i>			○	
160		ハマベアワフキ		<i>Aphrophora maritima</i>			○	
161		コガタアワフキ		<i>Aphrophora obtusa</i>			○	
162		マエキアワフキ		<i>Aphrophora pectoralis</i>			○	
163		ヒメモンキアワフキ		<i>Aphrophora rugosa</i>			○	
164		ホシアワフキ		<i>Aphrophora stictica</i>			○	
165		マルアワフキ		<i>Lepyronia coleoprata</i>			○	
166		オカダアワフキ		<i>Lepyronia okadae</i>			○	
167		Peuceptyelus 属の一種		<i>Peuceptyelus</i> sp.			○	
168		ホソアワフキ		<i>Philaenus spumarius</i>			○	
169		クロアワフキ		<i>Sinophora submacula</i>			○	
170		コガシラアワフキムシ	コガシラアワフキ		<i>Eoscarta assimilis</i>			○
171		トゲアワフキムシ	ムネアカアワフキ		<i>Hindoloides bipunctata</i>			○
172		ヨコバイ	シロズヒメヨコバイ		<i>Aguriahana triangularis</i>			○
173			トバヨコバイ		<i>Alobaldia tobae</i>			○
174	フタテンヒメヨコバイ			<i>Arboridia apicalis</i>			○	
175	クサビヨコバイ			<i>Athysanopsis salicis</i>			○	
176	フトヨコバイ			<i>Athysanus</i> sp.			○	
177	ミドリカスリヨコバイ			<i>Balclutha incisa</i>			○	
178	カスリヨコバイ			<i>Balclutha punctata</i>			○	
179	アカカスリヨコバイ			<i>Balclutha rubrinervis</i>			○	
180	タケナガヨコバイ			<i>Bambusana bambusae</i>			○	
181	ホシアオズキンヨコバイ			<i>Batracomorphus stigmaticus</i>			○	
182	ツマグロオオヨコバイ			<i>Bothrogonia ferruginea</i>			○	
183	オオヨコバイ			<i>Cicadella viridis</i>			○	
184	ベニヒメヨコバイ			<i>Dayus takagii</i>			○	
185	オオオナガトガリヨコバイ			<i>Doratulina grandis</i>			○	
186	オナガトガリヨコバイ			<i>Doratulina producta</i>			○	
187	ウスブチミヤクヨコバイ			<i>Drabescus pallidus</i>			○	
188	Edwardsiana 属の数種			<i>Edwardsiana</i> spp.			○	
189	ヒロヒメヨコバイ			<i>Empoa punicea</i>			○	
190	シロヒメヨコバイ			<i>Eurhadina betularia</i>			○	
191	フタスジトガリヨコバイ			<i>Futasujinus candidus</i>			○	
192	サジヨコバイ			<i>Hecalus prasinus</i>			○	
193	マエジロオオヨコバイ			<i>Kolla atramentaria</i>			○	
194	ミドリヒロヨコバイ			<i>Laburus similis</i>			○	
195	ミミズク			<i>Ledra auditura</i>			○	

表 3.1-31(5) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
196	カメムシ	ヨコバイ	イチモンジヨコバイ	<i>Limotettix intricans</i>			○	
197			ムツテンウスバヨコバイ	<i>Macrosteles nabiae</i>			○	
198			ヨツテンウスバヨコバイ	<i>Macrosteles quadrimaculatus</i>			○	
199			イネマダラヨコバイ	<i>Maiestas oryzae</i>			○	
200			コチャイロヨコバイ	<i>Matsumurella kogotensis</i>			○	
201			チャイロヨコバイ	<i>Matsumurella praesul</i>			○	
202			オオイナズマヨコバイ	<i>Metalimnus steini</i>			○	
203			ムナグロズキンヨコバイ	<i>Metidiocerus rutilans</i>			○	
204			ツマグロヨコバイ	<i>Nephotettix cincticeps</i>			○	
205			オヌキヨコバイ	<i>Onukia onukii</i>			○	
206			リンゴマダラヨコバイ	<i>Orius ishidae</i>			○	
207			クワキヨコバイ	<i>Pagaronia guttigera</i>			○	
208			ホシサジヨコバイ	<i>Parabolopona guttata</i>			○	
209			アカシヒメヨコバイ	<i>Paracyba akashiensis</i>			○	
210			タマガワワシヨコバイ	<i>Paralimnus tamagawanus</i>			○	
211			シロミヤクイチモンジヨコバイ	<i>Paramesodes albinervosus</i>			○	
212			ヒトツメヨコバイ	<i>Phlogotettix cyclops</i>			○	
213			ズキンヨコバイ	<i>Podulmorinus vitticollis</i>			○	
214			マダラヨコバイ	<i>Psammotettix striatus</i>			○	
215			シラホシスカシヨコバイ	<i>Scaphoideus festivus</i>			○	
216			イネヒラタヨコバイ	<i>Stroggylocephalus agrestis</i>			○	
217			セグロアオズキンヨコバイ	<i>Trocnadella suturalis</i>			○	
218			ヒメヨコバイ亜科の数種	<i>Cicadellidae</i> spp.			○	
219			フタデンヨコバイ	<i>Macrosteles fascifrons</i>			○	
220			ヨツモンヒメヨコバイ	<i>Emposcanara limbata</i>			○	
221			サシガメ	ゴミアシナガサシガメ	<i>Myiophanes tipulina</i>		○	
222				クロサシガメ	<i>Peirates cinctiventris</i>			○
223				クロモンサシガメ	<i>Peirates turpis</i>			○
224			ゲンバймシ	キクゲンバイ	<i>Galeatus affinis</i>			○
225	ヤナギゲンバイ	<i>Metasalis populi</i>				○		
226	ヒメゲンバイ	<i>Uhlerites debilis</i>				○		
227	ハナカメムシ	ヤサハナカメムシ	<i>Amphiareus obscuriceps</i>			○		
228		コヒメハナカメムシ	<i>Orius minutus</i>			○		
229		ツヤヒメハナカメムシ	<i>Orius nagaii</i>			○		
230		ナミヒメハナカメムシ	<i>Orius sauteri</i>			○		
231	カスミカメムシ	ウスモンカスミカメ	<i>Adelphocoris demissus</i>			○		
232		ナカグロカスミカメ	<i>Adelphocoris suturalis</i>			○		
233		ブチヒゲクロカスミカメ	<i>Adelphocoris triannulatus</i>			○		
234		フタモンカスミカメ	<i>Adelphocoris variabilis</i>			○		
235		コアオカスミカメ	<i>Apolygus lucorum</i>			○		
236		ツマグロアオカスミカメ	<i>Apolygus spinolae</i>			○		
237		ヒメセダカカスミカメ	<i>Charagochilus angusticollis</i>			○		
238		マダラカスミカメ	<i>Cyphodemidea saundersi</i>			○		
239		カタグロミドリカスミカメ	<i>Cyrtorhinus lividipennis</i>			○		
240		シラゲヨモギカスミカメ	<i>Europiella artemisiae</i>			○		
241		Lygocoris 属の数種	<i>Lygocoris</i> spp.			○		
-		Lygocoris 属	<i>Lygocoris</i> sp.			○		
242		ムグラホソカスミカメ	<i>Plagiognathus amurensis</i>			○		
243		アシマダラクロカスミカメ	<i>Polymerus pekinensis Horv'ath</i>			○		
244		オオクロセダカカスミカメ	<i>Proboscidocoris varicornis</i>			○		
245		フタトゲムギカスミカメ	<i>Stenodema calcarata</i>			○		
246		アカミヤクカスミカメ	<i>Stenodema rubrinervis</i>			○		
247		ムギメクラガメ	<i>Stenodema</i> sp.			○		

表 3. 1-31 (6) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
248	カメムシ	カスミカメムシ	アカスジカスミカメ	<i>Stenotus rubrovittatus</i>			○		
249			イネホソミドリカスミカメ	<i>Trigonotylus caelestialium</i>			○		
-			カスミカメムシ科	<i>Miridae</i> sp.			○		
250	マキバサシガメ		アカマキバサシガメ	<i>Gorpsis brevilineatus</i>			○		
251			ハネナガマキバサシガメ	<i>Nabis stenoferus</i>			○		
252			キバネアシブトマキバサシガメ	<i>Prostemma kiborti</i>			○		
253	ホシカメムシ		フタモンホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sibiricus</i>			○		
254			クロホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sinuaticollis</i>			○		
255	ホソヘリカメムシ		クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>			○		
256			ヒメクモヘリカメムシ	<i>Paraplesius unicolor</i>			○		
257			ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus pedestris</i>			○		
258	ヘリカメムシ		ホソハリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>			○		
259			ハリカメムシ	<i>Cletus schmidtii</i>			○		
260			ヒメトゲヘリカメムシ	<i>Coriomeris scabricornis</i>			○		
261			ハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus dilatatus</i>			○		
262			ホシハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>			○		
263			オオツマキヘリカメムシ	<i>Hygia lativentris</i>			○		
264			オオヘリカメムシ	<i>Molipteryx fuliginosa</i>			○		
265			ヒメヘリカメムシ		スカシヒメヘリカメムシ	<i>Liorhyssus hyalinus</i>			○
266					アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>			○
267					ブチヒメヘリカメムシ	<i>Stictopleurus punctatonervosus</i>			○
268			ナガカメムシ		ウスイロナガカメムシ	<i>Bryannellocoris orientalis</i>			○
269					ヒメヒラタナガカメムシ	<i>Cymus aurescens</i>			○
270					ニッポンコバネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus japonicus</i>			○
271	コバネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus pallipes</i>					○		
272	クロナガカメムシ	<i>Drymus marginatus</i>					○		
273	ヒメオオメナガカメムシ	<i>Geocoris proteus</i>					○		
274	オオメナガカメムシ	<i>Geocoris varius</i>					○		
275	キベリヒョウタンナガカメムシ	<i>Horridipamera lateralis</i>					○		
276	ホソコバネナガカメムシ	<i>Macropes obnubilus</i>					○		
277	Neolethaeus 属の一種	<i>Neolethaeus</i> sp.					○		
278	Nysius 属の一種	<i>Nysius</i> sp.					○		
279	ヒラタヒョウタンナガカメムシ	<i>Pachybrachius luridus</i>					○		
280	ヒゲナガカメムシ	<i>Pachygrontha antennata</i>					○		
281	クロスジヒゲナガカメムシ	<i>Pachygrontha similis</i>					○		
282	シロヘリナガカメムシ	<i>Panaorus japonicus</i>					○		
283	チャモンナガカメムシ	<i>Paradiseiches dissimilis</i>					○		
284	クロアシホソナガカメムシ	<i>Paromius jejunos</i>					○		
285	ヤスマツナガカメムシ	<i>Pylorgus yasumatsui</i>					○		
286	イチゴチビナガカメムシ	<i>Stigmatonotum geniculatum</i>					○		
287	チビナガカメムシ	<i>Stigmatonotum rufipes</i>					○		
288	コバネヒョウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>					○		
289	ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	<i>Gyndes pallicornis</i>					○		
-					ナガカメムシ科	<i>Lygaeidae</i>			○
290	メダカナガカメムシ				メダカナガカメムシ	<i>Chauliops fallax</i>			○
291	ツノカメムシ				セアカツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticaudum</i>			○
292					オオツノカメムシ	<i>Acanthosoma firmatum</i>		○	
293					ベニモンツノカメムシ	<i>Elasmostethus humeralis</i>			○
294					アオモンツノカメムシ	<i>Elasmostethus nubilis</i>			○
295					ヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha putoni</i>			○
296					エサキモンキツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>			○
297					ツチカメムシ		ミツボシツチカメムシ	<i>Adomerus triguttulus</i>	
298					シロヘリツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i>		○	

表 3.1-31(7) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
299	カメムシ	ツチカメムシ	ヒメツヤツチカメムシ	<i>Chilocoris nigricans</i>			○
300			ツチカメムシ	<i>Macroscytus japonensis</i>			○
301		カメムシ	ウズラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>			○
302			シロヘリカメムシ	<i>Aenaria lewisi</i>			○
303			ブチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>			○
304			ナガメ	<i>Eurydema rugosa</i>			○
305			トゲシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris aeneus</i>			○
306			オオトゲシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris lewisi</i>			○
307			シラホシカメムシ	<i>Eysarcoris ventralis</i>			○
308			アカスジカメムシ	<i>Graphosoma rubrolineatum</i>			○
309			クサギカメムシ	<i>Halyomorpha halys</i>			○
310			ツマジロカメムシ	<i>Menida violacea</i>			○
311			アオクサカメムシ	<i>Nezara antennata</i>			○
312			イチモンジカメムシ	<i>Piezodorus hybneri</i>			○
313			チャバネアオカメムシ	<i>Plautia stali</i>			○
314			ヒメクロカメムシ	<i>Scotinophara scottii</i>			○
315			アブラムシ	アブラムシ科の数種	<i>Aphidoidea</i> sp.		
316		キジラミ	クワキジラミ	<i>Anomoneura mori</i>			○
317		マルカメムシ	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>			○
318		クヌギカメムシ	クヌギカメムシ	<i>Urostylis westwoodii</i>			○
319		アメンボ	オオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>	○		
320			アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>			○
321			ヒメアメンボ	<i>Gerris laticlominis</i>			○
322		ミズギワカメムシ	ヒメウスイロミズギワカメムシ	<i>Saldula palustris</i>			○
323			ミズギワカメムシ	<i>Saldula saltatoria</i>			○
-			ミズギワカメムシ科	<i>Saldidae</i> sp.			○
324		ミズムシ	ミズムシ	<i>Hesperocorixa distanti distanti</i>		○	
325			ハラグロコミズムシ	<i>Sigara nigroventralis</i>			○
326			コミズムシ	<i>Sigara substriata</i>			○
-			ミズムシ科	<i>Corixidae</i> sp.			○
327		メミズムシ	メミズムシ	<i>Ochterus marginatus</i>			○
328		コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>			○
329			タガメ	<i>Kirkaldyia deyrolli</i>		○	
330	タイコウチ	ミズカマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>			○	
331		ヒメミズカマキリ	<i>Ranatra unicolor</i>			○	
332	マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>			○	
-	-	-	カメムシ目(半翅目)の数種	<i>Hemiptera</i> spp.			○
333	アミメカゲロウ	ヒロバカゲロウ	ヒロバカゲロウ	<i>Lysmus harmandinus</i>			○
334			ウンモンヒロバカゲロウ	<i>Osmylus tessellatus</i>			○
335			キマダラヒロバカゲロウ	<i>Spilosmylus flavicornis</i>			○
336			カスリヒロバカゲロウ	<i>Spilosmylus nipponensis</i>			○
337		ツノトンボ	キバネツノトンボ	<i>Libelloides ramburi</i>		○	
338		ケカゲロウ	ケカゲロウ	<i>Acroberotha okamotoi</i>			○
339		クサカゲロウ	ニッポンクサカゲロウ	<i>Chrysoperla carnea</i>			○
340	シリアゲムシ	ガガンボモドキ	キアシガガンボモドキ	<i>Bittacus laevipes</i>			○
341		シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	<i>Panorpa japonica</i>			○
342			ブライアシリアゲ	<i>Panorpa pryeri</i>			○
343	トビケラ	シマトビケラ	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>			○
344			ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>			○
-			Cheumatopsyche 属の数種	<i>Cheumatopsyche</i> spp.			○
345			ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>			○
346			ナカハラシマトビケラ	<i>Hydropsyche setensis</i>			○
347			オオシマトビケラ	<i>Macrostemum radiatum</i>			○

表 3. 1-31 (8) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
348	トビケラ	シマトビケラ	エチゴシマトビケラ	<i>Potamyia chinensis</i>			○
-			シマトビケラ科の数種	<i>Hydropsychidae</i> spp.			○
349		ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>			○
350			チャバネヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche sauteri</i>			○
-			ヒゲナガカワトビケラ科の数種	<i>Stenopsychidae</i> spp.			○
351		ヤマトビケラ	アルタイヤマトビケラ	<i>Glossosoma altaicum</i>			○
352		ナガレトビケラ	ムナグロナガレトビケラ	<i>Rhyacophila nigrocephala</i>			○
353		ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>			○
-			ニンギョウトビケラ科の数種	<i>Goeridae</i> spp.			○
354		カクツツトビケラ	トウヨウカクツツトビケラ	<i>Lepidostoma orientale</i>			○
355		ヒゲナガトビケラ	トサカヒゲナガトビケラ	<i>Ceraclea superba</i>			○
356			アオヒゲナガトビケラ	<i>Mystacides azureus</i>			○
357			ゴマダラヒゲナガトビケラ	<i>Oecetis nigropunctata</i>			○
358		エグリトビケラ	トウヨウウスバキトビケラ	<i>Limnephilus orientalis</i>			○
359			エグリトビケラ	<i>Nemotaulius admorsus</i>			○
360		ホソバトビケラ	ホソバトビケラ	<i>Molanna moesta</i>			○
361		トビケラ	ムラサキトビケラ	<i>Eubasilissa regina</i>			○
362			ツマグロトビケラ	<i>Phryganea japonica</i>			○
363		マルバネトビケラ	マルバネトビケラ	<i>Phryganopsyche latipennis</i>			○
364		ケトビケラ	トウヨウグマガトビケラ	<i>Gunaga orientalis</i>			○
365	チョウ	コウモリガ	コウモリガ	<i>Endoclyta excrescens</i>			○
366			ミノガ	チャミノガ	<i>Eumeta minuscula</i>		
367		ボクトウガ	ボクトウガ	<i>Cossus jezoensis</i>			○
368			ゴマフボクトウ	<i>Zeuzera multistrigata leuconota</i>			○
369		イラガ	ムラサキイラガ	<i>Austrapoda dentata</i>			○
370			ウスムラサキイラガ	<i>Austrapoda hepatica</i>			○
371			クロフテングイラガ	<i>Microleon longipalpis</i>			○
372			イラガ	<i>Monema flavescens</i>			○
373			クロシタアオイラガ	<i>Parasa hilarula</i>			○
374			アカイラガ	<i>Phrixolepia sericea</i>			○
375			ヒメクロイラガ	<i>Scopelodes contracta</i>			○
376			マダラガ	ホタルガ	<i>Pidorus atratus</i>		○
377		セセリチョウ	ホシチャバネセセリ	<i>Aeromachus inachus inachus</i>	○	○	
378			キバネセセリ	<i>Burara aquilina aquilina</i>	○		
379			アオバセセリ本土亜種	<i>Choaspes benjaminii japonicus</i>	○		
380			ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys tethys</i>	○		
381			ミヤマセセリ	<i>Erynnis montana montana</i>	○		
382			ホソバセセリ	<i>Isoteinon lamprospilus lamprospilus</i>	○		
383			ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i>	○	○	
384			ヒメキマダラセセリ	<i>Ochlodes ochraceus</i>	○		
385	コキマダラセセリ		<i>Ochlodes venatus venatus</i>	○			
386	イチモンジセセリ		<i>Parnara guttata guttata</i>	○		○	
387	ミヤマチャバネセセリ		<i>Pelopidas jansonis</i>	○			
388	オオチャバネセセリ		<i>Polytrems pellucida pellucida</i>	○			
389	キマダラセセリ		<i>Potanthus flavus flavus</i>	○			
390	チャマダラセセリ	<i>Pyrgus maculatus maculatus</i>		○			
391	コチャバネセセリ	<i>Thoressa varia</i>	○		○		
392	スジグロチャバネセセリ 北海道・本州・九州亜種	<i>Thymelicus leoninus leoninus</i>	○				
393	シジミチョウ	ミズイロオナガシジミ	<i>Antigius attilia attilia</i>	○			
394		コツバメ	<i>Callophrys ferrea ferrea</i>	○			
395		ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>	○		○	
396		ツバメシジミ	<i>Everes argiades argiades</i>	○		○	
397		オオミドリシジミ	<i>Favonius orientalis</i>	○			

表 3. 1-31 (9) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
398	チョウ	シジミチョウ	ハヤシミドリシジミ	<i>Favonius ultramarinus</i>		○	
399			クロミドリシジミ	<i>Favonius yuasai</i>	○	○	
400			ウラクロシジミ	<i>Iratsume orsedice orsedice</i>	○		
401			アカシジミ	<i>Japonica lutea lutea</i>	○		
402			ウラナミアカシジミ	<i>Japonica saepestriata saepestriata</i>	○		
403			ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas chinensis</i>	○		○
404			ミドリシジミ	<i>Neozephyrus japonicus japonicus</i>	○		
405			ヒメシジミ本州・九州亜種	<i>Plebejus argus micrargus</i>		○	
406			ミヤマシジミ	<i>Plebejus argyrognomon praeterinsularis</i>	○		
407			トラフシジミ	<i>Rapala arata</i>	○		
408			ムモンアカシジミ	<i>Shirozua jonasi</i>	○		
409			ゴイシジミ	<i>Taraka hamada hamada</i>	○		○
410			ウラムスジシジミ	<i>Wagimo signatus</i>	○		
411			ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>	○		○
412	タテハチョウ	タテハチョウ	コムラサキ	<i>Apatura metis substituta</i>	○		○
413			サカハチチョウ	<i>Araschnia burejana burejana</i>	○		○
414			ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia tsushimana</i>	○		
415			ウラギンスジヒョウモン	<i>Argyronome laodice japonica</i>	○		
416			オオウラギンスジヒョウモン	<i>Argyronome rulsana</i>	○		○
417			メスグロヒョウモン	<i>Damora sagana liane</i>	○		○
418			スミナガン本土亜種	<i>Dichorragia nesimachus nesiotis</i>	○		○
419			ウラギンヒョウモン	<i>Fabriciana adippe pallescens</i>	○		○
420			ゴマダラチョウ本土亜種	<i>Hestina persimilis japonica</i>	○	○	○
421			クジャクチョウ	<i>Inachis io geisha</i>	○		
422			ルリタテハ本土亜種	<i>Kaniska canace nojaponicum</i>	○		○
423			クロヒカゲ本土亜種	<i>Lethe diana diana</i>	○		○
424			ヒカゲチョウ	<i>Lethe sicelis</i>	○		○
425			テングチョウ日本本土亜種	<i>Libythea lepita celtoides</i>	○		○
426			イチモンジチョウ	<i>Limenitis camilla japonica</i>	○		○
427			アサマイチモンジ	<i>Limenitis glorifica</i>	○		○
428			ジャノメチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>	○		○
429			コジャノメ	<i>Mycalesis francisca perdiccas</i>	○	○	○
430			ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama fulginia</i>	○		○
431			サトキマダラヒカゲ	<i>Neope goschkevitschii</i>	○		○
432			ヤマキマダラヒカゲ本土亜種	<i>Neope nipponica nipponica</i>	○		○
433			クモガタヒョウモン	<i>Nephargynnis anadyomene ella</i>	○		○
434			オオミスジ	<i>Neptis alvina</i>	○		
435			ミスジチョウ	<i>Neptis phillyra phillyra</i>	○		
436			ホシミスジ東北・中部地方亜種	<i>Neptis pryeri iwasei</i>	○		
437			コムミスジ本州以南亜種	<i>Neptis sappho intermedia</i>	○		○
438			オオヒカゲ	<i>Ninguta schrenckii schrenckii</i>	○		○
439			ヒオドシチョウ	<i>Nymphalis xanthomelas japonica</i>	○		
440			シータテハ	<i>Polygonia c-album hamigera</i>	○		○
441			キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>	○		○
442			オオムラサキ	<i>Sasakia charonda charonda</i>	○	○	
443			ヒメアカタテハ	<i>Vanessa cardui</i>	○		
444			アカタテハ	<i>Vanessa indica indica</i>	○		○
445			ヒメウラナミジャノメ	<i>Ypthima argus argus</i>	○		○
446			ヒメキマダラヒカゲ	<i>Zophoessa callipteris</i>	○		
447			アゲハチョウ	アゲハチョウ	ジャコウアゲハ本土亜種	<i>Atrophaneura alcinous alcinous</i>	○
448	アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon nipponum</i>					○
449	ヒメギフチョウ本州亜種	<i>Luehdorfia puziloi inexpecta</i>			○	○	
450	カラスアゲハ本土亜種	<i>Papilio dehaanii dehaanii</i>			○		○

表 3.1-31(10) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
451	チョウ	アゲハチョウ	ミヤマカラスアゲハ	<i>Papilio maackii</i>	○				
452			キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>	○		○		
453			オナガアゲハ	<i>Papilio macilentus macilentus</i>	○		○		
454			クロアゲハ本土亜種	<i>Papilio protenor demetrius</i>	○		○		
455			アゲハ	<i>Papilio xuthus</i>	○				
456			ウスバシロチョウ	<i>Parnassius citrinarius citrinarius</i>	○				
457	シロチョウ	ツマキチョウ本土亜種	ツマキチョウ本土亜種	<i>Anthocharis scolymus scolymus</i>	○		○		
458			モンキチョウ	<i>Colias erate poliographa</i>	○		○		
459			ミナミキチョウ	<i>Eurema hecabe</i>	○		○		
460			スジボソヤマキチョウ	<i>Gonepteryx aspasia nipponica</i>	○				
461			ヤマキチョウ	<i>Gonepteryx rhamni maxima</i>		○			
462			ヒメシロチョウ北海道・本州亜種	<i>Leptidea amurensis vivilia</i>	○	○	○		
463			エゾスジグロシロチョウ	<i>Pieris dulcinea tomariana</i>	○		○		
464			スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete</i>	○		○		
465			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	○		○		
466			ツトガ	ウスムラサキノメイガ	ウスムラサキノメイガ	<i>Agrotera nemoralis</i>			○
467					シロヒトモンノメイガ	<i>Analthes semitritalis orbicularis</i>			○
468					シロモンクロノメイガ本州亜種	<i>Anania funebris astrifera</i>			○
469					ヒメトガリノメイガ	<i>Anania verbascalis</i>			○
470					ツトガ	<i>Ancylolomia japonica</i>			○
471	アカウスグロノメイガ	<i>Bradina angustalis pryeri</i>					○		
472	サツマツトガ	<i>Calamotropha okanoi</i>					○		
473	シロツトガ	<i>Calamotropha paludella purella</i>					○		
474	ヨシツトガ	<i>Chilo luteellus</i>					○		
475	ニカメイガモドキ	<i>Chilo niponella</i>					○		
476	ニカメイガ	<i>Chilo suppressalis</i>					○		
477	ウスクロスジツトガ	<i>Chrysoteuchia diplogramma</i>					○		
478	テンスジツトガ	<i>Chrysoteuchia distinctella</i>					○		
479	モリオカツトガ	<i>Chrysoteuchia moriokensis</i>				○			
480	ナカモンツトガ	<i>Chrysoteuchia porcelanella</i>					○		
481	カギバノメイガ	<i>Circobotys nycterina</i>					○		
482	コブノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>					○		
483	シロスジツトガ	<i>Crambus argyrophorus</i>					○		
484	トガリキノメイガ	<i>Demobotys pervulgalis pervulgalis</i>					○		
485	キアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia accalis</i>					○		
486	シロアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia reticularis</i>					○		
487	マダラミズメイガ	<i>Elophila interruptalis interruptalis</i>					○		
488	クロスジマダラミズメイガ	<i>Elophila miurai</i>					○		
489	ヒメマダラミズメイガ	<i>Elophila turbata</i>					○		
490	アヤナミノメイガ	<i>Eurhyarodes accessalis</i>					○		
491	ウスベニセノメイガ	<i>Evergestis extimalis</i>					○		
492	クロスジツトガ	<i>Flavocrambus striatellus</i>					○		
493	スカシノメイガ	<i>Glyphodes pryeri</i>					○		
494	クロヘリキノメイガ	<i>Goniorhynchus butyrosus</i>					○		
495	クロズノメイガ	<i>Goniorhynchus exemplaris</i>					○		
496	ワタノメイガ	<i>Haritalodes derogatus</i>					○		
497	オオモンシロルリノメイガ	<i>Hemopsis dissipatalis</i>					○		
498	モンキクロノメイガ	<i>Herpetogramma luctuosale zelleri</i>					○		
499	マエキノメイガ	<i>Herpetogramma rude</i>					○		
500	ミツテンノメイガ	<i>Mabra charonialis</i>			○				
501	マメノメイガ	<i>Maruca vitrata</i>			○				
502	スジマガリノメイガ	<i>Mutuuraia terrealis</i>			○				
503	シロテンキノメイガ	<i>Nacoleia commixta</i>			○				



表 3.1-31(11) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
504	チョウ	ツトガ	イノウエノメイガ	<i>Nacoleia inouei</i>			○		
505			ネモンノメイガ	<i>Nacoleia tampiusalis</i>			○		
506			クロフタオビツトガ	<i>Neopediasia mixtalis</i>			○		
507			ミドロミズメイガ	<i>Neoschoenobia testacealis</i>		○	○		
508			ホシオビホソノメイガ	<i>Nomis albopedalis</i>			○		
509			ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>			○		
510			ヒメクロミスジノメイガ	<i>Omiodes miserus</i>			○		
511			シロアシクロノメイガ	<i>Omiodes tristrialis</i>			○		
512			アワノメイガ	<i>Ostrinia furnacalis</i>			○		
513			ウスジロキノメイガ	<i>Ostrinia latipennis</i>			○		
514			ユウグモノメイガ	<i>Ostrinia palustralis memmialis</i>			○		
515			アズキノメイガ 本州・四国・九州亜種	<i>Ostrinia scapularis subpacific</i>			○		
516			フキノメイガ	<i>Ostrinia zaguliaevi</i>			○		
517			ヨスジノメイガ	<i>Pagyda quadrilineata</i>			○		
518			マエウスモンキノメイガ	<i>Paliga ochrealis</i>			○		
519			ヒメシロノメイガ	<i>Palpita inusitata</i>			○		
520			マエアカスカシノメイガ	<i>Palpita nigropunctalis</i>			○		
521			シバツトガ	<i>Parapediasia teterella</i>			○		
522			ウスオビキノメイガ	<i>Paratalanta jessica</i>			○		
523			コガタシロモンノメイガ	<i>Pileocera sodalis</i>			○		
524			ウスイロキンノメイガ	<i>Pleurophyta punctimarginalis</i>			○		
525			ウコンノメイガ	<i>Pleurophyta ruralis</i>			○		
526			キムジノメイガ	<i>Prodasychnemis inornata</i>			○		
527			ウスオビクロチビノメイガ	<i>Pyrausta fuliginata</i>			○		
528			ヒトスジオオメイガ	<i>Scirpophaga lineata</i>			○		
529			マエウスグロオオメイガ	<i>Scirpophaga parvalis</i>			○		
530			ニセムモンシロオオメイガ	<i>Scirpophaga xanthopygata</i>			○		
531			タテシマノメイガ	<i>Sclerocona acutella</i>			○		
532			キササゲノメイガ	<i>Sinomphisa plagialis</i>			○		
533			シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>			○		
534			ウスグロマルモンノメイガ	<i>Udea exigualis</i>			○		
535			クロモンキノメイガ	<i>Udea testacea</i>			○		
-				ツトガ亜科の一種	<i>Crambinae sp.</i>			○	
536			メイガ	メイガ	ヒメアカオビマダラメイガ	<i>Acrobasis birgitella</i>			○
537					ウスアカマダラメイガ	<i>Acrobasis encaustella</i>			○
538					オオアカオビマダラメイガ	<i>Acrobasis frankella</i>			○
539					ウスアカムラサキマダラメイガ	<i>Addyme confusalis</i>			○
540					フタスジクロマダラメイガ	<i>Apomyelois subcognata</i>			○
541					ヒメアカシマメイガ	<i>Bostra nanalis</i>			○
542					ウスアカモンクロマダラメイガ	<i>Ceroprepes ophthalmicella</i>			○
543					カラマツマダラメイガ	<i>Cryptolabes loxiella</i>			○
544					マツアカマダラメイガ	<i>Dioryctria pryeri</i>			○
545					ウスオビトガリメイガ	<i>Endotricha consocia</i>			○
546					キモントガリメイガ	<i>Endotricha kuznetzovi</i>			○
547					ウスベントガリメイガ	<i>Endotricha olivacealis</i>			○
548					ヒエホソメイガ	<i>Enosima leucotaeniella</i>			○
549					フタグロマダラメイガ	<i>Furcata dichromella</i>			○
550					ウスオビクロマダラメイガ	<i>Glyptoteles leucacrinella</i>			○
551					トビイロシマメイガ	<i>Hypsopygia regina</i>			○
552					キイフトメイガ	<i>Lepidogma küiensis</i>			○
553					ナカムラサキフトメイガ	<i>Lista ficki</i>			○
554					トサカフトメイガ	<i>Locastra muscosalis</i>			○
555					サンカクマダラメイガ	<i>Nyctegretis triangulella</i>			○

表 3.1-31(12) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
556	チョウ	メイガ	シモフリマダラメイガ	<i>Oncocera faecella</i>			○	
557			アカマダラメイガ	<i>Oncocera semirubella</i>			○	
558			ネアオフトメイガ	<i>Orthaga onerata</i>			○	
559			フタスジシマメイガ	<i>Orthopygia glaucinalis</i>			○	
560			オオマエジロホソメイガ	<i>Paraemmalocera gensanalis</i>			○	
561			マエジロホソマダラメイガ	<i>Phycitodes subcretacellus</i>			○	
562			マエジロギンマダラメイガ	<i>Pseudacrobasis nankingella</i>			○	
563			ギンモンシマメイガ	<i>Pyralis regalis subregalis</i>			○	
564			ハイロマダラメイガ	<i>Salebriopsis monotonella</i>			○	
565			ハラウスキマダラメイガ	<i>Sandrabatis crassiella</i>			○	
566			ヒメアカマダラメイガ	<i>Sciota adelphella</i>			○	
567			ネグロフトメイガ	<i>Stericta kogii</i>			○	
568			クロフトメイガ	<i>Termitoptycha nigrescens</i>			○	
569			マダラメイガ亜科 sp.	<i>Pyralidae</i> sp.			○	
-				メイガ科	<i>Pyralidae</i> gen.			○
570			マドガ	ハスオビマドガ	<i>Pyrioides aureus</i>			○
571				マダラマドガ	<i>Rhodoneura vittula</i>			○
572				アカジママドガ	<i>Striglina cancellata</i>			○
573				マドガ	<i>Thyris usitata</i>			○
574			アゲハモドキガ	アゲハモドキ	<i>Epicopeia hainesii hainesii</i>			○
575	カギバガ	マエキカギバ	<i>Agnidra scabiosa scabiosa</i>			○		
576		オビカギバ	<i>Drepana curvatula acuta</i>			○		
577		ヒメウスベントガリバ	<i>Habrosyne aurorina aurorina</i>			○		
578		アシベニカギバ	<i>Oreta pulchripes</i>			○		
579		クロスジカギバ	<i>Oreta turpis</i>			○		
580		ヒメハイイロカギバ	<i>Pseudalbara parvula</i>			○		
581		ウスオビカギバ	<i>Sabra harpagula olivacea</i>			○		
582		モントガリバ	<i>Thyatira batis</i>			○		
583	シャクガ	クロマダラエダシャク	<i>Abraxas fulvobasalis</i>			○		
584		ヒメマダラエダシャク	<i>Abraxas nipponibia</i>			○		
585		キタマダラエダシャク	<i>Abraxas sylvata microtate</i>			○		
-			Abraxas 属の一種	<i>Abraxas</i> sp.			○	
586		チズモンアオシャク	<i>Agathia carissima carissima</i>			○		
587		クロクモエダシャク	<i>Apocleora rimosa</i>			○		
588		ヨモギエダシャク本州以南亜種	<i>Ascotis selenaria cretacea</i>			○		
589		オオヨスジアカエダシャク	<i>Astygisa chlororphodes</i>			○		
590		ヨスジアカエダシャク	<i>Astygisa morosa morosa</i>			○		
591		ホソバトガリナミシャク	<i>Carige scutimbata</i>			○		
592		アトボシエダシャク	<i>Cepphis advenaria</i>			○		
593		フタテンオエダシャク	<i>Chiasmia defxaria</i>			○		
594		ウスオエダシャク	<i>Chiasmia hebesata</i>			○		
595		ホソバハラアカアオシャク	<i>Chlorissa anadema</i>			○		
596		ルリモンエダシャク	<i>Cleora insolita</i>			○		
597		ヘリジロヨツメアオシャク	<i>Comibaena amoenaria</i>			○		
598		ヨツモンマエジロアオシャク	<i>Comibaena procumbaria</i>			○		
599		コヨツメアオシャク	<i>Comostola subtiliaria nympha</i>			○		
600		マツオオエダシャク	<i>Deileptenia ribeata</i>			○		
601		オオハガタナミシャク	<i>Ecliptopera umbrosaria umbrosaria</i>			○		
602		フトフタオビエダシャク	<i>Ectropis crepuscularia</i>			○		
603		ウスジロエダシャク	<i>Ectropis obliqua</i>			○		
604		キンオビナミシャク	<i>Electrophaes corylata granitalis</i>			○		
605		モミジツマキリエダシャク	<i>Endropiodes indictinaria</i>			○		
606	シロフアオシャク	<i>Eucyclodes difficta</i>			○			

表 3.1-31(13) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
607	チョウ	シャクガ	ミジンカバナミシャク	<i>Eupithecia addictata</i>			○
608			モンウスカバナミシャク	<i>Eupithecia clavifera</i>			○
609			ホソカバシジメミシャク	<i>Eupithecia lariciata</i>			○
-			<i>Eupithecia</i> 属の一種	<i>Eupithecia</i> sp.			○
610			キアミメナミシャク	<i>Eustoma japonica</i>			○
611			カギシロスジアオシャク	<i>Geometra dieckmanni</i>			○
612			コシロスジアオシャク	<i>Hemistola veneta</i>			○
613			オオバナミガタエダシャク	<i>Hypomecis lunifera</i>			○
614			ウスバミスジエダシャク	<i>Hypomecis punctinalis conferenda</i>			○
615			ウスキヒメシャク	<i>Idaea biselata</i>			○
616			ウスモンキヒメシャク	<i>Idaea denudaria</i>			○
617			オオウスモンキヒメシャク	<i>Idaea imbecilla</i>			○
618			フチベニヒメシャク	<i>Idaea jakima</i>			○
619			ベニヒメシャク	<i>Idaea muricata minor</i>			○
620			ミジンキヒメシャク	<i>Idaea trisetata</i>			○
-			<i>Idaea</i> 属の一種	<i>Idaea</i> sp.			○
621			ナミスジコアオシャク	<i>Idiochloa ussuriaria</i>			○
622			キタウンモンエダシャク	<i>Jankowskia pseudathleta</i>			○
623			ナミガタウスキアオシャク	<i>Jodis lactearia</i>			○
624			バラシロエダシャク	<i>Lomographa temerata</i>			○
625			シャンハイオエダシャク	<i>Macaria shanghaiaria</i>			○
626			ハガタツバメアオシャク	<i>Maxates grandificaria</i>			○
627			ヒロバツバメアオシャク	<i>Maxates illitirata</i>			○
628			ウスクモエダシャク	<i>Menophra senilis</i>			○
629			シタクモエダシャク	<i>Microcalicha sordida</i>			○
630			マエキトビエダシャク	<i>Nothomiza formosa</i>			○
631			エグリツマエダシャク	<i>Odontopera arida arida</i>			○
632			キイロエグリツマエダシャク	<i>Odontopera aurata</i>			○
633			ヨツメエダシャク	<i>Ophthalmitis albosignaria albosignaria</i>			○
634			トビスジヒメナミシャク	<i>Orthonama obstipata</i>			○
635			シロツバメエダシャク	<i>Ourapteryx maculicaudaria</i>			○
636			ウスキツバメエダシャク	<i>Ourapteryx nivea</i>			○
637			クロフヒメエダシャク	<i>Peratophyga grata grata</i>			○
638			コトビスジエダシャク	<i>Petelia rivulosa</i>			○
639			シダエダシャク	<i>Petrophora chlorosata</i>			○
640			ウスグロナミエダシャク	<i>Phanerothyris sinearia noctivolans</i>			○
641			リンゴツノエダシャク	<i>Phthonosema tendinosaria</i>			○
642			ナカキエダシャク	<i>Plagodis dolabraria</i>			○
643			オレクギエダシャク	<i>Protoboarmia simpliciararia</i>			○
644			ウスバキエダシャク	<i>Pseuderannia lomozeria</i>			○
645			クロテンシロヒメシャク	<i>Scopula apicipunctata</i>			○
646			キトガリヒメシャク	<i>Scopula emissaria lactea</i>			○
647			サカハチヒメシャク	<i>Scopula hanna</i>			○
648			ウスキクロテンヒメシャク	<i>Scopula ignobilis</i>			○
649			ハイイロヒメシャク	<i>Scopula impersonata macescens</i>			○
650			モントビヒメシャク	<i>Scopula modicaria</i>			○
651			マエキヒメシャク	<i>Scopula nigropunctata imbella</i>			○
652			サザナミシロヒメシャク	<i>Scopula nupta</i>			○
653			キナミシロヒメシャク	<i>Scopula superior</i>			○
-			<i>Scopula</i> 属の一種	<i>Scopula</i> sp.			○
654			コベニスジヒメシャク	<i>Timandra comptaria</i>			○
655			ベニスジヒメシャク	<i>Timandra reompta prouti</i>			○
-			<i>Timandra</i> 属の一種	<i>Timandra</i> sp.			○

表 3.1-31(14) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
656	チョウ	シャクガ	トラフツバメエダシャク	<i>Tristrophis veneris</i>		○		
657			フタトビスジナミシャク	<i>Xanthorhoe hortensiararia</i>			○	
658			ツマグロナミシャク	<i>Xanthorhoe muscicapata</i>			○	
659			モンシロツマキリエダシャク	<i>Xerodes albonotaria albonotaria</i>			○	
660			アカエダシャク	<i>Xerodes semilutata</i>			○	
661			Scoupula 属の一種	<i>Scoupula</i> sp.			○	
662			アオシャク亜科の一種	<i>Geometridae</i> sp.			○	
663			エダシャク亜科の一種	<i>Ennominae</i> sp.			○	
664			ギンツバメ	<i>Acropteris iphiata</i>			○	
665			クワコ	<i>Bombyx mandarina</i>			○	
666			オオクワゴモドキ	<i>Oberthueria falcigera</i>			○	
667			オビガ	オビガ	<i>Apha aequalis</i>			○
668			カレハガ	マツカレハ	<i>Dendrolimus spectabilis</i>			○
669				ツガカレハ	<i>Dendrolimus superans</i>			○
670		ヤママユガ	オオミズアオ本土亜種	<i>Actias aliena aliena</i>			○	
671			ヤママユ本土亜種	<i>Antheraea yamamai yamamai</i>			○	
672			クスサン本土亜種	<i>Saturnia japonica japonica</i>	○			
673			クスサン	<i>Caligula japonica</i>			○	
674		スズメガ	ハネナガブドウスズメ	<i>Acosmeryx naga</i>			○	
675			クルマスズメ本土亜種	<i>Ampelophaga rubiginosa rubiginosa</i>			○	
676			ウンモンズズメ	<i>Callambulyx tatarinovii gabyae</i>			○	
677			トビイロスズメ	<i>Clanis bilineata tsingtauica</i>			○	
678			ベニスズメ	<i>Deilephila elpenor lewisii</i>			○	
679			ヒメサザナミスズメ	<i>Dolbina exacta</i>			○	
680			クロテンケンモンズズメ	<i>Kentrochrysalis consimilis</i>			○	
681			ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrosticta</i>	○			
682			モモスズメ	<i>Marumba gaschkewitschii echephron</i>			○	
683			ホシヒメホウジャク	<i>Neogurelca himachala sangaica</i>			○	
684	エゾスズメ		<i>Phyllosphingia dissimilis dissimilis</i>			○		
685	ウチスズメ		<i>Smerinthus planus planus</i>			○		
686	コスズメ		<i>Theretra japonica</i>			○		
687	セスジスズメ		<i>Theretra oldenlandiae oldenlandiae</i>			○		
688	シャチホコガ	ツマアカシャチホコ	<i>Clostera anachoreta anachoreta</i>			○		
689		セグロシャチホコ	<i>Clostera anastomosis</i>			○		
690		ハイバラシロシャチホコ	<i>Cnethodonta grisescens grisescens</i>			○		
691		キシヤチホコ	<i>Cutiza straminea</i>			○		
692		セダカシャチホコ	<i>Euhampsonia cristata</i>			○		
693		ナカグロモクメシャチホコ	<i>Furcula furcula sangaica</i>			○		
694		アカシャチホコ	<i>Gangaridopsis citrina</i>			○		
695		クワゴモドキシャチホコ	<i>Gonoclostera timoniorum</i>			○		
696		タカオシャチホコ	<i>Hiradonta takaonis</i>		○			
697		プライヤエグリシャチホコ	<i>Lophontesia pryeri</i>			○		
698		ウスキシヤチホコ	<i>Mimopydna pallida</i>			○		
699		フタジマネグロシャチホコ	<i>Neodrymonia delia</i>			○		
700		ナカスジシャチホコ	<i>Nerice bipartita</i>			○		
701		ルリモンシャチホコ	<i>Peridea oberthueri oberthueri</i>			○		
702		マルモンシャチホコ	<i>Peridea rotundata</i>			○		
703		モンクロナシャチホコ	<i>Phalera flavescens</i>			○		
704		オオエグリシャチホコ	<i>Pterostoma gigantium</i>			○		
705		クロエグリシャチホコ	<i>Ptilodon okanoi</i>			○		
706		ヒメシャチホコ	<i>Stauropus basalis basalis</i>			○		
707	ヒトリガ	ヒトリガ	<i>Arctia caja phaeosoma</i>			○		
708		ゴマダラベニコケガ	<i>Barsine pulchra</i>			○		

表 3.1-31(15) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
709	チョウ	ヒトリガ	スジベニコケガ	<i>Barsine striata striata</i>			○
710			シロヒトリ	<i>Chionarctia nivea</i>			○
711			アカスジシロコケガ	<i>Cyana hamata hamata</i>			○
712			キマエホソバ	<i>Eilema japonica japonica</i>			○
713			キシタホソバ	<i>Eilema vetusta aegrota</i>			○
714			クロテンハイイロコケガ	<i>Eugoa grisea grisea</i>			○
715			キマエクロホソバ	<i>Ghoria collitoides</i>			○
716			オオベニヘリコケガ	<i>Melanaema venata</i>			○
717			ハガタキコケガ	<i>Mitochrista calamina</i>			○
718			クロスジホソバ	<i>Pelosia noctis</i>			○
719			チャオビチビコケガ	<i>Philenora latifasciata</i>			○
720			コベニシタヒトリ	<i>Rhyarioides metelkana flavida</i>			○
721			ベニシタヒトリ	<i>Rhyarioides nebulosa</i>			○
722			フタスジヒトリ	<i>Spilarctia bifasciata</i>			○
723			キバネモンヒトリ	<i>Spilarctia lutea japonica</i>			○
724			スジモンヒトリ	<i>Spilarctia seriatopunctata seriatopunctata</i>			○
725			キハラゴマダラヒトリ	<i>Spilosoma lubricipedum</i>			○
726			アカハラゴマダラヒトリ	<i>Spilosoma punctarium</i>			○
727			コケガ亜科の一種	<i>Lithosiinae spp.</i>			○
728			ドクガ	スカシドクガ	<i>Arctomis kumatai</i>		
729		ドクガ		<i>Artaxa subflava</i>			○
730		アカヒゲドクガ		<i>Calliteara lunulata lunulata</i>			○
731		リンゴドクガ		<i>Calliteara pseudabietis pseudabietis</i>			○
732		マメドクガ		<i>Cifuna locuples confusa</i>			○
733		ブドウドクガ		<i>Ilema eurydice</i>			○
734		キドクガ		<i>Kidokuga piperita</i>			○
735		バンタイマイマイ		<i>Lymantria bantaizana</i>			○
736		マイマイガ		<i>Lymantria dispar japonica</i>			○
737		ハラアカマイマイ		<i>Lymantria fumida</i>			○
738	ヒメシロモンドクガ	<i>Orgyia thyellina</i>				○	
739	ヒロズコガ	デコボコヒロズコガ	<i>Dasytes barbata</i>			○	
740	マルハキバガ	ホソオビキマルハキバガ	<i>Cryptolechia malacobyrsa Meyrick</i>			○	
741	キバガ	クルミオオフサキバガ	<i>Dichomeris christophi Ponomarenko &amp; Me</i>			○	
742		イモキバガ	<i>Helcystogramma triannulellum</i>			○	
-		キバガ科	<i>Gelechiidae</i>			○	
-		キバガ科の一種	<i>Gelechiidae sp.</i>			○	
743	ハマキガ	リンゴコカクモンハマキ	<i>Adoxophyes orana fasciata Walsingham</i>			○	
744		セクロモンカギバヒメハマキ	<i>Ancylis badiana</i>			○	
745		アトキハマキ	<i>Archips audax Razowski</i>			○	
746		リンゴモンハマキ	<i>Archips breviplicana Walsingham</i>			○	
747		オオアトキハマキ	<i>Archips ingentana</i>			○	
748		Bactra 属の一種	<i>Bactra sp.</i>			○	
749		リンゴオオハマキ	<i>Choristoneura adumbratana</i>			○	
750		アトボシハマキ	<i>Choristoneura longicellana</i>			○	
751		アシプトヒメハマキ	<i>Cryptophlebia ombrodelta</i>			○	
752		ヨツメヒメハマキ	<i>Cydia danilevskyi</i>			○	
753		クリミガ	<i>Cydia kurokoi</i>			○	
754		ヨモギネムシガ	<i>Epiblema foenellum</i>			○	
755		トビモンシロヒメハマキ	<i>Eucosma metzneriana</i>			○	
-		Eucosma 属の一種	<i>Eucosma sp.</i>			○	
756		コヤナギヒメハマキ	<i>Gypsonoma bifasciata Kuznetsov</i>			○	
757		ネグロヒメハマキ	<i>Gypsonoma dealbana</i>			○	
758	スギハマキ	<i>Homona issikii Yasuda</i>			○		

表 3.1-31(16) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
759	チョウ	ハマキガ	マメノヒメシクイ	<i>Lguminivora glycinivorella</i>			○	
760			ホソバヒメハマキ	<i>Lobesia reliquana</i>			○	
761			ヒロバヒメサヤムシガ	<i>Matsumuraeses vicina</i> Kuznetsov			○	
762			コホソスジハマキ	<i>Neocalyptis angustilineata</i>			○	
763			フタモンコハマキ	<i>Neocalyptis lirata</i>			○	
764			バラシロヒメハマキ	<i>Notocelia rosaecolana</i>			○	
765			クローバヒメハマキ	<i>Olethreutes doubledayanus</i>			○	
766			ヒメハマキガ亜科の一種	<i>Olethreutinae</i> sp.			○	
767			ウストビハマキ	<i>Pandemis chlorograpti</i> Meyrick			○	
768			スジトビハマキ	<i>Pandemis dumetana</i>			○	
769			トビハマキ	<i>Pandemis heparana</i>			○	
770			Phalonidia 属の一種	<i>Phalonidia</i> sp.			○	
771			オオハイジロハマキ	<i>Pseudeulia asinana</i>			○	
772			オオヤナギサザナミヒメハマキ	<i>Saliciphaga caesia</i> Falkovitsh			○	
773			カシワギンオビヒメハマキ	<i>Strophedra nitidana</i>			○	
774			サッポロヒメハマキ	<i>Ukamenia sapporensis</i>			○	
-				ハマキガ科	<i>Tortricidae</i>			○
775			スガ	マサキスガ	<i>Yponomeuta meguronis</i> Matsumura			○
776			ヤガ	イラクサマダラウワバ	<i>Abrostola triplasia</i>			○
777				キマダラコヤガ	<i>Acontia trabealis</i>			○
778	フタデンヒメヨトウ	<i>Acosmetia biguttula</i>				○		
779	シロシタケンモン	<i>Acronicta hercules</i>				○		
780	オオケンモン	<i>Acronicta major</i>				○		
781	ナシケンモン	<i>Acronicta rumicis</i>				○		
782	ホソアオバヤガ	<i>Actebia praecox flavomaculata</i>				○		
783	センモンヤガ	<i>Agrotis exclamationis informis</i>				○		
784	カブラヤガ	<i>Agrotis segetum</i>				○		
785	ショウブヨトウ	<i>Amphipoea ussuriensis</i>				○		
786	オオウスヅマカラスヨトウ	<i>Amphipyra erebina</i>				○		
787	カラスヨトウ	<i>Amphipyra livida corvina</i>				○		
788	オオシマカラスヨトウ	<i>Amphipyra monolitha surnia</i>				○		
789	ツマジロカラスヨトウ	<i>Amphipyra schrenckii</i>				○		
790	サビイロヤガ	<i>Amyna stellata</i>				○		
791	クロテンカバアツバ	<i>Anachrostis nigripunctalis</i>				○		
792	コウスベリケンモン	<i>Anacronicta caliginea</i>				○		
793	カバマダラヨトウ	<i>Anapamea cuneatoides</i>				○		
794	ホソバキリガ	<i>Anorthoa angustipennis</i>				○		
795	ビロードキリガ	<i>Anterastria atrata</i>				○		
796	アカモクメヨトウ	<i>Apamea aquila discrepans</i>				○		
797	ソトジロツマキリクチバ	<i>Arytrura musculus</i>				○		
798	シロテンウスグロヨトウ	<i>Athetis albisignata</i>				○		
799	クロテンヨトウ	<i>Athetis cinerascens</i>				○		
800	テンウスイロヨトウ	<i>Athetis dissimilis</i>				○		
801	ヒメオビウスイロヨトウ	<i>Athetis gluteosa</i>				○		
802	コウスイロヨトウ	<i>Athetis lepigone</i>				○		
803	シロモンオビヨトウ	<i>Athetis lineosa</i>				○		
804	ヒメサビスジヨトウ	<i>Athetis stellata</i>				○		
805	タンポキンウワバ	<i>Autographa excelsa</i>			○			
806	クロハナコヤガ	<i>Aventiola pusilla</i>				○		
807	モクメヤガ	<i>Axylia putris</i>				○		
808	ハジマヨトウ	<i>Bambusiphila vulgaris</i>				○		
809	ホシムラサキアツバ	<i>Bomolocha nigrobasalis</i>				○		
810	ヤマガタアツバ	<i>Bomolocha stygiana</i>				○		

表 3.1-31(17) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
811	チョウ	ヤガ	シラクモアツバ	<i>Bomolocha zilla</i>			○
812			ガマヨトウ	<i>Capsula aerata</i>		○	
813			ケンモンキシタバ	<i>Catocala deuteronympha omphale</i>		○	
814			ベニシタバ	<i>Catocala electa zalmunna</i>			○
815			ミヤマキシタバ	<i>Catocala ella ella</i>		○	
816			キシタバ	<i>Catocala patala</i>			○
817			エゾコヤガ	<i>Chorsia noloides</i>			○
818			カギモンハナオイアツバ	<i>Cidariphura signata</i>			○
819			キンスジアツバ	<i>Colobochyla salicalis</i>			○
820			シマフコヤガ	<i>Corgatha nitens</i>			○
821			ニレキリガ	<i>Cosmia affinis</i>			○
822			イタヤキリガ	<i>Cosmia trapezina exigua</i>			○
823			スジキノコヨトウ	<i>Cryphia mediofusca</i>			○
824			ミツモンキンウワバ	<i>Ctenoplusia agnata</i>			○
825			エゾギクキンウワバ	<i>Ctenoplusia albostrata</i>			○
826			ハイイロセダカモクメ	<i>Cucullia maculosa</i>			○
827			ミツモンケンモン	<i>Cymatophoropsis trimaculata</i>		○	
828			オオバコヤガ	<i>Darsia canescens</i>			○
829			ウスイロアカフヤガ	<i>Darsia ruficauda</i>			○
830			ムラサキアツバ	<i>Diomea cremata</i>			○
831			スジクロモクメヨトウ	<i>Dypterygia andreji</i>			○
832			モンオビヒメヨトウ	<i>Dysmilichia gemella</i>			○
833			オオシラホシアツバ	<i>Edessena hamada</i>			○
834			シロモンコヤガ	<i>Erastroides fentoni</i>			○
835			モンシロムラサキクチバ	<i>Ercheia niveostrigata</i>			○
836			ウスムラサキクチバ	<i>Ericeia pertendens</i>			○
837			ウスムラサキヨトウ	<i>Eucarta virgo</i>			○
838			ゴボウトガリヨトウ	<i>Gortyna fortis</i>			○
839			ナカジロアツバ	<i>Harita belinda tetractica</i>			○
840			ツメクサガ	<i>Heliothis maritima adalucta</i>			○
841			ウスキミスジアツバ	<i>Herminia arenosa</i>			○
842			フシキアツバ	<i>Herminia dolosa</i>			○
843			クロスジアツバ	<i>Herminia grisealis</i>			○
844			シラナミアツバ	<i>Herminia innocens</i>			○
845			トビスジアツバ	<i>Herminia tarsicrinalis</i>			○
846			ホシボシヤガ	<i>Hermonassa arenosa</i>			○
847			クロクモヤガ	<i>Hermonassa cecilia</i>			○
848			オオシラナミアツバ	<i>Hipoepa fractalis</i>			○
849			シロエグリコヤガ	<i>Holocryptis ussuriensis</i>			○
850			ソトウスグロアツバ	<i>Hydrillodes lentalis</i>			○
851			ヒロオビウスグロアツバ	<i>Hydrillodes morosa</i>			○
852			サザナミアツバ	<i>Hypena abducalis</i>			○
853			ミツボシアツバ	<i>Hypena tristalis</i>			○
854			モンキコヤガ	<i>Hyperstrotia flavipuncta</i>			○
855			ウラジロアツバ	<i>Hypetrocon violacealis</i>			○
856			シロマダラヒメヨトウ	<i>Iambia japonica</i>			○
857			クサビヨトウ	<i>Laterologia ophiogramma</i>			○
858			マエアカシロヨトウ	<i>Leucapamea kawadai</i>			○
859			クビグロクチバ	<i>Lygephila maxima</i>			○
860			ネジロコヤガ	<i>Maliattha chalcogramma</i>			○
861			ヒメネジロコヤガ	<i>Maliattha signifera</i>			○
862			ホシミミヨトウ	<i>Mesapamea concinnata</i>			○
863			ツマオビアツバ	<i>Mesoplectra griselda</i>			○

表 3.1-31(18) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
864	チョウ	ヤガ	ニセウンモンクチバ	<i>Mocis ancilla</i>			○
865			ウンモンクチバ	<i>Mocis annetta</i>			○
866			ゴマケンモン	<i>Moma alpium</i>			○
867			フサキバアツバ	<i>Mosopia sordidum</i>			○
868			マダラキヨトウ	<i>Mythimna flavostigma</i>			○
869			オオフタオビキヨトウ	<i>Mythimna grandis</i>			○
870			カバイロキヨトウ	<i>Mythimna iodochra</i>			○
871			ノヒラキヨトウ	<i>Mythimna obsoleta</i>			○
872			アカスジキヨトウ	<i>Mythimna postica</i>			○
873			スジシロキヨトウ	<i>Mythimna striata</i>			○
874			フタオビキヨトウ	<i>Mythimna turca</i>			○
875			クロギシギシヤガ	<i>Naenia contaminata</i>			○
876			フタオビコヤガ	<i>Naranga aenescens</i>			○
877			チャオビヨトウ	<i>Niphonyx segregata</i>			○
878			マエジロヤガ	<i>Ochropleura plecta glaucimacula</i>			○
879			ベニモンヨトウ	<i>Oligonyx vulnerata</i>			○
880			クロミミキリガ	<i>Orthosia lizetta</i>			○
881			アトキスジクルマコヤガ	<i>Oruza mira</i>			○
882			アトテンクルマコヤガ	<i>Oruza submira</i>			○
883			リンゴツマキリアツバ	<i>Pangrapta obscurata</i>			○
884			シロモンツマキリアツバ	<i>Pangrapta umbrosa</i>			○
885			ミツボシツマキリアツバ	<i>Pangrapta vasava</i>			○
886			クルマアツバ	<i>Paracolax tristalis</i>			○
887			ハイロヨトウ	<i>Parastichtis suspecta</i>		○	
888			ヨモギコヤガ	<i>Phyllophila oblitterata cretacea</i>			○
889			イネキンウワバ	<i>Plusia festucae</i>			○
890			クロヨトウ	<i>Polia mortua</i>		○	
891			シロマダラコヤガ	<i>Protodeltote distinguenda</i>			○
892			シロフコヤガ	<i>Protodeltote pygarga</i>			○
893			マガリスジコヤガ	<i>Protodeltote wiscotti</i>			○
894			テシクロアツバ	<i>Rivula sericealis</i>			○
895			シロシタヨトウ	<i>Sarcopolia illoba</i>			○
896			クロスジヒメアツバ	<i>Schranksia costaestrigalis</i>			○
897			ハスオビヒメアツバ	<i>Schranksia separatalis</i>			○
898			カバイロウスキヨトウ	<i>Sesamia confusa</i>			○
899			イネヨトウ	<i>Sesamia inferens</i>			○
900			モモイロフサクビヨトウ	<i>Sideridis mandarina</i>			○
901			オオアカマエアツバ	<i>Simplicia niphona</i>			○
902			ミツオビキンアツバ	<i>Sinarella aegrota</i>			○
903			ネグロアツバ	<i>Sinarella punctalis</i>			○
904			ウスイロカバスジヤガ	<i>Sineugraphe bipartita</i>			○
905			カバスジヤガ	<i>Sineugraphe exusta</i>			○
906			オオカバスジヤガ	<i>Sineugraphe oceanica</i>			○
907			ウスベニコヤガ	<i>Sophia subrosea</i>			○
908			マルモンシロガ	<i>Sphragifera sigillata</i>			○
909			ハグルマトモエ	<i>Spirama helicina</i>			○
910			スジキリヨトウ	<i>Spodoptera depravata</i>			○
911			シロイチモジヨトウ	<i>Spodoptera exigua</i>			○
912			ハスモンヨトウ	<i>Spodoptera litura</i>			○
913			ムモンキイロアツバ	<i>Stenhyphenia nigripuncta</i>			○
914			シロスジキノコヨトウ	<i>Stenoloba jankowskii</i>			○
915			ウスシロフコヤガ	<i>Sugia stygia</i>			○
916			クロシラフクチバ	<i>Sypnoides fumosus</i>			○



表 3.1-31(19) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
917	チョウ	ヤガ	ウスグロアツバ	<i>Traudinges fumosa</i>			○
918			ハスオビアツバ	<i>Traudinges obliqua</i>			○
919			ヒメコブヒゲアツバ	<i>Treitschkendia tarsipennis</i>			○
920			シロモンヤガ	<i>Xestia c-nigrum c-nigrum</i>			○
921			キシタミドリヤガ	<i>Xestia efflorescens</i>			○
922			クロフトビイロヤガ	<i>Xestia fuscostigma</i>			○
923			ハイイロキシタヤガ	<i>Xestia semiherbida decorata</i>			○
924			キミミヤガ	<i>Xestia tabida</i>			○
925			モンガヤ亜科の一種	<i>Noctuidae</i> sp.			○
-			ヤガ科	<i>Noctuidae</i> sp.			○
926			コブガ	アカマエアオリング	<i>Earias pudicana</i>		
927		ベニモンアオリング		<i>Earias roseifera</i>			○
928		ナンキンキノカワガ		<i>Gadirtha impingens impingens</i>		○	
929		クロオビリング		<i>Gelastocera kotschubeji</i>			○
930		マエキリング		<i>Iragaodes nobilis</i>			○
931		シロフチビコブガ		<i>Manoba microphasma</i>			○
932		トビモンシロコブガ		<i>Meganola albula pacifica</i>			○
933		クロスジコブガ		<i>Meganola fumosa</i>			○
934		オオコブガ		<i>Meganola gigas</i>			○
935		カバイロコブガ		<i>Nola aerugula atomosa</i>			○
936		クロスジシロコブガ		<i>Nola taeniata</i>			○
937		コマバシロコブガ		<i>Nolathripa lactaria</i>			○
938		オレクギリング		<i>Parhylophila celsiana</i>			○
939		アオスジアオリング		<i>Pseudoips prasinanus</i>			○
940		アミメリング		<i>Sinna extrema</i>			○
941		ハエ	ヒメガガンボ	Antocha 属の一種	<i>Antocha</i> sp.		
-	Antocha 属の数種			<i>Antocha</i> spp.			○
942	セダカガガンボ			<i>Conosia irrorata</i>			○
943	チュウゴクキマダラヒメガガンボ			<i>Epiphragma evanescens</i>			○
944	Hexatoma 属の数種			<i>Hexatoma</i> spp.			○
945	ガガンボ		ミカドガガンボ	<i>Holorusia mikado</i>			○
946			マエキガガンボ	<i>Indotipula yamata yamata</i>			○
947			キリウジガガンボ	<i>Tipula aino</i>			○
948			マダラガガンボ	<i>Tipula coquilletti</i>			○
949			マドガガンボ	<i>Tipula nova</i>			○
950			ヤチノコギリガガンボ	<i>Tipula serricauda</i>			○
-			Tipula 属の数種	<i>Tipula</i> spp.			○
-			ガガンボ科の一種	<i>Tipulidae</i> sp.			○
951	ヌカカ		Atrichopogon 属の一種	<i>Atrichopogon</i> sp.			○
952			Culicoides 属の数種	<i>Culicoides</i> spp.			○
953	ユスリカ		ダンダラヒメユスリカ	<i>Ablabesmyia monilis</i>			○
954			ヤマトユスリカ	<i>Chironomus nipponensis</i>			○
955			オオユスリカ	<i>Chironomus plumosus</i>			○
956			セスジユスリカ	<i>Chironomus yoshimatsui</i>			○
-			Chironomus 属の数種	<i>Chironomus</i> spp.			○
957		フタスジツヤユスリカ	<i>Cricotopus bicinctus</i>			○	
958		ナカオビツヤユスリカ	<i>Cricotopus triannulatus</i>			○	
-		Cricotopus 属の数種	<i>Cricotopus</i> spp.			○	
959		エリユスリカ亜科の数種	<i>Orthocladus</i> spp.			○	
960		Polypedilum 属の数種	<i>Polypedilum</i> spp.			○	
961		Procladius 属の数種	<i>Procladius</i> spp.			○	
962		アキツキユスリカ	<i>Stictochironomus akizukii</i>			○	
963	カスリモンユスリカ	<i>Tanytus kraatzi</i>			○		

表 3.1-31 (20) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
-	ハエ	ユスリカ	ユスリカ亜科の数種	<i>Chironomidae</i> spp.			○
964		ケバエ	オーマンケバエ	<i>Bibio omani</i>			○
965			ハグロケバエ	<i>Bibio tenebrosus</i>			○
966		クロツエバエ	クロツエバエ科の数種	<i>Sciaridae</i> spp.			○
967		タマバエ	タマバエ科の数種	<i>Cecidomyiidae</i> spp.			○
968		シギアブ	ヤマトシギアブ	<i>Rhagio japonicus</i>			○
969		ミズアブ	エゾホソリミズアブ	<i>Actina jezoensis</i>			○
970			ハラキンミズアブ	<i>Microchrysa flaviventris</i>			○
971			コガタミズアブ	<i>Odontomyia garatas</i>			○
972			コウカアブ	<i>Ptecticus tenebrifer</i>			○
973	ルリミズアブ		<i>Sargus nipponensis</i>			○	
974	ミズアブ		<i>Stratiomys japonica</i>			○	
975	アブ		ホルバートアブ	<i>Atylotus horvathi</i>			○
976			アカウシアブ	<i>Tabanus chrysurus</i>			○
977			イヨシロオビアブ	<i>Tabanus iyoensis</i>			○
978			ヤマトアブ	<i>Tabanus rufidens</i>			○
979		シロフアブ	<i>Tabanus trigeminus</i>			○	
980		ウシアブ	<i>Tabanus trigonus</i>			○	
981		ムシヒキアブ	トラフムシヒキ	<i>Astochia virgatipes</i>			○
982			アオメアブ	<i>Cophinopoda chinensis</i>			○
983	Neoitamus 属の一種		<i>Neoitamus</i> sp.			○	
984	シオヤアブ		<i>Promachus yesonicus</i>			○	
985	アシナガバエ	Chrysotus 属の数種	<i>Chrysotus</i> spp.			○	
986		ナガレアシナガバエ	<i>Diostracus antennalis</i>			○	
987		アシナガキンバエ	<i>Dolichopus nitidus</i>			○	
988		マダラアシナガバエ	<i>Mesorhaga nebulosus</i>			○	
989		Diaphorinae 亜科の数種	<i>Diaphorinae</i> spp.			○	
990	オドリバエ	Empis 属の数種	<i>Empis</i> spp.			○	
991	ノミバエ	オオキモンノミバエ	<i>Megaselia spiracularis</i>			○	
992	アタマアブ	イナズマツヤアタマアブ	<i>Eudorylax</i>			○	
-		アタマアブ科の数種	<i>Pipunculidae</i> spp.			○	
993	ハナアブ	サッポロヒゲナガハナアブ	<i>Chrysotoxum sapporense</i>			○	
994		フタスジヒラタアブ	<i>Dasyrphus bilineatus</i>			○	
995		ヨコジマオオヒラタアブ	<i>Dideoides latus</i>			○	
996		ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>			○	
997		シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>			○	
998		キョウコシマハナアブ	<i>Eristalis kyokoae</i>			○	
999		ナミハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>			○	
1000		アシフトハナアブ	<i>Helophilus eristaloideus</i>			○	
1001		タカサゴハラブトハナアブ	<i>Mallota takasagensis</i>			○	
1002		ホシツヤヒラタアブ	<i>Melanostoma scalare</i>			○	
-		Melanostoma 属の数種	<i>Melanostoma</i> spp.			○	
1003		キアシマメヒラタアブ	<i>Paragus haemorrhous</i>			○	
1004		オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>			○	
1005		ミナミヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria indiana</i>			○	
1006		ホソヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>			○	
1007		ヒメヒラタアブ属の一種	<i>Sphaerophoria</i> sp.			○	
-		Sphaerophoria 属の数種	<i>Sphaerophoria</i> spp.			○	
1008		エゾコヒラタアブ	<i>Metasyrphus corollae</i>			○	
-		ハナアブ科	<i>Syrphidae</i> sp.			○	
1009		ベッコウバエ	ベッコウバエ	<i>Stenodryomyza formosa</i>			○
1010	ヤチバエ	オガミヤチバエ	<i>Colobaea eos</i>			○	
1011		Pherbellia 属の一種	<i>Pherbellia</i> sp.			○	

表 3.1-31(21) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1012	ハエ	ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>			○
1013			Sepedon oriens	<i>Sepedon oriens</i>			○
1014			キイロキタヤチバエ	<i>Tetanocera arrogans</i>			○
1015		ツヤホソバエ	ヒトテンツヤホソバエ	<i>Sepsis monostigma</i>			○
-			Sepsis 属の数種	<i>Sepsis</i> spp.			○
1016		シマバエ	ヤブクロシマバエ	<i>Minettia longipennis</i>			○
1017		ミノバエ	カボチャミノバエ	<i>Bactrocera depressus</i>			○
1018			ミスジミノバエ	<i>Bactrocera scutellata</i>			○
1019			ヒラヤマアミメケブカミノバエ	<i>Campiglossa hirayamae</i>			○
1020			ハルササハマダラミノバエ	<i>Paragastrozona japonica</i>			○
1021	クロツヤバエ	Lonchaea 属の数種	<i>Lonchaea</i> spp.			○	
1022		クロツヤバエ	<i>Lonchaeidae</i>			○	
1023	ヒロクチバエ	ダイズコンリュウバエ	<i>Rivellia apicalis</i>			○	
-		Rivellia 属の数種	<i>Rivellia</i> spp.			○	
1024	フンコバエ	Leptocera 属の数種	<i>Leptocera</i> spp.			○	
1025	ハモグリバエ	イネハモグリバエ	<i>Agromyza oryzae</i>			○	
1026		ヨモギハモグリバエ	<i>Agromyzidae</i>			○	
-		ハモグリバエ科の数種	<i>Agromyzidae</i> spp.			○	
1027	ショウジョウバエ	Amiota 属の数種	<i>Amiota</i> spp.			○	
1028		ヒョウモンショウジョウバエ	<i>Drosophila busckii</i>			○	
1029		イチジクショウジョウバエ	<i>Drosophila ficusphila</i>			○	
1030		キイロショウジョウバエ	<i>Drosophila melanogaster</i>			○	
1031		オウトウショウジョウバエ	<i>Drosophila sukukii</i>			○	
-		Drosophila 属の数種	<i>Drosophila</i> spp.			○	
1032	ミギワバエ	フクハラソメワケミギワバエ	<i>Hyadina fukaharai</i>			○	
1033		カキワナシジミギワバエ	<i>Paralimna opaca</i>			○	
1034		Psilopa 属の数種	<i>Psilopa</i> spp.			○	
1035		Scatella 属の一種	<i>Scatella</i> sp.			○	
1036		Setacera fluxa	<i>Setacera fluxa</i>			○	
1037		カマキリバエ	<i>Ochthera mantis</i>			○	
-		ミギワバエ科の数種	<i>Ephyridae</i> spp.			○	
1038		キモグリバエ	<i>Meromyza orientalis</i>	<i>Meromyza orientalis</i>			○
1039	トゲヘリキモグリバエ		<i>Polyodaspis ruficornis</i>			○	
1040	ササノアシプトキモグリバエ		<i>Platycephala sasae</i> Nartshu			○	
1041	セアカモモプトキモグリバエ		<i>Pachylophus rufescens</i>			○	
1042	ニセヒゲプトキモグリバエ		<i>Elachiptera insignis</i> Thomson			○	
1043	ムギキモグリバエ		<i>Meromyza nigriventris</i>			○	
1044	キモグリバエ亜科の数種		<i>Chloropidae</i> spp.			○	
1045	クロバエ		ケブカクロバエ	<i>Aldrichina grahami</i>			○
1046		オオミドリバエ	<i>Isomyia electa</i>			○	
1047		キンバエ	<i>Lucilia caesar</i>			○	
1048		ミヤマキンバエ	<i>Lucilia papuensis</i>			○	
1049		ツマグロキンバエ	<i>Stomorhina obsoleta</i>			○	
-		クロバエ科の数種	<i>Calliphoridae</i> spp.			○	
1050	ハナバエ	アカザモグリハナバエ	<i>Pegomya exilis</i>			○	
1051		タネバエ	<i>Delia platura</i>			○	
1052	イエバエ	アシマダラハナレメイエバエ	<i>Coenosia variegata</i>			○	
-		Coenosia 属の数種	<i>Coenosia</i> spp.			○	
1053		クロマルハナバエ	<i>Dichaetomyia doubleti</i>			○	
1054		ハナバエ科の数種	<i>Muscidae</i> spp.			○	
1055		セマダライエバエ	<i>Graphomya maculata</i>			○	
1056		キイロホソイエバエ	<i>Helina impuncta</i>			○	
1057		ヤマトホソイエバエ	<i>Helina japonica</i>			○	

表 3.1-31(22) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1058	ハエ	イエバエ	ヨツボシホソイエバエ	<i>Helina quardrum</i>			○
-			Helina 属の数種	<i>Helina</i> spp.			○
1059			チャバネヒメクロバエ	<i>Hydrotaea chalcogaster</i>			○
1060			キタミズギワイエバエ	<i>Limnophora septentrionalis</i>			○
1061			シナホソカトリバエ	<i>Lispe leucospila sinica</i>			○
1062			オオイエバエ	<i>Muscina stabulans</i>			○
1063			ヘリグロハナレメイエバエ	<i>Orchisia costata</i>			○
1064			ヤマトトゲアシイエバエ	<i>Phaonia japonica</i>			○
1065		ニクバエ	シリアカニクバエ	<i>Sarcophaga crassipalpis</i>			○
1066			カガニクバエ	<i>Sarcophaga kagaensis</i>			○
1067			カワユニクバエ	<i>Sarcophaga kawayuensis</i>			○
1068			シリグロニクバエ	<i>Sarcophaga melanura</i>			○
1069			センチニクバエ	<i>Sarcophaga peregrina</i>			○
1070			ツシマニクバエ	<i>Sarcophaga tsushimae</i>			○
1071			コニクバエ	<i>Sarcophaga ugamskii</i>			○
-			ニクバエ科の数種	<i>Sarcophagidae</i> spp.			○
-		ニクバエ科	<i>Sarcophagidae</i> sp.			○	
1072		ヤドリバエ	セスジハリバエ	<i>Tachina nupta</i>			○
-			ヤドリバエ亜科の数種	<i>Tachinidae</i> spp.			○
1073	コウチュウ	ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ	<i>Brachinus scotomedes</i>			○
1074			コホソクビゴミムシ	<i>Brachinus stenoderus</i>			○
1075			ミイデラゴミムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>			○
1076		オサムシ	キイロチビゴモクムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>			○
1077			アオグロヒラタゴミムシ	<i>Agonum chalcomum</i>			○
1078			タンゴヒラタゴミムシ	<i>Agonum leucopus</i>			○
1079			オグラヒラタゴミムシ	<i>Agonum ogurae</i>			○
1080			アシミゾヒメヒラタゴミムシ	<i>Agonum thoreyi nipponicum</i>			○
1081			キアシマルガタゴミムシ	<i>Amara ampliata</i>			○
1082			マルガタゴミムシ	<i>Amara chalcites</i>			○
1083			オオマルガタゴミムシ	<i>Amara gigantea</i>			○
1084			ナガマルガタゴミムシ	<i>Amara macronota ovalipennis</i>			○
1085			コマルガタゴミムシ	<i>Amara simplicidens</i>			○
1086			ホシボシゴミムシ	<i>Anisodactylus punctatipennis</i>			○
1087			オオホシボシゴミムシ	<i>Anisodactylus sadoensis</i>			○
1088			ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>			○
1089			ヒメゴミムシ	<i>Anisodactylus tricuspidatus tricuspidatus</i>			○
1090			キベリゴモクムシ	<i>Anoplogenus cyanescens</i>			○
1091			スジミズアトキリゴミムシ	<i>Apristus grandis</i>			○
1092			キアシヌレチゴミムシ	<i>Archipatrobus flavipes</i>			○
1093			メダカチビカワゴミムシ	<i>Asaphidion semilucidum</i>			○
1094			クロズカタキバゴミムシ	<i>Badister nigriceps</i>			○
1095			オオフタモンミズギワゴミムシ	<i>Bembidion bandotaro</i>			○
1096			ホソトビミズギワゴミムシ	<i>Bembidion chloropus</i>			○
1097			ヨツボシミズギワゴミムシ	<i>Bembidion morawitzi</i>			○
1098			アトモンミズギワゴミムシ	<i>Bembidion niloticum batesi</i>			○
1099			ドウイロミズギワゴミムシ	<i>Bembidion stenoderum</i>			○
1100			ムネミゾマルゴミムシ	<i>Caelostomus picipes japonicus</i>			○
1101			アオカタビロオサムシ	<i>Calosoma inquisitor cyanescens</i>			○
1102			アカガネオサムシ本州亜種	<i>Carabus granulatus telluris</i>			○
1103	アオオサムシ	<i>Carabus insulicola insulicola</i>			○		
1104	クロナガオサムシ	<i>Carabus procerulus procerulus</i>			○		
1105	セアカオサムシ	<i>Carabus tuberculatus</i>			○		
1106	コキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius circumdatus</i>			○		

表 3.1-31(23) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1107	コウチュウ	オサムシ	ヒメキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius inops</i>			○
1108			オオアトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius micans</i>			○
1109			アトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius naeviger</i>			○
1110			アオゴミムシ	<i>Chlaenius pallipes</i>			○
1111			キボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius posticalis</i>			○
1112			クビナガキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius prosternus</i>			○
1113			コガシラアオゴミムシ	<i>Chlaenius varicornis</i>			○
1114			クロヒメヒョウタンゴミムシ	<i>Clivina lewisi</i>			○
1115			ハラアカモリヒラタゴミムシ	<i>Colpodes japonicus</i>			○
1116			オサムシモドキ	<i>Craspedonotus tibialis</i>			○
1117			ミズギワアトキリゴミムシ	<i>Demetrius marginicollis</i>			○
1118			ルリヒラタゴミムシ	<i>Dicranoncus femoralis</i>			○
1119			オオスナハラゴミムシ	<i>Diplocheila zeelandica</i>			○
1120			カワチゴミムシ	<i>Diplous caligatus</i>			○
1121			セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>			○
1122			アオヘリホソゴミムシ	<i>Drypta japonica</i>			○
1123			ダイミョウチビヒョウタンゴミムシ	<i>Dyschirius ovicollis</i>			○
1124			ホソチビヒョウタンゴミムシ	<i>Dyschirius steno</i>			○
1125			チビアオゴミムシ	<i>Eochlaenius suvorovi</i>			○
1126			オオキベリアオゴミムシ	<i>Epomis nigricans</i>			○
1127			クビボソゴミムシ	<i>Galerita orientalis</i>			○
1128			スジアオゴミムシ	<i>Haplochlaenius costiger</i>			○
1129			オオゴモクムシ	<i>Harpalus capito</i>			○
1130			オオズケゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>			○
1131			ヒメケゴモクムシ	<i>Harpalus jureceki</i>			○
1132			クロゴモクムシ	<i>Harpalus niigatanus</i>			○
1133			ヒラタゴモクムシ	<i>Harpalus platynotus</i>			○
1134			ニセケゴモクムシ	<i>Harpalus pseudophonoides</i>			○
1135			ニセクロゴモクムシ	<i>Harpalus simplicidens</i>			○
1136			ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>			○
1137			アカアシマルガタゴモクムシ	<i>Harpalus tinctulus</i>			○
1138	コゴモクムシ	<i>Harpalus tridens</i>			○		
1139	ケゴモクムシ	<i>Harpalus vicarius</i>			○		
1140	トックリゴミムシ	<i>Lachnocyberis proluxa</i>			○		
1141	キクビアオアトキリゴミムシ	<i>Lachnolebia cribricollis</i>			○		
1142	コルリアトキリゴミムシ	<i>Lebia viridis</i>			○		
1143	オオゴミムシ	<i>Lesticus magnus</i>			○		
1144	チョウセンマルクビゴミムシ	<i>Nebria coreica</i>			○		
1145	チャバネクビナガゴミムシ	<i>Odacantha aegrota</i>			○		
1146	メダカアトキリゴミムシ	<i>Orionella lewisii</i>			○		
1147	ヨツボシゴミムシ	<i>Panagaeus japonicus</i>			○		
1148	コヨツボシゴミムシ	<i>Panagaeus robustus</i>			○		
1149	オオヒラタゴミムシ	<i>Platynus magnus</i>			○		
1150	コヒラタゴミムシ	<i>Platynus protensus</i>			○		
1151	ホソヒラタゴミムシ	<i>Pristosia aeneola</i>			○		
1152	ヒロムネナガゴミムシ	<i>Pterostichus dulcis</i>			○		
1153	オオナガゴミムシ	<i>Pterostichus fortis</i>			○		
1154	トックリナガゴミムシ	<i>Pterostichus haptoderoides japonensis</i>			○		
1155	トウホククロナガゴミムシ	<i>Pterostichus imurai</i>			○		
1156	クロオオナガゴミムシ	<i>Pterostichus leptis</i>			○		
1157	コガシラナガゴミムシ	<i>Pterostichus microcephalus</i>			○		
1158	キンナガゴミムシ	<i>Pterostichus planicollis</i>			○		
1159	ヒメホソナガゴミムシ	<i>Pterostichus rotundangulus</i>			○		

表 3.1-31(24) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
1160	コウチュウ	オサムシ	マルガタナガゴミムシ	<i>Pterostichus subovatus</i>			○	
1161			アシミゾナガゴミムシ	<i>Pterostichus sulcitaris</i>			○	
1162			ヨリトモナガゴミムシ	<i>Pterostichus yoritomus</i>			○	
1163			ナガヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites terricola pacificus</i>			○	
1164			ツヤマメゴモクムシ	<i>Stenolophus iridicolor</i>			○	
1165			コクロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus melantho</i>			○	
1166			オオクロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus nitidus</i>			○	
1167			ヒラタコムズギワゴミムシ	<i>Tachyura exarata</i>			○	
1168			ヨツモンコムズギワゴミムシ	<i>Tachyura laetifica</i>			○	
1169			ヒラタキイロチビゴミムシ	<i>Trechus ephippiatus</i>			○	
1170			クビアカツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus longitarsis</i>			○	
1171			ムラサキオオゴミムシ	<i>Trigonognatha coreana</i>			○	
1172			<i>Ohomopterus insulicola</i>	<i>Ohomopterus insulicola kita</i>			○	
1173			トウホククロナガオサムシ	<i>Leptocarabus arboreus parexilis</i>			○	
1174			ニセクロナガゴミムシ	<i>Pterostichus fuliginus Morawitz</i>			○	
1175			フタホシチビゴミムシ	<i>Lasiotrechus discus</i>			○	
1176			ハンミョウ	カワラハンミョウ	<i>Chaetodera laetescrpta</i>			○
1177				ニワハンミョウ	<i>Cicindela japana</i>			○
1178				ミヤマハンミョウ	<i>Cicindela sachalinensis</i>			○
1179				エリザハンミョウ	<i>Cylindera elisae elisae</i>			○
-				ハンミョウ科	<i>Cicindelidae</i> sp.	○		○
1180			ゲンゴロウ	メススジゲンゴロウ	<i>Acilius japonicus</i>		○	
1181				クロズマメゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>			○
1182				ホソセスジゲンゴロウ	<i>Copelatus weymarni</i>			○
1183				ゲンゴロウ	<i>Cybister chinensis</i>		○	
1184	マルコガタノゲンゴロウ	<i>Cybister lewisianus</i>			○			
1185	ハイイロゲンゴロウ	<i>Eretes griseus</i>				○		
1186	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>				○		
1187	コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus granmicus</i>				○		
1188	チビゲンゴロウ	<i>Hydrogryphus japonicus</i>				○		
1189	トウホクナガケシゲンゴロウ	<i>Hydroporus tokui</i>				○		
1190	ツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus difficilis</i>				○		
1191	シャープツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus sharpi</i>				○		
1192	ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>				○		
1193	コガシラミズムシ	コガシラミズムシ		<i>Pelodytes intermedius</i>			○	
1194	カワラゴミムシ	カワラゴミムシ		<i>Omophron aequalis</i>			○	
1195	ガムシ	ヤマトゴマフガムシ	<i>Berosus japonicus</i>			○		
1196		トゲバゴマフガムシ	<i>Berosus lewisius</i>			○		
1197		ホソゴマフガムシ	<i>Berosus pulchellus</i>			○		
1198		ゴマフガムシ	<i>Berosus punctipennis</i>			○		
1199		ウスモンケシガムシ	<i>Cercyon laminatus</i>			○		
1200		アカケシガムシ	<i>Cercyon olibrus</i>			○		
1201		キバネケシガムシ	<i>Cercyon quisquilius</i>			○		
1202		ケシガムシ	<i>Cercyon ustus</i>			○		
-		Cercyon 属の数種	<i>Cercyon</i> spp.			○		
1203		セマルケシガムシ	<i>Cryptopleurum subtile</i>			○		
1204		キベリヒラタガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>			○		
1205		キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>			○		
1206		フタホシヒラタガムシ	<i>Enochrus umbratus</i>			○		
1207		コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>			○		
1208		ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i>			○		
1209		シジミガムシ	<i>Laccobius bedeli</i>			○		
1210	ヒメシジミガムシ	<i>Laccobius fragilis</i>			○			

表 3.1-31 (25) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
-	コウチュウ	ガムシ	Laccobius 属の一種	<i>Laccobius</i> sp.			○
1211			ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>			○
1212		エンマムシ	オオヒラタエンマムシ	<i>Hololepta amurensis</i>			○
1213			コエンマムシ	<i>Margarinotus niponicus</i>			○
1214			エンマムシ	<i>Merohister jekeli</i>			○
1215		タマキノコムシ	ムネグロコチビシデムシ	<i>Sciodreporides watsoni watsoni</i>			○
1216			チビタマキノコムシ	<i>Zeadolopus japonicus</i>			○
1217		ムクゲキノコムシ	ムツゲゴムクゲキノコムシ	<i>Acrotrichis grandicollis</i>			○
1218		シデムシ	オオヒラタシデムシ	<i>Eusilpha japonica</i>			○
1219			オオモモトシデムシ	<i>Necrodes asiaticus</i>			○
1220			モモトシデムシ	<i>Necrodes nigricornis</i>			○
1221			ヨツボシモンシデムシ	<i>Nicrophorus quadripunctatus</i>			○
1222			コクロシデムシ	<i>Ptomascopus morio</i>			○
1223			ハネカクシ	アカバハバビロオオハネカクシ 北海道・本州亜種	<i>Agelosus carinatus carinatus</i>		
1224		ムネビロハネカクシ		<i>Algon grandicollis</i>			○
1225		ヒラタセスジハネカクシ		<i>Anotylus japonicus</i>			○
-		Anotylus 属の数種		<i>Anotylus</i> spp.			○
1226		Atheta 属の数種		<i>Atheta</i> spp.			○
1227		キベリカワベハネカクシ		<i>Bledius curvicornis</i>			○
1228		アカバアバタウミベハネカクシ		<i>Cafius rufescens</i>			○
1229		ニセヒメユミセミジハネカクシ		<i>Carpelimus vagus</i>			○
1230		ヒラタホソコガシラハネカクシ		<i>Gabrius subdepressus</i>			○
1231	Gabrius 属の一種	<i>Gabrius</i> sp.				○	
-	Gabrius 属の数種	<i>Gabrius</i> spp.				○	
1232	ツマグロムネスジハネカクシ	<i>Hesperus tiro</i>				○	
1233	オオメチビツヤムネハネカクシ	<i>Heterothops rotundiceps</i>				○	
1234	ニセトガリハネカクシ	<i>Isocheilus staphylinoides</i>				○	
1235	ナガハネカクシ	<i>Lathrobium dignum</i>				○	
1236	クロズトガリハネカクシ	<i>Lithocharis nigriceps</i>				○	
1237	カタモンハネカクシ	<i>Liusus hilleri</i>				○	
1238	ハバビロハネカクシ	<i>Megarthus japonicus</i>				○	
1239	アカバヒメホソハネカクシ	<i>Neobismius pumilus</i>				○	
1240	クロカワベナガエハネカクシ	<i>Ochtheophilum densipenne</i>				○	
1241	クロサビイロマルズオオハネカクシ	<i>Ocytus lewisius</i>				○	
1242	ウスアカバホソハネカクシ	<i>Othius medius</i>				○	
1243	アカセスジハネカクシ	<i>Oxytelus incisus</i>				○	
1244	ヒメアカセスジハネカクシ	<i>Oxytelus migrator</i>				○	
1245	アオバアリガタハネカクシ	<i>Paederus fuscipes</i>				○	
1246	ドウバネコガシラハネカクシ	<i>Philonthus cunctator</i>				○	
1247	キアシチビコガシラハネカクシ	<i>Philonthus numata</i>				○	
1248	カクコガシラハネカクシ	<i>Philonthus rectangulus</i>				○	
1249	キヌコガシラハネカクシ	<i>Philonthus sublucanus</i>				○	
1250	アカバクビブトハネカクシ	<i>Pinophilus rufipennis</i>				○	
1251	クロガネトガリオオズハネカクシ	<i>Platydracus inornatus</i>				○	
1252	クロヒメカワベハネカクシ	<i>Platystethus operosus</i>				○	
1253	キバネクビボソハネカクシ	<i>Rugilus ceylanensis</i>				○	
1254	クビボソハネカクシ	<i>Rugilus rufescens</i>				○	
1255	アシマダラカワベメダカハネカクシ	<i>Stenus cicindeloides</i>				○	
1256	コクロメダカハネカクシ	<i>Stenus melanarius</i>				○	
1257	カラカネカワベメダカハネカクシ	<i>Stenus mercator</i>				○	
1258	クロツヤマルクビハネカクシ	<i>Tachinus punctiventris</i>				○	
1259	クロズシリホソハネカクシ	<i>Tachyporus celatus</i>				○	
1260	ユミセミジハネカクシ	<i>Thinodromus sericatus</i>				○	

表 3.1-31 (26) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1261	コウチュウ	ハネカクシ	シロヒゲアリノスハネカクシ	<i>Zyras particornis</i>			○
1262			キアシナガハネカクシ	<i>Tetartopeus pallipes</i>			○
1263			チャイロコガシラハネカクシ	<i>Philonthus germanus SHARP</i>			○
1264			ツヤケシキバネチビハネカクシ	<i>Nehemitropa sordida</i>			○
1265			ヒメホソコガシラハネカクシ	<i>Philonthus wusthoffi</i>			○
1266		マルハナノミ	キムネマルハナノミ	<i>Sacodes protecta</i>			○
1267			トビイロマルハナノミ	<i>Scirtes japonicus</i>			○
1268			ヒメマルハナノミ	<i>Scirtes sobrinus</i>			○
1269			Cyphon 属の一種	<i>Cyphon</i> sp.			○
1270	クワガタムシ	オオクワガタ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i>		○		
1271		コクワガタ	<i>Dorcus rectus rectus</i>			○	
1272		ノコギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus inclinatus</i>	○		○	
1273	コガネムシ	コイチャコガネ	<i>Adoretus tenuimaculatus</i>			○	
1274		ドウガネブイブイ	<i>Anomala cuprea</i>			○	
1275		サクラコガネ	<i>Anomala daimiana</i>			○	
1276		ヒメサクラコガネ	<i>Anomala geniculata</i>			○	
1277		ヤマトアオドウガネ	<i>Anomala japonica</i>			○	
1278		ツヤコガネ	<i>Anomala lucens</i>			○	
1279		ハンノヒメコガネ	<i>Anomala multistriata</i>			○	
1280		ヒメコガネ	<i>Anomala rufocuprea</i>			○	
1281		チビサクラコガネ	<i>Anomala schoenfeldti</i>			○	
1282		ヒメキイロマグソコガネ	<i>Aphodius sturmi</i>		○		
1283		オビマグソコガネ	<i>Aphodius uniplagiatus</i>			○	
1284		ダイコクコガネ	<i>Copris ochus</i>		○		
1285		コカブトムシ	<i>Eophileurus chinensis chinensis</i>		○		
1286		セマダラコガネ	<i>Exomala orientalis</i>			○	
1287		コアオハナムグリ	<i>Gametis jucunda</i>			○	
1288		Heptophylla 属の一種	<i>Heptophylla</i> sp.			○	
1289		クロコガネ	<i>Holotrichia kiotonensis</i>			○	
1290		オオクロコガネ	<i>Holotrichia parallela</i>			○	
1291		アカビロウドコガネ	<i>Maladera castanea</i>			○	
1292		ビロウドコガネ	<i>Maladera japonica</i>			○	
1293		ヒメビロウドコガネ	<i>Maladera orientalis</i>			○	
1294		オオコフキコガネ	<i>Melolontha frater</i>			○	
1295		コフキコガネ	<i>Melolontha japonica</i>			○	
1296		オオスジコガネ	<i>Mimela costata</i>			○	
1297		ヒメスジコガネ	<i>Mimela flavilabris</i>			○	
1298		スジコガネ	<i>Mimela testaceipes</i>			○	
1299		コケシマグソコガネ	<i>Myrhessus samurai</i>			○	
1300		ヒラタハナムグリ	<i>Nipponovalgus angusticollis angusticollis</i>			○	
1301		クロマルエンマコガネ	<i>Onthophagus ater</i>			○	
1302		コブマルエンマコガネ	<i>Onthophagus atripennis</i>			○	
1303		シナノエンマコガネ	<i>Onthophagus bivertex</i>		○		
1304		マルエンマコガネ	<i>Onthophagus viduus</i>			○	
1305		オオチャイロハナムグリ	<i>Osmoderma opicum</i>		○		
1306	ツヤエンマコガネ	<i>Parascatonomus nitidus</i>			○		
1307	ウスチャコガネ	<i>Phyllopertha diversa</i>			○		
1308	シロスジコガネ	<i>Polyphylla albolineata</i>			○		
1309	マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>			○		
1310	ナラノチャイロコガネ	<i>Proagopertha pubicollis</i>			○		
1311	シラホシハナムグリ	<i>Protaetia brevitarsis brevitarsis</i>			○		
1312	セマルケシマグソコガネ	<i>Psammodyus convexus</i>			○		
1313	トラハナムグリ	<i>Trichius japonicus</i>			○		



表 3.1-31 (27) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
1314	コウチュウ	コガネムシ	カブトムシ	<i>Trypoxylus dichotomus septentrionalis</i>			○		
1315			Oxycetonia 属の一種	<i>Oxycetonia</i> sp.			○		
1316		ナガドロムシ	タテスジナガドロムシ	<i>Heteroceris fenestratus</i>			○		
1317			タマガワナガドロムシ	<i>Heteroceris japonicus</i>			○		
1318	ヒラタドロムシ		クシヒゲマルヒラタドロムシ	<i>Eubrianax granicollis</i>			○		
1319			ヒラタドロムシ	<i>Mataeopsephus japonicus</i>			○		
1320			マスダチビヒラタドロムシ	<i>Malacopsephenoides japonicus</i>			○		
1321	タマムシ		クワナガタマムシ本土亜種	<i>Agrius komareki komareki</i>			○		
1322			ヤナギチビタマムシ	<i>Trachys minutus salicis</i>			○		
1323	コメツキムシ		サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>			○		
1324			ホソサビキコリ	<i>Agrypnus fuliginosus</i>			○		
1325			ヒメサビキコリ	<i>Agrypnus scrofa scrofa</i>			○		
1326			クロスジヒメコメツキ	<i>Dalopius patagiatus</i>			○		
1327			ベニコメツキ	<i>Denticollis nipponensis nipponensis</i>			○		
1328			オオハナコメツキ	<i>Dicronychus nothus</i>			○		
1329			ヨツキボシコメツキ	<i>Ectinoides insignitus insignitus</i>			○		
1330			イワテヒサゴコメツキ	<i>Hypolithus motschulskyi iwatensis Ohira</i>		○			
1331			ニセクチブトコメツキ	<i>Lanecarus palustris</i>			○		
1332			クロツヤクシコメツキ	<i>Melanotus annosus</i>			○		
1333			コガタクシコメツキ	<i>Melanotus erythropygus erythropygus</i>			○		
1334			クシコメツキ	<i>Melanotus legatus legatus</i>			○		
1335			クロクシコメツキ	<i>Melanotus senilis senilis</i>			○		
1336			ナガチャクシコメツキ	<i>Melanotus spernendus spernendus</i>			○		
1337			スナサビキコリ	<i>Meristhus nipponensis</i>			○		
1338			ヒゲナガコメツキ	<i>Mulsanteus junior junior</i>			○		
1339			オオナガコメツキ	<i>Nipponoelater sieboldi sieboldi</i>			○		
1340			クロツヤミズギワコメツキ	<i>Oedostethus telluris</i>			○		
1341			クロコハナコメツキ	<i>Paracardiophorus opacus</i>			○		
1342			アカアシコハナコメツキ	<i>Paracardiophorus sequens sequens</i>			○		
1343			マダラチビコメツキ	<i>Prodrasterius agnatus</i>			○		
1344			ウストラフコメツキ	<i>Selatosomus vagepictus</i>			○		
1345			ヒゲブトコメツキ		ナガヒゲブトコメツキ	<i>Aulonothroscus longulus</i>			○
1346					ミカドヒゲブトコメツキ	<i>Trixagus micado micado</i>			○
1347			ジョウカイボン		ウスイロクビボソジョウカイ	<i>Asiopodabrus temporalis</i>			○
1348					ホツカイジョウカイ	<i>Cantharis vulcana</i>			○
1349					ムネアカクロジョウカイ	<i>Lycocerus adusticollis</i>			○
1350					ウスチャジョウカイ	<i>Lycocerus insulsus insulsus</i>			○
1351					ジョウカイボン	<i>Lycocerus suturellus suturellus</i>			○
1352					マルムネジョウカイ	<i>Prothemus ciusianus</i>			○
1353	ヒガシマルムネジョウカイ	<i>Prothemus reini</i>					○		
1354	ホタル				オハボタル	<i>Lucidina biplagiata</i>			○
1355			ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>		○			
1356			ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>			○		
1357			ヒメボタル	<i>Luciola parvula</i>		○			
1358			クロマドボタル	<i>Pyrocoelia fumosa</i>			○		
1359	ベニボタル		クロハナボタル	<i>Plateros coracinus</i>			○		
1360	シバンムシ		オオナガシバンムシ	<i>Priobium cylindricum</i>			○		
1361	ジョウカイモドキ		クロキオビジョウカイモドキ	<i>Intybia nipponicus</i>			○		
1362			キアシオビジョウカイモドキ	<i>Intybia pellegrini pellegrini</i>			○		
1363			ツマキアオジョウカイモドキ	<i>Malachius prolongatus</i>			○		
1364	ヒゲボソケシキスイ		ウンランチビハナケシキスイ	<i>Brachypterolus pulicarius</i>			○		
1365			コクロチビハナケシキスイ	<i>Brachypterolus urticae</i>			○		
1366	テントウムシ		カメノコテントウ	<i>Aiolocaria hexaspilota</i>			○		

表 3.1-31(28) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2					
					1	2	3			
1367	コウチュウ	テントウムシ	ジュウクホシテントウ	<i>Anisosticta kobensis</i>			○			
1368			シロジュウシホシテントウ	<i>Calvia quatuordecimguttata</i>			○			
1369			ヒメアカホシテントウ	<i>Chilocorus kawanae</i>			○			
1370			ココノホシテントウ	<i>Coccinella explanata</i>			○			
1371			ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>			○			
1372			マクガタテントウ	<i>Coccinula crotchi</i>			○			
1373			トホシテントウ	<i>Epilachna admirabilis</i>			○			
1374			ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>			○			
1375			クリサキテントウ	<i>Harmonia yedoensis</i>			○			
1376			オオニジュウヤホシテントウ	<i>Henosepilachna vigintioctomaculata</i>			○			
1377			ジュウサンホシテントウ	<i>Hippodamia tredecimpunctata</i>			○			
1378			ツマフタホシテントウ	<i>Hyperaspis asiatica</i>			○			
1379			ムナグロチャイロテントウ	<i>Micraspis satoi</i>			○			
1380			ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>			○			
1381			コカメノコテントウ	<i>Propylea quatuordecimpunctata</i>			○			
1382			ハレヤヒメテントウ	<i>Sasajiscymnus hareja</i>			○			
1383			ババヒメテントウ	<i>Scymnus babai</i>			○			
1384			クロヘリヒメテントウ	<i>Scymnus hoffmanni</i>			○			
1385			カワムラヒメテントウ	<i>Scymnus kawamurai</i>			○			
1386			コクロヒメテントウ	<i>Scymnus posticalis</i>			○			
1387			クロツヤテントウ	<i>Serangium japonicum japonicum</i>			○			
1388			シロホシテントウ	<i>Vibidia duodecimguttata</i>			○			
1389			キスイムシ		ケナガセマルキスイ	<i>Atomaria horridula</i>			○	
1390					キイロセマルキスイ	<i>Atomaria lewisi</i>			○	
1391					ナガマルキスイ	<i>Atomaria punctatissima</i>			○	
1392					マルガタキスイ	<i>Curelius japonicus</i>			○	
1393					ガマキスイ	<i>Telmatophilus orientalis</i>			○	
-					キスイムシ科の一種		<i>Cryptophagidae</i> sp.			○
1394					ヒラタムシ	カドムネチビヒラタムシ	<i>Placonotus testaceus</i>			○
1395			テントウムシダマシ		ヨツボシテントウダマシ	<i>Ancylopus pictus asiaticus</i>			○	
1396	イカリモンテントウダマシ	<i>Mycetina ancoriger</i>					○			
1397	オオキノコムシ		ミヤマオビオオキノコムシ	<i>Episcapha gorhami</i>			○			
1398			ムナビロオオキスイ	<i>Helota fulviventris</i>			○			
1399			ヨツボシオオキスイ	<i>Helota gemmata</i>			○			
1400	コメツキモドキ	クロアシコメツキモドキ	<i>Languriomorpha nigratarsis</i>			○				
1401	ヒメマキムシ		ウスチャケシマキムシ	<i>Corticara gibbosa</i>			○			
1402			Stephostethus 属の一種	<i>Stephostethus</i> sp.			○			
1403	ネスイムシ	オバケデオネスイ	<i>Minemodes monstrosus</i>			○				
1404	ケシキスイ		クロモンムクゲケシキスイ	<i>Aethina flavicollis</i>			○			
1405			クロハナケシキスイ	<i>Carpophilus chalybeus</i>			○			
1406			クリイロデオキスイ	<i>Carpophilus marginellus</i>			○			
1407			ヒゲブトヒラタケシキスイ	<i>Epuraea aestiva</i>			○			
1408			モンチビヒラタケシキスイ	<i>Epuraea ocularis</i>			○			
1409			マメヒラタケシキスイ	<i>Epuraea paulula</i>			○			
1410			ナミヒラタケシキスイ	<i>Epuraea pellax</i>			○			
1411			ヨツボシケシキスイ	<i>Glischrochilus japonicus</i>			○			
1412			キベリチビケシキスイ	<i>Meligethes violaceus</i>			○			
1413			ニセキボシヒラタケシキスイ	<i>Omosita japonica</i>			○			
1414			ニセアカマダラケシキスイ	<i>Phenolia borealis</i>			○			
1415			カタベニデオキスイ	<i>Urophorus humeralis</i>			○			
1416			ヒメハナムシ		ベニモンアシナガヒメハナムシ	<i>Augasmus coronatus</i>			○	
1417					キイロアシナガヒメハナムシ	<i>Augasmus nipponicus</i>			○	
1418					トビイロヒメハナムシ	<i>Olibrus consanguineus</i>			○	

表 3.1-31 (29) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
1419	コウチュウ	ヒメハナムシ	アカボシチビヒメハナムシ	<i>Stilbus bipustulatus</i>			○		
-			Stilbus 属の一種	<i>Stilbus</i> sp.			○		
1420	ホソヒラタムシ	ミツモンセマルヒラタムシ	フタトゲホソヒラタムシ	<i>Psammoecus trimaculatus</i>			○		
1421			フタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus bidentatus</i>			○		
1422			ヒメフタトゲホソヒラタムシ	<i>Silvanus lewisi</i>			○		
1423	アリモドキ	キアシクビボソムシ		<i>Macratia japonica</i>			○		
1424			クロスジイッカク	<i>Notoxus haagi haagi</i>			○		
1425			クロモンイッカク	<i>Notoxus monoceros daimio</i>			○		
1426			ツノボソイッカク	<i>Mecynotarsus niponicus</i>			○		
1427	ツチハンミョウ	マメハンミョウ		<i>Epicauta gorhami</i>			○		
1428	コキノコムシ	チャイロコキノコムシ		<i>Typhaea stercorea</i>			○		
1429	カミキリモドキ	ハイイロカミキリモドキ		<i>Eobia cinereipennis cinereipennis</i>			○		
1430			キバネカミキリモドキ	<i>Nacerdes luteipennis</i>			○		
1431			モモトカミキリモドキ	<i>Oedemera lucidicollis</i>			○		
1432	アカハネムシ	アカハネムシ		<i>Pseudopyrochroa vestiflua</i>			○		
1433	ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ		<i>Anaspis marseuli</i>			○		
1434	ヒラタナガクチキムシ	ヒメコメツキガタナガクチキ		<i>Synchroa melanotoides</i>			○		
1435	ゴミムシダマシ	クロテントウゴミムシダマシ		<i>Ades convexus</i>			○		
1436			キイロテントウゴミムシダマシ	<i>Ades masidai</i>			○		
1437			ヨツボシゴミムシダマシ	<i>Basanus erotyloides</i>			○		
1438			ムネピロスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum japanum japanum</i>			○		
1439			カクスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum recticolle</i>			○		
1440			スジコガシラゴミムシダマシ	<i>Heterotarsus carinula</i>			○		
1441			テントウゴミムシダマシ	<i>Leiochrimus satsumae</i>			○		
1442			ヒゲトゴミムシダマシ	<i>Luprops orientalis</i>			○		
1443			ニホンキマワリ本土亜種	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus</i>			○		
1444			ホンドニジゴミムシダマシ	<i>Tetraphyllus paykullii</i>			○		
1445			ミツノゴミムシダマシ	<i>Toxicum tricornutum</i>			○		
1446			マルセルエグリゴミムシダマシ 本土亜種	<i>Uloma marseuli marseuli</i>			○		
1447			カミキリムシ	ビロウドカミキリ		<i>Acalolepta fraudatrix fraudatrix</i>			○
1448					ウスバカミキリ	<i>Aegosoma sinicum sinicum</i>			○
1449					ミチノクケマダラカミキリ	<i>Agapanthia daurica sakaii</i>			○
1450	アカジマトラカミキリ	<i>Anaglyptus bellus bellus</i>					○		
1451	ゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>					○		
1452	シロスジカミキリ	<i>Batocera lineolata</i>					○		
1453	ヒナルリハナカミキリ	<i>Dinoptera minuta</i>					○		
1454	ホソカミキリ	<i>Distenia gracilis gracilis</i>					○		
1455	ヌバタマハナカミキリ	<i>Judolidia bangi</i>			○				
1456	オニグルミノキモンカミキリ	<i>Menesia flavotecta</i>					○		
1457	カタシロゴマフカミキリ	<i>Mesosa hirsuta hirsuta</i>					○		
1458	ゴマフカミキリ	<i>Mesosa japonica</i>					○		
1459	ヒシカミキリ	<i>Microlera ptinoides</i>					○		
1460	ヒゲジロホソコバナカミキリ	<i>Necydalis odai</i>					○		
1461	ヘリグロリンゴカミキリ	<i>Nupserha marginella</i>					○		
1462	セスジヒメハナカミキリ	<i>Pidonia amentata amentata</i>					○		
1463	キタセスジヒメハナカミキリ	<i>Pidonia kurosawai</i>					○		
1464	ホンドアカガネカミキリ	<i>Plectrura metalica yoshihiroii</i>					○		
1465	ノコギリカミキリ	<i>Prionus insularis insularis</i>					○		
1466	マルモンサビカミキリ	<i>Pterolophia angusta</i>					○		
1467	アトジロサビカミキリ	<i>Pterolophia zonata</i>					○		
1468	セミスジコブヒゲカミキリ	<i>Rhodopina lewisii lewisii</i>			○				
1469	クロカミキリ	<i>Spondylis buprestoides</i>			○				
1470	ヨツボシカミキリ	<i>Stenygrinum quadrinotatum</i>			○				

表 3.1-31(30) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1471	コウチュウ	ハムシ	アカガネサルハムシ	<i>Acrothinium gaschkevitchii gaschkevitchii</i>			○
1472			ハンノキハムシ	<i>Agelastica coerulea</i>			○
1473			カミナリハムシ	<i>Altica aenea</i>			○
1474			スジカミナリハムシ本州以南亜種	<i>Altica latericosta subcostata</i>			○
-			Altica 属の一種	<i>Altica</i> sp.			○
1475			ツブノミハムシ	<i>Aphthona perminuta</i>			○
1476			ムナグロツヤハムシ	<i>Arthrotus niger</i>			○
1477			ジンガサハムシ	<i>Aspidomorpha indica</i>			○
1478			ウリハムシモドキ	<i>Atrachya menetriesi</i>			○
1479			クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>			○
1480			アオバネサルハムシ	<i>Basilepta fulvipes</i>			○
1481			ソラマメゾウムシ	<i>Bruchus rufimanus</i>			○
1482			セモンジンガサハムシ	<i>Cassida crucifera</i>			○
1483			ベニカメノコハムシ	<i>Cassida murraea</i>		○	
1484			フタイロヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema bicolorata</i>			○
1485			ヒメドウガネトビハムシ	<i>Chaetocnema concinnicollis</i>			○
1486			ヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema ingenua</i>			○
1487			テンサイトビハムシ	<i>Chaetocnema picipes</i>			○
1488			ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>			○
1489			ハッカハムシ	<i>Chrysolina exanthematica</i>			○
1490			ミドリトビハムシ	<i>Crepidodera japonica</i>			○
1491			スズキミドリトビハムシ	<i>Crepidodera sahalinensis</i>			○
1492			バラルリツツハムシ	<i>Cryptocephalus approximatus</i>			○
1493			タテスジキツツハムシ	<i>Cryptocephalus nigrofasciatus</i>			○
1494			ホソネクイハムシ	<i>Donacia vulgaris</i>			○
1495			クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>			○
1496			イタドリハムシ	<i>Gallerucida bifasciata</i>			○
1497			クルミハムシ	<i>Gastrolina depressa</i>			○
1498			コガタルリハムシ	<i>Gastrophysa atrocyanea</i>			○
1499			ドウガネサルハムシ	<i>Heteraspis lewisii</i>			○
1500			クロトゲハムシ	<i>Hispellinus moerens</i>			○
1501			トゲアシクビボソハムシ	<i>Lema coronata</i>			○
1502			アカクビボソハムシ	<i>Lema diversa</i>			○
1503			クワノミハムシ	<i>Luperomorpha funesta</i>			○
1504			コフキケブカサルハムシ	<i>Lypsthes ater</i>			○
1505			フタスジヒメハムシ	<i>Medythia nigrobilineata</i>			○
1506			ホタルハムシ	<i>Monolepta dichroa</i>			○
1507			キイロクワハムシ	<i>Monolepta pallidula</i>			○
1508			セダカカクムネトビハムシ	<i>Neocrepidodera gruevi</i>			○
1509			カクムネトビハムシ	<i>Neocrepidodera laevicollis</i>			○
1510			オオキイロノミハムシ	<i>Neocrepidodera obscuritarsis</i>			○
1511			ルリマルノミハムシ	<i>Nonarthra cyanea</i>			○
1512			ブタクサハムシ	<i>Ophraella communis</i>			○
1513			イネクビボソハムシ	<i>Oulema oryzae</i>			○
1514			マルキバネサルハムシ	<i>Pagria ussuriensis</i>			○
1515			ヨツボシハムシ	<i>Paridea quadriplagiata</i>			○
1516			タマアシトビハムシ	<i>Philopona vibex</i>			○
1517			ヤマナラシハムシ	<i>Phratora laticollis</i>			○
1518			キスジノミハムシ	<i>Phyllotreta striolata</i>			○
1519			ヤナギルリハムシ	<i>Plagiodera versicolora</i>			○
1520			キヌツヤミズクサハムシ	<i>Plateumaris sericea</i>			○
1521			ナトビハムシ	<i>Psylliodes punctifrons</i>			○
1522			ダイコンナガスネトビハムシ	<i>Psylliodes subrugosa</i>			○

表 3.1-31 (31) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1523	コウチュウ	ハムシ	クロルリトゲハムシ	<i>Rhadinosa nigrocyanea</i>			○
1524			ムナキルリハムシ	<i>Smaragdina semiaurantiaca</i>			○
1525			ツマキタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma apicale</i>			○
1526			アラハダトビハムシ	<i>Trachyaphthona lewisi</i>			○
1527			ワモンナガハムシ	<i>Zeugophora annulata</i>			○
1528		ヒゲナガゾウムシ	キノコヒゲナガゾウムシ	<i>Euparius oculatus oculatus</i>			○
1529			クロフヒゲナガゾウムシ	<i>Tropideres roelofsi</i>			○
1530		ホソクチゾウムシ	アカクチホソクチゾウムシ	<i>Microconapion pallidirostre</i>			○
1531			アザミホソクチゾウムシ	<i>Piezotrachelus japonicus</i>			○
1532		オトシブミ	セアカヒメオトシブミ	<i>Apoderus geminus</i>			○
1533	クロケシツブチョッキリ		<i>Auletobius uniformis</i>			○	
1534	オオメイクビチョッキリ		<i>Deporaus hartmanni</i>			○	
1535	カシルリオトシブミ		<i>Euops splendidus</i>			○	
1536	ゾウムシ	イチゴハナゾウムシ	<i>Anthonomus bisignifer</i>			○	
1537		ユアサハナゾウムシ	<i>Anthonomus yuasai</i>			○	
1538		マダラヒメゾウムシ	<i>Baris scolopacea</i>			○	
1539		メナガクチブトゾウムシ	<i>Calomycterus setarius</i>			○	
1540		ダイコンサルゾウムシ	<i>Ceutorhynchus albosuturalis</i>			○	
1541		オオアオゾウムシ	<i>Chlorophanus grandis</i>			○	
1542		ヤナギシリジロゾウムシ	<i>Cryptorhynchus lapathi</i>			○	
1543		クリシギゾウムシ	<i>Curculio sikkimensis</i>			○	
1544		ミドリクチブトゾウムシ	<i>Cyphicerus viridulus</i>			○	
1545		オオタコゾウムシ	<i>Donus punctatus</i>			○	
1546		ヤナギイネゾウモドキ	<i>Dorytomus rectinatus</i>			○	
1547		アカイネゾウモドキ	<i>Dorytomus roelofsi</i>			○	
1548		コフキゾウムシ	<i>Eugnathus distinctus</i>			○	
1549		タデトゲサルゾウムシ	<i>Homorosoma asperum</i>			○	
1550		ツメクサタコゾウムシ	<i>Hypera nigrirostris</i>			○	
1551		オオゴボウゾウムシ	<i>Larinus meleagris</i>			○	
1552		ハスジカツオゾウムシ	<i>Lixus acutipennis</i>			○	
1553		カツオゾウムシ	<i>Lixus impressiventris</i>			○	
1554		アイノカツオゾウムシ	<i>Lixus maculatus</i>			○	
1555		ホホジロアシナガゾウムシ	<i>Merus erro</i>			○	
1556		クワヒメゾウムシ	<i>Moreobaris deplanata</i>			○	
1557		チビヒョウタンゾウムシ	<i>Myosides seriehispidus</i>			○	
1558		カシワクチブトゾウムシ	<i>Nothomylocerus griseus</i>			○	
1559		クチブトヒゲボソゾウムシ	<i>Ophryophyllobius polydrusoides</i>			○	
1560		カシワノミゾウムシ	<i>Orchestes japonicus</i>			○	
1561		ケブカトゲアシヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius armatus</i>			○	
1562		リンゴヒゲボソゾウムシ	<i>Phyllobius prolongatus</i>			○	
1563		アカアシクチブトサルゾウムシ	<i>Rhinoncus cribricollis</i>			○	
1564		Rhynchaenus 属の一種	<i>Rhynchaenus</i> sp.			○	
1565		ケチビコフキゾウムシ	<i>Sitona hispidulus</i>			○	
1566		チビコフキゾウムシ	<i>Sitona japonicus</i>			○	
-			Sitona 属の一種	<i>Sitona</i> sp.			○
1567		キタノミゾウムシ	<i>Tachyerges awomoriensis</i>			○	
1568		Trachyphilus 属の一種	<i>Trachyphilus</i> sp.			○	
1569		ギンスジゾウムシ	<i>Tychius albolineatus</i>			○	
1570		オオギンスジゾウムシ	<i>Tychius iwataensis</i>			○	
1571		イネゾウムシ	イネミズゾウムシ	<i>Lissorhoptus oryzophilus</i>			○
1572			クロイネゾウモドキ	<i>Notaris oryzae</i>			○
1573			ウキクサミズゾウムシ	<i>Tanysphyrus brevipennis</i>			○
1574			オオミズゾウムシ	<i>Tanysphyrus major</i>			○

表 3.1-31 (32) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
1575	コウチュウ	チビゾウムシ	ヒシチビゾウムシ	<i>Nanophyes japonicus</i>			○	
-		-	コウチュウ目 (鞘翅目) の数種	<i>Coleoptera</i> spp.			○	
1576	ハチ	ハバチ	カラフトホソハバチ	<i>Allantus calliblepharus</i>			○	
1577			ハグロハバチ	<i>Allantus luctifer</i>			○	
1578			メスグロシダハバチ	<i>Alphastromboceros konowi</i>			○	
1579			セグロカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i>			○	
1580			ニホンカブラハバチ	<i>Athalia japonica</i>			○	
1581			カブラハバチ	<i>Athalia rosae ruficornis</i>			○	
1582			フトコシジロハバチ	<i>Corymbas nipponica</i>			○	
1583			オスグロハバチ	<i>Dolerus japonicus</i>			○	
-				Dolerus 属の数種	<i>Dolerus</i> spp.			○
1584			クロハバチ	<i>Macrophya coxalis</i>			○	
1585			モリオコハバチ	<i>Nesoselandria morio</i>			○	
1586			Pachyprotasis 属の一種	<i>Pachyprotasis</i> sp.			○	
1587			セマダラハバチ	<i>Rhogogaster nigriventris</i>			○	
1588			オオコシアカハバチ	<i>Siobla ferox</i>			○	
1589			ミノオクロハバチ	<i>Taxonus minomensis</i>			○	
-				ハバチ科の数種	<i>Tenthredinidae</i> spp.			○
1590			ヒメバチ	Apanteles 属の数種	<i>Apanteles</i> spp.			○
1591				ハラアカアブヒメバチ	<i>Diplazon laetatorius</i>			○
1592				Netelia 属の一種	<i>Netelia</i> sp.			○
1593				アメバチ亜科の一種	<i>Ophioninae Shuckard</i> sp.			○
1594				キバラアメバチ亜科の数種	<i>Cremastinae</i> spp.			○
1595				タカオウスグロアメバチ	<i>Ophion takaozanus</i>			○
1596				チビアメバチ亜科の数種	<i>Campopleginae</i>			○
1597				トガリヒメバチ亜科の数種	<i>Cryptinae Kirby</i> spp.			○
1598				ヒメバチ亜科の数種	<i>Ichneumoninae</i> spp.			○
1599				ヒラタアブヤドリヒメバチ亜科の数種	<i>Diplazontinae Viereck</i> spp.			○
1600				ヒラタヒメバチ亜科の数種	<i>Pimplinae Wesmael</i> spp.			○
1601				ベッコウアメバチモドキ	<i>Opheltes glaucopterus apicalis</i>			○
1602	ホシクロトガリヒメバチ	<i>Nippocryptus vittatorius</i>				○		
1603	マダラヒメバチ	<i>Pterocormus generosus</i>				○		
1604	ヨトウアメバチモドキ	<i>Netelia ocellaris</i>				○		
1605	アシトコバチ	コマユバチ亜科の数種		<i>Chalcididae</i> spp.			○	
1606		ハエヤドリコマユバチ亜科の数種	<i>Braconidae</i> spp.			○		
1607	ナガコバチ	ナガコバチ科の数種	<i>Eupelmidae</i> spp.			○		
1608	アリ	アシナガアリ	<i>Aphaenogaster famelica</i>			○		
1609		クロオオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>			○		
1610		ケブカツヤオオアリ	<i>Camponotus nipponensis</i>			○		
1611		ムネアカオオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i>			○		
1612		テラニシシリアゲアリ	<i>Crematogaster teranishii</i>			○		
1613		シベリアカタアリ	<i>Dolichoderus sibiricus</i>			○		
1614		ハヤシクロヤマアリ	<i>Formica hayashi</i>			○		
1615		クロヤマアリ	<i>Formica japonica (s. l.)</i>			○		
1616		キイロケアリ	<i>Lasius flavus</i>			○		
1617		クロクサアリ	<i>Lasius fuji (s. l.)</i>			○		
1618		トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>			○		
1619		ヒゲナガケアリ	<i>Lasius productus</i>			○		
1620		カワラケアリ	<i>Lasius sakagami</i>			○		
1621		ヒラアシクサアリ	<i>Lasius spathepus</i>			○		
1622		アメイロケアリ	<i>Lasius umbratus</i>			○		
-		Lasius 属の数種	<i>Lasius</i> spp.			○		
1623		イエヒメアリ	<i>Monomorium pharaonis</i>			○		

表 3.1-31(33) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
1624	ハチ	アリ	カドフシアリ	<i>Myrmecina nipponica</i>			○	
1625			エゾクシケアリ	<i>Myrmica jessensis</i>			○	
1626			アメイロアリ	<i>Nylanderia flavipes</i>			○	
1627			サクラアリ	<i>Paraparatrechina sakurae</i>			○	
1628			アズマオオズアリ	<i>Pheidole fervida</i>			○	
1629			サムライアリ	<i>Polyergus samurai</i>			○	
1630			ヒメハリアリ	<i>Ponera japonica</i>			○	
1631			アミメアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>			○	
1632			ムネボソアリ	<i>Temnothorax congruus</i>			○	
1633			ハリナガムネボソアリ	<i>Temnothorax spinosior</i>			○	
1634			トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>			○	
1635			ウメマツアリ	<i>Vollenhovia emeryi</i>			○	
1636			シワクシケアリ	<i>Myrmica kotokui</i>			○	
1637			スズメバチ	アトボシキタドロバチ	<i>Allodynerus delphinalis delphinalis</i>			○
1638				オオフタオビドロバチ本土亜種	<i>Anterhynchium flavomarginatum micado</i>			○
1639				ミカドトックリバチ	<i>Eumenes micado</i>			○
1640	キアシトックリバチ	<i>Eumenes rubrofemoratus</i>				○		
1641	エントツドロバチ	<i>Orancistrocerus drewseni</i>				○		
1642	スズバチ	<i>Oreumenes decoratus</i>				○		
1643	ムモンホソアシナガバチ	<i>Parapolybia crocea</i>				○		
1644	フタモンアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes chinensis antennalis</i>				○		
1645	コアシナガバチ	<i>Polistes snelleni</i>				○		
1646	フトカギチビドロバチ	<i>Stenodynerus clypeopictus</i>				○		
1647	キオビチビドロバチ	<i>Stenodynerus frauenfeldi</i>				○		
1648	コガタスズメバチ	<i>Vespa analis</i>				○		
1649	モンズズメバチ	<i>Vespa crabro</i>				○		
1650	ヒメズズメバチ	<i>Vespa ducalis</i>				○		
1651	オオズズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>				○		
1652	キイロスズメバチ	<i>Vespa simillima</i>				○		
1653	クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps</i>				○		
1654	クモバチ	オオモンクロクモバチ		<i>Anoplius samariensis</i>			○	
1655		Dipogon 属の一種		<i>Dipogon</i> sp.			○	
1656		トゲアシオクモバチ		<i>Priocnemis irritabilis</i>			○	
1657	アリバチ	フタホシアリバチ	<i>Neotrogaspidia pustulata</i>			○		
1658		ヤマトアリバチモドキ	<i>Taimyrmosa nigrofasciata</i>			○		
1659	コツチバチ	マメコツチバチ	<i>Tiphia isolata</i>			○		
1660		ヤマコツチバチ	<i>Tiphia magnoliae</i>			○		
1661	ツチバチ	オオハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris grossa matsumurai</i>			○		
1662		コモンツチバチ	<i>Scolia decorata ventralis</i>			○		
1663	ギングチバチ	シロスジギングチ	<i>Ectemnius iridifrons</i>			○		
1664		ヒメコオロギバチ本土亜種	<i>Liris festinans japonicus</i>			○		
1665		ヤマトトゲアナバチ	<i>Oxybelus strandi</i>			○		
1666	アリマキバチ	カオキンヨコバイバチ	<i>Psen aurifrons</i>			○		
1667	アナバチ	クロアナバチ	<i>Isodontia nigella</i>			○		
1668	ヒメハナバチ	エサキヒメハナバチ	<i>Andrena esakii</i>			○		
1669		ヤヨイヒメハナバチ	<i>Andrena hebes</i>			○		
1670		キバナヒメハナバチ	<i>Andrena knuthi</i>			○		
1671		ヤマトヒメハナバチ	<i>Andrena yamato</i>			○		
1672	ミツバチ	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>			○		
1673		セイヨウミツバチ	<i>Apis mellifera</i>			○		
1674		トラマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>			○		
1675		クロマルハナバチ	<i>Bombus ignitus</i>			○		
1676		セイヨウオオマルハナバチ	<i>Bombus terrestris</i>			○		

表 3.1-31 (34) 文献調査における昆虫類生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
1677	ハチ	ミツバチ	キオビツヤハナバチ	<i>Ceratina flavipes</i>			○	
1678			クロツヤハナバチ	<i>Ceratina megastigmata</i>			○	
1679			ニッポンヒゲナガハナバチ	<i>Eucera nipponensis</i>			○	
1680			シロスジヒゲナガハナバチ	<i>Eucera spurcatipes</i>			○	
1681			ニッポンキマダラハナバチ	<i>Nomada nipponica</i>			○	
1682			キムネクマバチ	<i>Xylocopa appendiculata circumvolans</i>			○	
1683		ムカシハナバチ	ニッポンメンハナバチ	<i>Hylaeus transversalis</i>			○	
1684		コハナバチ	アカガネコハナバチ	<i>Halictus aerarius</i>			○	
1685			アトジマコハナバチ	<i>Halictus tsingtuensis</i>			○	
1686			ズマルコハナバチ	<i>Lasioglossum affine</i>			○	
1687			サビイロカタコハナバチ	<i>Lasioglossum mutilum</i>			○	
1688			ニッポンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum nipponicola</i>			○	
1689			ズマルツヤコハナバチ	<i>Lasioglossum proximatium</i>			○	
1690			フタモンカタコハナバチ	<i>Lasioglossum scitulum</i>			○	
1691			ヒラタチビコハナバチ	<i>Lasioglossum taeniolellum</i>			○	
1692			ミズホヤドリコハナバチ	<i>Sphecodes scabricollis</i>			○	
1693			ツヤハラナガコハナバチ	<i>Lasioglossum laeiventre</i>			○	
1694			ハキリバチ	バラハキリバチ本土亜種	<i>Megachile nipponica nipponica</i>			○
1695				ツルガハキリバチ	<i>Megachile tsurugensis</i>			○
1696			アメバチ	Enicospilus 属の数種	<i>Enicospilus</i> spp.			○
1697	オナゴコバチ		オナゴコバチ科の数種	<i>orymidae</i> spp.			○	
1698	コマユイバチ	カモドキバチ亜科の数種	<i>Rogadinae</i> spp.			○		
1699	コガネコバチ	コガネコバチ科の数種	<i>Pteromalidae</i> spp.			○		
1700	バッコウバチ	シラキトゲアシバッコウ	<i>Calicurgus shirakii Yasumatsu</i>			○		
1701	シリボソクロバチ	シリボソクロバチ科の数種	<i>Proctotrupidae</i> spp.			○		
1702	タマゴクロバチ	タマゴクロバチ科の数種	<i>Scelionidae</i> spp.			○		
1703	コマユバチ	ツヤコマユバチ亜科の数種	<i>OPIINAE Blanchard</i> spp.			○		
1704	ツヤヤドリタマバチ	ツヤヤドリタマバチ科の数種	<i>Eucoilidae</i> spp.			○		
合計	15 目	237 科	1,704 種		146 種	67 種	1,579 種	

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(令和2年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである。

1 : 「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成14年、環境省)

2 : 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014年版)」(2014年3月、岩手県環境生活部自然保護課)

3 : 「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」(国土交通省水情報国土データ管理センター)

注1) 文献資料の○は、同一の分類群に属する種などが確認されていれば、計上しない。



② 文献調査における重要な昆虫類

文献調査によって確認された昆虫類のうち重要な種は、表 3.1-32 に示す 8 目 41 科 96 種である。

表 3.1-32(1) 文献調査で確認された重要な昆虫類一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	選定基準 <sup>*2</sup>					
				I	II	III	IV	V	
1	トンボ	イトトンボ	ヒヌマイトトンボ				EN		
2			モートンイトトンボ				NT	D	
3		カワトンボ	アオハダトンボ				NT		
4			ヤンマ	マルタンヤンマ					D
5				カトリヤンマ					A
6		サラサヤンマ						D	
7		サナエトンボ	ヤマサナエ					D	
8			アオサナエ					D	
9			ホンサナエ					C	
10			オジロサナエ					D	
11		ムカシヤンマ	ムカシヤンマ					C	
12		エゾトンボ	トラフトンボ					D	
13			タカネトンボ				VU	B	
14		トンボ	ハッチョウトンボ					D	
15			キトンボ					C	
16			オオキトンボ				EN	A	
17	カマキリ	カマキリ	ウスバカマキリ				DD		
18	バッタ	マツムシ	スズムシ					A	
19		バッタ	ヤマトマダラバッタ					B	
20			カワラバッタ					D	
21			イボバッタ					DD	
22	カメムシ	セミ	ハルゼミ					DD	
23		サシガメ	ゴミアシナガサシガメ				VU	D	
24		ツノカメムシ	オオツノカメムシ					C	
25		ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ				NT	D	
26		ミズムシ	ミズムシ					C	
27			ミズムシ科					C	
28		コオイムシ	コオイムシ				NT		
29			タガメ		国内		VU	B	
30	アミメカゲロウ	ツノトンボ	キバネツノトンボ					A	
31	チョウ	マダラガ	ホタルガ					D	
32		セセリチョウ	ホシチャバネセセリ				EN	B	
33			ギンイチモンジセセリ				NT	D	
34			ミヤマチャバネセセリ					C	
35			チャマダラセセリ				EN	A	
36			スジグロチャバネセセリ北海道・本州・九州亜種					NT	
37			シジミチョウ	ハヤシミドリシジミ					C
38		クロミドリシジミ						C	
39		ヒメシジミ本州・九州亜種						NT	C
40		ミヤマシジミ					EN		
41		ヤマトシジミ本土亜種				NT			
42	タテハチョウ	コムラサキ						DD	
43		ウラギンスジヒョウモン					VU		
44		ゴマダラチョウ本土亜種						D	
45		コジャノメ						D	
46		オオムラサキ					NT	C	
47	アゲハチョウ	アオスジアゲハ						D	

表 3.1-32(2) 文献調査で確認された重要な昆虫類一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	選定基準 <sup>*2</sup>					
				I	II	III	IV	V	
48	チョウ	アゲハチョウ	ヒメギフチョウ本州亜種				NT	C	
49		シロチョウ	ヤマキチョウ				EN	A	
50			ヒメシロチョウ北海道・本州亜種				EN	C	
51		ツトガ	モリオカツトガ				NT	D	
52			ミドロミズメイガ					C	
53		シャクガ	トラフツバメエダシャク					D	
54		シャチホコガ	タカオシャチホコ					D	
55		ヤガ	タンボキンウワバ						D
56			ガマヨトウ				VU	D	
57			ケンモンキシタバ					D	
58			ミヤマキシタバ				NT	D	
59			カギモンハナオヘアツバ				NT		
60			ミツモンケンモン				EN	A	
61			ハイイロヨトウ					D	
62			クロヨトウ					D	
63			マガリスジコヤガ				VU		
64			コブガ	ナンキンキノカワガ					D
65			コウチュウ	オサムシ	アオカタビロオサムシ				
66		アカガネオサムシ本州亜種						VU	C
67		セアカオサムシ						NT	
68		クビナガキベリアオゴミムシ						DD	
69		チビアオゴミムシ						EN	
70		ハンミョウ		カワラハンミョウ				EN	A
71		ゲンゴロウ		メススジゲンゴロウ					D
72	ゲンゴロウ						VU	C	
73	マルコガタノゲンゴロウ				国内		CR	A	
74	マルガタゲンゴロウ						VU		
75	シャープツブゲンゴロウ						NT		
76	ガムシ	コガムシ					DD		
77		ガムシ					NT		
78		シジミガムシ					EN		
79	クワガタムシ	オオクワガタ					VU	C	
80	コガネムシ	ヒメキイロマグソコガネ					NT	DD	
81		ダイコクコガネ					VU	B	
82		コカブトムシ						D	
83		シナノエンマコガネ						C	
84		オオチャイロハナムグリ					NT	D	
85	コメツキムシ	イワテヒサゴコメツキ						D	
86	ホタル	ゲンジボタル						D	
87		ヒメボタル						D	
88	カミキリムシ	ミチノクケマダラカミキリ					VU	C	
89		アカジマトラカミキリ						D	
90		ヒゲジロホソコバネカミキリ						D	
91		ホンドアカガネカミキリ						D	
92		ヨツボシカミキリ					EN	C	
93	ハムシ	ベニカメノコハムシ						D	
94	ハチ	アリ	ケブカツヤオオアリ				DD		
95		スズメバチ	モンズズメバチ				DD		
96		ミツバチ	クロマルハナバチ				NT		
合計	8目	41科	96種	0種	0種	0種	49種	75種	

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(令和2年、国土交通省水情報国土地データ管理センター)に準拠した。種まで同定されていなくても、同一の分類群に属する種などが確認されていなければ、1種として計上した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-22 に示したとおりである。

注1) 文献資料の○は、同一の分類群に属する種などが確認されていれば、計上しない。

## (6) 底生動物

## ① 文献調査における底生動物

対象事業実施区域及びその周囲では、表 3.1-33 に示す 24 目 96 科 270 種の底生動物が確認されている。

表 3.1-33(1) 文献調査における底生動物生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
1	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	ナミウズムシ	<i>Dugesia japonica</i>			○	
2			アメリカナミウズムシ	<i>Girardia tigrina</i>			○	
-			三岐腸目	<i>Tricladida</i>				○
3	ハリヒモムシ	マミズヒモムシ	ミミズヒモムシ属の一種	<i>Prostoma</i> sp.			○	
-			紐形動物門	NEMERTINEA			○	
4			線形動物門の一種	NEMATODA				○
5	新生腹足	カワニナ	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	○	○		
6	汎有肺	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ	<i>Fossaria ollula</i>			○	
7			コシダカヒメモノアラガイ	<i>Fossaria truncatula</i>				○
8		サカマキガイ	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>				○
9		ヒラマキガイ	ヒダリマキモノアラガイ	<i>Culmenella prashadi</i>			○	
-			ヒラマキガイ科	Planorbidae gen.				○
10		カワコザラガイ	カワコザラガイ	<i>Laevapex nipponica</i>				○
11		ナメクジ	ナメクジ	<i>Eghimatium bilineatum</i>				○
12	イシガイ	イシガイ	カラスガイ	<i>Cristaria plicata</i>			○	
13			イシガイ	<i>Nodularia douglasiae nipponensis</i>			○	
14			マツカサガイ	<i>Pronodularia japonensis</i>			○	
15			ヌマガイ	<i>Sinanodonta woodiana lauta</i>			○	
16	マルスダレガイ	シジミ	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>			○	
17			マシジミ	<i>Corbicula leana</i>			○	
-			シジミ属の一種	<i>Corbicula</i> sp.				○
18		マメシジミ	マメシジミ	<i>Pisidium japonicum</i>			○	
-			マメシジミ属の一種	<i>Pisidium</i> sp.				○
19	オヨギミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ科	<i>Styloscolex</i> gen.			○	
-			オヨギミミズ科の一種	<i>Styloscolex</i> gen. sp.				○
20	イトミミズ	ヒメミミズ	ヒメミミズ科	<i>Enchytraeidae</i> gen.			○	
21		ミズミミズ	エラミミズ	<i>Branchiura sowerbyi</i>			○	
22			Peloscolex 属の一種	<i>Peloscolex</i> sp.				○
23			モトムラユリミミズ	<i>Limnodrilus claparedianus</i>				○
24			ユリミミズ	<i>Limnodrilus hoffmeisteri</i>				○
-			Limnodrilus 属の一種	<i>Limnodrilus</i> sp.				○
25			ミズミミズ属の一種	<i>Nais</i> sp.				○
26			クロオビミズミミズ	<i>Ophidonais serpentina</i>				○
-			Ophidonais 属の一種	<i>Ophidonais</i> sp.				○
27			ヨゴレミズミミズ	<i>Slavina appendiculata</i>				○
28			Stylaria 属の一種	<i>Stylaria</i> sp.				○
29			イトミミズ	<i>Tubifex tubifex</i>				○
-			ミズミミズ科	<i>Tubifex</i> gen.				○
-			ミズミミズ科の数種	<i>Tubifex</i> spp.				○
-			ミズミミズ科	<i>Naididae</i> gen.				○
-	ミズミミズ科	<i>Naididae</i> gen. spp.				○		
30	ツリミミズ	ツリミミズ	ツリミミズ科	<i>Lumbricidae</i> gen.			○	
-			ツリミミズ科の一種	<i>Lumbricidae</i> gen. sp.				○
31	フトミミズ	フトミミズ科	<i>Megascolecidae</i> gen.				○	
32	吻蛭	ヒラタビル	ヌマビル	<i>Helobdella stagnalis</i>			○	

表 3.1-33(2) 文献調査における底生動物生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
33	吻蛭	ヒラタビル	ヒラタビル科	<i>Glossiphoniidae</i> gen.			○
-			ヒラタビル科の一種	<i>Glossiphoniidae</i> gen. sp.			○
34	吻無蛭	イシビル	シマイシビル	<i>Dina lineata</i>			○
-			イシビル科	<i>Trochata</i> gen.			○
-			イシビル科の一種	<i>Trochata</i> gen. sp.			○
35		ナガレビル	ナガレビル科	<i>Salifidae</i> gen.			○
36	ヨコエビ	ハマトビムシ	ニホンオカトビムシ	<i>Platorchestia japonica</i>			○
-			Platorchestia 属の一種	<i>Platorchestia</i> sp.			○
37		マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ	<i>Crangonyx floridanus</i>			○
38		キタヨコエビ	オオエゾヨコエビ	<i>Jesogammarus jesoensis</i>			○
-			オオエゾヨコエビ属の一種	<i>Jesogammarus</i> sp.			○
39		ヨコエビ	ニッポンヨコエビ	<i>Gammarus nipponensis</i>			○
40	ワラジムシ	ミズムシ (甲)	ミズムシ (甲)	<i>Asellus hilgendorfi hilgendorfi</i>			○
-			ミズムシ科 (甲)	<i>Asellidae</i> gen.			○
41	エビ	ヌマエビ	カワリヌマエビ属の一種	<i>Neocaridina</i> sp.			○
42			ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>			○
43		テナガエビ	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>			○
44		アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>			○
45		モクズガニ	モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>			○
46	カゲロウ	トビイロカゲロウ	ヒメトビイロカゲロウ	<i>Choroterpes altioculus</i>			○
47			Paraleptophlebia sp. na	<i>Paraleptophlebia</i> sp.			○
48			トビイロカゲロウ属の一種	<i>Thraulius</i> sp.			○
49		カワカゲロウ	キロカワカゲロウ	<i>Potamanthus formosus</i>			○
50		モンカゲロウ	トウヨウモンカゲロウ	<i>Ephemera orientalis</i>			○
51			モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>			○
52		シロイロカゲロウ	オオシロカゲロウ	<i>Ephoron shigae</i>			○
53		ヒメシロカゲロウ	Caenis 属の一種	<i>Caenis</i> sp.			○
54		マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ	<i>Cincticostella elongatula</i>			○
55			クロマダラカゲロウ	<i>Cincticostella nigra</i>			○
56			オオマダラカゲロウ	<i>Drunella basalis</i>			○
57			ヨシノマダラカゲロウ	<i>Drunella ishiyamana</i>			○
-			トゲマダラカゲロウ属の一種	<i>Drunella</i> sp.			○
58			シリナガマダラカゲロウ	<i>Ephacrerella longicaudata</i>			○
59			イシワタマダラカゲロウ	<i>Ephemerella ishiwatai</i>			○
60			イマニシマダラカゲロウ	<i>Ephemerella occiprens</i>			○
61			クシゲマダラカゲロウ	<i>Ephemerella setigera</i>			○
-			マダラカゲロウ属の一種	<i>Ephemerella</i> sp.			○
62			アカマダラカゲロウ	<i>Teleganopsis punctisetae</i>			○
63			エラブタマダラカゲロウ	<i>Torleya japonica</i>			○
64		ヒメフタオカゲロウ	マエグロヒメフタオカゲロウ	<i>Ameletus costalis</i>			○
65			ヒメフタオカゲロウ	<i>Ameletus montanus montanus</i>			○
-			ヒメフタオカゲロウ属の一種	<i>Ameletus</i> sp.			○
66		コカゲロウ	ミツオミジカオフタバコカゲロウ	<i>Acentrella gnom</i>			○
67			ミジカオフタバコカゲロウ	<i>Acentrella sibirica</i>			○
-			ミジカオフタバコカゲロウ属の一種	<i>Acentrella</i> sp.			○
68			フローレンスコカゲロウ	<i>Alainites florens</i>			○
69			ヨシノコカゲロウ	<i>Alainites yoshinensis</i>			○
70			フタバコカゲロウ	<i>Baetiella japonica</i>			○
71			サホコカゲロウ	<i>Baetis sahoensis</i>			○
72			フタモンコカゲロウ	<i>Baetis taiwanensis</i>			○
73			シロハラコカゲロウ	<i>Baetis thermicus</i>			○
74			Jコカゲロウ	<i>Baetis</i> sp. J			○
-			コカゲロウ属の一種	<i>Baetis</i> sp.			○

表 3.1-33(3) 文献調査における底生動物生息種一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	学名	文献資料 <sup>*2</sup>				
					1	2	3		
75	カゲロウ	コカゲロウ	フタバカゲロウ属の一種	<i>Cloeon</i> sp.			○		
76			ウスイロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis atrebatinus orientalis</i>			○		
77			クロフトヒゲコカゲロウ	<i>Labiobaetis tricolor</i>			○		
78			トゲエラトビイロコカゲロウ	<i>Nigrobaetis acinaciger</i>			○		
79			トビイロコカゲロウ	<i>Nigrobaetis chocoratus</i>			○		
80			Dコカゲロウ	<i>Nigrobaetis</i> sp. D			○		
81			ヒメウスバコカゲロウ属の一種	<i>Procloeon</i> sp.			○		
82			ウデマガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis flexifemora</i>			○		
83			コバネヒゲトガリコカゲロウ	<i>Tenuibaetis parvipterus</i>			○		
-				コカゲロウ科	<i>Baetidae</i> gen.			○	
84			チラカゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonychia valida</i>			○	
85			ヒラタカゲロウ		ミヤマタニガワカゲロウ	<i>Cinygmula hirasana</i>			○
-					ミヤマタニガワカゲロウ属の一種	<i>Cinygmula</i> sp.			○
86					キブネタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus kibunensis</i>			○
87					シロタニガワカゲロウ	<i>Ecdyonurus yoshidae</i>			○
-	タニガワカゲロウ属の一種	<i>Ecdyonurus</i> sp.					○		
88	キイロヒラタカゲロウ	<i>Epeorus aesculus</i>					○		
89	ウエノヒラタカゲロウ	<i>Epeorus curvatus</i>					○		
90	ナミヒラタカゲロウ	<i>Epeorus ikanonis</i>					○		
91	エルモンヒラタカゲロウ	<i>Epeorus latifolium</i>					○		
-	ヒラタカゲロウ属の一種	<i>Epeorus</i> sp.					○		
92	サトキハダヒラタカゲロウ	<i>Heptagenia flava</i>					○		
93	ヒメヒラタカゲロウ	<i>Rhithrogena japonica</i>					○		
94	サツキヒメヒラタカゲロウ	<i>Rhithrogena tetrapunctigera</i>					○		
-	ヒメヒラタカゲロウ属の一種	<i>Rhithrogena</i> sp.					○		
95	トンボ	カワトンボ			ハグロトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>			○
96			アオハダトンボ属の一種	<i>Calopteryx</i> sp.			○		
97			ニホンカワトンボ	<i>Mnais costalis</i>			○		
98		ヤンマ	コシボソヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>			○		
99		サナエトンボ		ミヤマサナエ	<i>Anisogomphus maacki</i>			○	
100				ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>			○	
101				ダビドサナエ	<i>Davidius nanus</i>			○	
-				ダビドサナエ属の一種	<i>Davidius</i> sp.			○	
102				オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>			○	
103				アオサナエ	<i>Nihonogomphus viridis</i>			○	
104				コオニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>			○	
-				サナエトンボ科	<i>Gomphidae</i> gen.			○	
105		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>			○		
106		エゾトンボ	コヤマトンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>			○		
107		トンボ		ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>			○	
108				Sympetrum 属の一種	<i>Sympetrum</i> sp.			○	
109		カワゲラ	クロカワゲラ	ヤマトクロカワゲラ	<i>Capnia japonica</i>			○	
-				クロカワゲラ科	<i>Capniidae</i> gen.			○	
-	クロカワゲラ科の一種			<i>Capniidae</i> gen. sp.			○		
110	オナシカワゲラ			フサオナシカワゲラ属の一種	<i>Amphinemura</i> sp.			○	
111				トワダオナシカワゲラ	<i>Protonemura</i> sp.			○	
112	シタカワゲラ		シタカワゲラ科	<i>Taeniopterygidae</i> gen.			○		
113	ミドリカワゲラ		ミドリカワゲラ科	<i>Chloroperlidae</i> gen.			○		
114	カワゲラ			カミムラカワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>			○	
115				フタツメカワゲラ属の一種	<i>Neoperla</i> sp.			○	
116				オオヤマカワゲラ属の一種	<i>Oyamia</i> sp.			○	
-				カワゲラ科	<i>Perlidae</i> gen.			○	
117	アミメカワゲラ		アイズミドリカワゲラモドキ	<i>Isoperla aizwana</i>			○		

表 3.1-33(4) 文献調査における底生動物生息種一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	学名	文献資料 <sup>*2</sup>		
					1	2	3
-	カワゲラ	アミメカワゲラ	クサカワゲラ属の一種	<i>Isoperla</i> sp.			○
118			Perlodes 属の一種	<i>Perlodes</i> sp.			○
119			ヒメカワゲラ属の一種	<i>Stavsolus</i> sp.			○
120			アミメカワゲラ	<i>Perlodidae</i>			○
-			アミメカワゲラ科	<i>Perlodidae</i> gen.			○
121	カメムシ	アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>			○
122			ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>			○
123			コセアカアメンボ	<i>Gerris gracilicornis</i>			○
124			ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>			○
125			シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>			○
-			アメンボ科	<i>Gerridae</i> gen.			○
126			ミズムシ (昆)	ミズムシ (昆)	<i>Hesperocorixa distanti distanti</i>		
127		コチビミズムシ		<i>Micronecta guttata</i>			○
128		ヘラコチビミズムシ		<i>Micronecta kiritshenkoi</i>			○
-		チビミズムシ属の一種		<i>Micronecta</i> sp.			○
129		コミズムシ属の一種		<i>Sigara</i> sp.			○
-		ミズムシ科 (昆)		<i>Corixidae</i> gen.			○
130		コオイムシ		<i>Appasus</i> 属の一種	<i>Appasus</i> sp.		
131		タイコウチ	ミズカマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>			○
132	マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>			○	
-		カメムシ目 (半翅目)	HEMIPTERA			○	
133	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>			○	
134		センブリ	センブリ属の一種	<i>Sialis</i> sp.			○
135	トビケラ	シンテイトビケラ	<i>Pseudoneureclipsis</i> 属の一種	<i>Pseudoneureclipsis</i> sp.			○
136		シマトビケラ	コガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche brevilineata</i>			○
137			ナミコガタシマトビケラ	<i>Cheumatopsyche infascia</i>			○
-			コガタシマトビケラ属の一種	<i>Cheumatopsyche</i> sp.			○
138			ミヤマシマトビケラ属の一種	<i>Diplectrona</i> sp.			○
139			シロズシマトビケラ	<i>Hydropsyche albicephala</i>			○
140			ウルマーシマトビケラ	<i>Hydropsyche orientalis</i>			○
141			ナカハラシマトビケラ	<i>Hydropsyche setensis</i>			○
-			シマトビケラ属の一種	<i>Hydropsyche</i> sp.			○
142			オオシマトビケラ	<i>Macrostemum radiatum</i>			○
143			エチゴシマトビケラ	<i>Potamyia chinensis</i>			○
144		イワトビケラ	PA ミヤマイワトビケラ	<i>Plectrocnemia</i> sp. PA			○
-			ミヤマイワトビケラ属の一種	<i>Plectrocnemia</i> sp.			○
145		クダトビケラ	Lype 属の一種	<i>Lype</i> sp.			○
146			クダトビケラ属の一種	<i>Psychomyia</i> sp.			○
-			クダトビケラ科	<i>Psychomyiidae</i> gen.			○
147		ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>			○
148			チャバネヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche sauteri</i>			○
149		ヤマトビケラ	Agapetus 属の一種	<i>Agapetus</i> sp.			○
150			ヤマトビケラ属の一種	<i>Glossosoma</i> sp.			○
151	ケシヤマトビケラ属の一種		<i>Padunia</i> sp.			○	
152	ヒメトビケラ	ヒメトビケラ属の一種	<i>Hydroptila</i> sp.			○	
153	ナガレトビケラ	ヒロアタマナガレトビケラ	<i>Rhyacophila brevicephala</i>			○	
154		カワムラナガレトビケラ	<i>Rhyacophila kawamurae</i>			○	
155		キソナガレトビケラ	<i>Rhyacophila kisoensis</i>			○	
156		ムナグロナガレトビケラ	<i>Rhyacophila nigrocephala</i>			○	
157		トランスクイラナガレトビケラ	<i>Rhyacophila tranquilla</i>			○	
158		ヤマナカナガレトビケラ	<i>Rhyacophila yamanakensis</i>			○	
-		ナガレトビケラ属の一種	<i>Rhyacophila</i> sp.			○	

表 3.1-33(5) 文献調査における底生動物生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
159	トビケラ	コエグリトビケラ	コエグリトビケラ属の一種	<i>Apatania</i> sp.			○
160		カクスイトビケラ	カクスイトビケラ科	<i>Brachycentridae</i> gen.			○
161		ニンギョウトビケラ	ニンギョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>			○
162		カクツツトビケラ	カクツツトビケラ属の一種	<i>Lepidostoma</i> sp.			○
163		ヒゲナガトビケラ	Ceraclea 属の一種	<i>Ceraclea</i> sp.			○
164			ヒゲナガトビケラ属の一種	<i>Leptocerus</i> sp.			○
165			アオヒゲナガトビケラ属の一種	<i>Mystacides</i> sp.			○
166			クサツミトビケラ属の一種	<i>Oecetis</i> sp.			○
167			セトトビケラ属の一種	<i>Setodes</i> sp.			○
168		エグリトビケラ	アムールトビケラ	<i>Asynarchus amurensis</i>			○
169			Limnephilus sp. LA	<i>Limnephilus</i> sp. LA			○
-			Limnephilus 属の一種	<i>Limnephilus</i> sp.			○
170			Nothopsyches sp. NA	<i>Nothopsyche</i> sp. NA			○
-			エグリトビケラ科	<i>Limnephilidae</i> gen.			○
171			ホソバトビケラ	ホソバトビケラ	<i>Molanna moesta</i>		
172		マルバネトビケラ	マルバネトビケラ属の一種	<i>Phryganopsyche</i> sp.			○
173		ケトビケラ	グマガトビケラ	<i>Gumaga okinawaensis</i>			○
174	トウヨウグマガトビケラ		<i>Gumaga orientalis</i>			○	
175	チョウ	ツトガ	キオビミズメイガ	<i>Potamomusa midas</i>			○
176	ハエ	オビヒメガガンボ	ホソオビヒメガガンボ属の一種	<i>Dicranota</i> sp.			○
177		ヒメガガンボ	ウスバガガンボ属の一種	<i>Antocha</i> sp.			○
178			ナミヒメガガンボ属の一種	<i>Dicranomyia</i> sp.			○
179			ヒゲナガガガンボ属の一種	<i>Hexatoma</i> sp.			○
-			Hexatoma 属の数種	<i>Hexatoma</i> spp.			○
180		Ormosia 属の一種	<i>Ormosia</i> sp.			○	
181		ガガンボ	ガガンボ属の一種	<i>Tipula</i> sp.			○
-			Tipula 属の数種	<i>Tipula</i> spp.			○
-			ガガンボ科	<i>Tipulidae</i> gen.			○
-			ガガンボ科の一種	<i>Tipulidae</i> gen. sp.			○
182		アミカ	Bibliocephala 属の一種	<i>Bibliocephala</i> sp.			○
183			コクロバアミカ	<i>Bibliocephala infuscata minor</i>			○
184		チョウバエ	ハマダラチョウバエ属の一種	<i>Pericoma</i> sp.			○
185		ヌカカ	Atrichopogon 属の一種	<i>Atrichopogon</i> sp.			○
-			ヌカカ科	<i>Ceratopogonidae</i> gen.			○
186		ユスリカ	ダンドラヒメユスリカ属の一種	<i>Ablabesmyia</i> sp.			○
187			ケブカエリユスリカ属の一種	<i>Brillia</i> sp.			○
188	ハダカユスリカ属の一種		<i>Cardiocladius</i> sp.			○	
189	Chaetocladius 属の一種		<i>Chaetocladius</i> sp.			○	
190	ユスリカ属の一種		<i>Chironomus</i> sp.			○	
191	エダゲヒゲユスリカ属の一種		<i>Cladotanytarsus</i> sp.			○	
192	トラフユスリカ属の一種		<i>Conchapelopia</i> sp.			○	
193	ツヤユスリカ属の一種		<i>Cricotopus</i> sp.			○	
194	カマガタユスリカ属の一種		<i>Cryptochironomus</i> sp.			○	
195	スジカマガタユスリカ属の一種		<i>Demicryptochironomus</i> sp.			○	
196	ヤマユスリカ属の一種		<i>Diamesa</i> sp.			○	
197	フタエユスリカ		<i>Diplocladius cultriger</i>			○	
198	Einfeldia 属の一種		<i>Einfeldia</i> sp.			○	
199	Epoicocladius 属の一種		<i>Epoicocladius</i> sp.			○	
200	デンマクエリユスリカ属の一種		<i>Eukiefferiella</i> sp.			○	
201	Orthocladius 属の一種		<i>Georthocladius</i> sp.			○	
202	コバナシユスリカ属の一種		<i>Harnischia</i> sp.			○	
203	フユスリカ属の一種		<i>Hydrobaenus</i> sp.			○	
204	オオミドリユスリカ	<i>Lipiniella moderata</i>			○		

表 3.1-33(6) 文献調査における底生動物生息種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
205	ハエ	ユスリカ	Macropelopia 属の一種	<i>Macropelopia</i> sp.			○	
206			ナガスネユスリカ属の一種	<i>Micropsectra</i> sp.			○	
207			ツヤムネユスリカ属の一種	<i>Microtendipes</i> sp.			○	
208			トゲヤマユスリカ属の一種	<i>Monodiamesa</i> sp.			○	
209			エリユスリカ属の一種	<i>Orthocladius</i> sp.			○	
210			オオユキユスリカ属の一種	<i>Pagastia</i> sp.			○	
211			ニセトゲアシエリユスリカ属の一種	<i>Parachaetocladius</i> sp.			○	
212			Parachaetocladius 属の一種	<i>Parachironomus</i> sp.			○	
213			Paracladopelma 属の一種	<i>Paracladopelma</i> sp.			○	
214			Paralauterborniella 属の一種	<i>Paralauterborniella</i> sp.			○	
215			ニセケバネエリユスリカ属の一種	<i>Parametricnemus</i> sp.			○	
216			ニセヒゲユスリカ属の一種	<i>Paratanytarsus</i> sp.			○	
217			カワリユスリカ属の一種	<i>Paratendipes</i> sp.			○	
218			Paratrichocladius 属の一種	<i>Paratrichocladius</i> sp.			○	
219			ハモンユスリカ属の一種	<i>Polypedilum</i> sp.			○	
-				Polypedilum 属の数種	<i>Polypedilum</i> spp.			○
220				カモヤマユスリカ	<i>Potthastia longimanus</i>			○
221				サワユスリカ属の一種	<i>Potthastia</i> sp.			○
222				カユスリカ属の一種	<i>Procladius</i> sp.			○
223				ニセエリユスリカ属の一種	<i>Pseudorthocladius</i> sp.			○
224				Pseudosmittia 属の一種	<i>Pseudosmittia</i> sp.			○
225				Rheocricotopus 属の一種	<i>Rheocricotopus</i> sp.			○
226				ウスギヌヒメユスリカ属の一種	<i>Rheopelopia</i> sp.			○
227				ナゲユスリカ属の一種	<i>Rheotanytarsus</i> sp.			○
228				Saetheria 属の一種	<i>Saetheria</i> sp.			○
229				キザキユスリカ	<i>Sergentia kizakiensis</i>			○
230				ハムグリユスリカ属の一種	<i>Stenochironomus</i> sp.			○
231				アシマダラユスリカ属の一種	<i>Stictochironomus</i> sp.			○
232				フサユキユスリカ属の一種	<i>Sympotthastia</i> sp.			○
233				ヒゲユスリカ属の一種	<i>Tanytarsus</i> sp.			○
234				ヌカユスリカ属の一種	<i>Thienemanniella</i> sp.			○
235				ニセテンマクエリユスリカ属の一種	<i>Tvetenia</i> sp.			○
-				ユスリカ科	<i>Chironomidae</i> gen.			○
-		ユスリカ科の数種	<i>Chironomidae</i> gen. spp.			○		
236	ブユ	オオブユ属の一種	<i>Prosimulium</i> sp.			○		
237		アシマダラブユ属の一種	<i>Simulium</i> sp.			○		
-		ブユ科	<i>Simuliidae</i> gen.			○		
238	ナガレアブ	ハマダラナガレアブ	<i>Atherix ibis japonica</i>			○		
239		ヒメモンナガレアブ	<i>Atrichops fontinalis</i>			○		
-		Atrichops 属の一種	<i>Atrichops</i> sp.			○		
-		ナガレアブ科	<i>Athericidae</i>			○		
240	ミズアブ	Odontomyia 属の一種	<i>Odontomyia</i> sp.			○		
-	アブ	アブ科	<i>Tabanidae</i> gen.			○		
241	アシナガバエ	アシナガバエ科	<i>Dolichopodidae</i> gen.			○		
242	オドリバエ	オドリバエ科	<i>Empididae</i> gen.			○		
-	-	ハエ目 (双翅目)	DIPTERA			○		
243	コウチュウ	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i>			○	
244			モンキマメゲンゴロウ	<i>Platambus pictipennis</i>			○	
245			ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>			○	
-			ゲンゴロウ科	<i>Dytiscidae</i> gen.			○	
-			ゲンゴロウ科の一種	<i>Dytiscidae</i> gen. sp.			○	
246		ミズスマシ	コオナガミズスマシ	<i>Orectochilus punctipennis</i>			○	
-			オナガミズスマシ属の一種	<i>Orectochilus</i> sp.			○	



表 3.1-33(7) 文献調査における底生動物生息種一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	学名	文献資料 <sup>*2</sup>		
					1	2	3
-	コウチュウ	ミズスマシ	ミズスマシ科	<i>Gyrinidae</i> gen.			○
247		コガシラミズムシ	ヒメコガシラミズムシ属の一種	<i>Haliphus</i> sp.			○
248			コガシラミズムシ	<i>Peltodytes intermedius</i>			○
249		ガムシ	タマガムシ	<i>Amphiops mater mater</i>			○
250			トゲバゴマフガムシ	<i>Berosus lewisius</i>			○
-			Berosus 属の一種	<i>Berosus</i> sp.			○
251			ゴマフガムシ	<i>Berosus punctipennis</i>			○
252			キヒロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>			○
-			Enochrus 属の一種	<i>Enochrus</i> sp.			○
253			コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>			○
-			ガムシ科	<i>Hydrophilidae</i> gen.			○
254		ハネカクシ	ハネカクシ科	<i>Staphylinidae</i> gen.			○
255		マルハナノミ	ケシマルハナノミ属の一種	<i>Hydrocyphon</i> sp.			○
256			クロマルハナノミ属の一種	<i>Odeles</i> sp.			○
-			マルハナノミ科	<i>Scirtidae</i> gen.			○
257		ヒメドロムシ	Dryopomorphus 属の一種	<i>Dryopomorphus</i> sp.			○
258			ツヤナガアシドロムシ	<i>Grouvellinus nitidus</i>			○
-			ナガアシドロムシ属の一種	<i>Grouvellinus</i> sp.			○
259			ホソヨコミゾドロムシ	<i>Leptelmis parallela</i>			○
260			マルヒメドロムシ属の一種	<i>Optioservus</i> sp.			○
261			ゴトウミゾドロムシ	<i>Ordobrevia gotoi</i>			○
-			ミゾドロムシ属の一種	<i>Ordobrevia</i> sp.			○
262			アシナガミゾドロムシ	<i>Stenelmis vulgaris</i>			○
263			ツヤドロムシ	<i>Zaitzevia nitida</i>			○
-			Zaitzevia 属の一種	<i>Zaitzevia</i> sp.			○
264			ヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria brevis</i>			○
265			ホソヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria gotoi</i>			○
-			Zaitzeviaria 属の一種	<i>Zaitzeviaria</i> sp.			○
-			ヒメドロムシ科	<i>Elmidae</i> gen.			○
-			ヒメドロムシ科の数種	<i>Elmidae</i> gen. spp.			○
266			マルヒメツヤドロムシ	<i>Zaitzeviaria ovata</i>			○
267		ヒラタドロムシ	チビヒゲナガハナノミ	<i>Ectopria opaca opaca</i>			○
268			クシヒゲマルヒラタドロムシ	<i>Eubrianax granicollis</i>			○
-			マルヒラタドロムシ属の一種	<i>Eubrianax</i> sp.			○
269			ヒラタドロムシ	<i>Mataeopsephus japonicus</i>			○
-			Mataeopsephus 属の一種	<i>Mataeopsephus</i> sp.			○
270			マスダチビヒラタドロムシ	<i>Malacopsephenoides japonicus</i>			○
合計	24 目	96 科	270 種		1 種	8 種	270 種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(令和2年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。種まで同定されていなくても、同一の分類群に属する種などが確認されていなければ、1種として計上した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである。

1: 「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成14年、環境省)

2: 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014年版)」(2014年3月、岩手県環境生活部自然保護課)

3: 「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」(国土交通省水情報国土データ管理センター)

注1) 文献資料の○は、同一の分類群に属する種などが確認されていれば、計上しない。

## ② 文献調査における重要な底生動物

文献調査によって確認された底生動物のうち重要な種は、表 3.1-34 に示す 6 目 10 科 14 種である。

表 3.1-34 文献調査で確認された重要な底生動物一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	選定基準 <sup>*2</sup>					
				I	II	III	IV	V	
1	汎有肺	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ				DD		
2		ヒラマキガイ	ヒダリマキモノアラガイ				CR+EN	A	
3	イシガイ	イシガイ	カラスガイ				EN	A	
4			イシガイ						A
5			マツカサガイ				NT	B	
6			ヌマガイ						B
7	マルスダレガイ	シジミ	マシジミ				VU	B	
8		マメシジミ	マメシジミ					C	
9	トンボ	サナエトンボ	ヤマサナエ					D	
10			アオサナエ						D
11	カメムシ	ミズムシ (昆)	ミズムシ (昆)					C	
12	コウチュウ	ゲンゴロウ	クロゲンゴロウ				NT		
13		ミズスマシ	コオナガミズスマシ				VU		
14		ガムシ	コガムシ				DD		
合計	6 目	10 科	14 種	0 種	0 種	0 種	8 種	10 種	

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 2 年度生物リスト」(令和 2 年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-22 に示したとおりである。

(7) 陸産貝類

① 文献調査における陸産貝類

対象事業実施区域及びその周囲では、表 3.1-35 に示す 3 目 10 科 24 種の陸産貝類が確認されている。

表 3.1-35 文献調査における陸産貝類生息種一覧

No.	目名	科名	種名 <sup>*1</sup>	学名	文献資料 <sup>*2</sup>	
					1	2
1	原始腹足	ヤマキサゴ	ヤマキサゴ	<i>Waldemaria japonica</i>	○	
2	中腹足	ゴマガイ	ヒダリマキゴマガイ	<i>Palaina pusilla</i>	○	
3	柄眼	キセルガイモドキ	キセルガイモドキ	<i>Mirus reinianus</i> (Kobelt)	○	○
4			ホソキセルガイモドキ	<i>Mirus rugulosus</i> (Moellendorff)		○
5		キセルガイ	オオタキコギセル	<i>Euphaedusa digonoptyx</i> (Boettger)		○
6			ナミギセル	<i>Stereophaedusa japonica japonica</i> (Crosse)		○
7			ヒカリギセル	<i>Zptychopsis buschi</i> (Pfeiffer)	○	○
8		オカモノアラガイ	オカモノアラガイ	<i>Succinea lauta</i>	○	
9		オカチョウジガイ	オカチョウジガイ	<i>Allpeas clavulinum kyotoense</i>	○	
10	ナメクジ	ヤマナメクジ	<i>Meghimatium fruhstorferi</i>	○		
11	ベッコウマイマイ		クリイロベッコウ	<i>Japanochlamys cerasina</i> (Pilsbry)	○	○
12			ウラジロベッコウ	<i>Urazirochlamys doenitzii</i> (Reinhardt)	○	○
13	ナンバンマイマイ		イワテビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis oscitans iwatensis</i> Sorita		○
14			ウロコビロウドマイマイ	<i>Nipponochloritis bracteatus</i>	○	
15			ニッポンマイマイ	<i>Satsuma japonica</i>	○	
16	オナジマイマイ		オキナワウスカワマイマイ	<i>Acusta despecta</i>	○	
17			ウスカワマイマイ	<i>Acusta despecta sieboldiana</i>	○	
18			オオウケマイマイ	<i>Aegista pannosa</i>	○	
19			オオケマイマイ	<i>Aegista vulgivaga</i>	○	
20			ヒタチマイマイ	<i>Euhadra brandtii</i>	○	
21			ムツヒダリマキマイマイ	<i>Euhadra decorata</i>	○	
22			トバマイマイ	<i>Euhadra decorata tobai</i> Hirase		○
23			ヒダリマキマイマイ	<i>Euhadra quaesita</i>	○	
24		マメマイマイ	<i>Trishoplita commoda</i> (A.Adams)	○	○	
合計	3 目	10 科	24 種		19 種	10 種

\*1. 種名等は「軟体動物門 Mollusca ー日本産生物種数調査ー」(日本分類学会連合 HP)に準拠した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである。

1: 「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査」(平成14年、環境省)

2: 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014年版)」(2014年3月、岩手県環境生活部自然保護課)

② 文献調査における重要な陸産貝類

文献調査によって確認された陸産貝類のうち重要な種は、表 3.1-36 に示す 1 目 5 科 10 種である。

表 3.1-36 文献調査で確認された重要な陸産貝類一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2				
				I	II	III	IV	V
1	柄眼	キセルガイモドキ	キセルガイモドキ					C
2			ホソキセルガイモドキ					C
3		キセルガイ	オオタキコギセル					C
4			ナミギセル					C
5			ヒカリギセル					C
6		ベッコウマイマイ	クリイロベッコウ				DD	C
7			ウラジロベッコウ					C
8		ナンバンマイマイ	イワテビロウドマイマイ					C
9		オナジマイマイ	トバマイマイ					C
10			マメマイマイ					C
合計	1 目	5 科	10 種	0 種	0 種	0 種	1 種	10 種

\*1. 種名等は「軟体動物門 Mollusca ー日本産生物種数調査ー」(日本分類学会連合 HP)に準拠した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-22 に示したとおりである。

## 2) 植物

対象事業実施区域及びその周囲に生育する植物の情報について、表 3.1-37 に示す文献に基づいて整理した。

また、重要種の選定基準及びカテゴリーは、表 3.1-38 に示すとおり設定した。

なお、調査対象範囲は動物と同じく、図 3.1-19 に示すとおり対象事業実施区域を含む範囲とした。

表 3.1-37 収集した文献及び選定項目

No.	文献名	選定対象項目			
		植生	植物相	特定植物群落	巨樹・巨木
1	「第4～6回自然環境保全基礎調査」 (環境省自然環境局)	○	○	○	○
2	「環境省の植物Ⅰ(維管束植物)第3次レッドリスト」(平成19年 環境省)	○	○	○	○
3	「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物(2014年版)」(2014年3月 岩手県環境生活部自然保護課)	○			
4	「岩手県産維管束植物チェックリスト(2018年版)」(2018年2月 岩手県植物誌調査会)		○		
5	「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」 (国土交通省水情報国土データ管理センター)	○	○	○	○

表 3.1-38 重要種の選定基準及びカテゴリー

分類	No.	重要な種の選定基準	カテゴリー
法規制等	I	『文化財保護法』 (昭和25年 法律第214号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国天:天然記念物</li> <li>・国特:特別天然記念物</li> </ul>
	II	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』 (平成4年 法律第75号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内:国内希少野生動植物</li> <li>・国際:国際希少野生動植物</li> </ul>
	III	『岩手県希少野生動植物の保護に関する条例』 (平成14年3月29日 条例第26号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指:指定希少野生動植物</li> <li>・特:特定希少野生動植物</li> </ul>
レッドデータブック等	IV	『環境省レッドリスト』 (令和2年 環境省)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EX:絶滅</li> <li>・EW:野生絶滅</li> <li>・CR+EN:絶滅危惧Ⅰ類</li> <li>・CR:絶滅危惧ⅠA類</li> <li>・EN:絶滅危惧ⅠB類</li> <li>・VU:絶滅危惧Ⅱ類</li> <li>・NT:準絶滅危惧</li> <li>・DD:情報不足</li> <li>・LP:絶滅のおそれのある地域個体群</li> </ul>
	V	『いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物』 (平成26年 岩手県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EX:絶滅</li> <li>・EW:野生絶滅</li> <li>・A:絶滅危惧Ⅰ類</li> <li>・B:絶滅危惧Ⅱ類</li> <li>・C:準絶滅危惧</li> <li>・D:Cランクに準ずる種</li> <li>・DD:情報不足</li> </ul>

## (1) 植物相

## ① 植物相

対象事業実施区域及びその周囲では、表 3.1-39 に示す 55 目 154 科 1,379 種の植物種が確認されている。

表 3.1-39(1) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	ヒロハノトウゲシバ	<i>Huperzia serrata</i> f. <i>intermedia</i>		○	
2			ミズスギ	<i>Lycopodiella cernua</i>	○	○	
3			ヤチスギラン	<i>Lycopodiella inundata</i>	○	○	
4			ヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i> var. <i>nipponicum</i>		○	
5			アスヒカズラ	<i>Lycopodium complanatum</i>		○	
6			タカネヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium nikoense</i>		○	
7			マンネンスギ	<i>Lycopodium obscurum</i>		○	
8	イワヒバ	イワヒバ	ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i>		○	
9	ミズニラ	ミズニラ	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>	○		
10	トクサ	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>		○	○
11	ハナヤスリ	ハナヤスリ	エゾフユノハナワラビ	<i>Botrychium multifidum</i> var. <i>robustum</i>		○	
12			アカハナワラビ	<i>Botrychium nipponicum</i>		○	
13			ナガホノナツノハナワラビ	<i>Botrychium strictum</i>		○	
14			フユノハナワラビ	<i>Botrychium ternatum</i>		○	○
15			ナツノハナワラビ	<i>Botrychium virginianum</i>		○	
16			コヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum petiolatum</i>		○	
17			ヒロハハナヤスリ	<i>Ophioglossum vulgatum</i>		○	
18	ゼンマイ	ゼンマイ	オオバヤシヤゼンマイ	<i>Osmunda x intermedia</i>		○	
19			ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>		○	
20			ヤシヤゼンマイ	<i>Osmunda lancea</i>		○	
21			ヤマドリゼンマイ	<i>Osmundastrum cinnamomeum</i> var. <i>fokiense</i>		○	
22	サンショウモ	デンジソウ	デンジソウ	<i>Marsilea quadrifolia</i>	○		
23		サンショウモ	サンショウモ	<i>Salvinia natans</i>	○		
24	ヘゴ	キジノオンダ	ヤマソテツ	<i>Plagiogyria matsumureana</i>		○	
25	ウラボシ	コバノイシカグマ	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i>		○	○
26			オウレンシダ	<i>Dennstaedtia wilfordii</i>		○	○
27			ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> ssp. <i>japonicum</i>		○	
28		イノモトソウ	ハコネシダ	<i>Adiantum monochlamys</i>	○	○	
29			クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>		○	○
30			イワガネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i>		○	
31			チチブイワガネ	<i>Coniogramme intermedia</i> f. <i>nosei</i>		○	
32			オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i>		○	
33		ナヨシダ	イワウサギシダ	<i>Gymnocarpium robertianum</i>		○	
34		チャセンシダ	トラノオンダ	<i>Asplenium incisum</i>		○	○
35			クモノスシダ	<i>Asplenium ruprechtii</i>		○	
36			イチョウシダ	<i>Asplenium ruta-muraria</i>	○	○	
37			コタニワタリ	<i>Asplenium scolopendrium</i>		○	
38	イワトラノオ		<i>Asplenium tenuicaule</i>		○		
39	ヒメシダ	ミヤマワラビ	<i>Phegopteris connectilis</i>		○		
40		ゲジゲジシダ	<i>Phegopteris decursivepinnata</i>	○			

表 3.1-39(2) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
41	ウラボシ	ヒメシダ	ハリガネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i>		○	
42			ヤワラシダ	<i>Thelypteris laxa</i>		○	
43			ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i>		○	○
44			ミヅシダ	<i>Thelypteris pozoi ssp.mollissima</i>		○	○
45			オオバシヨリマ	<i>Thelypteris quelpaertensis</i>		○	
46			アオハリガネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching f. <i>viridescens</i> (Makino) H.Itô		○	
47	イワデンダ	フクロシダ	<i>Woodsia manchuriensis</i>		○		
48		イワデンダ	<i>Woodsia polystichoides</i>		○		
49	ヌリワラビ	ヌリワラビ	<i>Rhachidosorus mesosorus</i>		○		
50		シシヌリワラビ	不明		○		
51	コウヤワラビ	イヌガンソク	<i>Onoclea orientalis</i>		○	○	
52		コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis var.interrupta</i>			○	
53		クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i>		○	○	
54	シシガシラ	オサシダ	<i>Blechnum amabile</i>		○		
55		ミヤマシシガシラ	<i>Blechnum castaneum</i>		○		
56		シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>		○		
57	メシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i>		○	○	
58		カラクサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i>		○	○	
59		イッポンワラビ	<i>Athyrium crenuloserrulatum</i>		○		
60		サトメシダ	<i>Athyrium deltoideofrons</i>		○		
61		ミヤマメシダ	<i>Athyrium melanolepis</i>		○		
62		オオサトメシダ	<i>Athyrium x multifidum</i>		○		
63		ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>		○	○	
64		ヘビノネゴザ	<i>Athyrium yokoscense</i>		○	○	
65		ホソバシケシダ	<i>Deparia conilii</i>		○	○	
66		シケシダ	<i>Deparia japonica</i>		○	○	
67		オオヒメワラビ	<i>Deparia okuboana</i>		○		
68		オオメシダモドキ	<i>Deparia okuboana</i> × <i>D. pterorachis</i>		○		
69		ハクモウイノデ	<i>Deparia pycnosora var.albosquamata</i>		○	○	
70		ウスゲミヤマシケシダ	<i>Deparia pycnosora var.mucilagina</i>		○		
71		ミヤマシケシダ (狭義)	<i>Deparia pycnosora var.pycnosora</i>			○	
72		ミヤマシケシダ	<i>Deparia pycnosora</i> (H.Christ) M.Kato		○		
73		キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>		○		
74		オシダ	ホソバナライシダ	<i>Arachniodes borealis</i>		○	○
75			シノブカグマ	<i>Arachniodes mutica</i>		○	
76			リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>		○	○
77			ヤマヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei var.clivicola</i>		○	○
78			ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei var.fortunei</i>		○	
79			イワヘゴ	<i>Dryopteris atrata</i>		○	
80	ヤマイタチシダ		<i>Dryopteris bissetiana</i>		○	○	
81	ミサキカグマ		<i>Dryopteris chinensis</i>		○		
82	オシダ		<i>Dryopteris crassirhizoma</i>		○	○	
83	ベニシダ		<i>Dryopteris erythrosora</i>		○		
84	シラネワラビ		<i>Dryopteris expansa</i>		○		
85	サクライカグマ		<i>Dryopteris gymnophylla</i>		○	○	
86	クマワラビ		<i>Dryopteris lacera</i>		○	○	
87	ミヤマベニシダ		<i>Dryopteris monticola</i>		○		
88	ミヤマクマワラビ		<i>Dryopteris polylepis</i>		○	○	
89	ミヤマイタチシダ		<i>Dryopteris sabaiei</i>		○		
90	イワイタチシダ		<i>Dryopteris saxifraga</i>		○	○	
91	イヌイワイタチシダ		<i>Dryopteris saxifragivaria</i>		○		
92	クマオシダ		<i>Dryopteris x tokudae</i>		○		
93	オクマワラビ		<i>Dryopteris uniformis</i>		○	○	
94	アズミイノデ		<i>Polystichum azumiense</i> (Seriz.) Seriz.		○		
95	ツルデンダ		<i>Polystichum craspedosorum</i>		○		

表 3.1-39(3) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
96	ウラボシ	オシダ	アイアスカイノデ	<i>Polystichum longifrons</i>		○	
97			イワシロイノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i>		○	○
98			サカゲイワシロイノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>coraiense</i> x <i>retrosopaleaceum</i>		○	
99			ツヤナシイノデ	<i>Polystichum ovatopaleaceum</i> var. <i>ovatopaleaceum</i>		○	
100			サカゲイノデ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i>		○	○
101			ジュウモンジイノデ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i> (Kodama) Tagawa f. <i>cruciatum</i> Ohmura et Sa.Kurata		○	
102			ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i>		○	○
103			シノブ	シノブ	<i>Davallia mariesii</i>		○
104		ウラボシ	ノキシノブ (広義)	<i>Lepisorus thunbergianus</i>			○
105			ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching		○	
106			ミヤマノキシノブ	<i>Lepisorus ussuriensis</i> var. <i>distans</i>		○	○
107	カラクサシダ		<i>Pleurosoriopsis makinoi</i>		○		
108	オシャグジデンド		<i>Polypodium fauriei</i>		○		
109	イワオモダカ		<i>Pyrrosia hastata</i>	○			
110	ビロードシダ		<i>Pyrrosia linearifolia</i>		○		
111	ミツデウラボシ		<i>Selliguea hastata</i>		○		
112	マツ		マツ	モミ	<i>Abies firma</i>	○	○
113		アカマツ		<i>Pinus densiflora</i>			○
114		キタゴヨウ		<i>Pinus parviflora</i> var. <i>pentaphylla</i>		○	
115	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>			○
116			サワラ	<i>Chamaecyparis pisifera</i>			○
117			スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> var. <i>japonica</i>			○
118			クロベ	<i>Thuja standishii</i>		○	
119		イチイ	イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	○		
120			キャラボク	<i>Taxus cuspidata</i> 'Nana'		○	
121			カヤ	<i>Torreya nucifera</i> var. <i>nucifera</i>	○	○	
122		スイレン	ジュンサイ	ジュンサイ	<i>Brasenia schreberi</i>	○	
123	スイレン		コウホネ	<i>Nuphar japonica</i>			○
124	シキミ	マツブサ	チョウセンゴミシ	<i>Schisandra chinensis</i>		○	
125			マツブサ	<i>Schisandra repanda</i>		○	
126	センリョウ	センリョウ	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus quadrifolius</i>		○	
127			フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i>		○	
128	コショウ	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>		○	○
129		ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i>	○		
130			ミチノクサイシン	<i>Asarum fauriei</i> var. <i>fauriei</i>	○	○	
131			ウスバサイシン	<i>Asarum sieboldii</i>		○	○
132			トウゴクサイシン	<i>Asarum tohokuense</i>		○	
133	モクレン	モクレン	タムシバ	<i>Magnolia salicifolia</i>		○	
134	クスノキ	クスノキ	アブラチャン	<i>Lindera praecox</i> var. <i>praecox</i>		○	○
135			オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>membranacea</i>		○	
136	オモダカ	サトイモ	マムシグサ	<i>Arisaema japonicum</i>		○	○
137			ミミガタテンナンショウ	<i>Arisaema limbatum</i>	○	○	○
138			ヒトツバテンナンショウ	<i>Arisaema monophyllum</i>		○	
139			ヒロハテンナンショウ	<i>Arisaema ovale</i> var. <i>sadoense</i>		○	
140			コウライテンナンショウ	<i>Arisaema peninsulae</i>		○	○
141			カントウマムシグサ	<i>Arisaema serratum</i>		○	
142			ウラシマソウ	<i>Arisaema thunbergii</i> ssp. <i>urashima</i>		○	
143			サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> var. <i>esculenta</i>			○
144			ウキクサ	<i>Spirodela polyrhiza</i>			○
145		チシマゼキショウ	ゲイビゼキショウ	<i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>geibiensis</i>	○		
146	チャボゼキショウ		<i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>gracilis</i>	○			
147	イワショウブ		<i>Triantha japonica</i>		○		



表 3.1-39(4) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
148	オモダカ	オモダカ	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>		○	○	
149			アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	○			
150			オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>			○	
151		トチカガミ	ヤナギスブタ	<i>Blyxa japonica</i>	○			
152			トリゲモ	<i>Najas minor</i>	○			
153			ミズオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i>	○			
154		シバナ	ホソバノシバナ	<i>Triglochin palustris</i>	○			
155		ヒルムシロ	イトモ	<i>Potamogeton berchtoldii</i>	○			
156			エビモ	<i>Potamogeton crispus</i>			○	
157			フトヒルムシロ	<i>Potamogeton fryeri</i>		○		
158			ホソバミズヒキモ	<i>Potamogeton octandrus</i> var. <i>octandrus</i>		○		
159			ヤナギモ	<i>Potamogeton oxyphyllus</i>			○	
160			ヤマノイモ	キンコウカ	ネバリノギラン	<i>Aletris foliata</i>		○
161		ノギラン			<i>Metanartheceum luteoviride</i>		○	
162	キンコウカ	<i>Nartheceum asiaticum</i>				○		
163	ヤマノイモ	ヤマノイモ		<i>Dioscorea japonica</i>			○	
164		オニドコロ		<i>Dioscorea tokoro</i>			○	
165		ユリ		シュロソウ	ショウジョウバカマ	<i>Heloniopsis orientalis</i> var. <i>orientalis</i>		○
166	ツクバネソウ		<i>Paris tetraphylla</i>			○		
167	エンレイソウ		<i>Trillium apetalon</i>			○	○	
168	ミヤマエンレイソウ		<i>Trillium tschonoskii</i>			○	○	
169	バイケイソウ		<i>Veratrum album</i> ssp. <i>oxysepalum</i>			○		
170	アオヤギソウ		<i>Veratrum maackii</i> var. <i>parviflorum</i>			○		
171	イヌサフラン		ホウチャクソウ		<i>Disporum sessile</i>		○	
172			チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>		○	○	
173	サルトリイバラ		サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> var. <i>china</i>		○	○	
174			タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>		○	○	
175			シオデ	<i>Smilax riparia</i>		○	○	
176			ヤマカシュウ	<i>Smilax sieboldii</i>		○	○	
177			マルバサンキライ	<i>Smilax stans</i>		○		
178	ユリ		オオウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> var. <i>glehnii</i>			○	
179		ツバメオモト	<i>Clintonia udensis</i>		○			
180		ヒメアマナ	<i>Gagea japonica</i>	○				
181		ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>		○	○		
182		ヤマスカシユリ	<i>Lilium maculatum</i> var. <i>monticola</i>	○				
183		ホソバノアマナ	<i>Lloydia triflora</i>	○				
184		タケシマラン	<i>Streptopus streptopoides</i> var. <i>japonicus</i>		○			
185		ヒメタケシマラン	<i>Streptopus streptopoides</i> var. <i>streptopoides</i>		○			
186		ヤマジノホトトギス	<i>Tricyrtis affinis</i>		○	○		
187		タマガワホトトギス	<i>Tricyrtis latifolia</i> var. <i>latifolia</i>		○			
188	クサスギカズラ	ラン	エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	○			
189			キンセイラン	<i>Calanthe nipponica</i>	○			
190			ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i>	○			
191			サルメンエビネ	<i>Calanthe tricarinata</i>	○			
192			ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	○			
193			キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	○			
194			ユウシュンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>subaphylla</i>	○			
195			サイハイラン	<i>Cremastra variabilis</i>			○	
196			クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i>	○			
197			アツモリソウ	<i>Cypripedium macranthos</i>	○			
198			ツチアケビ	<i>Cyrtosia septentrionalis</i>	○			
199			アオチドリ	<i>Dactylorhiza viridis</i>	○			
200			イチヨウラン	<i>Dactylostalix ringens</i>	○			
201			サワラン	<i>Eleorchis japonica</i>	○	○		
202			コイチヨウラン	<i>Ephippianthus schmidtii</i>	○			
203	カキラン	<i>Epipactis thunbergii</i>	○	○				

表 3.1-39(5) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
204	クサスギカズラ	ラン	カモメラン	<i>Galearis cyclochila</i>	○				
205			オノエラン	<i>Galearis fauriei</i>		○			
206			シロテンマ	<i>Gastrodia elata var. pallens</i>	○				
207			ミズトンボ	<i>Habenaria sagittifera</i>	○	○			
208			オオミズトンボ	<i>Habenaria linearifolia</i> Maxim. var. <i>linearifolia</i>		○			
209			ムカゴソウ	<i>Herminium lanceum</i>	○				
210			ムヨウラン	<i>Lecanorchis japonica</i>	○				
211			ギボウシラン	<i>Liparis auriculata</i>	○				
212			フガクスズムシソウ	<i>Liparis fujisanensis</i>	○				
213			クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>		○			
214			スズムシソウ	<i>Liparis makinoana</i>	○				
215			アリドオシラン	<i>Myrmechis japonica</i>	○				
216			コフタバラン	<i>Neottia cordata</i>		○			
217			アオフタバラン	<i>Neottia makinoana</i>	○				
218			サギソウ	<i>Pecteilis radiata</i>	○	○			
219			タカネトンボ	<i>Platanthera chorisiana</i>	○				
220			ミズチドリ	<i>Platanthera hologlottis</i>	○				
221			ツレサギソウ	<i>Platanthera japonica</i>	○				
222			ヤマサギソウ	<i>Platanthera mandarinorum</i> ssp. <i>mandarinorum</i> var. <i>oreades</i>	○				
223			コバノトンボソウ	<i>Platanthera nipponica</i>		○			
224			オオヤマサギソウ	<i>Platanthera sachalinensis</i>	○	○			
225			ホソバノキソチドリ	<i>Platanthera tipuloides</i> var. <i>sororia</i>	○	○			
226			トンボソウ	<i>Platanthera ussuriensis</i>	○				
227			トキソウ	<i>Pogonia japonica</i>	○				
228			ウチョウラン	<i>Ponerorchis graminifolia</i>	○				
229			ネジバナ	<i>Spiranthes sinensis</i> var. <i>amoena</i>		○	○		
230			ヒトツボクロ	<i>Tipularia japonica</i>	○				
231			ショウキラン	<i>Yoania japonica</i>	○				
232			クサスギカズラ	アヤメ	カキツバタ	<i>Iris laevigata</i>	○		
233					キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>			○
234					ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium rosulatum</i>			○
235	ススキノキ	ヤブカンゾウ		<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i>			○		
236	ヒガンバナ	ノビル		<i>Allium macrostemon</i>			○		
237		ニラ		<i>Allium tuberosum</i>		○			
238		キツネノカミソリ		<i>Lycoris sanguinea</i>		○			
239	クサスギカズラ	ツルボ		<i>Barnardia japonica</i>		○			
240		コバギボウシ		<i>Hosta sieboldii</i>		○	○		
241		タチギボウシ		<i>Hosta sieboldii</i> var. <i>rectifolia</i>		○	○		
242		トウギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i> (Lodd.) Engl. var. <i>sieboldiana</i>		○	○			
243		ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i>		○				
244		マイヅルソウ	<i>Maianthemum dilatatum</i>			○			
245		ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>		○	○			
246		オオバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon planiscapus</i>		○				
247		ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>			○			
248		オオナルコユリ	<i>Polygonatum macranthum</i>		○				
249		アマドコロ	<i>Polygonatum odoratum</i> var. <i>pluriflorum</i>		○				
250	ツユクサ	ツユクサ	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>		○	○		
251			イボクサ	<i>Murdannia keisak</i>			○		
252		ミズアオイ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>		○			
253	ショウガ	ショウガ	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>			○		
254	イネ	ガマ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	○				
255			ヤマトミクリ	<i>Sparganium fallax</i>	○				
256			タマミクリ	<i>Sparganium glomeratum</i>	○	○			
257			ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i>			○		

表 3.1-39(6) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
258	イネ	ガマ	ガマ	<i>Typha latifolia</i>			○		
259			コガマ	<i>Typha orientalis</i>			○		
260	ホシクサ	ヒロハノイヌノヒゲ	ヒロハノイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon alpestre</i>		○			
261			イトイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon decemflorum</i> Maxim.		○			
262	イグサ	ハナビゼキショウ	ハナビゼキショウ	<i>Juncus alatus</i>	○	○			
263			イグサ	<i>Juncus decipiens</i>		○	○		
264			ホソコウガイゼキショウ	<i>Juncus fauriensis</i>		○			
265			ミヤマホソコウガイゼキショウ	<i>Juncus fauriensis</i> Buchenau var. <i>kamschatcensis</i> Buchenau		○			
266			エゾホソイ	<i>Juncus filiformis</i>		○			
267			アオコウガイゼキショウ	<i>Juncus papillosus</i>		○	○		
268			コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus</i> ssp. <i>leschenaultii</i>			○		
269			クサイ	<i>Juncus tenuis</i>		○	○		
270			ハリコウガイゼキショウ	<i>Juncus wallichianus</i>			○		
271			スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>			○		
272			ミヤマヌカボシソウ	<i>Luzula jimboi</i> ssp. <i>atrotepala</i>		○			
273			ヤマスズメノヒエ	<i>Luzula multiflora</i>		○	○		
274			ヌカボシソウ	<i>Luzula plumosa</i>		○	○		
275			カヤツリグサ	イトハナビテンツキ	イトハナビテンツキ	<i>Bulbostylis densa</i>		○	
276					ミノボロスゲ	<i>Carex albata</i>		○	○
277					ヤマタヌキラン	<i>Carex angustisquama</i>		○	
278					エナシヒゴクサ	<i>Carex aphanolepis</i>		○	○
279					タテヤマスゲ	<i>Carex aphyllopus</i>		○	
280	ヒラギシスゲ	<i>Carex augustinowiczii</i>			○				
281	ショウジョウスゲ	<i>Carex blepharicarpa</i>				○			
282	ミチノクハリスゲ	<i>Carex capillacea</i> var. <i>sachalinensis</i>					○		
283	ヌマアゼスゲ	<i>Carex cinerascens</i>			○				
284	ヤマオオイトスゲ	<i>Carex clivorum</i>					○		
285	ミヤマシラスゲ	<i>Carex confertiflora</i>					○		
286	ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i>				○	○		
287	ナルコスゲ	<i>Carex curvicollis</i>				○			
288	アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i>					○		
289	カサスゲ	<i>Carex dispalata</i>					○		
290	ミヤマジュズスゲ	<i>Carex dissitiflora</i>			○				
291	コタヌキラン	<i>Carex doenitzii</i> Boeck.				○			
292	ミタケスゲ	<i>Carex dolichocarpa</i>				○			
293	タマツリスゲ	<i>Carex filipes</i>				○			
294	オクノカンスゲ	<i>Carex foliosissima</i>				○			
295	タニガワスゲ	<i>Carex forficula</i>				○			
296	ニッコウハリスゲ	<i>Carex fulva</i>				○			
297	マスクサ	<i>Carex gibba</i>					○		
298	ヤマアゼスゲ	<i>Carex heterolepis</i>				○			
299	カワラスゲ	<i>Carex incisa</i>				○	○		
300	ジュズスゲ	<i>Carex ischnostachya</i>				○	○		
301	ヒゴクサ	<i>Carex japonica</i>				○	○		
302	テキリスゲ	<i>Carex kiotensis</i>				○			
303	ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i>				○			
304	アオスゲ	<i>Carex leucochlora</i>				○	○		
305	ヤチスゲ	<i>Carex limosa</i>				○			
306	ヤガミスゲ	<i>Carex maackii</i>				○	○		
307	コジュズスゲ	<i>Carex macroglossa</i>		○	○				
308	ゴウソ	<i>Carex maximowiczii</i>		○	○				
309	トマリスゲ	<i>Carex middendorffii</i>		○					
310	ビロードスゲ	<i>Carex miyabei</i>		○	○				
311	ヒメシラスゲ	<i>Carex mollicula</i>		○					
312	ミヤマカンスゲ	<i>Carex multifolia</i>		○					

表 3.1-39(7) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
313	イネ	カヤツリグサ	シバスゲ	<i>Carex nervata</i>			○	
314			ミコシガヤ	<i>Carex neurocarpa</i>		○	○	
315			アワボスゲ	<i>Carex nipposinica</i>			○	
316			ヤチカワズスゲ	<i>Carex omiana</i>		○		
317			カワズスゲ	<i>Carex omiana</i> var. <i>monticola</i>		○		
318			オタルスゲ	<i>Carex otaruensis</i>		○		
319			ヒメスゲ	<i>Carex oxyandra</i>		○		
320			ウスイロスゲ	<i>Carex pallida</i>		○	○	
321			グレーンスゲ	<i>Carex parciflora</i>			○	
322			ヒメゴウソ	<i>Carex phacota</i>			○	
323			タカネマスクサ	<i>Carex planata</i>			○	
324			タヌキラン	<i>Carex podogyne</i>			○	
325			コカンスゲ	<i>Carex reinii</i>			○	
326			シラコスゲ	<i>Carex rhizopoda</i>			○	
327			ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunii</i>			○	○
328			ヌマスゲ	<i>Carex rostrata</i> Stokes var. <i>borealis</i> (Hartm.) Kük.			○	
329			クサスゲ	<i>Carex rugata</i>			○	○
330			オオイトスゲ	<i>Carex sachalinensis</i> F.Schmidt var. <i>alterniflora</i> (Franch.) Ohwi			○	
331			センダイスゲ	<i>Carex sendaica</i>		○		
332			アズマナルコ	<i>Carex shimidzensis</i>			○	
333			タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i>			○	
334			ミチノクホンモンジスゲ	<i>Carex stenostachys</i> var. <i>cuneata</i>			○	
335			オオカワズスゲ	<i>Carex stipata</i>				○
336			アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i>				○
337			オオアゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i> var. <i>appendiculata</i>			○	
338			ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i>				○
339			オクタヌキラン	<i>Carex</i> × <i>uzenensis</i> Koidz.			○	
340			チャガヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i>				○
341			ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>				○
342			タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>				○
343			ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>				○
344			アゼガヤツリ	<i>Cyperus flavidus</i>				○
345			コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>				○
346			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>			○	○
347			ウシクグ	<i>Cyperus orthostachyus</i>				○
348			シロガヤツリ	<i>Cyperus pacificus</i>			○	○
349			カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>				○
350	ミズガヤツリ	<i>Cyperus serotinus</i>				○		
351	マツバイ	<i>Eleocharis acicularis</i> var. <i>longiseta</i>			○	○		
352	セイタカハリイ	<i>Eleocharis attenuata</i>		○	○			
353	ハリイ	<i>Eleocharis congesta</i> var. <i>japonica</i>				○		
354	クログワイ	<i>Eleocharis kuroguwai</i>				○		
355	オオヌマハリイ	<i>Eleocharis mamillata</i> var. <i>cyclocarpa</i>			○			
356	マルホハリイ	<i>Eleocharis ovata</i>				○		
357	クロヌマハリイ	<i>Eleocharis palustris</i> var. <i>major</i>			○			
358	マシカクイ	<i>Eleocharis tetraquetra</i>			○			
359	シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i>			○			
360	サギスゲ	<i>Eriophorum gracile</i>			○			
361	ワタスゲ	<i>Eriophorum vaginatum</i>			○			
362	コアゼテンツキ	<i>Fimbristylis aestivalis</i>		○				
363	ヒメヒラテンツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>				○		
364	テンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i> var. <i>tentsuki</i>				○		
365	ヒデリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i>				○		
366	ヤマイ	<i>Fimbristylis subbispicata</i>				○		
367	ヒンジガヤツリ	<i>Lipocarpa microcephala</i>				○		

表 3.1-39(8) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
368	イネ	カヤツリグサ	ミカヅキグサ	<i>Rhynchospora alba</i>		○			
369			オオイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fauriei</i>		○			
370			コイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora fujiana</i>		○			
371			ミヤマイヌノハナヒゲ	<i>Rhynchospora yasudana Makino</i>		○			
372			ミヤマホタルイ	<i>Schoenoplectiella hondoensis</i>		○			
373			ホタルイ	<i>Schoenoplectiella hotarui</i>		○			
374			ミチノクホタルイ	<i>Schoenoplectiella orthorhizomata</i>		○			
375			カンガレイ	<i>Schoenoplectiella triangulata</i>			○		
376			シズイ	<i>Schoenoplectus nipponicus</i>		○			
377			サンカクイ	<i>Schoenoplectus triqueter</i>			○		
378			コマツカサススキ	<i>Scirpus fuirenooides</i>		○			
379			タカネクロスゲ	<i>Scirpus maximowiczii C.B.Clarke</i>		○			
380			マツカサススキ	<i>Scirpus mitsukurianus</i>			○		
381			アブラガヤ	<i>Scirpus wichurae</i>		○	○		
382			ミネハリイ	<i>Trichophorum cespitosum (L.) Hartm.</i>		○			
383			イネ	イネ	ヤマヌカボ	<i>Agrostis clavata</i>		○	○
384					ヌカボ	<i>Agrostis clavata var.nukabo</i>		○	○
385					ミヤマヌカボ	<i>Agrostis flaccida</i>		○	
386					コヌカグサ	<i>Agrostis gigantea</i>		○	○
387					エゾヌカボ	<i>Agrostis scabra</i>			○
388					ハイコヌカグサ	<i>Agrostis stolonifera</i>			○
389					スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis var.amurensis</i>			○
390	オオスズメノテッポウ	<i>Alopecurus pratensis</i>				○			
391	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>				○	○		
392	タカネコウボウ	<i>Anthoxanthum horsfieldii var.japonicum</i>				○			
393	ハルガヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>					○		
394	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>				○	○		
395	トダシバ	<i>Arundinella hirta</i>					○		
396	コメススキ	<i>Avenella flexuosa</i>				○			
397	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>				○	○		
398	スズメノチャヒキ	<i>Bromus japonicus</i>					○		
399	キツネガヤ	<i>Bromus remotiflorus</i>					○		
400	ノガリヤス	<i>Calamagrostis brachytricha var.brachytricha</i>				○	○		
401	ヤマアワ	<i>Calamagrostis epigeios</i>					○		
402	ヒメノガリヤス	<i>Calamagrostis hakonensis</i>				○			
403	ヒゲノガリヤス	<i>Calamagrostis longiseta</i>				○			
404	ムツノガリヤス	<i>Calamagrostis matsumurae</i>				○			
405	ホッスガヤ	<i>Calamagrostis pseudophragmites</i>				○			
406	タカネノガリヤス	<i>Calamagrostis sachalinensis</i>				○			
407	オガルカヤ	<i>Cymbopogon tortilis var.goeringii</i>				○			
408	カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>					○		
409	メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>					○		
410	アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>					○		
411	アブラススキ	<i>Eccoilopus cotulifer</i>					○		
412	イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>					○		
413	オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>					○		
414	アオカモジグサ	<i>Elymus racemifer</i>				○	○		
415	タチカモジ	<i>Elymus racemifer var.japonensis</i>				○			
416	カモジグサ	<i>Elymus tsukushiensis var.transiens</i>					○		
417	シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>					○		
418	カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>				○	○		
419	コスズメガヤ	<i>Eragrostis minor</i>					○		
420	ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>				○	○		
421	オオニワホコリ	<i>Eragrostis pilosa</i>				○	○		
422	ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i>					○		
423	ヤマトボシガラ	<i>Festuca japonica</i>					○		

表 3.1-39(9) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
424	イネ	イネ	ウシノケグサ	<i>Festuca ovina</i>		○	○
425			トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i>		○	○
426			オオウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i>		○	○
427			ミヤマドジョウツナギ	<i>Glyceria alnasteretum</i>		○	
428			ドジョウツナギ	<i>Glyceria ischyronaura</i>		○	○
429			ウシノシツペイ	<i>Hemarthria sibirica</i>			○
430			シラゲガヤ	<i>Holcus lanatus</i>			○
431			アズマガヤ	<i>Hystrix duthiei</i> ssp. longearistata		○	
432			チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>			○
433			エゾノサヤヌカグサ	<i>Leersia oryzoides</i>			○
434			サヤヌカグサ	<i>Leersia sayanuka</i>		○	○
435			ササガヤ	<i>Leptatherum japonicum</i>		○	○
436			ネズミホソムギ	<i>Lolium x hybridum</i>			○
437			ネズミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>		○	○
438			ホソムギ	<i>Lolium perenne</i>			○
439			コメガヤ	<i>Melica nutans</i>		○	○
440			アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i>		○	○
441			イブキヌカボ	<i>Milium effusum</i>		○	○
442			オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>			○
443			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>		○	○
444			ヌマガヤ	<i>Moliniopsis japonica</i>		○	
445			ネズミガヤ	<i>Muhlenbergia japonica</i>		○	
446			タツノヒゲ	<i>Neomolinia japonica</i>		○	
447			コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>			○
448			ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>		○	○
449			チヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult.		○	
450			ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>		○	○
451			オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>			○
452			スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>			○
453			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>		○	○
454			クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>			○
455			オオアワガエリ	<i>Phleum pratense</i>		○	○
456			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>			○
457			ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>			○
458			モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i>			○
459			マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i>			○
460			アズマネザサ	<i>Pleioblastus chino</i>		○	○
461			ミゾイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i>		○	
462			スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>		○	○
463			ヤマミゾイチゴツナギ	<i>Poa hisauchii</i>		○	
464			ヌマイチゴツナギ	<i>Poa palustris</i>			○
465			ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i>		○	○
466			イチゴツナギ	<i>Poa sphondylodes</i>		○	○
467			オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>		○	○
468			ヤダケ	<i>Pseudosasa japonica</i>		○	
469			ハイヌメリグサ	<i>Sacciolepis spicata</i>			○
470			ヌメリグサ	<i>Sacciolepis spicata</i> var. <i>oryzetorum</i>			○
471			スズタケ	<i>Sasa borealis</i>		○	○
472			ピロードミヤコザサ	<i>Sasa chartacea</i> (Makino) Makino et Shibata var. <i>mollis</i> (Nakai) Sad. Suzuki		○	
473			ミヤギザサ	<i>Sasa hortensis</i>		○	
474			チシマザサ	<i>Sasa kurilensis</i>		○	
475			オオバザサ	<i>Sasa megalophylla</i>		○	
476			ミヤコザサ	<i>Sasa nipponica</i>		○	
477			チマキザサ	<i>Sasa palmata</i>		○	
478			オモエザサ	<i>Sasa pubiculmis</i>		○	

表 3.1-39(10) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
479	イネ	イネ	クマイザサ	<i>Sasa senanensis</i>		○	
480			ミヤマザサ	<i>Sasa septentrionalis</i> var. <i>septentrionalis</i>		○	
481			オクヤマザサ	<i>Sasa spiculosa</i>		○	
482			クマザサ	<i>Sasa veitchii</i>		○	
483			オオササ	<i>Sasa veitchii</i> var. <i>grandifolia</i>		○	
484			チュウゴクザサ	<i>Sasa veitchii</i> var. <i>tyugokensis</i>		○	
485			オゼザサ	<i>Sasa yahikoensis</i> Makino var. <i>oseana</i> (Makino) Sad.Suzuki		○	
486			カリワシノ	<i>Sasaella ikegamii</i>		○	
487			ヒメシノ	<i>Sasaella kogasensis</i> var. <i>gracillima</i>		○	
488			コガシアズマザサ	<i>Sasaella kogasensis</i> var. <i>kogasensis</i>		○	
489			ケスエコザサ	<i>Sasaella leucorhoda</i> var. <i>kanayamensis</i>		○	
490			クリオザサ	<i>Sasaella masamuneana</i>		○	○
491			アズマザサ	<i>Sasaella ramosa</i>		○	○
492			スエコザサ	<i>Sasaella ramosa</i> var. <i>suwekoana</i>		○	
493			オオバアズマザサ	<i>Sasaella ramosa</i> (Makino) Makino var. <i>latifolia</i> (Nakai) Sad.Suzuki		○	
494			ハコネシノ	<i>Sasaella sawadae</i> (Makino) Makino ex Koidz.		○	
495			シオバラザサ	<i>Sasaella shiobarensis</i> var. <i>shiobarensis</i>		○	○
496			エッサシノ	<i>Sasaella shiobarensis</i> (Nakai) Nakai ex Koidz. var. <i>yessaensis</i> (Koidz.) Sad.Suzuki		○	
497			ウラゲズダケ	<i>Sasamorpha borealis</i> (Hack.) Nakai var. <i>pilosa</i> (Uchida) Sad.Suzuki		○	
498			オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i>		○	○
499			ヒロハノウシノケグサ	<i>Schedonorus pratensis</i>			○
500			リクチュウダケ	<i>Semiarundinaria kagamiana</i>			○
501			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>			○
502			キンエノコロ	<i>Setaria pumilla</i>			○
503			エノコログサ	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i>			○
504			ムラサキエノコロ	<i>Setaria viridis</i> var. <i>minor</i> f. <i>misera</i>			○
505			オカメザサ	<i>Shibataea kumasasa</i>		○	
506			オオアブラススキ	<i>Spodiopogon sibiricus</i>		○	
507			カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i>		○	○
508			オオナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>megalura</i>		○	
509			ナギナタガヤ	<i>Vulpia myuros</i> var. <i>myuros</i>			○
510	マコモ	<i>Zizania latifolia</i>			○		
511		シバ	<i>Zoysia japonica</i>			○	
512	キンポウゲ	ケン	クサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> ssp. <i>asiaticum</i>		○	○
513			ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>		○	○
514			ツルケマン	<i>Corydalis ochotensis</i>		○	
515			ミヤマキケマン	<i>Corydalis pallida</i> var. <i>tenuis</i>		○	○
516			ナガミノツルケマン	<i>Corydalis raddeana</i>			○
517			タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i>			○
518			アケビ	ゴヨウアケビ	<i>Akebia x pentaphylla</i> var. <i>pentaphylla</i>		
519		アケビ		<i>Akebia quinata</i>		○	○
520		ミツバアケビ		<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>			○
521		ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>			○
522			コウモリカズラ	<i>Menispermum dauricum</i>			○
523		メギ	ヒロノヘビノボラズ	<i>Berberis amurensis</i>		○	
524			メギ	<i>Berberis thunbergii</i>		○	
525			ルイヨウボタン	<i>Caulophyllum robustum</i>		○	
526			サンカヨウ	<i>Diphylleia grayi</i>		○	
527			キバナイカリソウ	<i>Epimedium koreanum</i>		○	
528	キンポウゲ	センウズモドキ	<i>Aconitum jaluense</i> ssp. <i>iwatekense</i>	○	○		
529		オクトリカブト	<i>Aconitum japonicum</i> ssp. <i>subcuneatum</i>		○		
530		アズマレイジンソウ	<i>Aconitum pterocaula</i> var. <i>pterocaula</i>	○			
531		ミチノクフクジュソウ	<i>Adonis multiflora</i>	○			
532		フクジュソウ	<i>Adonis ramosa</i>	○			

表 3.1-39(11) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
533	キンボウゲ	キンボウゲ	ヒメイチゲ	<i>Anemone debilis</i>		○			
534			シュウメイギク	<i>Anemone hupehensis</i> var. <i>japonica</i>		○			
535			サンリンソウ	<i>Anemone stolonifera</i>		○			
536			レンゲショウマ	<i>Anemonopsis macrophylla</i>	○	○			
537			ヤマオダマキ	<i>Aquilegia buergeriana</i> var. <i>buergeriana</i>		○			
538			オオバショウマ	<i>Cimicifuga japonica</i> var. <i>macrophylla</i>		○			
539			サラシナショウマ	<i>Cimicifuga simplex</i>		○			
540			ボタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i>		○	○		
541			コボタンヅル	<i>Clematis apiifolia</i> var. <i>biternata</i>		○	○		
542			クサボタン	<i>Clematis stans</i> var. <i>stans</i>		○			
543			セリバオウレン	<i>Coptis japonica</i> var. <i>major</i>		○			
544			ミスミソウ	<i>Hepatica nobilis</i> var. <i>japonica</i>	○				
545			オオミスミソウ	<i>Hepatica nobilis</i> var. <i>japonica</i> f. <i>magna</i>	○				
546			スハマソウ	<i>Hepatica nobilis</i> var. <i>japonica</i> f. <i>variegata</i>		○			
547			ウマノアシガタ	<i>Ranunculus japonicus</i>		○			
548			バイカモ	<i>Ranunculus nipponicus</i> var. <i>submersus</i>	○				
549			キツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i>		○	○		
550			ヤマキツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i> H.Lév. var. <i>silerifolius</i>		○			
551			チャボカラマツ	<i>Thalictrum foetidum</i> var. <i>glabrescens</i>		○			
552			アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>		○	○		
553			イワカラマツ	<i>Thalictrum sekimotoanum</i>	○				
554			ミヤマカラマツ	<i>Thalictrum tuberiferum</i> var. <i>tuberiferum</i>		○			
555			ヤマモガシ	アワブキ	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i>		○	○
556			ツゲ	ツゲ	フッキソウ	<i>Pachysandra terminalis</i>		○	
557	ユキノシタ	ボタン	ヤマシャクヤク	<i>Paeonia japonica</i>	○				
558			ベニバナヤマシャクヤク	<i>Paeonia obovata</i>	○				
559		マンサク	トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i>		○			
560			マンサク	<i>Hamamelis japonica</i> var. <i>japonica</i>		○			
561			オオバマンサク	<i>Hamamelis japonica</i> var. <i>megalophylla</i>		○			
562			マルバマンサク	<i>Hamamelis japonica</i> var. <i>obtusata</i>		○			
563		カツラ	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>		○	○		
564		ユキノシタ	チダケサシ	<i>Astilbe microphylla</i>		○			
565			トリアシショウマ	<i>Astilbe thunbergii</i> var. <i>congesta</i>		○	○		
566			ツルネコノメソウ	<i>Chrysosplenium flagelliferum</i>		○			
567			ヤマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium japonicum</i>		○			
568			チシマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium kamtschaticum</i> var. <i>kamtschaticum</i>		○			
569			イワボタン	<i>Chrysosplenium macrostemon</i> var. <i>macrostemon</i>		○			
570			マルバネコノメソウ	<i>Chrysosplenium ramosum</i>		○			
571			フキユキノシタ	<i>Micranthes japonica</i>		○			
572			ヤグルマソウ	<i>Rodgersia podophylla</i>		○			
573			ベンケイソウ	チチツバベンケイ	<i>Hylotelephium sordidum</i> var. <i>sordidum</i>		○		
574				キリンソウ	<i>Phedimus aizoon</i> var. <i>floribundus</i>			○	
575				コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>			○	
576		ツルマンネングサ		<i>Sedum sarmentosum</i>			○		
577		タコノアシ	タコノアシ	<i>Penthorum chinense</i>	○				
578		アリノトウグサ	アリノトウグサ	<i>Gonocarpus micranthus</i>		○			
579			ホザキノフサモ	<i>Myriophyllum spicatum</i>			○		
580			タチモ	<i>Myriophyllum ussuriense</i>	○				
581	ブドウ		ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>		○	○		
582		ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>		○	○			
583		ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i>		○	○			
584	マメ	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>		○	○			
585		ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> var. <i>julibrissin</i>			○			
586		イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>		○	○			



表 3.1-39(12) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
587	マメ	マメ	ヤブマメ	<i>Amphicarpaea edgeworthii</i>		○	○
588			ホドイモ	<i>Apios fortunei</i>		○	○
589			モメンヅル	<i>Astragalus reflexistipulus</i>			○
590			ゲンゲ	<i>Astragalus sinicus</i>		○	○
591			カワラケツメイ	<i>Chamaecrista nomame</i>		○	
592			ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i>		○	○
593			サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i>			○
594			ツルマメ	<i>Glycine max ssp.soja</i>		○	○
595			フジカンゾウ	<i>Hylodesmum oldhamii</i>		○	
596			ヌスビトハギ	<i>Hylodesmum podocarpum ssp.oxyphyllum var.japonicum</i>		○	○
597			ヤブハギ	<i>Hylodesmum podocarpum ssp.oxyphyllum var.mandshuricum</i>		○	
598			ニワフジ	<i>Indigofera decora</i>		○	
599			マルバヤハズソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i>		○	○
600			ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>			○
601			イタチササゲ	<i>Lathyrus davidii</i>		○	
602			レンリソウ	<i>Lathyrus quinquenervius</i>			○
603			ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor var.bicolor</i>		○	○
604			キハギ	<i>Lespedeza buergeri</i>		○	
605			メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i>		○	○
606			ハイメドハギ	<i>Lespedeza cuneata var.serpens</i>			○
607			ツクシハギ	<i>Lespedeza homoloba</i>		○	○
608			カラメドハギ	<i>Lespedeza inschanica</i>			○
609			ネコハギ	<i>Lespedeza pilosa var.pilosa</i>			○
610			マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>		○	○
611			セイヨウミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus ssp.corniculatus</i>			○
612			ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus ssp.japonicus</i>			○
613			クズ	<i>Pueraria lobata ssp.lobata</i>			○
614			ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>			○
615			クララ	<i>Sophora flavescens</i>			○
616			コメツブツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>			○
617	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>		○	○		
618	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>		○	○		
619	ツルフジバカマ	<i>Vicia amoena</i>			○		
620	クサフジ	<i>Vicia cracca</i>			○		
621	ツガルフジ	<i>Vicia fauriei</i>		○	○		
622	スズメノエンドウ	<i>Vicia hirsuta</i>			○		
623	ヨツバハギ	<i>Vicia nipponica</i>		○	○		
624	ヤハズエンドウ	<i>Vicia sativa ssp.nigra</i>			○		
625	カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i>			○		
626	エビラフジ	<i>Vicia venosa var.cuspidata</i>		○			
627	ナヨクサフジ	<i>Vicia villosa ssp.varia</i>			○		
628	ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis var.nipponensis</i>		○	○		
629	フジ	<i>Wisteria floribunda</i>		○	○		
630	ヒメハギ	ヒメハギ	<i>Polygala japonica</i>		○		
631		ヒナノキンチャク	<i>Polygala tatarinowii</i>		○		
632	バラ	グミ	<i>Elaeagnus umbellata var.umbellata</i>		○		
633		クロウメモドキ	<i>Berchemia racemosa</i>			○	
634		イソノキ	<i>Frangula crenata var.crenata</i>		○		
635		ケンボナン	<i>Hovenia dulcis</i>			○	
636	ニレ	ハルニレ	<i>Ulmus davidiana var.japonica</i>		○		
637		オヒョウ	<i>Ulmus laciniata</i>		○		
638		ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>		○	○	
639	アサ	エゾエノキ	<i>Celtis jessoensis</i>			○	
640		エノキ	<i>Celtis sinensis</i>			○	
641		カラハナソウ	<i>Humulus lupulus var.cordifolius</i>		○	○	

表 3.1-39(13) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
642	バラ	アサ	カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>		○	○
643		クワ	コウゾ	<i>Broussonetia x kazinoki</i>		○	
644			ヒメコウゾ	<i>Broussonetia monoica</i>			○
645			マグワ	<i>Morus alba</i>			○
646			ロソウ	<i>Morus alba 'Multicaulis'</i>			○
647			ヤマグワ	<i>Morus australis</i>		○	○
648			イラクサ	メヤブマオ	<i>Boehmeria platanifolia</i>		
649		ナガバヤブマオ		<i>Boehmeria sieboldiana</i>			○
650		アカソ		<i>Boehmeria silvestrii</i>		○	○
651		コアカソ		<i>Boehmeria spicata</i>		○	○
652		トキホコリ		<i>Elatostema densiflorum</i>		○	
653		ウワバミソウ		<i>Elatostema involucreatum</i>		○	○
654		ムカゴイラクサ		<i>Laportea bulbifera</i>		○	○
655		カテンソウ		<i>Nanocnide japonica</i>		○	○
656		ミズ		<i>Pilea hamaoi</i>			○
657		ヤマミズ		<i>Pilea japonica</i>		○	
658		アオミズ		<i>Pilea pumila</i>		○	○
659		コバノイラクサ		<i>Urtica laetevirens</i>		○	
660		エゾイラクサ		<i>Urtica platyphylla</i>			○
661		バラ		チョウセンキンミズヒキ	<i>Agrimonia coreana</i>		○
662			ヒメキンミズヒキ	<i>Agrimonia nipponica</i>		○	
663			キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa var.japonica</i>		○	○
664			アズキナシ	<i>Aria alnifolia</i>		○	
665			ウラジロノキ	<i>Aria japonica</i>		○	
666			ヤマブキショウマ	<i>Aruncus dioicus var.kamtschaticus</i>		○	○
667			エドヒガン	<i>Cerasus itosakura</i>		○	○
668			カスミザクラ	<i>Cerasus leveilleana</i>		○	○
669			タカネザクラ	<i>Cerasus nipponica var.nipponica</i>		○	
670			オオヤマザクラ	<i>Cerasus sargentii var.sargentii</i>		○	
671			サンザシ	<i>Crataegus cuneata</i>		○	
672			オニシモツケ	<i>Filipendula camtschatica</i>		○	○
673			ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i>		○	○
674			ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>		○	○
675			ズミ	<i>Malus toringo var.toringo</i>		○	○
676			オオズミ	<i>Malus toringo var.zumi</i>		○	
677			オオウラジロノキ	<i>Malus tschonoskii</i>		○	
678			コゴメウツギ	<i>Neillia incisa</i>		○	○
679			イヌザクラ	<i>Padus buergeriana</i>		○	
680			ウワミズザクラ	<i>Padus grayana</i>		○	○
681	オヘビイチゴ		<i>Potentilla anemonifolia</i>			○	
682	ヒメヘビイチゴ		<i>Potentilla centigrana</i>		○	○	
683	イワキンバイ		<i>Potentilla dickinsii</i>		○		
684	ミツバツチグリ		<i>Potentilla freyniana</i>		○	○	
685	ヘビイチゴ		<i>Potentilla hebiichigo</i>		○	○	
686	ヤブヘビイチゴ		<i>Potentilla indica</i>			○	
687	ヒロハノカワラサイコ		<i>Potentilla niponica</i>		○	○	
688	ツルキンバイ		<i>Potentilla rosulifera</i>		○		
689	エチゴキジムシロ		<i>Potentilla togasii</i>		○		
690	カマツカ		<i>Pourthiaea villosa var.laevis</i>		○	○	
691	スモモ		<i>Prunus salicina</i>		○		
692	ミチノクナシ		<i>Pyrus ussuriensis var.ussuriensis</i>		○	○	
693	オオタカネバラ		<i>Rosa acicularis</i>		○		
694	ノイバラ		<i>Rosa multiflora var.multiflora</i>		○	○	
695	タカネバラ		<i>Rosa nipponensis Crép.</i>		○		
696	クマイチゴ		<i>Rubus crataegifolius</i>		○	○	
697	クサイチゴ		<i>Rubus hirsutus</i>		○		

表 3.1-39(14) 文献調査における植物生育種一覽

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
698	バラ	バラ	ミヤマウラジロイチゴ	<i>Rubus idaeus</i> L. subsp. <i>nipponicus</i> Focke var. <i>hondoensis</i> Koidz.		○			
699			ニガイチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>		○	○		
700			モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i>		○	○		
701			ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>		○	○		
702			サナギイチゴ	<i>Rubus pungens</i>	○				
703			ミヤマニガイチゴ	<i>Rubus subcrataegifolius</i>		○			
704			ベニバナイチゴ	<i>Rubus vernus</i> Focke		○			
705			シロバナトウウチソウ	<i>Sanguisorba albiflora</i> (Makino) Makino		○			
706			ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>		○			
707			ナガボノワレモコウ	<i>Sanguisorba tenuifolia</i> var. <i>tenuifolia</i>	○				
708			ナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> var. <i>commixta</i>		○			
709			サビバナナカマド	<i>Sorbus commixta</i> var. <i>rufoferruginea</i>		○			
710			マルバシモツケ	<i>Spiraea betulifolia</i> var. <i>betulifolia</i>		○			
711			アイヅシモツケ	<i>Spiraea chamaedryfolia</i> L. var. <i>pilosa</i> (Nakai) H.Hara		○			
712	エゾノシジミバナ	<i>Spiraea faurieana</i> C.K.Schneid.		○					
713	エゾノシロバナシモツケ	<i>Spiraea miyabei</i>		○					
714	ブナ	ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>		○	○		
715			ブナ	<i>Fagus crenata</i>		○			
716			イヌブナ	<i>Fagus japonica</i>	○	○	○		
717			アカガシ	<i>Quercus acuta</i>		○			
718			ナラガシワ	<i>Quercus aliena</i>		○			
719			ミズナラ	<i>Quercus crispula</i> var. <i>crispula</i>		○			
720			ミヤマナラ	<i>Quercus crispula</i> var. <i>horikawae</i>		○			
721			フモトミズナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>mongolicoides</i>		○			
722			コナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>		○	○		
723			クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>			○	
724			カバノキ	カバノキ	ミヤマハンノキ	<i>Alnus alnobetula</i> ssp. <i>maximowiczii</i>		○	
725					ケヤマハンノキ	<i>Alnus hirsuta</i>		○	
726					ヤマハンノキ	<i>Alnus hirsuta</i> f. <i>sibirica</i>		○	○
727					ハンノキ	<i>Alnus japonica</i>			○
728	エゾハンノキ	<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud. var. <i>japonica</i> f. <i>arguta</i> (Regel) H.Ohba				○			
729	ヒメヤシャブシ	<i>Alnus pendula</i>				○			
730	ダケカンバ	<i>Betula ermanii</i> var. <i>ermanii</i>				○			
731	ミズメ	<i>Betula grossa</i>				○			
732	ウダイカンバ	<i>Betula maximowicziana</i>				○			
733	サワシバ	<i>Carpinus cordata</i> var. <i>cordata</i>				○			
734	クマシデ	<i>Carpinus japonica</i>			○				
735	アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>				○	○		
736	イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i>				○			
737	ハシバミ	<i>Corylus heterophylla</i> var. <i>heterophylla</i>				○			
738	ツノハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>		○					
739	トックリハシバミ	<i>Corylus sieboldiana</i> Blume var. <i>brevirostris</i> C.K.Schneid.		○					
740		アサダ	<i>Ostrya japonica</i>		○				
741	ウリ	ドクウツギ	ドクウツギ	<i>Coriaria japonica</i>		○			
742		ウリ	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> var. <i>pentaphyllum</i>			○		
743			ミヤマニガウリ	<i>Schizopepon bryoniifolius</i>		○			
744			アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>			○		
745			キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> var. <i>japonica</i>			○		
746			スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i>		○	○		
747	ニシキギ	ニシキギ	イワウメヅル	<i>Celastrus flagellaris</i>	○				
748			ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>orbiculatus</i>		○	○		
749			オニツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>strigillosus</i>			○		
750			ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i>		○			
751			コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliatodentatus</i>		○	○		

表 3.1-39(15) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
752	ニシキギ	ニシキギ	ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>fortunei</i>			○	
753			ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>			○	
754			カントウマユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i> var. <i>sanguineus</i>		○		
755			ウメバチソウ	<i>Parnassia palustris</i> var. <i>palustris</i>		○		
756			ウラジロクロゾル	<i>Tripterygium regelii</i> Sprague et Takeda f. <i>hypoleucum</i> (Hayashi) H.Hara		○		
757			クロゾル	<i>Tripterygium wilfordii</i>		○		
758	カタバミ	カタバミ	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>			○	
759			エゾタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>		○	○	
760	キントラノオ	トウダイグサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>		○	○	
761			マルミノウルシ	<i>Euphorbia ebracteolata</i>	○	○		
762			コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>		○	○	
763			オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i>			○	
764			センダイタイゲキ	<i>Euphorbia sendaica</i>		○		
765			ナツトウダイ	<i>Euphorbia sieboldiana</i>		○		
766			シナノタイゲキ	<i>Euphorbia sinanensis</i>		○		
767			シラキ	<i>Neoshirakia japonica</i>		○		
768			ヤナギ	ヤマナラシ	<i>Populus tremula</i> var. <i>sieboldii</i>			○
769				ウンリュウヤナギ	<i>Salix babylonica</i> 'Tortuosa'			○
770				バッコヤナギ	<i>Salix caprea</i>		○	○
771				マルバヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>	○		
772				シロヤナギ	<i>Salix dolichostyla</i>			○
773				ネコヤナギ	<i>Salix gracilistyla</i>			○
774		イヌコリヤナギ		<i>Salix integra</i>		○	○	
775		カワヤナギ		<i>Salix miyabeana</i> ssp. <i>gymnolepis</i>		○	○	
776		ミヤマヤナギ		<i>Salix reinii</i>		○		
777		キヌヤナギ		<i>Salix schwerinii</i> 'Kinuyanagi'			○	
778		タチヤナギ		<i>Salix triandra</i>			○	
779		オノエヤナギ		<i>Salix udensis</i>		○	○	
780		キツネヤナギ	<i>Salix vulpina</i> ssp. <i>vulpina</i>		○	○		
781		スミレ	エゾノタチツボスミレ	<i>Viola acuminata</i>		○	○	
782			アリアケスミレ	<i>Viola betonicifolia</i> var. <i>albescens</i>		○		
783			ウスバスミレ	<i>Viola blandiformis</i> Nakai		○		
784			エゾノアオイスミレ	<i>Viola collina</i> Besser		○		
785			エイザンスミレ	<i>Viola eizanensis</i>		○		
786			タチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> var. <i>grypoceras</i>		○	○	
787			アカフタチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>grypoceras</i> f. <i>variegata</i> Nakai		○		
788			ケオトメスミレ	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>grypoceras</i> f. <i>hemileuca</i> Honda		○		
789			ケタチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>grypoceras</i> f. <i>pubescens</i> (Nakai) M.Mizush.		○		
790			サクラスミレ	<i>Viola hirtipes</i>		○		
791			アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i>		○	○	
792			コスミレ	<i>Viola japonica</i>		○		
793			ヒゲコスミレ	<i>Viola japonica</i> Langsd. ex DC. f. <i>barbata</i> (Hiyama) Hiyama ex F.Maek.		○		
794			フイリコスミレ	<i>Viola japonica</i> Langsd. ex DC. f. <i>variegata</i> (Hatus.) F.Maek.		○		
795			マルバスミレ	<i>Viola keiskei</i>		○	○	
796	ヒゲケマルバスミレ		<i>Viola keiskei</i> Miq. f. <i>barbata</i> Hiyama ex F.Maek.		○			
797	オオタチツボスミレ		<i>Viola kusanoana</i>		○	○		
798	スミレ		<i>Viola mandshurica</i> var. <i>mandshurica</i>		○			
799	イブキスミレ		<i>Viola mirabilis</i> var. <i>subglabra</i>		○			
800	ニオイタチツボスミレ		<i>Viola obtusa</i>		○	○		
801	オトメニオイタチツボスミレ		<i>Viola obtusa</i> Makino f. <i>hemileuca</i> Sugim.		○			

表 3.1-39(16) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
802	キントラノオ	スミレ	シロバナニオイタチツボスミレ	<i>Viola obtusa Makino f. chibae (Makino) Hiyama ex F.Maek.</i>		○		
803			シロスミレ	<i>Viola patrinii</i>		○		
804			アカネスミレ	<i>Viola phalacrocarpa</i>		○		
805			アケボノスミレ	<i>Viola rossii</i>		○		
806			シロバナアケボノスミレ	<i>Viola rossii Hemsl. f. lactiflora (Nakai) Hiyama ex F.Maek.</i>		○		
807			ナガハシスミレ	<i>Viola rostrata var. japonica</i>		○		
808			シラユキナガハシスミレ	<i>Viola rostrata Pursh f. albiflora Y.Ueno</i>		○		
809			アイヌタチツボスミレ	<i>Viola sacchalinensis</i>		○		
810			ミヤマスミレ	<i>Viola selkirkii</i>		○		
811			シロバナミヤマスミレ	<i>Viola selkirkii Pursh ex Goldie f. alba Tatew.</i>		○		
812			フモトスミレ	<i>Viola sieboldii ssp. sieboldii</i>		○		
813			ヒナスミレ	<i>Viola tokubuchiana var. takedana</i>		○	○	
814			フイリヒナスミレ	<i>Viola tokubuchiana Makino var. takedana (Makino) F.Maek. f. variegata (Nakai) F.Maek.</i>		○		
815			スミレサイシン	<i>Viola vaginata</i>		○		
816			ミヤマツボスミレ	<i>Viola verecunda var. fibrillosa</i>		○	○	
817			アギスミレ	<i>Viola verecunda var. semilunaris</i>				
818			ツボスミレ	<i>Viola verecunda var. verecunda</i>		○	○	
819			ムラサキコマノツメ	<i>Viola verecunda A.Gray var. verecunda f. violascens Hiyama ex F.Maek.</i>		○		
820			マキノスミレ	<i>Viola violacea var. makinoi</i>		○		
821			ノジスミレ	<i>Viola yedoensis var. yedoensis</i>		○		
822			ヒカゲスミレ	<i>Viola yezoensis</i>		○		
823			タカオスミレ	<i>Viola yezoensis Maxim. var. yezoensis f. discolor (Nakai) Hiyama ex F.Maek.</i>		○		
824			カワギシスミレ	<i>Viola × taradakensis Nakai nothovar. eizalacea F.Maek. et T.Hashim. ex T.Shimizu</i>		○		
825			アマ	マツハニンジン	<i>Linum stelleroides</i>		○	
826			オトギリソウ	トモエソウ	<i>Hypericum ascyron</i>		○	○
827				オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i>		○	○
828				オクヤマオトギリ	<i>Hypericum gracillimum</i>		○	
829				コケオトギリ	<i>Hypericum laxum</i>		○	○
830				サワオトギリ	<i>Hypericum pseudopetiolatum</i>		○	○
831				イワオトギリ	<i>Hypericum senanense ssp. mutiloides</i>		○	
832				オシマオトギリ	<i>Hypericum vulcanicum</i>		○	
833				エゾオトギリ	<i>Hypericum yezoense</i>		○	
834				フウロソウ	フウロソウ	ヒメフウロ	<i>Geranium robertianum</i>	
835	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>				○	○	
836	コフウロ	<i>Geranium tripartitum var. tripartitum</i>				○		
837	ミツバフウロ	<i>Geranium wilfordii var. wilfordii</i>				○		
838	フトモモ	ミソハギ	ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i>		○	○	
839		アカバナ	ヤナギラン	<i>Chamaenerion angustifolium ssp. angustifolium</i>		○		
840			ミヤマタニタデ	<i>Circaea alpina ssp. alpina</i>		○		
841			ウシタキシソウ	<i>Circaea cordata</i>		○		
842			ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i>		○	○	
843			イワアカバナ	<i>Epilobium amurense ssp. cephalostigma</i>		○		
844			アカバナ	<i>Epilobium pyrricholophum</i>		○	○	
845			チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides ssp. epilobioides</i>			○	
846			メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>			○	
847			ミツバウツギ	ミツバウツギ	<i>Staphylea bumalda</i>		○	○
848	キブシ	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i>		○			

表 3.1-39(17) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
849	ムクロジ	ウルシ	ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>		○	○		
850			ヤマウルシ	<i>Toxicodendron trichocarpum</i>			○		
851			ウルシ	<i>Toxicodendron vernicifluum</i>			○		
852		ムクロジ	オオモミジ	<i>Acer amoenum</i> var. <i>amoenum</i>		○	○		
853			ヤマモミジ	<i>Acer amoenum</i> var. <i>matsumurae</i>		○	○		
854			ナンゴクミネカエデ	<i>Acer australe</i> (Momot.) Ohwi et Momot.		○			
855			チドリノキ	<i>Acer carpinifolium</i>		○			
856			ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i>	○				
857			ヒトツバカエデ	<i>Acer distylum</i>		○			
858			ハウチワカエデ	<i>Acer japonicum</i>		○	○		
859			コミネカエデ	<i>Acer micranthum</i>		○			
860			テツカエデ	<i>Acer nipponicum</i>		○			
861			イタヤカエデ (広義)	<i>Acer pictum</i>			○		
862			エンコウカエデ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>dissectum</i>		○	○		
863			アカイタヤ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>mayrii</i>		○			
864			エゾイタヤ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>mono</i>		○	○		
865			オニイタヤ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>pictum</i> f. <i>ambiguum</i>		○	○		
866			イタヤカエデ	<i>Acer pictum</i> Thunb.		○			
867			ウリハダカエデ	<i>Acer rufinerve</i>		○			
868			コハウチワカエデ	<i>Acer sieboldianum</i>		○			
869			ミネカエデ	<i>Acer tschonoskii</i>		○			
870			オガラバナ	<i>Acer ukurunduense</i>		○			
871			トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i>		○			
872			モクゲンジ	<i>Koelreuteria paniculata</i>		○			
873			ミカン	マツカゼソウ	<i>Boenninghausenia albiflora</i> var. <i>japonica</i>	○			
874				コクサギ	<i>Orixa japonica</i>		○		
875				サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>		○	○	
876				アサクラザンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC. f. <i>inermis</i> (Makino)		○		
877				イヌザンショウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> var. <i>schinifolium</i>		○	○	
878				ニガキ	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>			○
879			ニガキ		<i>Picrasma quassioides</i>			○	
880			アオイ	アオイ	ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i>			○
881					シナノキ	<i>Tilia japonica</i> var. <i>japonica</i>		○	
882		オオバボダイジュ			<i>Tilia maximowicziana</i> var. <i>maximowicziana</i>		○		
883		モイワボダイジュ			<i>Tilia maximowicziana</i> var. <i>yesoana</i>		○		
884		ジンチョウゲ		カラスシキミ	<i>Daphne miyabeana</i>		○		
885		アブラナ	フウチョウソウ	フウチョウソウ	<i>Gynandropsis gynandra</i>			○	
886			アブラナ	ヤマハタザオ	<i>Arabis hirsuta</i>		○		
887				ハルザキヤマガラン	<i>Barbarea vulgaris</i>		○	○	
888				カラシナ	<i>Brassica juncea</i>			○	
889				セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>			○	
890				アブラナ (広義)	<i>Brassica rapa</i>			○	
891				ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>			○	
892				オオケタネツケバナ	<i>Cardamine dentipetala</i>		○		
893				ジャニンジン	<i>Cardamine impatiens</i>			○	
894				コタネツケバナ	<i>Cardamine kokaiensis</i>		○		
895				コンロンソウ	<i>Cardamine leucantha</i>		○	○	
896	タネツケバナ			<i>Cardamine occulta</i>		○	○		
897	オオバタネツケバナ			<i>Cardamine scutata</i>		○	○		
898	マルバコンロンソウ			<i>Cardamine tanakae</i>	○				
899	マメグンバイナズナ			<i>Lepidium virginicum</i>			○		
900	ハマダイコン			<i>Raphanus sativus</i> f. <i>raphanistroides</i>			○		
901	イヌガラシ			<i>Rorippa indica</i>		○	○		
902	スカシタゴボウ			<i>Rorippa palustris</i>			○		
903	キレハイヌガラシ			<i>Rorippa sylvestris</i>			○		

表 3.1-39(18) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
904	ビャクダン	ビャクダン	カナビキソウ	<i>Thesium chinense</i>		○	○	
905	ナデシコ	タデ	クリンユキフデ	<i>Bistorta suffulta</i>	○			
906			ツルタデ	<i>Fallopia dumetorum</i>		○		
907			イタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>japonica</i>			○	
908			ケイタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>uzenensis</i>		○	○	
909			オオイタドリ	<i>Fallopia sachalinensis</i>		○	○	
910			ミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i>		○	○	
911			ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>			○	
912			シロバナサクラタデ	<i>Persicaria japonica</i> var. <i>japonica</i>	○		○	
913			サナエタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> var. <i>incana</i>		○	○	
914			オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> var. <i>lapathifolia</i>			○	
915			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>		○	○	
916			ハルタデ	<i>Persicaria maculosa</i> ssp. <i>hirticaulis</i> var. <i>pubescens</i>			○	
917			ヤノネグサ	<i>Persicaria muricata</i>			○	
918			タニソバ	<i>Persicaria nepalensis</i>		○	○	
919			サクラタデ	<i>Persicaria odorata</i> ssp. <i>conspicua</i>	○		○	
920			イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i>			○	
921			ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i>		○	○	
922			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>			○	
923			ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i>			○	
924			オオミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>stoloniferum</i>			○	
925			ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>		○	○	
926			ホソバイヌタデ	<i>Persicaria trigonocarpa</i>			○	
927			オオネバリタデ	<i>Persicaria viscofera</i> var. <i>robusta</i>		○		
928			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> ssp. <i>aviculare</i>			○	
929			ハイミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> ssp. <i>depressum</i>		○	○	
930			スイバ	<i>Rumex acetosa</i>		○	○	
931			ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> ssp. <i>pyrenaicus</i>			○	
932			ナガバギンギン	<i>Rumex crispus</i>			○	
933			ギンギン	<i>Rumex japonicus</i>			○	
934			ノダイオウ	<i>Rumex longifolius</i>	○		○	
935			マダイオウ	<i>Rumex madaio</i>			○	
936			エゾノギンギン	<i>Rumex obtusifolius</i>		○	○	
937			モウセンゴケ	モウセンゴケ	<i>Drosera rotundifolia</i>		○	
938			ナデシコ	オオヤマフスマ	<i>Arenaria lateriflora</i>		○	○
939				ノミノツヅリ	<i>Arenaria serpyllifolia</i> var. <i>serpyllifolia</i>			○
940				タチハコベ	<i>Arenaria trinervia</i>	○		
941				ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> ssp. <i>vulgare</i> var. <i>angustifolium</i>		○	○
942				オランダミミナグサ	<i>Cerastium glomeratum</i>		○	○
943				カワラナデシコ	<i>Dianthus superbis</i> var. <i>longicalycinus</i>	○	○	○
944				エゾカワラナデシコ	<i>Dianthus superbis</i> var. <i>superbus</i>		○	
945				ワダソウ	<i>Pseudostellaria heterophylla</i>	○	○	
946				ナンブワチガイソウ	<i>Pseudostellaria japonica</i>	○		
947				ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>			○
948				サボンソウ	<i>Saponaria officinalis</i>			○
949				ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i>			○
950				ナンバンハコベ	<i>Silene baccifera</i> var. <i>japonica</i>			○
951				フシグロ	<i>Silene firma</i>			○
952	ケフシグロ	<i>Silene firma</i> Siebold et Zucc. f. <i>pubescens</i> (Makino) M. Mizush.			○			
953	フシグロセンノウ	<i>Silene miqueliana</i>			○			
954	ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>			○	○		
955	サワハコベ	<i>Stellaria diversiflora</i> var. <i>diversiflora</i>			○			
956	コハコベ	<i>Stellaria media</i>				○		
957	ミドリハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>				○		

表 3.1-39(19) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
958	ナデシコ	ナデシコ	ミヤマハコベ	<i>Stellaria sessiliflora</i>			○		
959			ノミノフスマ	<i>Stellaria uliginosa</i> var. <i>undulata</i>		○	○		
960		ヒユ	イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>		○	○		
961			ヒナタイノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>			○		
962			イヌビユ	<i>Amaranthus blitum</i>			○		
963			ホソアオゲイトウ	<i>Amaranthus hybridus</i>		○	○		
964			ホナガイヌビユ	<i>Amaranthus viridis</i>			○		
965			アカザ	<i>Chenopodium album</i> var. <i>centrorubrum</i>			○		
966			シロザ	<i>Chenopodium album</i> var. <i>album</i>			○		
967			ミドリアカザ	<i>Chenopodium bryoniifolium</i>	○				
968			コアカザ	<i>Chenopodium ficifolium</i>			○		
969			アリタソウ	<i>Dysphania ambrosioides</i>			○		
970			ウラジロアカザ	<i>Oxybasis glauca</i>			○		
971			ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Phytolacca americana</i>		○	○	
972			ザクロソウ	クルマバザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i>			○	
973		スベリヒユ	スベリヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>			○		
974		ミズキ	ミズキ	ウリノキ	<i>Alangium platanifolium</i> f. <i>macrophyllum</i>		○		
975				ゴゼンタチバナ	<i>Cornus canadensis</i>		○		
976				ミズキ	<i>Cornus controversa</i> var. <i>controversa</i>		○	○	
977				ヤマボウシ	<i>Cornus kousa</i> ssp. <i>kousa</i>		○	○	
978	クマノミズキ			<i>Cornus macrophylla</i>		○	○		
979	アジサイ			ツルアジサイ	<i>Calyptanthe petiolaris</i>		○		
980			ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> var. <i>crenata</i>			○		
981			ノリウツギ	<i>Heteromalla paniculata</i>		○			
982			エゾアジサイ	<i>Hortensia cuspidata</i>		○			
983			バイカウツギ	<i>Philadelphus satsumi</i>		○			
984			ツツジ	ツリフネソウ	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i>		○	○
985					ツリフネソウ	<i>Impatiens textorii</i>		○	○
986				サクラソウ	ギンレイカ	<i>Lysimachiaacroadenia</i>	○	○	
987					オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>		○	○
988	ヌマトラノオ				<i>Lysimachia fortunei</i>		○	○	
989	コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i>				○	○		
990	ヒナザクラ	<i>Primula nipponica</i> Yatabe				○			
991	ヒメコザクラ	<i>Primula macrocarpa</i> Maxim.				○			
992	サクラソウ	<i>Primula sieboldii</i>			○				
993	ツマトリソウ	<i>Trientalis europaea</i>				○			
994	ツバキ	チャノキ		<i>Camellia sinensis</i> var. <i>sinensis</i>		○			
995	ハイノキ	サワフタギ		<i>Symplocos sawafutagi</i>		○			
996	イワウメ	オオイワカガミ		<i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>magnus</i>	○				
997		イワカガミ		<i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>soldanelloides</i>		○			
998		コイワカガミ		<i>Schizocodon soldanelloides</i> Siebold et Zucc. var. <i>soldanelloides</i> f. <i>alpinus</i> Maxim.		○			
999	エゴノキ	エゴノキ		<i>Styrax japonicus</i>		○	○		
1000		ハクウンボク		<i>Styrax obassia</i>		○			
1001	マタタビ	サルナシ		<i>Actinidia arguta</i> var. <i>arguta</i>		○	○		
1002		ミヤママタタビ		<i>Actinidia kolomikta</i>			○		
1003		マタタビ	<i>Actinidia polygama</i>		○	○			
1004	リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>		○	○			
1005	ツツジ	コメバツガザクラ	<i>Arctericana nana</i> (Maxim.) Makino		○				
1006		イワヒゲ	<i>Cassiope lycopodioides</i> (Pall.) D.Don		○				
1007		ミヤマホツツジ	<i>Elliottia bracteata</i>		○				
1008		ホツツジ	<i>Elliottia paniculata</i>		○				
1009		ガンコウラン	<i>Empetrum nigrum</i> var. <i>japonicum</i>		○				
1010		サラサドウダン	<i>Enkianthus campanulatus</i> var. <i>campanulatus</i>		○				
1011		アカモノ	<i>Gaultheria adonothrix</i>		○				
1012		シラタマノキ	<i>Gaultheria pyrolloides</i>		○				



表 3.1-39(20) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
1013	ツツジ	ツツジ	シヤクジョウソウ	<i>Hypopitys monotropa</i>	○				
1014			エゾウラジロハナヒリノキ	<i>Leucothoe grayana</i> var. <i>glabra</i>		○			
1015			ハナヒリノキ	<i>Leucothoe grayana</i> var. <i>grayana</i>		○			
1016			ミネズオウ	<i>Loiseleuria procumbens</i> (L.) Desv.		○			
1017			ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>	○	○			
1018			アオノツガザクラ	<i>Phyllodoce aleutica</i> (Spreng.) A.Heller		○			
1019			ナガバツガザクラ	<i>Phyllodoce nipponica</i> Makino subsp. <i>tsugifolia</i> (Nakai) Toyok.		○			
1020			イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> var. <i>japonica</i>		○			
1021			マルバノイチヤクソウ	<i>Pyrola nephrophylla</i>		○			
1022			ハクサンシヤクナゲ	<i>Rhododendron brachycarpum</i>		○			
1023			ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> var. <i>kaempferi</i>		○	○		
1024			ウラジロレンゲツツジ	<i>Rhododendron molle</i> G.Don subsp. <i>japonicum</i> (A.Gray) K.Kron f. <i>glaucophyllum</i> (Nakai) Yonek.		○			
1025			レンゲツツジ	<i>Rhododendron molle</i> ssp. <i>japonicum</i>		○	○		
1026			ウラジロヨウラク	<i>Rhododendron multiflorum</i> var. <i>multiflorum</i>		○			
1027			オオバツツジ	<i>Rhododendron nipponicum</i>		○			
1028			コヨウラクツツジ	<i>Rhododendron pentandrum</i>		○			
1029			アカヤシオ	<i>Rhododendron pentaphyllum</i> var. <i>nikoense</i>		○			
1030			シロヤシオ	<i>Rhododendron quinquefolium</i>	○	○			
1031			バイカツツジ	<i>Rhododendron semibarbatum</i>		○			
1032			コメツツジ	<i>Rhododendron tschonoskii</i> var. <i>tschonoskii</i>		○			
1033			ウスノキ	<i>Vaccinium hirtum</i> var. <i>pubescens</i>		○			
1034			アクシバ	<i>Vaccinium japonicum</i> var. <i>japonicum</i>		○			
1035			ナツハゼ	<i>Vaccinium oldhamii</i>		○	○		
1036			クロウスゴ	<i>Vaccinium ovalifolium</i> var. <i>ovalifolium</i>		○			
1037			ツルコケモモ	<i>Vaccinium oxycoccos</i>		○			
1038			マルバウスゴ	<i>Vaccinium shikokianum</i> Nakai		○			
1039			オオバスノキ	<i>Vaccinium smallii</i> var. <i>smallii</i>		○			
1040			コケモモ	<i>Vaccinium vitis-idaea</i>		○			
1041			アオキ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>japonica</i>			○	
1042			リンドウ	アカネ	クルマムグラ	<i>Galium japonicum</i>		○	
1043					エゾノヨツバムグラ	<i>Galium kamtschaticum</i>		○	
1044					オオバノヨツバムグラ	<i>Galium kamtschaticum</i> var. <i>acutifolium</i>		○	
1045					キクムグラ	<i>Galium kikumugura</i>	○		
1046					トゲナシムグラ	<i>Galium mollugo</i>		○	○
1047	クルマバソウ	<i>Galium odoratum</i>				○			
1048	ヤマムグラ	<i>Galium pogonanthum</i>				○			
1049	オオバノヤエムグラ	<i>Galium pseudoasprellum</i>					○		
1050	ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>				○	○		
1051	ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i>				○			
1052	ホソバノヨツバムグラ	<i>Galium trifidum</i> ssp. <i>columbianum</i>					○		
1053	オククルマムグラ	<i>Galium trifloriforme</i>				○	○		
1054	エゾノカワラマツバ	<i>Galium verum</i> ssp. <i>asiaticum</i> var. <i>trachycarpum</i>				○			
1055	ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>				○	○		
1056	アカネ	<i>Rubia argyi</i>				○	○		
1057	オオキシタソウ	<i>Rubia chinensis</i> f. <i>mitis</i>			○				
1058	リンドウ	リンドウ			<i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i>		○		
1059		コケリンドウ			<i>Gentiana squarrosa</i>	○			
1060		ハルリンドウ			<i>Gentiana thunbergii</i>	○	○		
1061		タテヤマリンドウ			<i>Gentiana thunbergii</i> var. <i>minor</i>		○		
1062		エゾオヤマリンドウ			<i>Gentiana triflora</i> var. <i>japonica</i> f. <i>montana</i>		○		
1063		ホソバノツルリンドウ			<i>Pterygocalyx volubilis</i>	○			
1064		アケボノソウ			<i>Swertia bimaculata</i>		○		
1065		センブリ			<i>Swertia japonica</i>	○			
1066		イヌセンブリ			<i>Swertia tosaensis</i>	○			

表 3.1-39(21) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
1067	リンドウ	リンドウ	ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>		○			
1068		キョウチクトウ	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>			○		
1069			ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>		○			
1070			オオカモメヅル	<i>Vincetoxicum aristolochioides</i>		○			
1071			フナバラソウ	<i>Vincetoxicum atratum</i>		○			
1072			コカモメヅル	<i>Vincetoxicum floribundum</i>		○			
1073			タチガシラ	<i>Vincetoxicum magnificum</i>	○	○			
1074			スズサイコ	<i>Vincetoxicum pycnostelma</i>	○				
1075			シロバナカモメヅル	<i>Vincetoxicum sublanceolatum</i> var. <i>macranthum</i>			○		
1076			ナス	ヒルガオ	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i>			○
1077	ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i>					○		
1078	セイヨウヒルガオ	<i>Convolvulus arvensis</i>				○			
1079	ナス	ホオズキ		<i>Physalis alkekengi</i> var. <i>franchetii</i>			○		
1080		ヤマホロシ		<i>Solanum japonense</i>	○				
1081		ヒヨドリジョウゴ		<i>Solanum lyratum</i>		○			
1082		オオマルバノホロシ		<i>Solanum megacarpum</i>	○		○		
1083		イヌホオズキ		<i>Solanum nigrum</i>		○			
1084		ムラサキ		ムラサキ	サワリソウ	<i>Ancistrocarya japonica</i>	○	○	
1085					ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i>		○	○
1086	オニルリソウ		<i>Cynoglossum asperrimum</i>		○				
1087	オオルリソウ		<i>Cynoglossum furcatum</i> var. <i>villosulum</i>			○			
1088	ツルカメバソウ		<i>Trigonotis iinumae</i>		○				
1089	ノハラムラサキ		<i>Myosotis arvensis</i>				○		
—	ワスレナグサ属の一種		<i>Myosotis</i> sp.				○		
1090	ヒレハリソウ		<i>Symphytum officinale</i>				○		
1091	キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>			○				
1092	シソ	モクセイ	デフノトネリコ	<i>Fraxinus japonica</i> f. <i>stenocarpa</i>		○			
1093			ケアオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> f. <i>lanuginosa</i>		○			
1094			アオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> f. <i>serrata</i>		○	○		
1095			ヤマトアオダモ	<i>Fraxinus longicuspis</i>		○			
1096			ツクシトネリコ	<i>Fraxinus longicuspis</i> Siebold et Zucc. var. <i>latifolia</i> Nakai		○			
1097			マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i>		○	○		
1098			イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i> ssp. <i>obtusifolium</i>		○	○		
1099			オオバイボタ	<i>Ligustrum ovalifolium</i> var. <i>ovalifolium</i>			○		
1100			ミヤマイボタ	<i>Ligustrum tschonoskii</i> var. <i>tschonoskii</i>		○			
1101			オオバコ	ミズハコベ	<i>Callitriche palustris</i>			○	
1102		マルバノサワトウガラシ		<i>Deinostema adenocaulum</i>	○				
1103		キクモ		<i>Linnophila sessiliflora</i>			○		
1104		オオバコ		<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>		○	○		
1105		ヘラオオバコ		<i>Plantago lanceolata</i>			○		
1106		タチイヌノフグリ		<i>Veronica arvensis</i>		○	○		
1107		ヒヨクソウ		<i>Veronica laxa</i>	○	○	○		
1108		クワガタソウ		<i>Veronica miqueliana</i>		○			
1109		ムシクサ		<i>Veronica peregrina</i>			○		
1110		オオイヌノフグリ		<i>Veronica persica</i>			○		
1111		イヌノフグリ	<i>Veronica polita</i>	○					
1112	クガイソウ	<i>Veronicastrum sibiricum</i> f. <i>glabratum</i>			○				
1113	ゴマノハグサ	ゴマノハグサ	<i>Scrophularia buergeriana</i>			○			
1114		オオヒナノウスツボ	<i>Scrophularia kakudensis</i>		○	○			
1115	アゼナ	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> ssp. <i>major</i>			○			
1116	アゼトウガラシ	アゼナ	<i>Lindernia procumbens</i>		○	○			
1117	シソ	カワミドリ	<i>Agastache rugosa</i>		○				
1118		カイジンドウ	<i>Ajuga ciliata</i> var. <i>villosior</i>	○					
1119		キランソウ	<i>Ajuga decumbens</i>		○				
1120		ツクバキンモンソウ	<i>Ajuga yesoensis</i> var. <i>tsukubana</i>		○				

表 3.1-39(22) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2			
					1	2	3	
1121	シソ	シソ	ニシキゴロモ	<i>Ajuga yesoensis</i> var. <i>yesoensis</i>		○		
1122			ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>japonica</i>		○	○	
1123			ジャコウソウ	<i>Chelonopsis moschata</i>		○		
1124			クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>		○	○	
1125			ヤマクマバナ	<i>Clinopodium chinense</i> ssp. <i>glabrescens</i>		○	○	
1126			クマバナ	<i>Clinopodium coreanum</i> ssp. <i>coreanum</i>		○	○	
1127			トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>			○	
1128			イヌトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> var. <i>micranthum</i>		○	○	
1129			ミヤマトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i> var. <i>sachalinense</i>		○		
1130			テンニンソウ	<i>Comanthosphace japonica</i>		○		
1131			ナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i>			○	
1132			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> ssp. <i>grandis</i>		○	○	
1133			ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i>		○		
1134			クロバナヒキオコシ	<i>Isodon trichocarpus</i>		○		
1135			オドリコソウ	<i>Lamium album</i> var. <i>barbatum</i>		○	○	
1136			ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>		○		
1137			ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>		○	○	
1138			キセワタ	<i>Leonurus macranthus</i>		○		
1139			コシロネ	<i>Lycopus cavaleriei</i>			○	
1140			シロネ	<i>Lycopus lucidus</i>		○	○	
1141			ヒメシロネ	<i>Lycopus maackianus</i>		○	○	
1142			エゾシロネ	<i>Lycopus uniflorus</i>			○	
1143			ラショウモンカズラ	<i>Meehania urticifolia</i>		○	○	
1144			ハッカ	<i>Mentha canadensis</i>		○	○	
1145			コショウハッカ	<i>Mentha x piperita</i>			○	
1146			ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>			○	
1147			イヌコウジュ	<i>Mosla scabra</i>			○	
1148			シソ	<i>Perilla frutescens</i> var. <i>crispa</i>			○	
1149			ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> ssp. <i>asiatica</i>		○	○	
1150			ミヤマタムラソウ	<i>Salvia lutescens</i> var. <i>crenata</i>		○		
1151			キバナアキギリ	<i>Salvia nipponica</i> var. <i>nipponica</i>		○		
1152			ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i>			○	
1153			ヤマタツナミソウ	<i>Scutellaria pekinensis</i> var. <i>transita</i>		○		
1154			イヌゴマ	<i>Stachys aspera</i> var. <i>hispidula</i>			○	
1155			ニガクサ	<i>Teucrium japonicum</i>			○	
1156			エゾニガクサ	<i>Teucrium veronicoides</i> var. <i>veronicoides</i>		○		
1157			ツルニガクサ	<i>Teucrium viscidum</i> var. <i>miquelianum</i>		○	○	
1158			サギゴケ	ムラサキサギゴケ	<i>Mazus miquelii</i>			○
1159				サギゴケ	<i>Mazus miquelii</i> Makino		○	
1160				トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i>		○	○
1161			ハエドクソウ	ミゾホオズキ	<i>Mimulus nepalensis</i>		○	
1162				ハエドクソウ	<i>Phryma nana</i>		○	
1163				ナガハシエドクソウ	<i>Phryma oblongifolia</i>		○	
1164			キリ	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>			○
1165			ハマウツボ	オオナンバンギセル	<i>Aeginetia sinensis</i>	○	○	
1166				シコクママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>laxum</i>		○	
1167				ミヤマママコナ	<i>Melampyrum laxum</i> var. <i>nikkoense</i>	○		
1168				ママコナ	<i>Melampyrum roseum</i> var. <i>japonicum</i>		○	
1169				シオガマギク	<i>Pedicularis resupinata</i> ssp. <i>oppositifolia</i> var. <i>oppositifolia</i>		○	
1170				エゾシオガマ	<i>Pedicularis yezoensis</i> var. <i>yezoensis</i>		○	
1171				ヒキヨモギ	<i>Siphonostegia chinensis</i>		○	
1172			タヌキモ	ムシトリスミレ	<i>Pinguicula macroceras</i>		○	
1173				イヌタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>	○		
1174				ミミカキグサ	<i>Utricularia bifida</i>	○		
1175				ムラサキミミカキグサ	<i>Utricularia uliginosa</i>	○	○	

表 3.1-39 (23) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1176	シソ	タヌキモ	オオタヌキモ	<i>Utricularia macrorhiza</i>	○	○	
1177		ノウゼンカズラ	キササゲ	<i>Catalpa ovata</i>			○
1178	モチノキ	ハナイカダ	ハナイカダ	<i>Helwingia japonica</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>		○	○
1179		モチノキ	ハイヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> var. <i>radicans</i>		○	
1180			アオハダ	<i>Ilex macropoda</i>		○	
1181			ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i>		○	
1182			アカミノイヌツゲ	<i>Ilex sugerokii</i> var. <i>brevipedunculata</i>		○	
1183			キク	キキョウ	フクシマシャジン	<i>Adenophora divaricata</i>	○
1184	ミョウギシャジン	<i>Adenophora nikoensis</i>			○	○	
1185	ソバナ	<i>Adenophora remotiflora</i>				○	
1186	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>				○	○
1187	ハクサンシャジン	<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A.DC. var. <i>japonica</i> (Regel) H.Hara f. <i>violacea</i> (H.Hara) T.Shimizu					○
1188	シデシャジン	<i>Asyneuma japonicum</i>			○	○	
1189	ホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> var. <i>punctata</i>				○	○
1190	ミゾカクシ	<i>Lobelia chinensis</i>					○
1191	サワギキョウ	<i>Lobelia sessilifolia</i>				○	
1192	タニギキョウ	<i>Peracarpa carnosia</i> var. <i>carnosia</i>				○	
1193	キキョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i>		○	○		
1194	ミツガシワ	ミツガシワ		<i>Menyanthes trifoliata</i>	○	○	
1195		イワイチョウ		<i>Nephrophyllidium crista-galli</i> (Menzies ex Hook.) Gilg subsp. <i>japonicum</i> (Franch.) Yonek. et H.Ohashi		○	
1196	キク	ヤマノコギリソウ		<i>Achillea alpina</i> ssp. <i>alpina</i> var. <i>discoidea</i>		○	
1197		ノブキ		<i>Adenocaulon himalaicum</i>		○	
1198		カッコウアザミ		<i>Ageratum conyzoides</i>			○
1199		オクモミジハグマ		<i>Ainsliaea acerifolia</i> var. <i>subapoda</i>		○	
1200		キッコウハグマ		<i>Ainsliaea apiculata</i>		○	
1201		ブタクサ		<i>Ambrosia artemisiifolia</i>			○
1202		オオブタクサ		<i>Ambrosia trifida</i>			○
1203		ヤマノハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> ssp. <i>margaritacea</i> var. <i>margaritacea</i>		○		
1204		カワラハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> ssp. <i>margaritacea</i> var. <i>vedoensis</i>	○			
1205		チョウジギク	<i>Arnica mallotopus</i>		○		
1206		ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>		○	○	
1207		オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>			○	
1208		イヌヨモギ	<i>Artemisia keiskeana</i>		○		
1209		ヒトツバヨモギ	<i>Artemisia monophylla</i>		○		
1210		オオヨモギ	<i>Artemisia montana</i>		○	○	
1211		タカヨモギ	<i>Artemisia selengensis</i>			○	
—			ヨモギ属の一種	<i>Artemisia</i> sp.			○
1212		ヒメシオン	<i>Aster fastigiatus</i>			○	
1213		ゴマナ	<i>Aster glehnii</i>		○		
1214		ユウガギク	<i>Aster iinumae</i>		○	○	
1215		シロヨメナ	<i>Aster leiophyllus</i> var. <i>leiophyllus</i>		○	○	
1216		ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>		○	○	
1217		シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>		○		
1218		カントウヨメナ	<i>Aster yomena</i> var. <i>dentatus</i>			○	
1219		オケラ	<i>Atractylodes ovata</i>		○		
1220		アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>		○	○	
1221		タウコギ	<i>Bidens tripartita</i>			○	
1222		ヤブタバコ	<i>Carpesium abrotanoides</i>		○		
1223		ガンクビソウ	<i>Carpesium divaricatum</i> var. <i>divaricatum</i>		○	○	
1224		ノッポロガンクビソウ	<i>Carpesium divaricatum</i> var. <i>matsuei</i>		○		
1225	サジガンクビソウ	<i>Carpesium glossophyllum</i>		○			
1226	オオガンクビソウ	<i>Carpesium macrocephalum</i>	○				

表 3.1-39(24) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1227	キク	キク	ヒメガンクビソウ	<i>Carpesium rosulatum</i>	○		
1228			トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>			○
1229			シマカンギク	<i>Chrysanthemum indicum</i> var. <i>indicum</i>	○	○	
1230			キクタニギク	<i>Chrysanthemum seticuspe</i> var. <i>boreale</i>	○	○	
1231			アワコガネギク	<i>Chrysanthemum seticuspe</i> f. <i>boreale</i>			○
1232			ダキバヒメアザミ	<i>Cirsium amplexifolium</i>		○	
1233			アオモリアザミ	<i>Cirsium aomorense</i>		○	
1234			モリアザミ	<i>Cirsium dipsacolepis</i>	○		
1235			ハナマキアザミ	<i>Cirsium hanamakiense</i>		○	○
1236			ノアザミ	<i>Cirsium japonicum</i> var. <i>japonicum</i>		○	○
1237			ノハラアザミ	<i>Cirsium oligophyllum</i> var. <i>oligophyllum</i>		○	○
1238			タカアザミ	<i>Cirsium pendulum</i>			○
1239			マツシマアザミ	<i>Cirsium sendaicum</i>		○	
1240			エゾノキツネアザミ	<i>Cirsium setosum</i>			○
1241			ハルシャギク	<i>Coreopsis tinctoria</i>			○
1242			コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>			○
1243			ヤクシソウ	<i>Crepidiastrum denticulatum</i>			○
1244			ダンドボロギク	<i>Erechtites hieraciifolius</i> var. <i>hieraciifolius</i>		○	○
1245			ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>		○	○
1246			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>		○	○
1247			ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>			○
1248			オオアレチノギク	<i>Erigeron sumatrensis</i>			○
1249			アズマギク	<i>Erigeron thunbergii</i>		○	
1250			ヨツバヒヨドリ	<i>Eupatorium glehnii</i>		○	
1251			サワヒヨドリ	<i>Eupatorium lindleyanum</i>		○	○
1252			ヒヨドリバナ (広義)	<i>Eupatorium makinoi</i>			○
1253			オオヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi</i> var. <i>oppositifolium</i>		○	
1254			ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>			○
1255			チチコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i>			○
1256			キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>			○
1257			キツネアザミ	<i>Hemisteptia lyrata</i>			○
1258			ヤナギタンポポ	<i>Hieracium umbellatum</i>		○	
1259			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>			○
1260			オグルマ	<i>Inula britannica</i> ssp. <i>japonica</i>			○
1261			ミズギク	<i>Inula ciliaris</i> var. <i>ciliaris</i>		○	
1262			カセンソウ	<i>Inula salicina</i> var. <i>asiatica</i>		○	○
1263			ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>dentatum</i>			○
1264			クモマニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>kimuranum</i>		○	
1265			ハナニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>nipponicum</i> var. <i>albiflorum</i>		○	
1266			タカサゴソウ	<i>Ixeris chinensis</i> ssp. <i>strigosa</i>	○		
1267			オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i>			○
1268			ノニガナ	<i>Ixeris polycephala</i>	○		
1269			イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i>		○	○
1270			カワラニガナ	<i>Ixeris tamagawaensis</i>	○		
1271			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>			○
1272			ヤマニガナ	<i>Lactuca raddeana</i> var. <i>elata</i>		○	○
1273			トゲチシャ	<i>Lactuca serriola</i>			○
1274			ヤブタバコ	<i>Lapsanastrum humile</i>		○	○
1275			センボンヤリ	<i>Leibnitzia anandria</i>		○	
1276			フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>			○
1277			マルバダケブキ	<i>Ligularia dentata</i>		○	
1278			オタカラコウ	<i>Ligularia fischeri</i>		○	
1279			メタカラコウ	<i>Ligularia stenocephala</i>	○	○	
1280			カミツレ	<i>Matricaria chamomilla</i>			○
1281			コシカギク	<i>Matricaria matricarioides</i>			○
1282			オオニガナ	<i>Nabalus tanakae</i>	○		

表 3.1-39 (25) 文献調査における植物生育種一覽

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2		
					1	2	3
1283	キク	キク	モミジガサ	<i>Parasenecio delphiniifolius</i>		○	
1284			タマブキ	<i>Parasenecio farfarifolius</i> var. <i>bulbiferus</i>		○	○
1285			ヨブスマソウ	<i>Parasenecio robustus</i>		○	
1286			ナガバノコウヤボウキ	<i>Pertya glabrescens</i>	○		
1287			オヤリハグマ	<i>Pertya trilobata</i>	○	○	
1288			アキタブキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>giganteus</i>			○
1289			フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>		○	○
1290			コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>		○	○
1291			ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i>			○
1292			アキノハハコグサ	<i>Pseudognaphalium hypoleucum</i>		○	
1293			オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>		○	○
1294			ヒメヒゴタイ	<i>Saussurea pulchella</i>	○		
1295			アサマヒゴタイ	<i>Saussurea savatieri</i>		○	
1296			ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>			○
1297			タムラソウ	<i>Serratula coronata</i> ssp. <i>insularis</i>		○	
1298			コメナモミ	<i>Sigesbeckia glabrescens</i>			○
1299			メナモミ	<i>Sigesbeckia pubescens</i>		○	○
1300			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>		○	○
1301			オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> ssp. <i>serotina</i>			○
1302			アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>asiatica</i> var. <i>asiatica</i>		○	
1303			ミヤマアキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>leiocarpa</i>		○	
1304			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>			○
1305			ハチジョウウナ	<i>Sonchus brachyotus</i>			○
1306			ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>			○
1307			オヤマボクチ	<i>Synurus pungens</i>		○	
1308			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>			○
1309			エゾタンポポ	<i>Taraxacum venustum</i> ssp. <i>venustum</i>			○
1310			オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>			○
1311			イガオナモミ	<i>Xanthium orientale</i> ssp. <i>italicum</i>			○
1312			オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i> ssp. <i>sibiricum</i>	○		○
1313			オニタビラコ (広義)	<i>Youngia japonica</i>			○
1314			ウゴアザミ	<i>Cirsium ugoense</i> Nakai		○	
1315			ナンブタカネアザミ	<i>Cirsium nambuense</i> Nakai		○	
1316			ミネアザミ	<i>Cirsium alpicola</i> Nakai		○	
1317			ミヤマコウゾリナ	<i>Hieracium japonicum</i> Franch. et Sav.		○	
1318			シロバナニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>nipponicum</i> (Nakai) J.H.Pak et Kawano var. <i>albiflorum</i> (Makino) Tzvelev f. <i>leucanthum</i> (H.Hara) H.Nakai et H.Ohashi		○	
1319			オオヂシバリ	<i>Ixeris japonica</i> (Burm.f.) Nakai		○	
1320	オクウスギタンポポ	<i>Taraxacum denudatum</i> H.Koidz.		○			
1321	オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.		○			
1322	セリ	ウコギ	ウド	<i>Aralia cordata</i>		○	
1323			タラノキ	<i>Aralia elata</i>			○
1324			コシアブラ	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i>		○	
1325			ケヤマウコギ	<i>Eleutherococcus divaricatus</i>		○	
1326			ヤマウコギ	<i>Eleutherococcus spinosus</i> var. <i>spinosus</i>		○	○
1327			タカノツメ	<i>Gamblea innovans</i>		○	
1328			キツタ	<i>Hedera rhombea</i>		○	○
1329			ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>			○
1330			オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>		○	○
1331			チドメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i>			○
1332			トチバニンジン	<i>Panax japonicus</i>		○	
1333			エゾボウフウ	<i>Aegopodium alpestre</i>		○	
1334			トウキ	<i>Angelica acutiloba</i> var. <i>acutiloba</i>	○		
1335			ノダケ	<i>Angelica decursiva</i>		○	
1336			アマニユウ	<i>Angelica edulis</i>		○	

表 3.1-39(26) 文献調査における植物生育種一覧

No.	目名	科名	種名*1	学名	文献資料*2				
					1	2	3		
1337	セリ	セリ	ハナビゼリ	<i>Angelica inaequalis</i>		○			
1338			シラネセンキュウ	<i>Angelica polymorpha</i>		○			
1339			シャク	<i>Anthriscus sylvestris</i>			○		
1340			ホタルサイコ	<i>Bupleurum longiradiatum</i> var. <i>breviradiatum</i>		○			
1341			セントウソウ	<i>Chamaele decumbens</i>		○	○		
1342			ミヤマセンキュウ	<i>Conioselinum filicinum</i>		○			
1343			ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>		○	○		
1344			オオハナウド	<i>Heracleum sphondylium</i> ssp. <i>montanum</i>			○		
1345			イブキボウフウ	<i>Libanotis coreana</i>		○			
1346			セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>			○		
1347			ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i> var. <i>aristata</i>			○		
1348			ヤマゼリ	<i>Ostericum sieboldii</i>		○			
1349			ハクサンボウフウ	<i>Peucedanum multivittatum</i> Maxim.		○			
1350			ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i>		○			
1351			カノツメソウ	<i>Spuriopimpinella calycina</i>		○	○		
1352			シラネニンジン	<i>Tilingia ajanensis</i>		○			
1353			イブキゼリモドキ	<i>Tilingia holopetala</i>		○			
1354			ヤブジラミ	<i>Torilis japonica</i>		○	○		
1355			オヤブジラミ	<i>Torilis scabra</i>			○		
1356			マツムシソウ	ガマズミ	レンブクソウ	<i>Adoxa moschatellina</i> var. <i>moschatellina</i>	○	○	
1357	ソクズ	<i>Sambucus chinensis</i> var. <i>chinensis</i>			○				
1358	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>				○	○		
1359	ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>				○	○		
1360	ケナシヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> var. <i>plicatum</i> f.glabrum					○		
1361	ヤブデマリ	<i>Viburnum plicatum</i> var. <i>tomentosum</i>				○	○		
1362	マルバゴマキ	<i>Viburnum sieboldii</i> var. <i>obovatifolium</i>					○		
1363	オオミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i> var. <i>stipellatum</i>				○			
1364	ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i> var. <i>wrightii</i>				○	○		
1365	スイカズラ	ウゴツクハネウツギ			ウゴツクハネウツギ	<i>Abelia spathulata</i> var. <i>stenophylla</i>		○	
1366					ナベナ	<i>Dipsacus japonicus</i>		○	
1367					ウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i>		○	
1368					ミヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glandulosa</i>		○	
1369			ヤマウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>gracilipes</i>		○	○		
1370			スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>			○		
1371			アラゲヒョウタンボク	<i>Lonicera strophiphora</i> var. <i>strophiphora</i>			○		
1372			オニヒョウタンボク	<i>Lonicera vidalii</i>		○			
1373			キタカミヒョウタンボク	<i>Lonicera demissa</i> var. <i>borealis</i>		○	○		
1374			マルバキンレイカ	<i>Patrinia gibbosa</i>			○		
1375	オミナエシ	<i>Patrinia scabiosifolia</i>		○	○				
1376	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>			○				
1377	ツルカノコソウ	<i>Valeriana flaccidissima</i>			○				
1378	ノヂシャ	<i>Valerianella locusta</i>			○				
1379	タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>			○				
合計	55 目	154 科	1,379 種		180 種	938 種	643 種		

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和2年度生物リスト」(令和2年、国土交通省水情報 国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 文献資料の出典は、以下のとおりである。

1: 「いわてレッドデータブック 岩手の希少な野生生物 (2014年版)」(2014年3月、岩手県環境生活部 自然保護課)

2: 「岩手県産維管束植物チェックリスト (2018年版)」(2018年2月、岩手県植物誌調査会)

3: 「河川環境データベース 河川水辺の国勢調査」(国土交通省水情報国土データ管理センター)

注1) 文献資料の○は、同一の分類群に属する種などが確認されていれば、計上しない。

② 重要な植物

文献調査によって確認された植物のうち重要な種は、表 3.1-40 に示す 33 目 75 科 233 種である。

表 3.1-40(1) 文献調査で確認された重要な植物一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2					
				I	II	III	IV	V	
1	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ	ミズスギ					A	
2			ヤチスギラン					C	
3	ミズニラ	ミズニラ	ミズニラ				NT	B	
4	ハナヤスリ	ハナヤスリ	コヒロハハナヤスリ					DD	
5	サンショウモ	デンジソウ	デンジソウ				VU	A	
6			サンショウモ				VU	B	
7	ウラボシ	イノモトソウ	ハコネシダ					B	
8			オオバノイノモトソウ					D	
9		ナヨシダ	イワウサギシダ					A	
10		チャセンシダ	イチョウシダ				NT	B	
11		ヒメシダ	ゲジゲジシダ					C	
12			ヤワラシダ					C	
13		オシダ	サクライカグマ					B	
14			アイアスカイノデ					C	
15		シノブ	シノブ					C	
16		ウラボシ	イワオモダカ					B	
17		マツ	マツ	モミ					D
18		ヒノキ	イチイ	イヌガヤ					D
19				カヤ					D
20		スイレン	ジュンサイ	ジュンサイ					C
21	スイレン		コウホネ					C	
22	コショウ	ウマノスズクサ	ウマノスズクサ					D	
23			ミチノクサイシン				VU	B	
24	オモダカ	サトイモ	ミミガタテンナンショウ					C	
25		チシマゼキショウ	ゲイビゼキショウ			指定	EN	A	
26			チャボゼキショウ					A	
27		オモダカ	アギナシ				NT	C	
28		トチカガミ	ヤナギスブタ					B	
29			トリゲモ				VU	DD	
30			ミズオオバコ				VU	B	
31		シバナ	ホソバノシバナ			指定	VU	A	
32		ヒルムシロ	イトモ				NT	B	
33		ヤマノイモ	キンコウカ	キンコウカ					C
34	ユリ	ユリ	ヒメアマナ				EN	A	
35			ヤマスカシユリ				NT	B	
36			ホソバノアマナ					B	
37	クサスギカズラ	ラン	エビネ				NT	B	
38			キンセイラン				VU	A	
39			ナツエビネ				VU	A	
40			サルメンエビネ				VU	A	
41			ギンラン					C	
42			キンラン				VU	A	
43			ユウシュンラン				VU	A	
44			クマガイソウ				VU	A	
45			アツモリソウ		特定		VU	A	
46			ツチアケビ					B	
47			アオチドリ					B	
48			イチヨウラン					B	
49			サワラン					B	
50			コイチヨウラン					B	
51	カキラン					C			



表 3.1-40(2) 文献調査で確認された重要な植物一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2					
				I	II	III	IV	V	
52	クサスギカズラ	ラン	カモメラン				NT	A	
53			オノエラン						C
54			シロテンマ					CR	A
55			ミズトンボ					VU	B
56			オオミズトンボ					EN	Ex
57			ムカゴソウ					EN	DD
58			ムヨウラン						A
59			ギボウシラン					EN	A
60			フガクスズムシソウ					VU	A
61			スズムシソウ						A
62			アリドオシラン						B
63			コフタバラン						C
64			アオフタバラン						B
65			サギソウ					NT	A
66			タカネトンボ					VU	B
67			ミズチドリ						B
68			ツレサギソウ						A
69			ヤマサギソウ						B
70			オオヤマサギソウ						C
71			ホソバノキノチドリ						C
72			トンボソウ						C
73			トキシソウ					NT	B
74			ウチョウラン					VU	A
75			ヒトツボクロ						A
76			ショウキラン						B
77			アヤメ	カキツバタ				NT	B
78			イネ	ガマ	ミクリ				NT
79	ヤマトミクリ						NT	C	
80	タマミクリ						NT	B	
81	イグサ	ハナビゼキショウ						C	
82		ホソコウガイゼキショウ						C	
83	カヤツリグサ	ヒラギシスゲ						C	
84		ヌマアゼスゲ					VU	A	
85		ミヤマジュズスゲ						C	
86		ウスイロスゲ						B	
87		ヌマスゲ					CR	A	
88		センダイスゲ						B	
89		セイタカハリイ						C	
90		コアゼテンツキ						C	
91		タカネクロスゲ					VU	B	
92		マツカサススキ						C	
93	イネ	タカネコウボウ						DD	
94		オガルカヤ						C	
95	キンボウゲ	ケシ		ツルケマン					A
96				ナガミノツルケマン				NT	
97		キンボウゲ		センウズモドキ				VU	C
98			アズマレイジンソウ					B	
99			ミチノクフクジュソウ				NT	B	
100			フクジュソウ					B	
101			ヒメイチゲ					C	
102			サンリンソウ					C	
103			レンゲショウマ					B	
104			ミスミソウ				NT	B	
105			オオミスミソウ					B	
106			スハマソウ					B	
107			バイカモ					C	

表 3.1-40(3) 文献調査で確認された重要な植物一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2				
				I	II	III	IV	V
108	キンボウゲ	キンボウゲ	チャボカラマツ				VU	B
109			イワカラマツ				VU	DD
110		ボタン	ヤマシャクヤク				NT	B
111			ベニバナヤマシャクヤク				VU	A
112		マンサク	トサミズキ				NT	
113		タコノアシ	タコノアシ				NT	B
114		アリノトウグサ	タチモ				NT	B
115		マメ	マメ	ノササゲ				
116	マキエハギ							C
117	ツガルフジ							B
118	ヒメハギ		ヒナノキンチャク				EN	A
119	バラ	イラクサ	トキホコリ				VU	
120		バラ	チョウセンキンミズヒキ				VU	C
121			ヒロハノカワラサイコ				VU	C
122			ミチノクナシ				EN	C
123			オオタカネバラ					B
124			クサイチゴ					C
125			サナギイチゴ				VU	C
126			ナガボノワレモコウ					B
127			ブナ	ブナ	イヌブナ			
128	ナラガシワ							C
129	カバノキ	クマシデ						C
130	ニシキギ	ニシキギ	イワウメヅル					C
131	キントラノオ	トウダイグサ	マルミノウルシ				NT	B
132			センダイタイゲキ				NT	A
133		ヤナギ	マルバヤナギ					DD
134		スマレ	アイヌタチツボスミレ					B
135			フモトスマレ					C
136		アマ	マツバニンジン				CR	DD
137		オトギリソウ	エゾオトギリ				VU	B
138		フウロソウ	フウロソウ	コフウロ				
139	ムクロジ	ムクロジ	ウリカエデ					DD
140		ミカン	マツカゼソウ					C
141	アブラナ	アブラナ	マルバコンロンソウ					B
142	ナデシコ	タデ	クリンユキフデ					B
143			シロバナサクラタデ					C
144			サクラタデ					C
145			ホソバイヌタデ				NT	
146			ノダイオウ				VU	C
147			ナデシコ	タチハコベ				VU
148		カワラナデシコ						C
149		ワダソウ						B
150		ナンブワチガイソウ					VU	B
151		ヒユ		アカザ				VU
152			ミドリアカザ				CR	DD
153	ツツジ	サクラソウ	ギンレイカ					B
154			ヒメコザクラ			指・特	CR	A
155			サクラソウ				NT	B
156		イワウメ	オオイワカガミ					C
157		ツツジ	コメバツガザクラ					C
158			イワヒゲ					C
159			シャクジョウソウ					C
160			ネジキ					C
161			ナガバツガザクラ					C
162			オオバツツジ					C
163			シロヤシオ					B

表 3.1-40(4) 文献調査で確認された重要な植物一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2						
				I	II	III	IV	V		
164	ツツジ	ツツジ	マルバウスゴ					B		
165	リンドウ	アカネ	キクムグラ					DD		
166			オオキヌタソウ					B		
167		リンドウ	コケリンドウ					B		
168			ハルリンドウ					B		
169			タテヤマリンドウ					C		
170			ホソバノツルリンドウ					B		
171			センブリ					C		
172			イヌセンブリ					VU	B	
173			キョウチクトウ	フナバラソウ					VU	A
174		コカモメヅル							B	
175		タチガシワ							C	
176		スズサイコ						NT	B	
177		ナス	ナス	ヤマホロシ					B	
178				オオマルバノホロシ					B	
179	ムラサキ	ムラサキ	サフルリソウ					A		
180			オニルリソウ					C		
181			オオルリソウ						DD	
182			ツルカメバソウ					EN	B	
183	シソ	オオバコ	マルバノサワトウガラシ					VU	C	
184			キクモ						DD	
185			ヒヨクソウ						C	
186			クワガタソウ						C	
187			イヌノフグリ						VU	B
188			ゴマノハグサ	ゴマノハグサ					VU	
189		シソ	シソ	カイジンドウ					VU	B
190				キセワタ					VU	B
191				ミヤマタムラソウ						C
192				エゾニガクサ					EN	
193		ハマウツボ	ハマウツボ	オオナンバンギセル					B	
194				ミヤマママコナ					C	
195				エゾシオガマ					C	
196		タヌキモ	タヌキモ	ムシトリスミレ					B	
197				イヌタヌキモ					NT	D
198				ミミカキグサ						A
199				ムラサキミミカキグサ					NT	B
200				オオタヌキモ					NT	B
201		キク	キキョウ	フクシマシャジン					B	
202				ミヨウギシャジン					B	
203	シデシャジン							C		
204	キキョウ							VU	B	
205	ミツガシワ		ミツガシワ					D		
206	キク		キク	カワラハハコ					C	
207				オオガクビソウ					C	
208				ヒメガクビソウ					B	
209				シマカンギク					DD	
210				キクタニギク					NT	C
211				モリアザミ					C	
212				クモマニガナ					B	
213				タカサゴソウ					VU	B
214				ノニガナ					C	
215				カワラニガナ					NT	B
216				オタカラコウ						DD
217				メタカラコウ						C
218				オオニガナ						C
219				ナガバノコウヤボウキ						DD

表 3.1-40(5) 文献調査で確認された重要な植物一覧

No.	目名	科名	種名*1	選定基準*2				
				I	II	III	IV	V
220	キク	キク	オヤリハグマ					C
221			アキノハハコグサ				EN	A
222			ヒメヒゴタイ				VU	B
223			オナモミ				VU	C
224			ナンブタカネアザミ					C
225			ミネアザミ					DD
226			ミヤマコウゾリナ					C
227			セリ	セリ	トウキ			
228	ハナビゼリ							C
229	マツムシソウ	ガマズミ	レンブクソウ					C
230			ソクズ					C
231		スイカズラ	オニヒョウタンボク				VU	A
232			キタカミヒョウタンボク		国内		EN	A
233			オミナエシ					C
合計	33 目	75 科	233 種	0 種	2 種	3 種	90 種	226 種

\*1. 種名等は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 2 年度生物リスト」(令和 2 年、国土交通省水情報国土データ管理センター)に準拠した。

\*2. 重要な種の選定基準は、表 3.1-38 に示したとおりである。

## (2) 植生の状況

対象事業実施区域及びその周囲における現存植生図(出典:自然環境保全基礎調査(植生調査)(環境省))を図 3.1-20(1)に、対象事業実施区域の現存植生図(拡大図)を図 3.1-20(2)に示す。

対象事業実施区域及びその周囲の丘陵地には、主にコナラ群落とアカマツ群落が分布し、谷戸は主に水田雑草群落が分布している。対象事業実施区域内にはコナラ群落とアカマツ群落の樹林と草地(牧草地)が分布している。

### ① 特定植物群落の状況

対象事業実施区域及びその周囲には、「自然環境保全基礎調査(環境省)」による特定植物群落は分布していない。

### ② 巨樹・巨木の状況

対象事業実施区域及びその周囲には、「自然環境保全基礎調査(環境省)」による巨樹・巨木として図 3.1-21 に示す「サイカチ」、「エドヒガン」、「スギ」、「イトヒバ」、「イチョウ」が分布している。

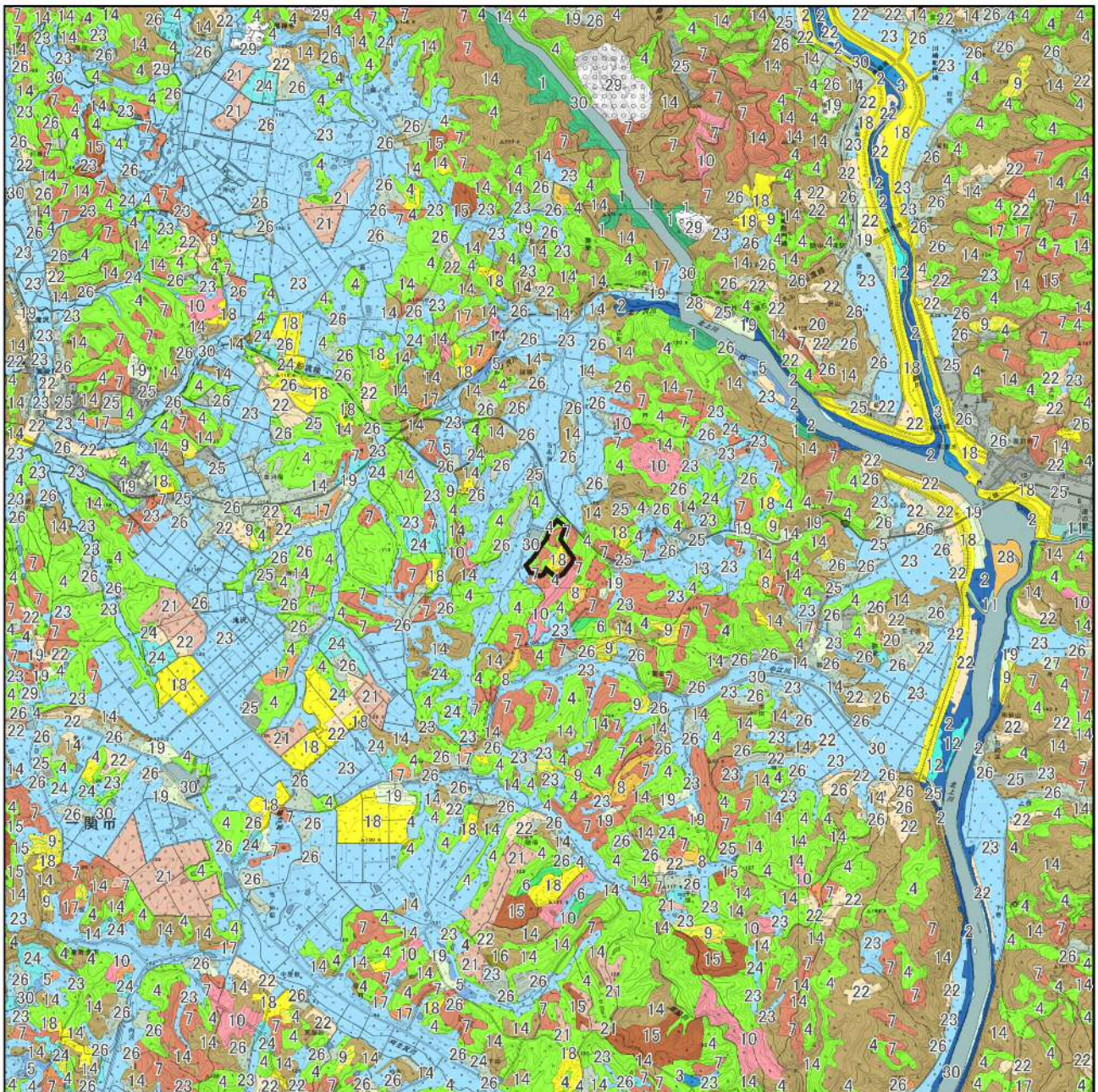


図 3.1-20(1) 文献調査における現存植生図

凡例



対象事業実施区域

植生図

- |               |                 |                      |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1.ケヤキ群落(IV)   | 11.ツルヨシ群落       | 21.果樹園               |
| 2.ヤナギ高木群落(IV) | 12.オギ群落         | 22.畑雑草群落             |
| 3.ヤナギ低木群落(IV) | 13.ヒルムシロクサ      | 23.水田雑草群落            |
| 4.コナラ群落(V)    | 14.スギ・ヒノキ・サワラ植林 | 24.放棄水田雑草群落          |
| 5.オニグルミ群落(V)  | 15.アカマツ植林       | 25.市街地               |
| 6.ケヤキ二次林      | 16.その他植林(落葉広葉樹) | 26.緑の多い住宅地           |
| 7.アカマツ群落(V)   | 17.竹林           | 27.残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 |
| 8.ササ群落(V)     | 18.牧草地          | 28.自然裸地              |
| 9.ススキ群団(V)    | 19.路傍・空地雑草群落    | 29.造成地               |
| 10.伐採跡地群落(V)  | 20.放棄畑雑草群落      | 30.開放水域              |

出典等：「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和3年8月)より作成

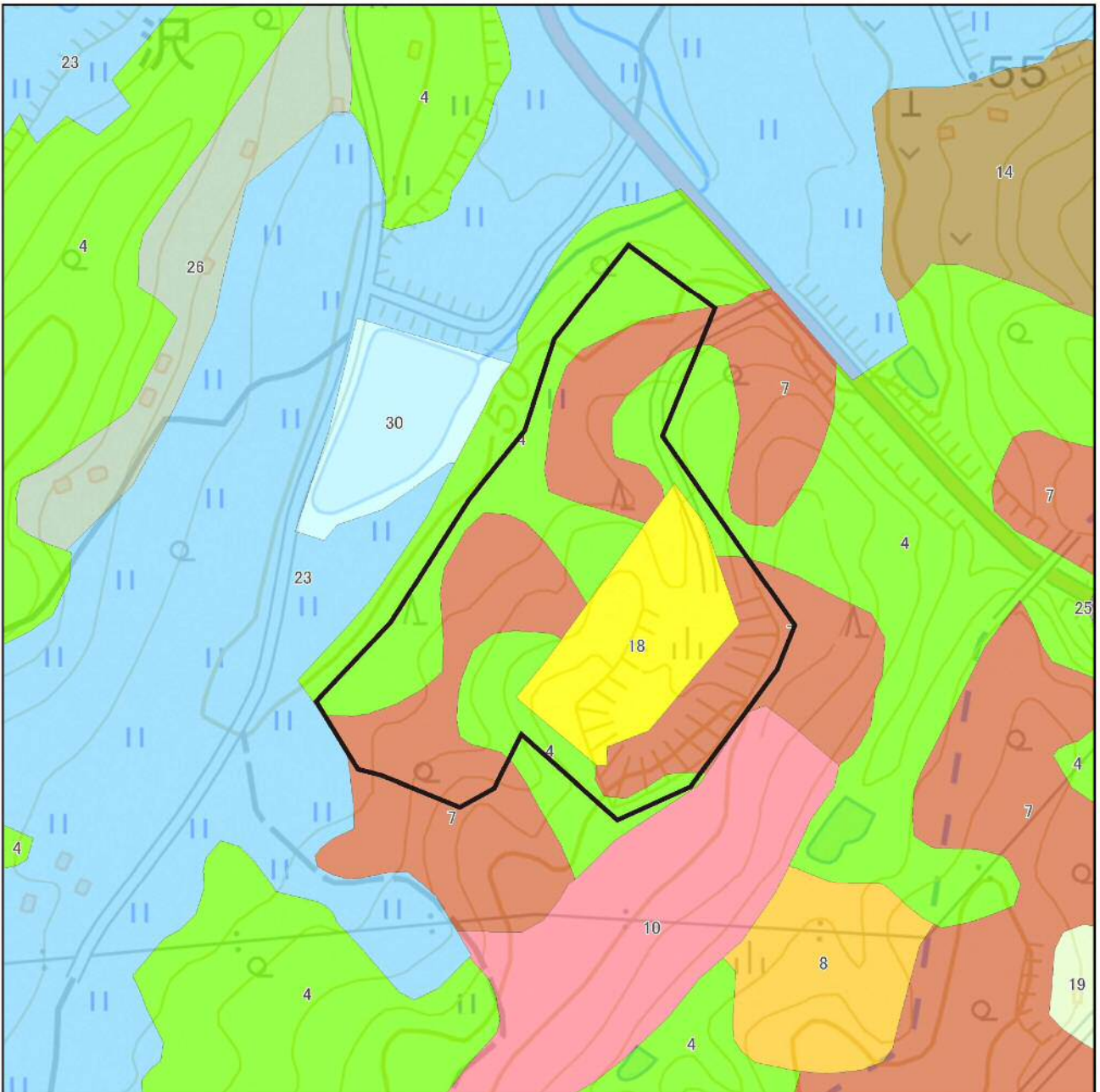


図 3.1-20(2) 文献調査における現存植生図(拡大図)

凡例



対象事業実施区域

植生図

- 4.コナラ群落(V)
- 7.アカマツ群落(V)
- 8.ササ群落(V)
- 10.伐採跡地群落(V)
- 14.スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 18.牧草地
- 19.路傍・空地雑草群落
- 23.水田雑草群落
- 25.市街地
- 26.緑の多い住宅地
- 30.開放水域



1:5,000

0 75 150 m

出典等：「自然環境保全基礎調査(植生調査)」

(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和3年8月)より作成

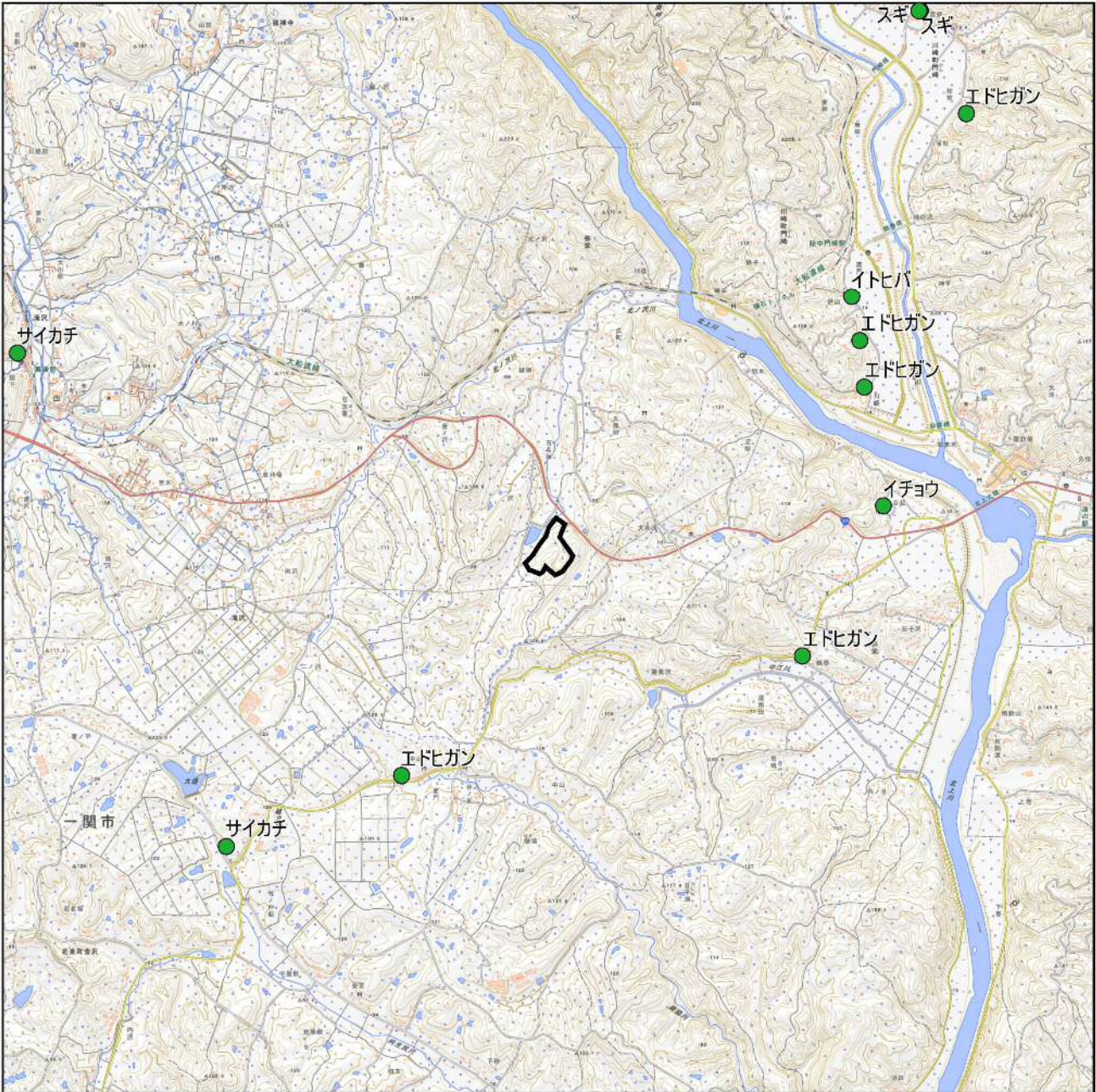


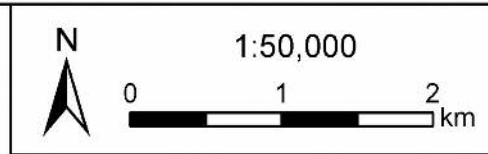


図 3.1-21 巨樹・巨木林位置図

凡例

-  対象事業実施区域
-  巨樹・巨木



出典等：「自然環境保全基礎調査(巨樹・巨木調査)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和3年8月)より作成

### 3) 生態系

対象事業実施区域及びその周囲に生育・生息する植物・動物の食物連鎖を図 3.1-22 に示す。

対象事業実施区域内では、生産者の植物は樹林地と草地からなり、一次消費者は、ノウサギ、ニホンジカ、カモシカ等の草食性哺乳類とバッタ類、チョウ類等の草食性昆虫類で構成される。二次消費者は、雑食性小型哺乳類と肉食性昆虫類が位置し、三次消費者には、雑食性鳥類、肉食性の爬虫類・両生類で構成される。生態系の上位に位置する高次消費者には、肉食性の鳥類と雑食性の中型・大型哺乳類があげられる。

なお、生態系の基盤となる主要な環境区分を図 3.1-23 に示す。

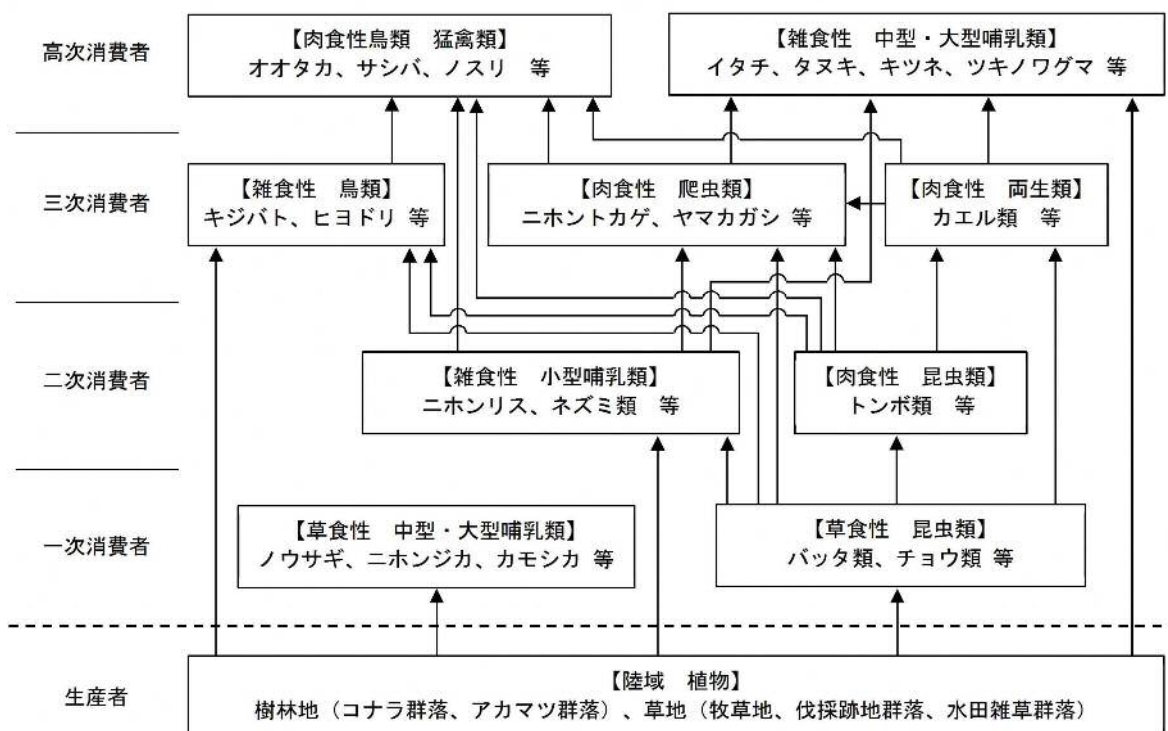


図 3.1-22 食物連鎖模式図



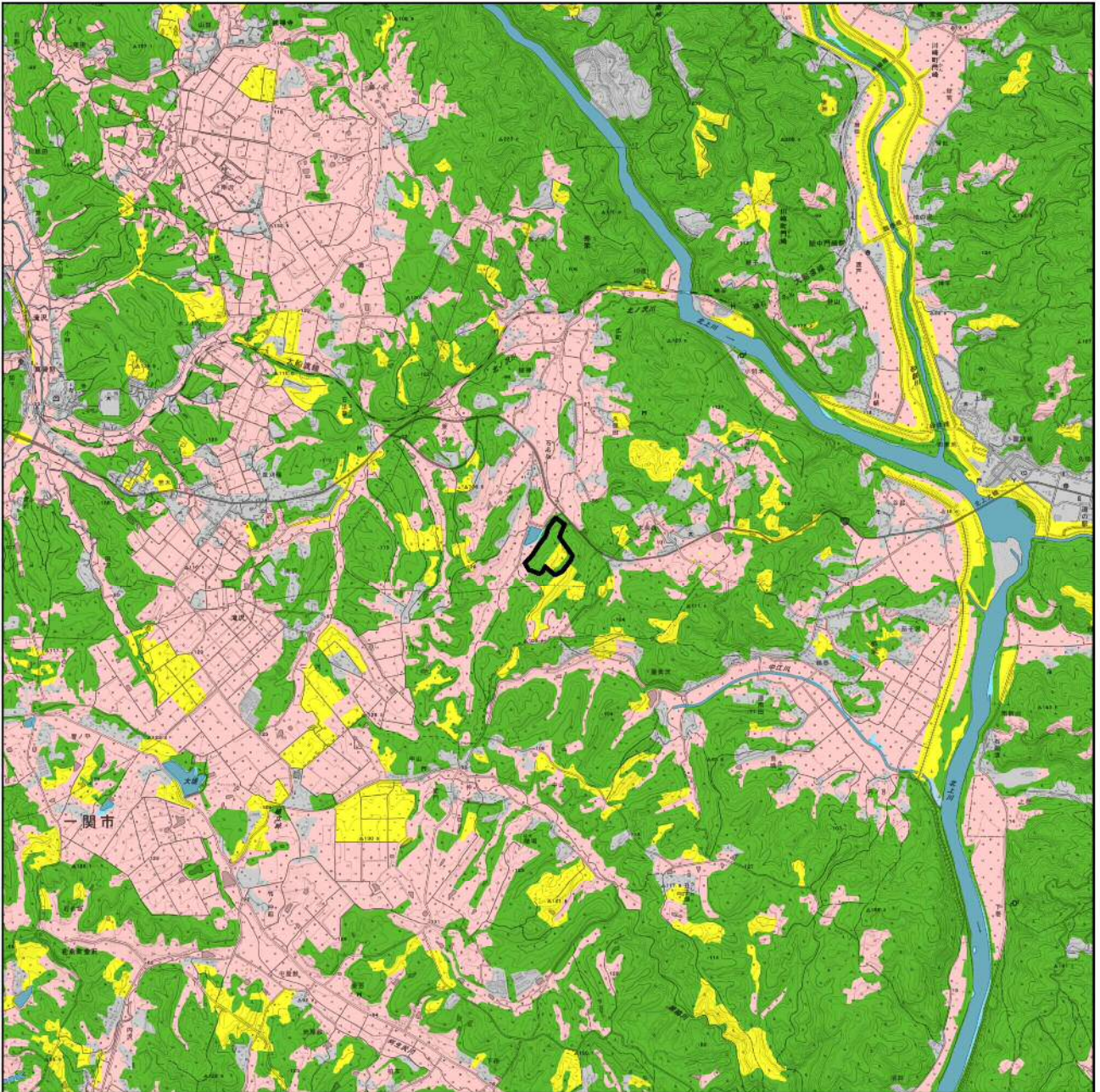


図 3.1-23 主要な環境区分図

凡例



対象事業実施区域

環境区分図

- 樹林地
- 草地
- 耕作地
- 開放水域
- 市街地



1:50,000

0 1 2 km

出典等：「自然環境保全基礎調査(植生調査)」(環境省生物多様性センターHP、閲覧:令和3年8月)より作成

### 3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況

#### 1) 景観の状況

##### (1) 主要な眺望点の状況

対象事業実施区域及びその周囲における主要な眺望点を、「いわての残したい景観」（岩手県 HP）、一関市観光協会公式サイト（一関市観光協会 HP）より把握した。

対象事業実施区域及びその周囲における主要な眺望点を表 3.1-41 及び図 3.1-24 に示す。

対象事業実施区域及びその周囲には「釣山公園」、「中里の遊水地堤防上」、「笠松公園」、「三島山」、「千厩川の桜つづみ」などが存在する。そのうち、「川崎石蔵山林間広場」からは、対象事業実施区域を含む弥栄地区が一望できる。

表 3.1-41 対象事業実施区域及びその周囲の主要な眺望点



No.	主な眺望点	参考資料*1	地点の概要
1	釣山公園 釣山公園展望 台東屋	いわての残したい景観 (岩手県 HP)	一関駅のホームから西の方角に 150 メートル程度の小高い丘陵が見えるのが釣山公園。純然たる人工公園で、四季を通じて様々の植物が生い茂る。
2	中里の遊水地 堤防上	いわての残したい景観 (岩手県 HP)	遊水地内の広大な田園は、防風林に囲まれた民家などもなく、春の田植えの頃や秋の黄金色に実った稲穂のジュータンがすばらしい。天気良ければ真正面に岩手山が見える。
3	笠松公園	いわての残したい景観 (岩手県 HP)	一関市川崎町薄衣の笠松公園内にある「笠マツ」は樹齢 600 年を超える老松であるが、園内から見るその姿は、幹の太さ、笠のように広がった枝ぶりが素晴らしい。
4	三島山	いわての残したい景観 (岩手県 HP)	三島山から見る街と室根山の景観。
5	千厩川の桜つ づみ	いち旅 一関市観光協会公式サ イト (一関市観光協会 HP)	千厩川が流れる堤防沿いに紅梅や桜樹が数多く植栽されており、ベンチや東屋などが設置してある風光明媚な川崎地域のお花見スポット。
6	一関遊水地記 念緑地公園	いち旅 一関市観光協会公式サ イト (一関市観光協会 HP)	桜の種類が複数あるので、木によって見頃が異なる。一関市総合体育館に隣接した公園。100 種 1,000 本の桜がそれぞれ年間を通して咲き乱れる。遊具もあり、子ども連れでも楽しめる。
7	川崎石蔵山林 間広場	一関市 HP	石蔵山の山頂にある広場。展望台からは、一関市内、栗駒山や室根山などの山並みを一望できる。エリア内には、芝の広場や遊具が整備されている。
8	刈生沢の滝溪 流公園	いち旅 一関市観光協会公式サ イト (一関市観光協会 HP)	対岸にそびえたつ 20 メートルに及ぶ不動岩の絶景が魅力の公園。キャンプ場の他、バンガローなども設備されており、四季折々の花と共に散策や森林浴を楽しめる。家族連れや若者グループなど、訪れる人々に親しまれている。
9	花と泉の公園	いち旅 一関市観光協会公式サ イト (一関市観光協会 HP)	東北最大級のぼたん園と交流プラザを併設した花とふれあえるテーマパーク。4 月下旬からは恒例の「ぼたんしゃくやく祭り」が開催され、320 種 4,000 本のぼたん、40 種 3,000 株のしゃくやくのほか、藤の花や西洋しゃくなげなど様々な花が楽しめるのも魅力。

\*1. 出典は、参考資料の各 HP 及びパンフレット(閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

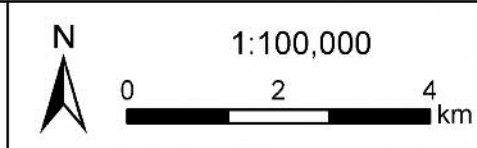


図 3.1-24 主要な眺望点の状況

凡例

-  対象事業実施区域
-  主要な眺望点

※ 図中のNo. は、表 3.1-41 に対応する。



出典等：「いわて残したい景観」（岩手県 HP）、「いち旅一関市観光協会公式サイト」（一関市観光協会 HP）  
 （閲覧：令和3年8月）より作成

## (2) 主要な景観資源の状況

対象事業実施区域及びその周囲における主要な景観資源として、自然景観、観光資源及び歴史的・文化的景観資源を表 3.1-42 に示す。

自然景観資源として「北上川」など 3 箇所、観光資源として「道の駅かわさき」など 2 箇所、歴史的・文化的景観資源として「河崎の柵跡」、「日吉神社社殿」など 16 箇所の合計 21 箇所を選定した。

主要な景観資源の分布状況を、図 3.1-25 に示す。

表 3.1-42 対象事業実施区域及びその周囲の景観資源

分類	No.	資源名称	種類	指定状況等
自然景観資源	1	北上川	河川	河川
	2	狐禅寺の峡谷	河川景観	峡谷・溪谷
	3	刈生沢の滝	河川景観	滝
観光資源	4	道の駅かわさき	—	都市型観光 買物・食
	5	花と泉の公園	—	自然(行事・イベント)
歴史的・文化的景観資源	6	河崎の柵跡	史跡	—
	7	奥州三十三観音 第 20 番 中興山徳寿院	社寺	—
	8	奥州三十三観音 第 19 番 新山観音堂	社寺	—
	9	建長の碑	史跡	県指定有形文化財
	10	宝持院山門	社寺	県指定有形文化財(建造物)
	11	日吉神社社殿	社寺	市指定有形文化財(建造物)
	12	梵鐘	社寺	市指定有形文化財(工芸品)
	13	浪分神社	社寺	市指定有形文化財 (歴史資料:算額 5 面)
	14	朝日館	史跡	市指定史跡
	15	月館神社	社寺	市指定有形文化財(建造物)
	16	大祥寺	社寺	県指定有形文化財 (彫刻:木造十一面観音立像)
	17	大門地蔵堂	社寺	県指定有形文化財 (彫刻:木造地蔵菩薩半跏像, 木造二天立像(多聞天立像・伝広目天立像), 伝水月観音立像)
	18	養寿寺	社寺	県指定有形文化財 (工芸品:金銅薬師如来像御正体)
	19	千葉胤秀旧宅	史跡	市指定有形文化財(建造物)
	20	二桜館	史跡	市指定史跡
	21	二十五菩薩像	社寺	県指定有形文化財 (彫刻:木造来迎阿弥陀及菩薩像)

出典等：「第 3 回自然環境保全基礎調査(自然環境情報図)」(環境省 HP)、「観光自然台帳 観光資源評価委員会」(財日本交通公社 HP)、「いち旅一関市観光協会公式サイト」(一関市観光協会 HP)、「一関の文化財 平成 29 年度版」(一関市教育委員会)、「いわての旅岩手県観光ポータルサイト」(岩手県観光協会 HP) (閲覧:令和 3 年 8 月)より作成



図 3.1-25 主要な景観資源の状況

凡例



対象事業実施区域



自然景観資源

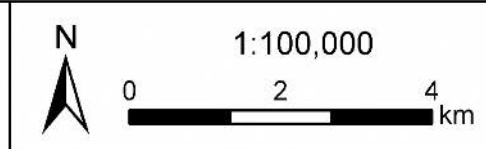


観光資源



歴史的・文化的景観資源

※ 図中の No. は、表 3.1-42 に対応する。



出典等：「観光自然台帳 観光資源評価委員会」（財日本交通公社 HP）、「いち旅一関市観光協会公式サイト」（一関市観光協会 HP）、「一関の文化財 平成 29 年度版」（一関市教育委員会）、「いわての旅岩手県観光ポータルサイト」（岩手県観光協会 HP）（閲覧：令和 3 年 8 月）より作成

## 2) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

対象事業実施区域及びその周囲には、主要な人と自然との触れ合いの活動の場として、「北上川」、「川崎運動広場」、「川崎水辺プラザ」、「道の駅かわさき」など14箇所が分布している。

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況を表 3.1-43 及び図 3.1-26 に示す。

表 3.1-43(1) 対象事業実施区域及びその周囲の主要な人と自然との触れ合いの活動の場

No.	主な人と自然との触れ合いの活動の場	参考資料 <sup>*1</sup>	地点の概要
1	北上川	観光自然台帳 平成26年度 (財)日本交通公社 HP)	資源名称：北上川 種別名称：河川
2	千石河川公園	いわての旅 岩手県観光ポータルサイト (岩手県観光協会 HP)	千厩川のほとりにある千石河川公園は、直接川に入って楽しむことのできる公園。人工芝のゲートボール場や野外炉、遊具などがあり、ふれあいと交流の場となっている。
3	川崎運動広場	いわての旅 岩手県観光ポータルサイト (岩手県観光協会 HP)	スポーツ・レクリエーション活動を通じて、健康・体力づくり、地域の方々とのスポーツ交流、高齢者の生きがいをづくり、子どもたちの健全育成を目的に設置された施設。多目的グラウンドは、野球1面、ソフトボール2面、ゲートボール6面、テニスコート2面。体育センターは、バレーボール2面、バスケットボール1面、その他に、ローラースケート・ストリートバスケット場も整備されている。
4	川崎水辺プラザ	いわての旅 岩手県観光ポータルサイト (岩手県観光協会 HP)	北上川ネットワーク構想「北上川歴史回廊」により整備された水辺プラザ。親水事業の交流拠点として機能している水辺プラザ。夏はジェットスキーやボートで遊ぶ人たちも多い。
5	布佐洞窟遺跡	いわての旅 岩手県観光ポータルサイト (岩手県観光協会 HP)	この洞窟は、石灰岩のなかに発達した横穴式鍾乳洞。全長 230m、発掘調査により縄文時代の人の人骨や獣骨、土器が出土した。
6	笠松公園	いわての旅 岩手県観光ポータルサイト (岩手県観光協会 HP)	樹齢 600 年を超える老松で、その枝が大きく傘を広げた姿をしていることから「笠松」と呼ばれている。県の天然記念物に指定されており、周辺は小公園として整備されている。
7	一関遊水地記念緑地公園	いち旅 一関市観光協会公式サイト (一関市観光協会 HP)	桜の種類が複数あるので、木によって見頃が異なる。一関市総合体育館に隣接した公園。100 種 1,000 本の桜がそれぞれ年間を通して咲き乱れる。遊具もあり、子ども連れでも楽しめる。
8	北上川学習交流館 あいぼーと	いち旅 一関市観光協会公式サイト (一関市観光協会 HP)	北上川の治水の知恵と地域発展の関わりなど、北上川を知るきっかけとなる施設。小中学生を対象に「川に関わる総合学習の支援」を行っている。北上川や自然に触れて楽しめるイベントを用意している。
9	道の駅 かわさき	いち旅 一関市観光協会公式サイト (一関市観光協会 HP)	国道 284 号沿いにある県内屈指の利用客数を誇る道の駅。産直では地元で採れたての野菜やいちご・トマトなどの特産品や旬の農産物、手作り豆腐、お土産品が揃うほか、レストランで名物の「かにぼつと」を味わうことができる。観光・道路情報も提供している。

表 3.1-43(2) 対象事業実施区域及びその周囲の主要な人と自然との触れ合いの活動の場

No.	主な人と自然との触れ合いの活動の場	参考資料*1	地点の概要
10	川崎石蔵山林間広場	一関市 HP	石蔵山の山頂にある広場。展望台からは、一関市内、栗駒山や室根山などの山並みを一望できる。エリア内には、芝の広場や遊具が整備されている。
11	千厩川の桜つづみ	いち旅 一関市観光協会公式サイト (一関市観光協会 HP)	千厩川が流れる堤防沿いに紅梅や桜樹が数多く植栽されており、ベンチや東屋などが設置してある風光明媚な川崎地域のお花見スポット。
12	刈生沢の滝溪流公園	いち旅 一関市観光協会公式サイト (一関市観光協会 HP)	対岸にそびえたつ 20 メートルに及ぶ不動岩の絶景が魅力の公園。キャンプ場の他、バンガローなども設備されており、四季折々の花と共に散策や森林浴を楽しめる。家族連れや若者グループなど、訪れる人々に親しまれている。
13	花と泉の公園	いち旅 一関市観光協会公式サイト (一関市観光協会 HP)	東北最大級のぼたん園と交流プラザを併設した花とふれあえるテーマパーク。4 月下旬からは恒例の「ぼたんしゃくやく祭り」が開催され、320 種 4,000 本のぼたん、40 種 3,000 株のしゃくやくのほか、藤の花や西洋しゃくなげなど様々な花が楽しめるのも魅力。
14	磐井清水	一関の文化財 平成 29 年度版 (一関市教育委員会)	市指定史跡 平安時代末期、奥州藤原氏の 3 代秀衡は、磐井の里人に岩間から湧き出る清水を若水として汲ませ、柳之御所まで届けさせた。岩間から湧き出る清水の場所が、現在の磐井清水と考えられている。

\*1. 出典は、参考資料の各 HP 及びパンフレット(閲覧:令和 3 年 8 月)より作成



図 3.1-26 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の状況

凡例



対象事業実施区域



主要な人と自然との触れ合いの活動の場

※ 図中のNo. は、表 3.1-43 に対応する。



1:100,000

0 2 4 km

出典等：「観光自然台帳 観光資源評価委員会」（財日本交通公社 HP）、「いち旅一関市観光協会公式サイト」（一関市観光協会 HP）、「一関の文化財 平成 29 年度版」（一関市教育委員会）、「いわての旅手県観光ポータルサイト」（岩手県観光協会 HP）（閲覧：令和 3 年 8 月）より作成



### 3.1.7 温室効果ガス※1の排出の状況

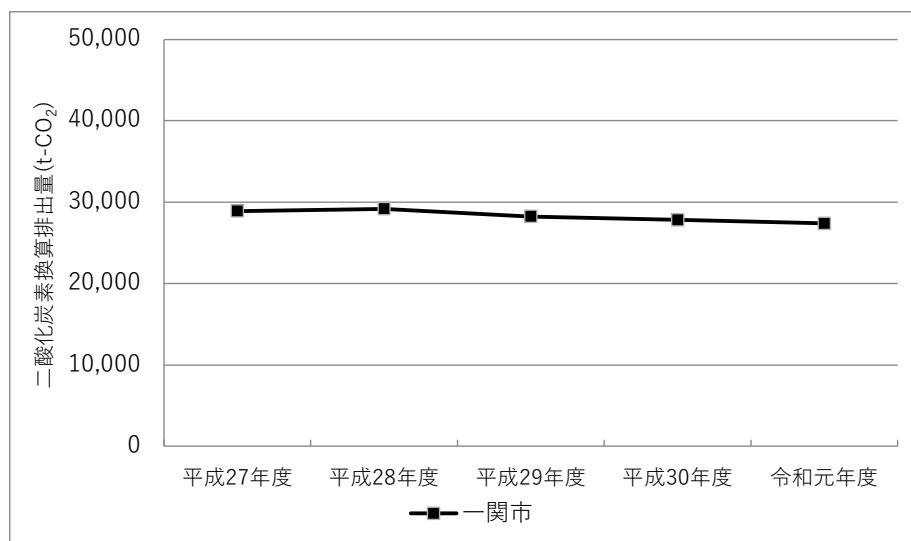
対象事業実施区域が位置する一関市の過去5年間の二酸化炭素換算排出量を、表 3.1-44 及び図 3.1-27 に示す。

一関市の「令和2年度 環境報告書」(令和3年3月 一関市)によると、令和元年度の二酸化炭素換算排出量は合計で27,403 t-CO<sub>2</sub>となっており、平成28年度をピークに減少傾向にある。

表 3.1-44 温室効果ガス排出量の推移(二酸化炭素換算排出量)

温室効果ガスの種類	二酸化炭素換算排出量(t-CO <sub>2</sub> )				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	28,832	29,106	28,150	27,752	27,335
メタン(CH <sub>4</sub> )	10	9	9	11	10
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	44	57	52	50	48
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	8	9	9	10	10
合計	28,894	29,181	28,220	27,823	27,403

出典等:「令和2年度 環境報告書」(一関市 HP、閲覧:令和3年8月)より作成



出典等:「令和2年度 環境報告書」(一関市 HP、閲覧:令和3年8月)より作成

図 3.1-27 温室効果ガス排出量の推移

※1 温室効果ガス:大気中の二酸化炭素やメタンなどのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがある。これらのガスを温室効果ガスという。

温室効果ガスの大気中の濃度が人間活動により上昇し、「温室効果」が加速されている。1997年の第3回気候変動枠組条約締約国会議(COP3)で採択された京都議定書では、地球温暖化防止のため、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素のほかHFC類、PFC類、SF<sub>6</sub>が削減対象の温室効果ガスと定められた。

### 3.1.8 放射性物質の分布状況

対象事業実施区域及びその周囲における空間線量率は、一関市の「放射性物質の測定結果」(一関市 HP)によると、住宅・市道・道路側溝土壌、公共施設等、廃棄物処理施設、水道水・井戸水・沢水などの4項目において行われている。

そのうち、測定位置が公表され、対象事業実施区域及びその周囲に点在する公共施設8箇所での過去5年間の測定結果の推移を表3.1-45に、測定位置を図3.1-28に示す。

対象事業実施区域及びその周囲の生活空間線量は $0.02\sim 0.07\mu\text{Sv/h}$ <sup>※1</sup>で推移している。

表 3.1-45 放射性物質の測定結果推移

No.	地域区分	地点名	生活空間線量( $\mu\text{Sv/h}$ )				
			第5回 平成28年度	第6回 平成29年度	第7回 平成30年度	第8回 平成31年度 (令和元年)	第9回 令和2年度
1	一関	滝沢市民センター	0.05	0.04	0.04	0.03	0.03
2		弥栄市民センター 平沢分館	0.07	0.06	0.06	0.05	0.06
3		弥栄市民センター	0.07	0.05	0.05	0.04	0.05
4	花泉	刈生沢コミュニティ センター	0.05	0.04	0.05	0.04	0.06
5	川崎	一関市役所川崎支所	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03
6		川崎市民センター	0.05	0.05	0.04	0.05	0.04
7		川崎体育センター (体育館)	0.05	0.04	0.04	0.03	0.04
8		道の駅かわさき	0.04	0.04	0.03	0.04	0.04

出典等：「第5回～第9回公共施設、公園、自治集会所等における空間放射線量の測定結果について」(一関市 HP、閲覧：令和3年8月)より作成

※1  $\mu\text{Sv/h}$ ：生体への被ばくの大きさを表す単位で、 $1\mu\text{Sv/h}$ とは、1時間当たり $1\mu\text{Sv}$ の被ばく線量であることをいう。

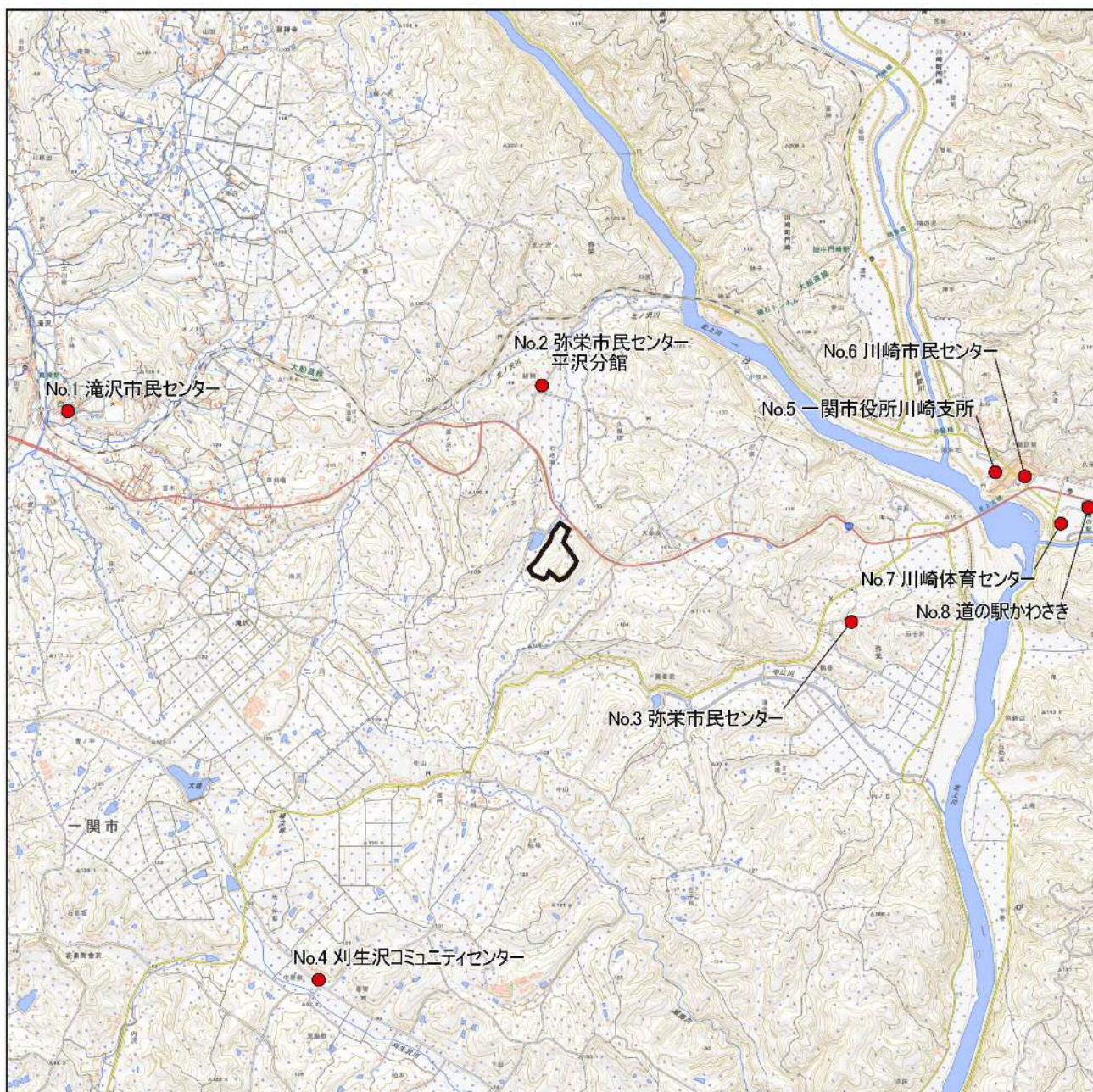


図 3.1-28 放射性物質の測定位置

凡例

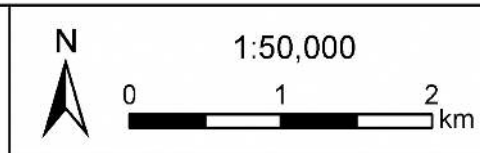


対象事業実施区域



放射性物質の測定位置

※ 図中の番号は、表 3.1-45 に対応する。



出典等：「第5回～第9回公共施設、公園、自治集会所等における空間放射線量の測定結果について」

(一関市HP、閲覧:令和3年8月)より作成

### 3.1.9 公害苦情の状況

一関市における過去5年間(平成27年度～令和元年度)の公害苦情の発生状況を、表3.1-46に示す。

公害苦情の発生件数は平成30年度に一旦減少し113件となったが、令和元年度は127件となっており、増加に転じている。

一関市における公害苦情の種類は、過去5年間ともに不法投棄によるものが最も多くなっている。

表 3.1-46 一関市における公害苦情の発生状況の推移

公害の種類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)
大気汚染	10	15	8	7	13
水質汚濁	11	13	9	3	9
騒音	9	16	5	5	9
振動	0	0	1	0	4
悪臭	19	23	11	15	13
不法投棄	95	95	128	80	79
その他	1	0	17	3	0
合計	145	162	179	113	127

出典等：「平成30年度、令和2年度 環境報告書」（一関市HP、閲覧：令和3年8月）より作成

### 3.2 社会的状況

#### 3.2.1 人口及び産業の状況

##### 1) 人口の状況

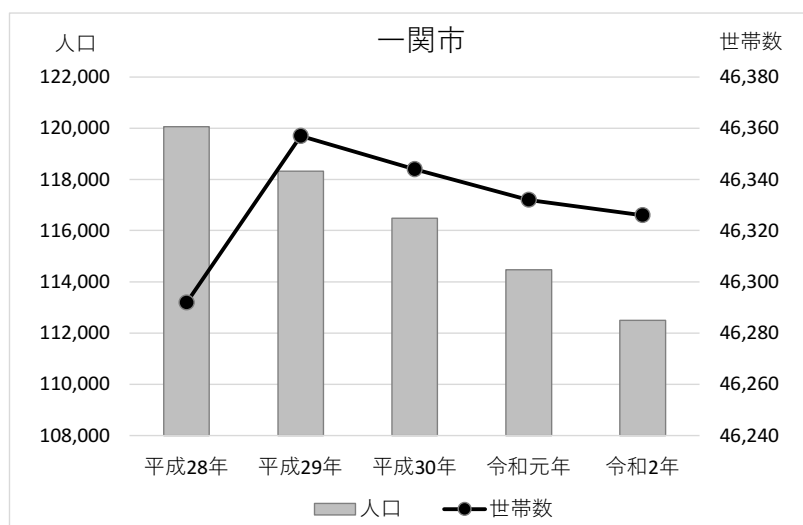
一関市の人口及び世帯数を表 3.2-1 に示す。

「人口・世帯数・人口密度（市町村別）ほか いわての統計情報(各年 10 月 1 日現在)」(岩手県 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)によると、過去 5 年（平成 28 年～令和 2 年）の一関市の人口は減少傾向にあり、世帯数は平成 29 年をピークに減少傾向で推移している。人口及び世帯数の推移を図 3.2-1 に示す。

表 3.2-1 人口（住民基本台帳人口）及び世帯数

市町村	年	人口			世帯数
		総数	男	女	
一関市	平成 28 年	120,062	58,075	61,987	46,292
	平成 29 年	118,319	57,333	60,986	46,357
	平成 30 年	116,479	56,443	60,036	46,344
	令和元年	114,477	55,499	58,978	46,332
	令和 2 年	112,496	54,536	57,960	46,326

出典等：「人口・世帯数・人口密度（市町村別）ほか いわての統計情報(各年 10 月 1 日現在)」  
(岩手県 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成



出典等：「人口・世帯数・人口密度（市町村別）ほか いわての統計情報(各年 10 月 1 日現在)」  
(岩手県 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

図 3.2-1 人口及び世帯数の推移

## 2) 産業の状況

### (1) 産業構造及び産業配置

一関市の平成 27 年度の産業別就業者数を表 3.2-2 に示す。

一関市の就業者総数は 60,063 人で、部門別にみると第 3 次産業の就業者数が最も多く、全体の 55.5% を占めている。また、分類別にみると、「製造業」が最も多く、次いで「農業、林業」、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」が多くなっている。

表 3.2-2 産業別就業者数（平成 27 年度）

部門	大分類	一関市	
		(人)	(%)
第 1 次産業	農業、林業	7,902	13.2
	(うち農業)	(7,675)	
	漁業	37	0.1
	小計	7,939	13.2
第 2 次産業	鉱業、採石業、砂利採取業	100	0.2
	建設業	5,784	9.6
	製造業	12,194	20.3
	小計	18,078	30.1
第 3 次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	192	0.3
	情報通信業	311	0.5
	運輸業、郵便業	2,767	4.6
	卸売業、小売業	7,869	13.1
	金融業、保険業	872	1.5
	不動産業、物品賃貸業	469	0.8
	学術研究、専門・技術サービス業	933	1.6
	宿泊業、飲食サービス業	2,635	4.4
	生活関連サービス業、娯楽業	1,843	3.1
	教育、学習支援業	2,403	4.0
	医療、福祉	7,516	12.5
	複合サービス事業	1,001	1.7
	サービス業（他に分類されないもの）	2,734	4.6
	公務（他に分類されるものを除く）	1,783	3.0
小計	33,328	55.5	
分類不能の産業		718	1.2
総数		60,063	100

出典等：「平成 27 年国勢調査就業状態等基本集計」

(平成 29 年 総務省統計局、閲覧：令和 3 年 8 月)より作成

(2) 生產品目、生産量及び生産額

① 農業

一関市における平成 17 年～平成 27 年の農家数の推移を表 3.2-3 に示す。

総農家数は減少傾向にあるものの、自給的農家は増加傾向にある。

一関市の令和元年の農業産出額を表 3.2-4 に示す。

農業産出額は「鶏」が最も多く、次いで「豚」、「米」が多くなっている。

表 3.2-3 農家数の推移

市名	項目(戸)	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
一関市	総農家数	13,929	12,838	11,352
	販売農家	10,822	9,404	7,795
	専業農家	1,603	1,945	1,733
	兼業農家	9,219	7,459	6,062
	第 1 種兼業農家	1,243	961	801
	第 2 種兼業農家	7,976	6,498	5,261
	自給的農家	3,107	3,434	3,557

出典等：「令和 2 年版一関市統計要覧(4. 農業)」(一関市 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

表 3.2-4 農業産出額 (令和元年)

市名	種別	農業産出額(千万円)	
一関市	耕種	米	670
		麦類	1
		雑穀	1
		豆類	3
		いも類	8
		野菜	255
		果実	136
		花き	x
		工芸農作物	23
		その他作物	x
	畜産	肉用牛	396
		乳用牛	192
		生乳	172
		乳牛	20
		豚	762
		鶏	865
		鶏卵	21
		ブロイラー	843
	その他畜産物	13	
	加工農産物	x	
農業生産額合計	3,380		

注 1) 「x」は非公開のものを示す。

注 2) 統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

出典等：「令和元年 市町村別農業産出額(推計)データベース(詳細品目別)」

(令和 3 年 農林水産省大臣官房統計部、令和 3 年 6 月 15 日掲載)

(閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

## ② 商業

一関市における平成 19 年～平成 28 年の事業所数、従業員数、年間商品販売額の推移を表 3.2-5 に示す。

平成 26 年は、事業所数、従業員数、年間商品販売額ともに減少傾向にあったが、平成 28 年は従業者数、年間商品販売額は増加に転じている。

表 3.2-5 商業の推移

市名	区分	平成 19 年	平成 24 年	平成 26 年	平成 28 年
一関市	事業所数	1,736	1,305	1,261	1,249
	従業者数(人)	9,465	7,383	7,251	7,342
	年間商品販売額(百万円)	189,915	192,814	183,215	184,093

出典等：「令和 2 年版一関市統計要覧(6. 商業)」

(一関市 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成

## ③ 工業

一関市における平成 26 年～平成 30 年の事業所数、従業員数、製造品出荷額の推移を表 3.2-6 に示す。

事業所数、従業員数、製造品出荷額は概ね横ばい傾向にある。

表 3.2-6 工業の推移 (従業員 4 人以上)

市名	区分	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
一関市	事業所数	253	276	248	252	250
	従業者数(人)	10,795	11,202	10,747	10,889	10,999
	製造品出荷額(万円)	21,171,167	20,967,963	20,359,493	20,916,065	20,948,612

出典等：「令和 2 年版一関市統計要覧(5. 工業)」(一関市 HP、閲覧:令和 3 年 8 月)より作成



### 3.2.2 土地利用の状況

#### 1) 地目別土地面積

一関市の地目別土地面積を表 3.2-7 に示す。

地目別土地面積のうち最も多いのは、山林であり、全体の 56.8%を占めている。

表 3.2-7 地目別土地面積（令和元年）

区分	一関市(m <sup>2</sup> )	割合(%)
田	139,449,061	11.1
畑	81,288,461	6.5
宅地	42,377,384	3.4
鉱泉地	129	0.0
池・沼	108,799	0.0
山林	713,525,420	56.8
牧場	9,508,476	0.8
原野	43,524,738	3.5
雑種地	14,932,486	1.5
その他	211,705,046	16.8
総数	1,256,420,000	—

注1) 表中の各値は、平成31年1月1日現在値を示す。

注2) 割合(%)については、表示単位未満を四捨五入したため合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

出典等：「岩手県統計年鑑 土地 地目別地積（市町村別）令和元年」

（岩手県HP、閲覧：令和3年8月）より作成

#### 2) 国土利用計画法に基づく土地利用基本計画

対象事業実施区域及びその周囲には、「国土利用計画法」（昭和49年6月25日 法律第92号）に基づく土地利用基本計画の農業地域及び森林地域が指定されている。

農業地域とは、「農業振興地域の整備に関する法律」（昭和44年7月1日 法律第58号）により市町村ごとに指定された農用地として利用すべき土地であり、農業振興地域とは農地の振興を図る地域を示す。森林地域とは、「森林法」（昭和26年6月26日 法律第249号）により指定された森林の土地として利用すべき土地と、林業の振興又は森林の有する諸機能の維持増進を図る必要がある地域であり、国有林の区域または地域森林計画対象民有林の区域を示す。また、保安林とは水源の涵養や土砂災害からの防備として国又は県より指定されている森林を示す。

土地利用基本計画の農業地域を図 3.2-2 に、森林地域を図 3.2-3 に示す。

#### 3) 都市計画法に基づく用途地域

対象事業実施区域及びその周囲における「都市計画法」（昭和43年6月15日 法律第100号）に基づく用途地域の指定状況を図 3.2-4 に示す。

対象事業実施区域及びその周囲は、一部が都市地域となっているが、用途地域の指定はない。

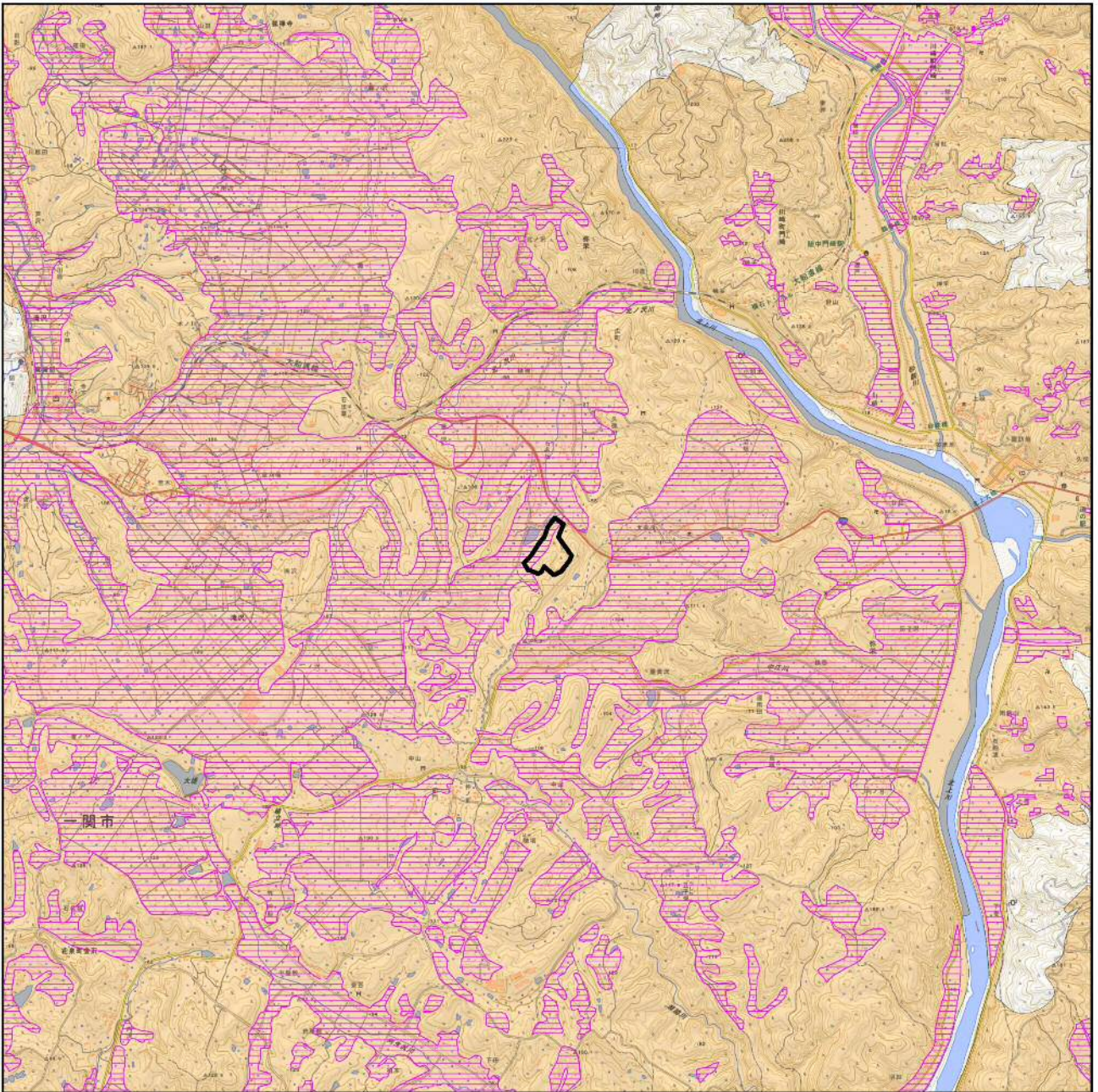



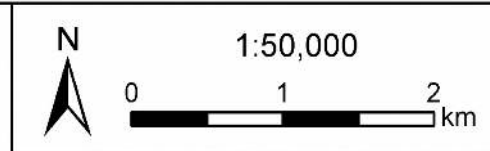


図 3.2-2 土地利用基本計画の指定状況（農業地域）

凡例

-  対象事業実施区域
-  農用地区域
-  農業地域






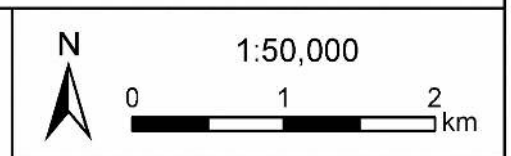
出典等：「国土数値情報(農業地域データ)」(国土交通省 HP、閲覧:令和3年8月)より作成



図 3.2-3 土地利用基本計画の指定状況（森林地域）

凡例

-  対象事業実施区域
-  森林地域
-  国有林
-  地域森林計画対象民有林
-  保安林



出典等：「国土数値情報（森林地域データ）」（国土交通省 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成

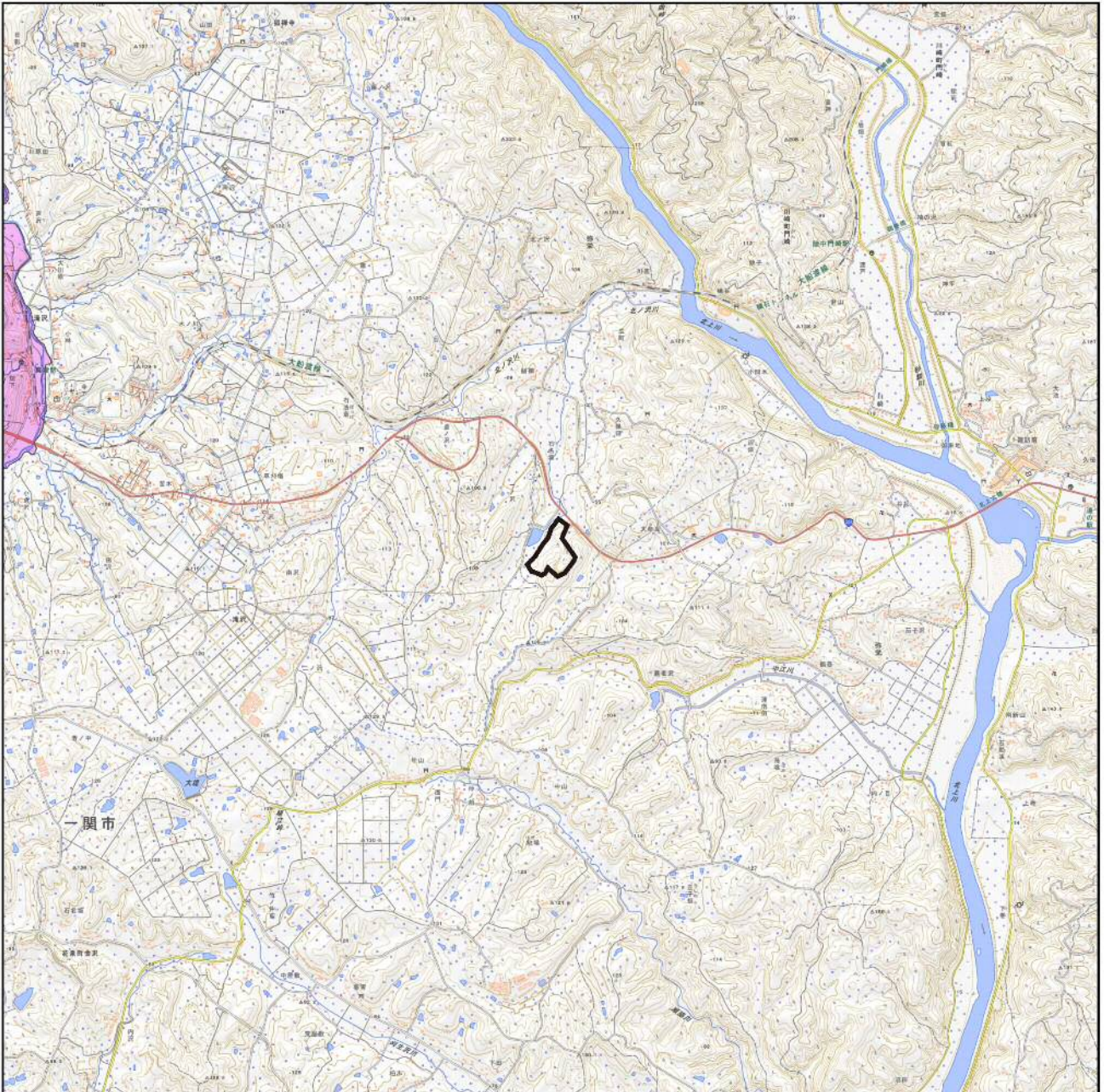


図 3.2-4 用途地域の指定状況

凡例



対象事業実施区域



都市計画区域(用途未設定)



1:50,000

0 1 2 km

出典等：「一関市公開型地理情報システム いちのせきeマップ 都市計画情報」

(一関市HP、閲覧:令和3年8月)より作成

### 3.2.3 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用の状況

#### 1) 河川及び湖沼の利用状況

対象事業実施区域及びその周囲には湖沼は分布していないが、河川・農業用ため池が分布し、農業用水として利用されている。

対象事業実施区域及びその周囲の河川・農業用ため池の分布状況を図 3.2-5 に示す。

#### 2) 地下水の利用状況

一関市における地下水を水源とする浄水場を表 3.2-8 に示す。

対象事業実施区域及びその周囲には、北東約 2 km に小間木浄水場が位置している。

小間木浄水場の位置を図 3.2-6 に示す。

表 3.2-8 浄水場の概要（平成 30 年度）

地区名	浄水場名	原水の種類	計画浄水量 (m <sup>3</sup> /日)
一関地域	前堀	地下水	3,586
	板川	地下水・表流水	1,030
	小間木	地下水	796
	番台	地下水	320
花泉地域	大森	地下水	8,099
	汁足	地下水	83
大東地域	八幡館	地下水・湧水	509
	勝善	地下水	254
	摺沢	地下水	982
	渋民	地下水	585
	摺沢第2	地下水	54
	猿沢	地下水	472
千厩地域	上巻	地下水	2,826
	一ノ坪	地下水	1,040
東山地域	本町	地下水	1,650
	東稲	地下水	87
室根地域	勢返	地下水	385
藤沢地域	三本松	地下水	1,828
	古川	地下水	58
	二日町	地下水	779
	箕ノ輪	地下水	551
	深萱	地下水	482

出典等：「令和 2 年度 一関市水質検査計画」（一関市 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成

#### 3) 海域の利用状況

対象事業実施区域及びその周囲には、海域は分布しない。

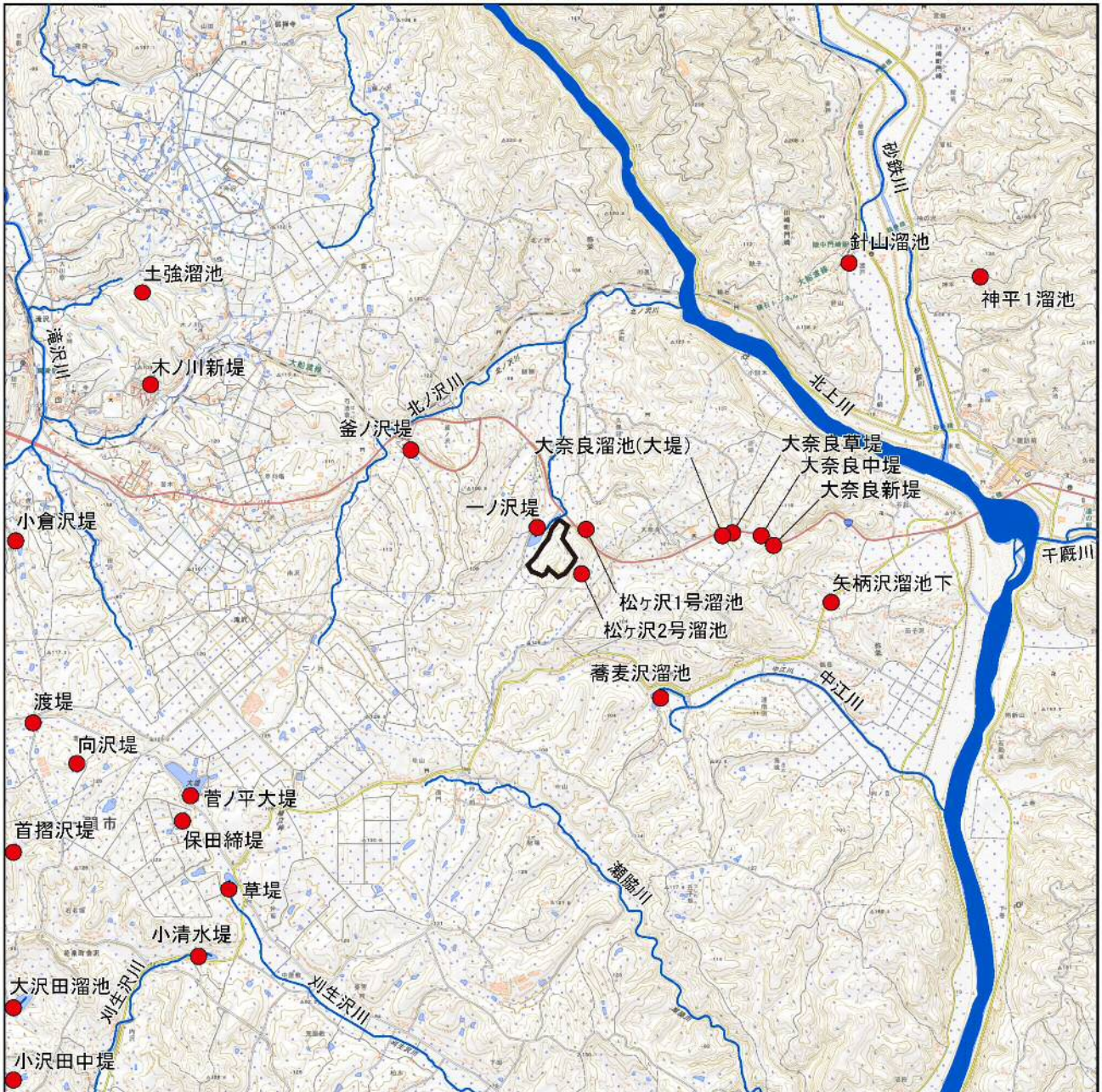


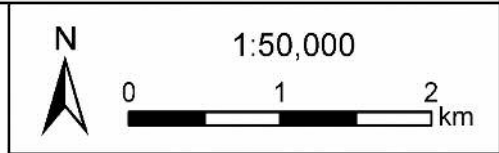


図 3.2-5 河川及び農業用ため池の分布状況

凡例

-  対象事業実施区域
-  農業用ため池



出典等：「農業用ため池データベース（令和3年3月版）」（岩手県HP、閲覧：令和3年8月）より作成

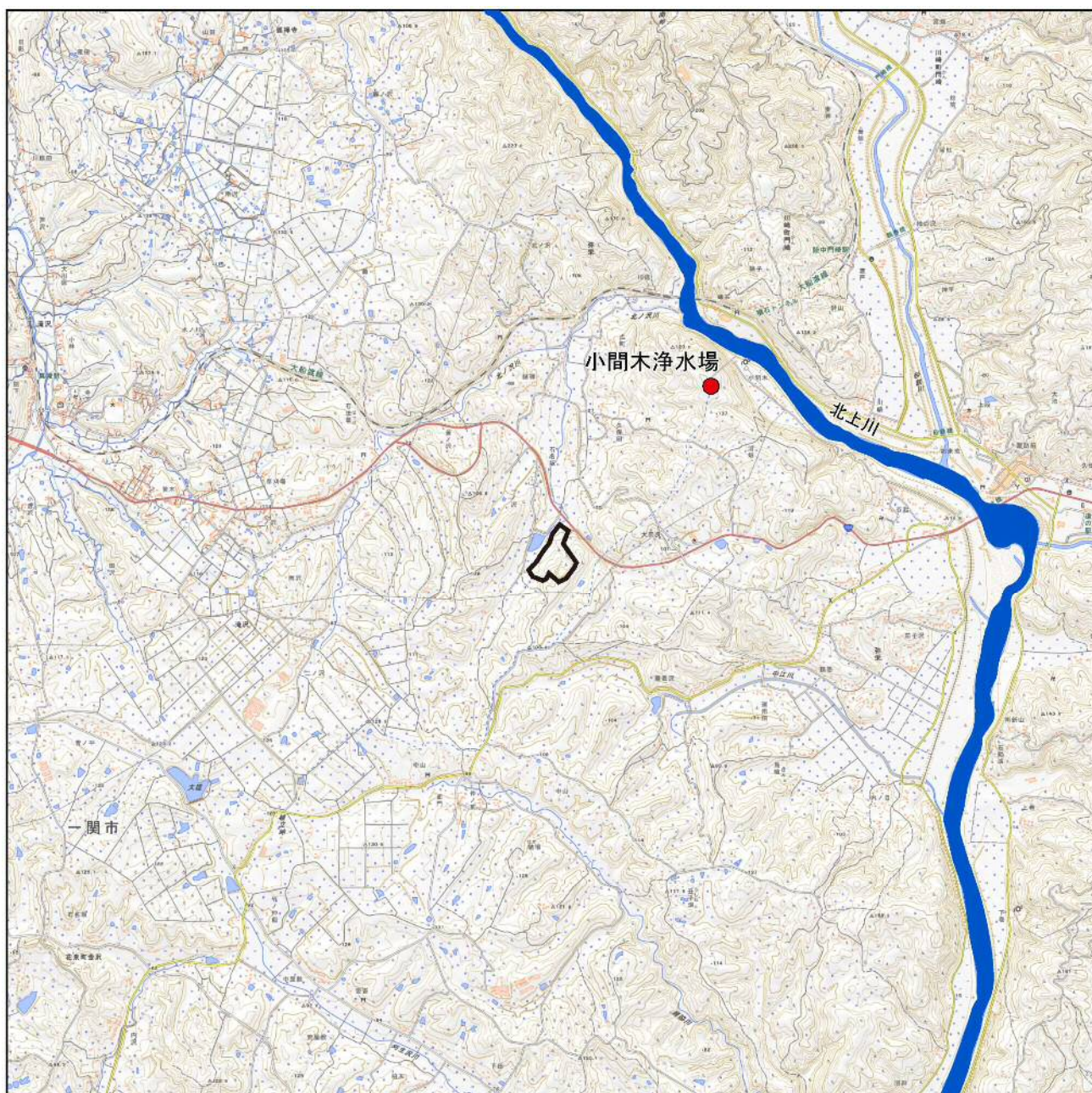


図 3.2-6 小間木浄水場の位置

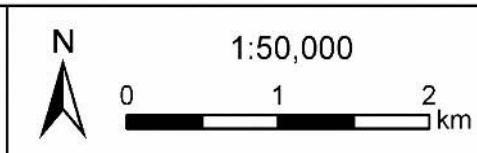
凡例



対象事業実施区域



地下水を水源とする浄水場(小間木浄水場)



出典等：「簡易水道事業と統合した水道事業の現状と課題」（一関市HP、閲覧：令和3年8月）より作成

#### 4) 漁業による利用状況

対象事業実施区域及びその周囲では、砂鉄川に砂鉄川漁業協同組合により漁業権が設定されている。漁業権の設定状況を表 3.2-9 及び図 3.2-7 に示す。

表 3.2-9 漁業権の設定状況

漁業権番号	免許漁協名	漁場の区域	対象魚
内共 34 号	砂鉄川	一関市川崎町薄衣砂鉄橋上流端の線から上流の砂鉄川本流及びその支流の区域（山口川砂防えん堤から上流の区域を除く。）	アユ、ヤマメ、サクラマス、イワナ、ウナギ、ウグイ、コイ、カジカ、モクズガニ

出典等：「第五種共同漁業権漁場図・遊漁規則」（岩手県 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成



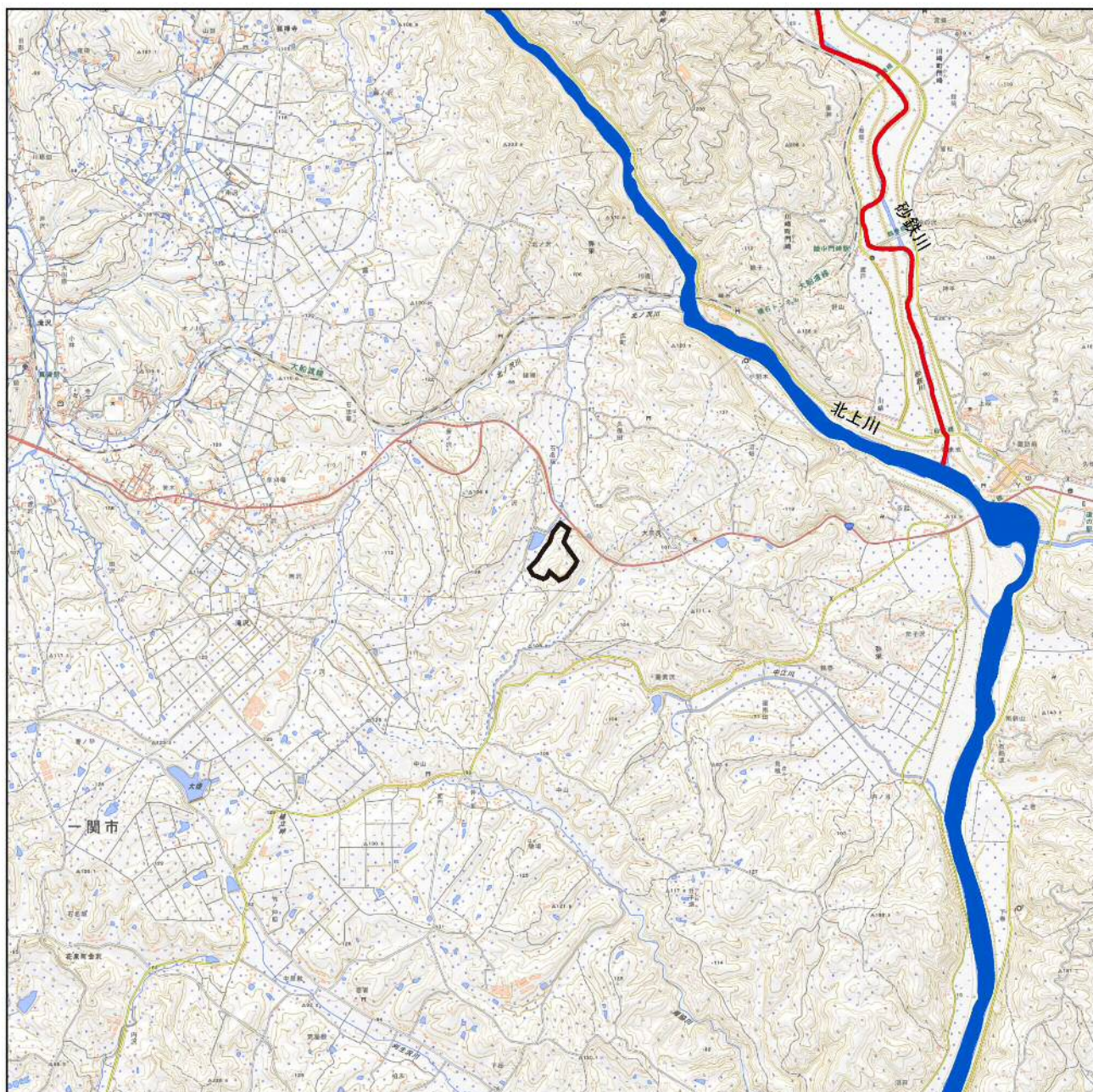


図 3.2-7 漁業権の設定状況

凡例



対象事業実施区域



漁業権の設定河川



1:50,000

0 1 2 km

出典等：「第五種共同漁業権漁場図・遊漁規則 漁業権設定河川の地図」

(岩手県 HP、閲覧：令和 3 年 8 月) より作成

### 3.2.4 交通の状況

対象事業実施区域及びその周囲における主要な道路及び鉄道の状況を図 3.2-8 に、交通量調査結果を表 3.2-10 に示す。

道路は、対象事業実施区域の北部に一般国道 284 号が東西に走っている。

一般国道 284 号には、南から主要地方道弥栄金成線、一般県道東和薄衣線、一般県道白崖弥栄線が接続している。

鉄道は、対象事業実施区域の北部に JR 大船渡線が通っており、最寄りの駅は「真滝駅」及び「陸中門崎駅」となっている。

表 3.2-10 主要な交通量の状況（平成 27 年度）

路線名	観測区間（起点）	昼間 12 時間*1 自動車交通量（台）			24 時間*2 自動車交通量（台）		
		小型車	大型車	合計	小型車	大型車	合計
一般国道 284 号	一関市川崎町薄衣	11,423	1,657	13,080	14,174	2,438	16,612
	一関市真滝字清水尻	7,903	687	8,590	9,658	1,165	10,823
主要地方道 弥栄金成線	一関市弥栄字茄子沢	1,905	591	2,496	2,211	759	2,970
一般県道 薄衣舞川線	一関市川崎町門崎 字横石	1,973	224	2,197	2,371	331	2,702
一般県道 東和薄衣線	一関市川崎町畑の沢	584	146	730	715	161	876
一般県道 東山薄衣線	一関市東山町松川	1,934	226	2,160	2,311	324	2,635
一般県道 白崖弥栄線	一関市弥栄字茄子沢	253	53	306	313	70	383

\*1. 12 時間：7 時～19 時

\*2. 24 時間：7 時～翌 7 時

出典等：「平成 27 年度 全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査結果」

（国土交通省 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）

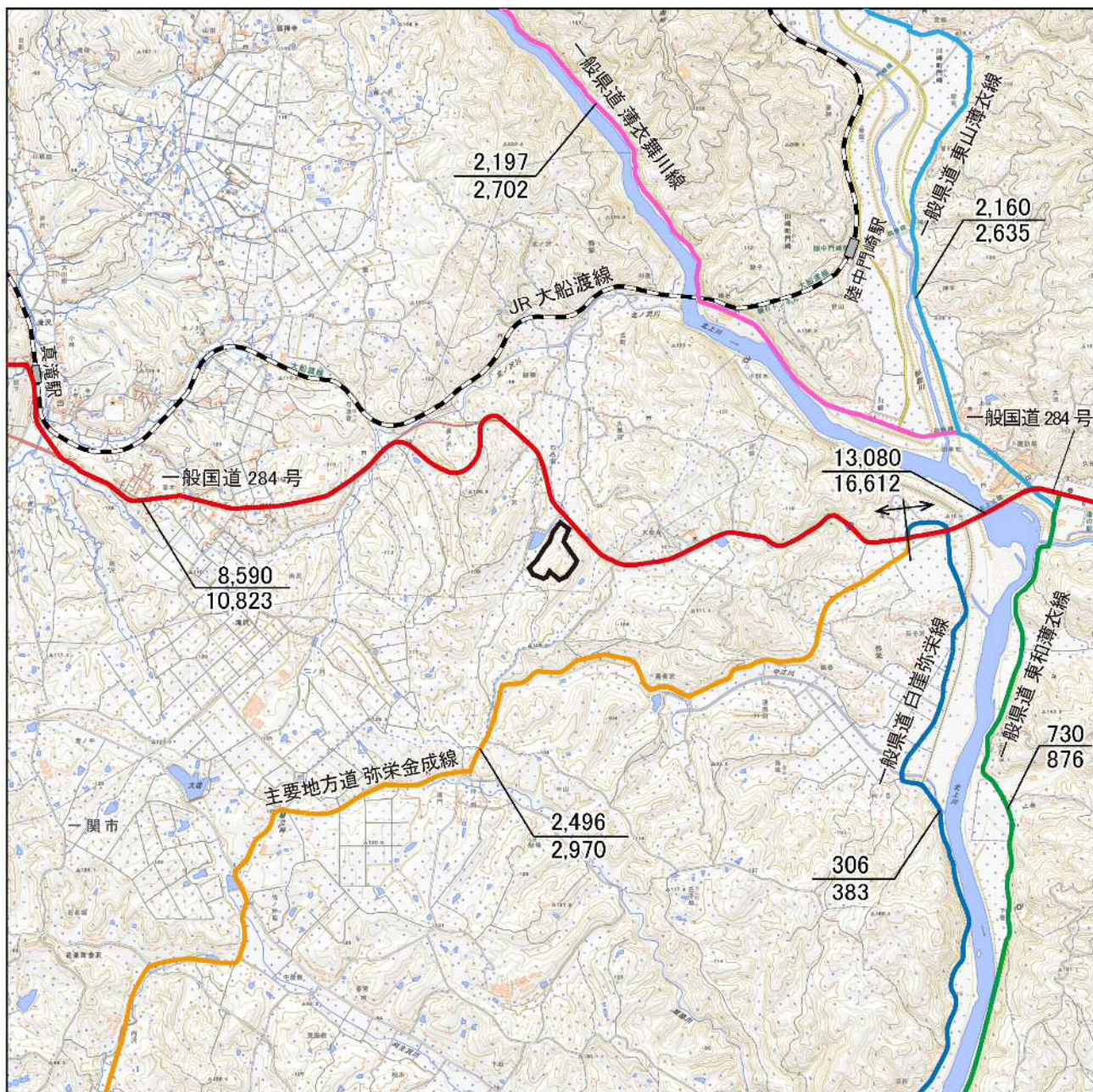


図 3.2-8 主要な道路及び鉄道の状況

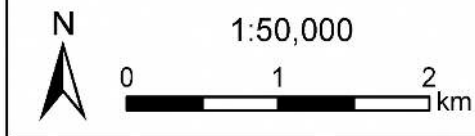
凡例



対象事業実施区域

- 一般国道284号
- 主要地方道 弥栄金成線
- 一般県道 薄衣舞川線
- 一般県道 東和薄衣線
- 一般県道 東山薄衣線
- 一般県道 白崖弥栄線

鉄道 (JR大船渡線)



12時間交通量

24時間交通量

※ 図中の数字は上段が12時間交通量、下段が24時間交通量を示す。

出典等：「平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査結果(可視化ツール)」

(国土交通省 HP、閲覧：令和3年8月)より作成

### 3.2.5 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況及び住宅の配置の概況

#### 1) 学校、病院その他の環境保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況

対象事業実施区域及びその周囲には、環境の保全についての配慮が特に必要な施設として、学校、医療機関、福祉施設が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲における施設の一覧を表 3.2-11 に、施設の配置状況を図 3.2-9 に示す。

表 3.2-11 環境の保全についての配慮が特に必要な施設

区分	名称	所在地	対象事業実施区域からの距離	
学校	幼稚園	弥栄幼稚園	弥栄字茄子沢 236-24	約 2,200m
	小学校	滝沢小学校	滝沢字寺下 46	約 3,600m
		弥栄小学校	弥栄字大奈良 33-4	約 900m
	中学校	川崎中学校	川崎町薄衣字上段 1	約 3,200m
医療機関	かわさき歯科診療所	川崎町薄衣町裏 5-1	約 3,700m	
福祉施設	認可保育所	川崎保育園	川崎町薄衣字上段 46	約 3,300m
	介護老人福祉施設等	特別養護老人ホーム明生園	滝沢字寺下 2-1	約 3,900m
	生活介護(障がい福祉)	うららか	弥栄字茄子沢 236-1	約 2,100m
	地域活動支援センター(障がい福祉)	工房てんとう虫	川崎町薄衣諏訪前 97	約 3,500m

出典等：「小学校・中学校・幼稚園」、「保育所・こども園・児童館」、「障がい福祉サービスのご案内～2020～」(一関市 HP)、「一関地区広域行政組合管内 介護サービス事業所等一覧」(一関地区広域行政組合 HP)、「国土数値情報(医療機関データ)」(国土交通省 HP)、(閲覧:令和3年8月)より作成

#### 2) 住宅の配置の概況

対象事業実施区域及びその周囲における住宅等の施設の配置の状況を図 3.2-10 に示す。対象事業実施区域内には住居等は存在していない。

なお、対象事業実施区域に最も近い住居は、西側約 120 m に立地している。

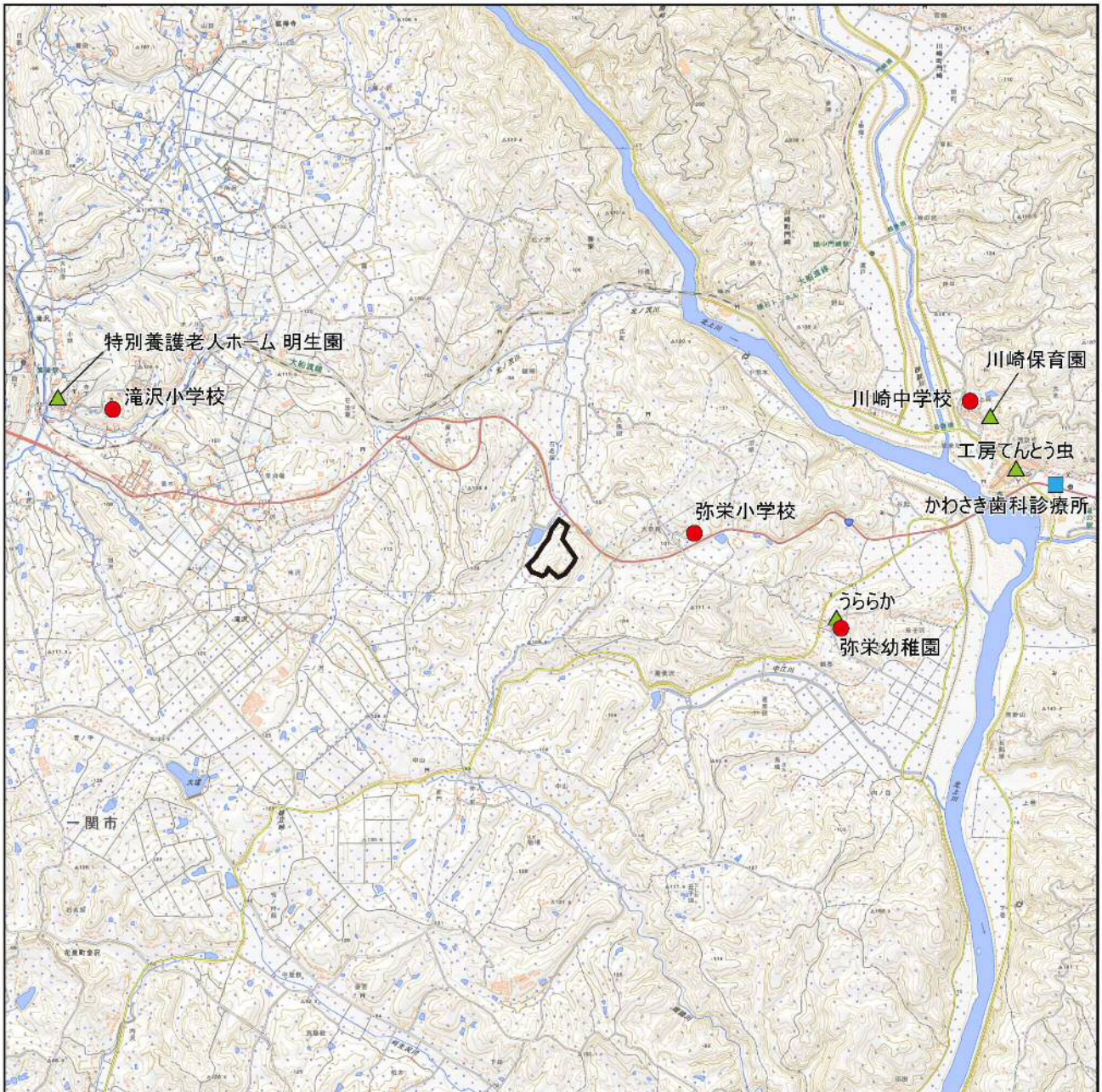




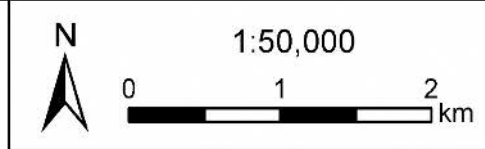


図 3.2-9 環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置状況

凡例

-  対象事業実施区域
-  学校
-  医療機関
-  福祉施設



出典等：「小学校・中学校・幼稚園」、「保育所・こども園・児童館」、「障がい福祉サービスのご案内～2020～」(一関市 HP)、「一関地区広域行政組合管内 介護サービス事業所等一覧」(一関地区広域行政組合 HP)、「国土数値情報(医療機関データ)」(国土交通省 HP)、(閲覧:令和3年8月)より作成

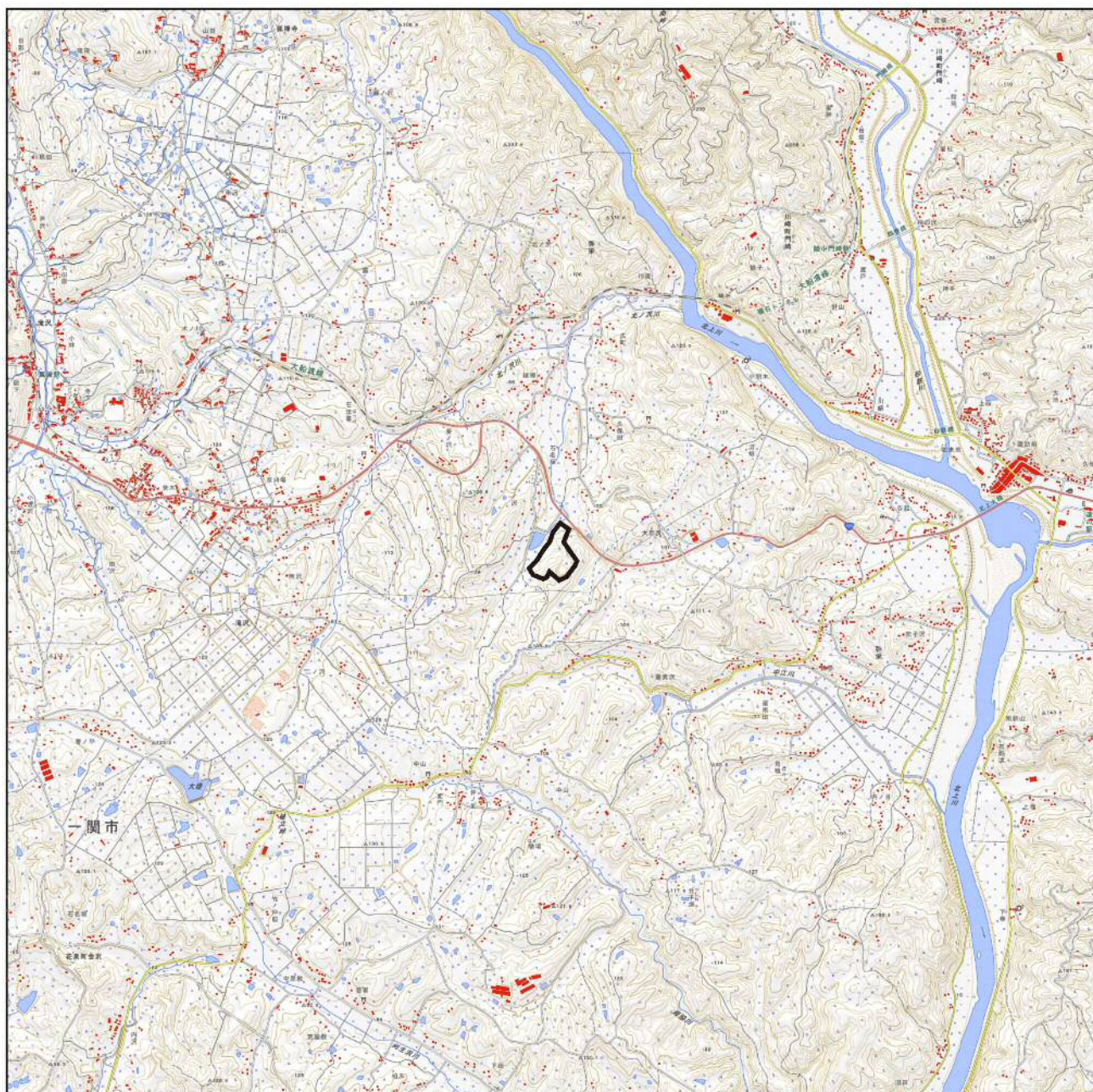


図 3.2-10 住宅の配置の概況

凡例



対象事業実施区域



住宅



1:50,000

0 1 2 km

出典等：「基盤地図情報ダウンロードサービス(建築物の外周線)」(国土交通省 HP、閲覧:令和3年8月)より作成

### 3.2.6 下水道の整備状況

一関市の令和元年度における下水道の整備状況を表 3.2-12 に示す。

対象事業実施区域の位置する一関市の処理人口普及率は 40.0 %、水洗化率は 33.7 % となっている。

表 3.2-12 下水道の整備状況（令和元年度）

市町村名	行政区域人口*1 (人) [A]	処理区域人口*2 (人) [B]	水洗化人口*2 (人) [C]	処理人口 普及率 (%) [B]/[A]×100	水洗化率 (%) [C]/[B]×100
一関市	114,477	45,806	38,607	40.0	33.7

\*1. 行政区域人口は、令和元年 10 月 1 日現在値を示す。

\*2. 処理区域人口と水洗化人口は、令和元年度末（3 月 31 日時点）を示す。

出典等：「2019 年度末（令和元年度末）汚水処理人口普及率」、「令和元年度末 水洗化人口割合〔市町村別〕」、「人口・世帯数・人口密度（市町村別）ほか いわての統計情報（各年 10 月 1 日現在）」（岩手県 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成

### 3.2.7 環境保全を目的として法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境保全に関する施策の内容

#### 1) 公害関係法令等

公害の防止に係る基準としては、「環境基本法」(平成5年11月19日 法律第91号)に基づく環境基準、「大気汚染防止法」(昭和43年6月10日 法律第97号)及び「県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例」(平成13年12月21日 岩手県条例第71号(以下「生活環境保全条例」という。))に基づく規制基準等<sup>\*1</sup>がある。

公害防止関係の主な法令等と対象事業との関連性の有無を表3.2-13に示す。

表3.2-13 公害防止関係の主な法令等

区分	法令名	定められている事項	事業との関連性	
大気汚染	環境基本法	環境基準	有	
	ダイオキシン類対策特別措置法	環境基準、規制基準	有	
	大気汚染防止法	規制地域、排出基準(硫黄酸化物、窒素酸化物、ばいじん、塩化水素)	有	
	県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例	規制基準	無	
騒音	環境基本法	環境基準	有	
	騒音規制法	規制地域 規制基準(特定工場等、特定建設作業)	無	
		自動車騒音の要請限度	有	
県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例	規制地域 規制基準(騒音関係施設、特定建設作業)	無		
振動	振動規制法	規制地域 規制基準(特定工場等、特定建設作業) 自動車振動の要請限度	無	
悪臭	悪臭防止法	規制地域、規制基準(敷地境界線、排出口、排出水中)	無	
水質	環境基本法	公共用水域水質	環境基準	有
		地下水水質	環境基準	有
	ダイオキシン類対策特別措置法	環境基準、排水基準	有	
	水質汚染防止法	排水基準	無	
	水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づく排水基準を定める条例	排水基準(上乘せ基準 <sup>*1</sup> )	無	
県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例	排水基準	無		
底質	ダイオキシン類対策特別措置法	環境基準	有	
土壌汚染	環境基本法	環境基準	有	
	ダイオキシン類対策特別措置法	環境基準	有	
	農用地の土壌の汚染防止等に関する法律	農用地土壌汚染対策地域	無	
	土壌汚染対策法	指定区域、届出	無	

\*1. 上乘せ基準: 水質汚濁に係る各種の排水については、それぞれ国の規制基準が定められているが、都道府県は特定の地域について、その自然的・社会的条件からの判断に基づき、これより厳しい基準を条例で定めることができる。

※1 規制基準等: 法律または条例に基づいて定められた公害の原因となる行為を規制するための基準であり、工場等はこの基準を守る義務が課せられている。大気汚染防止法では「排出基準」、水質汚濁防止法では「排水基準」、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法では「規制基準」という。規制基準は、主に地域の環境基準を維持するために課せられる基準である。



## (1) 大気汚染

### ① 環境基準

「環境基本法」及び「ダイオキシン類対策特別措置法」（平成 11 年 7 月 16 日 法律第 105 号）に基づき設定された大気汚染に係る環境基準を表 3.2-14～表 3.2-17 に示す。

環境基準は、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダント、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、ダイオキシン類、微小粒子状物質の 11 物質について設定されている。

なお、環境基準は、工業専用地域及び車道その他一般公衆が通常生活しない地域又は場所には適用されない。

表 3.2-14 大気汚染物質に係る環境基準

物質	二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質*1	二酸化窒素	光化学オキシダント*2
環境上の条件	1 時間値の 1 日平均値が 0.04 ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1 ppm 以下であること。	1 時間値の 1 日平均値が 10 ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20 ppm 以下であること。	1 時間値の 1 日平均値が 0.10 mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。	1 時間値の 1 日平均値が 0.04 ppm から 0.06 ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。	1 時間値が 0.06 ppm 以下であること。

\*1. 浮遊粒子状物質とは大気中に浮遊する粒子状物質であってその粒径が 10 μm 以下のものをいう。

\*2. 光化学オキシダントとは、オゾン、パーオキシアセチルナイトレートその他の光化学反応により生成される酸化性物質（中性ヨウ化カリウム溶液からヨウ素を遊離するものに限り、二酸化窒素を除く）をいう。

注 1) 1 時間値の 1 日平均値が 0.04 ppm から 0.06 ppm までのゾーン内にある地域にあつては、原則として、このゾーン内において、現状程度の水準を維持し、又はこれを大きく上回ることをとならないよう努めるものとする。

出典等：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年 5 月 8 日 環境庁告示第 25 号、昭和 53 年 7 月 11 日 環境庁告示第 38 号）

表 3.2-15 有害大気汚染物質（ベンゼン等）に係る環境基準

物質	環境上の条件
ベンゼン	年平均値が 0.003 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
トリクロロエチレン	年平均値が 0.13 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
テトラクロロエチレン	年平均値が 0.2 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
ジクロロメタン	年平均値が 0.15 mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

出典等：「ベンゼン等に係る環境基準について」（平成 9 年 2 月 4 日 環境庁告示第 4 号、平成 13 年 4 月 20 日 環境省告示第 30 号、平成 30 年 11 月 19 日 環境省告示第 100 号）

表 3.2-16 大気質のダイオキシン類に係る環境基準

物質	環境上の条件
ダイオキシン類	0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下

注1) 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。

注2) 基準値は、年間平均値とする。

出典等：「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準」（平成11年12月27日 環境庁告示第68号）

表 3.2-17 微小粒子状物質に係る環境基準

物質	環境上の条件
微小粒子状物質 <sup>*1</sup>	1年平均値が15 μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35 μg/m <sup>3</sup> 以下であること。

\*1. 微小粒子状物質とは、大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒径が2.5 μmの粒子を50%の割合で分離できる分粒装置を用いて、より粒径の大きい粒子を除去した後に採取される粒子をいう。

出典等：「微小粒子状物質による大気汚染に係る環境基準について」（平成21年9月9日 環境省告示第33号）

## ② 規制基準

工場や事業場から排出される大気汚染物質は、「大気汚染防止法」、「ダイオキシン類対策特別措置法」、「生活環境保全条例」により規制されている。

### a 大気汚染防止法による排出基準

「大気汚染防止法」では、大気汚染物質の種類ごと、排出施設の種類・規模ごとに排出基準等が定められており、規制対象物質には硫黄酸化物、ばいじん、有害物質(カドミウム、塩素、塩化水素、ふっ素、鉛、窒素酸化物など)が指定されている。対象事業で整備するごみ処理施設は、同法のばい煙発生施設（廃棄物焼却炉）に該当し、表 3.2-18に示す基準が適用される。

表 3.2-18 大気汚染防止法に基づく規制基準(廃棄物焼却炉)

物質	排出基準	処理能力
硫黄酸化物	K値 <sup>*1</sup> 17.5	—
ばいじん	0.08 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	焼却能力が1時間当たり2,000 kg以上4,000 kg未満
窒素酸化物	250 ppm	—
塩化水素	700 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> (430 ppm)	—
水銀	30 μg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	—

\*1. K 値:大気汚染防止法に基づく固定発生源の硫黄酸化物排出規制における規制式に用いられている値。

煙突からの大気中での拡散を考慮して、地上への影響に着目して排出量を規制するという考え方に基づく。煙突が低いほど、硫黄酸化物の排出量を少なくしなければならないこととなる。

出典等：「大気汚染防止法施行規則」（昭和46年6月22日 厚生省・通商産業省令第1号）

### b ダイオキシン類対策特別措置法による排出基準

「ダイオキシン類対策特別措置法」では、特定施設の排出ガスに関して、規制基準が定められている。対象事業で整備するごみ処理施設は、同法の特定施設(廃棄物焼却炉)に該当し、表 3.2-19 に示す規制基準が適用される。

表 3.2-19 ダイオキシン類対策特別措置法に基づく規制基準(廃棄物焼却炉)

物質	排出基準	処理能力
ダイオキシン類	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> *1	焼却能力が1時間当たり2,000 kg以上4,000 kg未満

\*1. ng-TEQ/m<sup>3</sup>: 単位の「ng(ナノグラム)」は10億分の1gを意味し、「TEQ」は測定されたダイオキシン類を示す。「m<sup>3</sup>」は排出ガス量などの堆積を表す単位で、温度0℃、1気圧に換算した気体の体積である。

出典等: 「ダイオキシン類対策特別措置法施行規則」(平成11年12月27日 総理府令第67号)

「ダイオキシン類対策特別措置法施行令」(平成11年12月27日 政令第433号)

### c 生活環境保全条例による規制対象施設

「生活環境保全条例」では、表 3.2-20 に示すばい煙発生施設、表 3.2-21 に示す粉じん発生施設を規制対象としているが、対象事業は該当しない。

表 3.2-20 生活環境保全条例に基づくばい煙発生施設

番号	施設名	規模
1	廃棄物焼却炉	火格子面積が1.5平方メートル以上2平方メートル未満であるか、又は焼却能力が1時間当たり150キログラム以上(廃油焼却炉にあつては1時間当たり50キログラム以上)200キログラム未満であること。
2	オガライトの製造の用に供する乾燥炉	火格子面積が0.5平方メートル以上1平方メートル未満であるか、又はバーナーの燃料の燃焼能力が重油換算1時間当たり20リットル以上50リットル未満であること。

出典等: 「県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則別表第1」  
(平成13年12月21日 規則第140号)

表 3.2-21 生活環境保全条例に基づく粉じん発生施設

番号	施設名	規模
1	鉱物(コークスを含む。以下同じ。)、土石、チップ又は木くずの堆積場	面積が鉱物又は土石にあつては500平方メートル以上1,000平方メートル未満、チップ又は木くずにあつては500平方メートル以上であること。
2	破砕機及び摩砕機(鉱物、岩石又はセメントの用に供するものに限り、湿式のもの及び密閉式のものを除く。)	原動機の定格出力が37.5キロワット以上75キロワット未満であること。
3	ふるい(鉱物、岩石又はセメントの用に供するものに限り、湿式のもの及び密閉式のものを除く。)	原動機の定格出力が7.5キロワット以上15キロワット未満であること。
4	動力打綿機及び動力混打綿機	すべてのもの
5	木材、木製品の製造の用に供する切断施設、研削施設、研摩施設及び粉砕施設(家具製造の用に供するものを除く。)	原動機の定格出力が切断施設、研削施設又は研摩施設にあつては2.25キロワット以上、粉砕施設にあつては7.5キロワット以上であること。

出典等: 「県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則別表第2」  
(平成13年12月21日 規則第140号)

## (2) 騒音

### ① 環境基準

騒音に係る環境基準は、地域の類型区分及び時間の区分ごとに定められている。

「環境基本法」に基づく地域の類型区分ごとの環境基準を表 3.2-22 に示す。

ただし、道路に面する地域については、表 3.2-22 によらず、表 3.2-23 に示す基準が適用される。また、道路に面する地域のうち、幹線交通を担う道路に近接する空間は、表 3.2-24 に示す特例基準値が適用される。

対象事業実施区域及びその周囲は、類型区分に指定された地域に該当しない。しかし、ごみ収集車両等の走行経路となる一般国道 284 号及び主要地方道弥栄金成線の沿道は、表 3.2-24 に示す特例基準値が適用される。

表 3.2-22 騒音に係る環境基準

地域の 類型	基準値		該当地域
	昼間 (6:00~22:00)	夜間 (22:00~6:00)	
AA	50dB 以下	40dB 以下	特に静穏を要する地域
A	55dB 以下	45dB 以下	第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域、田園住居地域
B			第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域
C	60dB 以下	50dB 以下	近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

出典等：「騒音に係る環境基準について」（平成 10 年 9 月 30 日、環境庁告示第 64 号）

「騒音に係る環境基準の地域類型を当てはめる地域の指定」

（平成 11 年 3 月 26 日 岩手県告示第 258 号）

表 3.2-23 道路に面する地域の騒音に係る環境基準

地域の区分	基準値	
	昼間 (6:00~22:00)	夜間 (22:00~6:00)
A 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域	60dB 以下	55dB 以下
B 地域のうち 2 車線以上の車線を有する道路に面する地域 及び C 地域のうち車線を有する道路に面する地域	65dB 以下	60dB 以下

注 1) 車線とは、1 縦列の自動車及安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

出典等：「騒音に係る環境基準について」（平成 10 年 9 月 30 日、環境庁告示第 64 号）

「騒音に係る環境基準の地域類型を当てはめる地域の指定」

（平成 11 年 3 月 26 日 岩手県告示第 258 号）

表 3.2-24 幹線交通を担う道路に近接する空間における特例基準値

基準値	
昼間(6:00~22:00)	夜間(22:00~6:00)
70dB 以下	65dB 以下

注 1) 個別の住居等において騒音の影響の受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間にあっては 45dB 以下、夜間にあっては、40dB 以下）によることができる。

注 2) 幹線交通を担う道路に近接する空間は、高速自動車国道、一般国道、県道、4 車線以上の市町村道、自動車専用道路を指す。

出典等：「騒音に係る環境基準について」（平成 10 年 9 月 30 日 環境庁告示第 64 号）

「騒音に係る環境基準の地域類型を当てはめる地域の指定」

（平成 11 年 3 月 26 日 岩手県告示第 258 号）

## ② 規制基準

「騒音規制法」(昭和43年6月10日法律第98号)では、住民の生活環境を保全する地域を知事が指定し、指定地域内の工場・事業場と建設工事に伴って発生する騒音を規制するとともに、自動車から発生する騒音についての許容限度を定めている。

また、「生活環境保全条例」では、「騒音規制法」の規制対象外の7種10施設に対し必要な規制を行っている。

### a 騒音規制法による規制基準等

#### a) 特定工場の規制基準

「騒音規制法」に規定される特定施設を表3.2-25に、特定施設を設置する特定工場等における規制基準を表3.2-26に示す。

対象事業実施区域は、区域指定されていない。

表 3.2-25 騒音規制法に基づく特定施設の種類

番号	特定施設の種類
1	金属加工機械 イ. 圧延機械(原動機の定格出力の合計が22.5kw以上のものに限る。) ロ. 製管機械 ハ. ベンディングマシーン(ロール式のものであって、原動機の定格出力が3.75kw以上のものに限る。) ニ. 液圧プレス(矯正プレスを除く。) ホ. 機械プレス(呼び加圧能力が294キロニュートン以上のものに限る。) ヘ. せん断機(原動機の定格出力が3.75kw以上のものに限る。) ト. 鍛造機 チ. ワイヤフォーミングマシン リ. プラスト(タンブラスト以外のものであって、密閉式のものを除く。) ヌ. タンブラー ル. 切断機(と石を用いるものに限る。)
2	空気圧縮機及び送風機(原動機の定格出力が7.5kw以上のものに限る。)
3	土石用又は鉱物用の破碎機、摩砕機、ふるい及び分級機 (原動機の定格出力が7.5kw以上のものに限る。)
4	織機(原動機を用いるものに限る。)
5	建設用資材製造機械 イ. コンクリートプラント(気ほうコンクリートプラントを除き、混練機の混練容量が0.45m以上のものに限る) ロ. アスファルトプラント(混練機の混練重量が200kg以上のものに限る)
6	穀物用製粉機 (ロール式のものであって、原動機の定格出力が7.5kw以上のものに限る。)
7	木材加工機械 イ. ドラムバッカー ロ. チッパー(原動機の定格出力が2.25kw以上のものに限る。) ハ. 碎木機 ニ. 帯のご盤(製材用のものにあつては原動機の定格出力が15kw以上のもの、木工用のものにあつては原動機の定格出力が2.25kw以上のものに限る。) ホ. 丸のご盤(帯のご盤と同じ) ヘ. かな盤(原動機の定格出力が2.25kw以上のものに限る。)
8	抄紙機
9	印刷機(原動機を用いるものに限る。)
10	合成樹脂用射出成型機
11	鋳造型機(ジョルト式のものに限る。)

出典等:「工場、事業場から発生する騒音・振動の規制」(昭和43年政令第324号)

表 3.2-26 特定工場等及び騒音特定工場等の規制基準

区域区分		時間区分			
		朝 (6:00～ 8:00)	昼間 (8:00～ 18:00)	夕 (18:00～ 22:00)	夜間 (22:00～ 6:00)
第1種区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 田園住居地域	45 dB	50 dB	45 dB	40 dB
第2種区域	第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域	50 dB	55 dB	50 dB	45 dB
第3種区域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域	60 dB	65 dB	60 dB	50 dB
第4種区域	工業地域	65 dB	70 dB	65 dB	55 dB

注1) 下記施設敷地の周囲 50m区域内は同表の各欄（第1種区域は除く。）の値から 5dB を減じた値とする。

- (1) 学校教育法第1条に規定する学校
- (2) 児童福祉法第7条に規定する保育所
- (3) 医療法第1条の5第1項に規定する病院及び同条第2項に規定する診療所のうち患者を入院させるための施設を有するもの。
- (4) 図書館法第2条第1項に規定する図書館
- (5) 老人福祉法第5条の3に規定する特別養護老人ホーム
- (6) 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号）第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園

出典等：「県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例の規定による騒音規制基準」  
(平成14年3月26日 岩手県告示第306号)

「騒音規制法の規定による特定工場等において発生する騒音及び特定建設作業に伴って発生する騒音について規制する地域の指定」

(昭和48年3月30日 岩手県告示第422号)

b) 特定建設作業の規制基準

「騒音規制法」に規定される特定建設作業の種類を表 3.2-27 に、特定建設作業に係る規制基準を表 3.2-28 に示す。

対象事業実施区域は、地域指定されていない。

表 3.2-27 騒音規制法に基づく特定建設作業の種類

番号	作業の種類
1	くい打機（もんけんを除く。）、くい抜き機又はくい打くい抜き機（圧入式くい打ちくい抜き機を除く。）を使用する作業（くい打ち機をアースオーガーと併用する作業を除く。）
2	びよう打機を使用する作業
3	さく岩機を使用する作業（作業地点が連続的に移動する作業にあつては、1 日における当該作業に係る 2 地点間の最大距離が 50m を超えない作業に限る。）
4	空気圧縮機（電動機以外の原動機を用いるのものであって、その原動機の定格出力が 15kW 以上のもに限る。）を使用する作業（さく岩機の動力として使用する作業を除く。）
5	コンクリートプラント（混練機の混練容量が 0.45m <sup>3</sup> 以上のものに限る。）又はアスファルトプラント（混練機の混練重量が 200kg 以上のものに限る。）を設けて行う作業（モルタルを製造するためコンクリートプラントを設けて行う作業を除く。）
6	バックホウ（一定の限度を超える大きさの騒音を発生しないものとして、環境庁長官が指定するものを除き、原動機の定格出力が 80 キロワット以上のもに限る。）を使用する作業
7	トラクターショベル（一定の限度を超える大きさの騒音を発生しないものとして、環境庁長官が指定するものを除き、原動機の定格出力が 70 キロワット以上のもに限る。）を使用する作業
8	ブルドーザー（一定の限度を超える大きさの騒音の発生しないものとして、環境庁長官が指定するものを除き、原動機の定格出力が 40 キロワット以上のもに限る。）を使用する作業。

注 1) 当該作業は、その作業を開始した日に終わるものを除く。  
出典等：「騒音規制法施行令別表第二」（昭和 43 年 政令第 324 号）

表 3.2-28 特定建設作業に係る騒音の規制基準

地域の区分	指定地域	基準値	夜間作業禁止時間	1 日の作業限度時間	連続作業限度時間	作業禁止日
第 1 号区域	第 1 種区域	85db	19 時～翌日 7 時	10 時間	6 日	日曜日 その他の休日
	第 2 種区域 第 3 種区域 第 4 種区域の一部					
第 2 号区域	指定区域のうち、上に掲げる区域以外の区域		22 時～翌日 6 時	14 時間		

注 1) 上表における第 1 種区域～第 4 種区域の区分は、表 3.2-27 におけるあてはめ地域と同様である。  
注 2) 第 4 種区域の一部とは、工業地域に所在する学校、保育所、病院、診療所、図書館、特別養護老人ホーム、幼保連携型認定こども園の敷地の周囲 80m 区域内  
注 3) 基準値は特定建設作業の場所の敷地の境界線での値。  
注 4) 基準値を超えている場合、騒音の防止の方法のみならず、1 日の作業時間を上記限度時間未満 4 時間以上の間において短縮させることを勧告又は命令できる。  
注 5) 作業禁止時間、1 日の作業限度時間、連続作業限度時間、作業禁止日については、災害等非常事態発生の場合、人命身体の危険防止の場合はこの限りではないこと。  
出典等：「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準を定める件別表第 1 号に該当する区域の指定」（昭和 48 年 岩手県告示第 424 号）



c) 自動車騒音の限度（要請限度）

「騒音規制法」に規定される自動車騒音における要請限度を表 3.2-29 に示す。

対象事業実施区域及び周囲は地域指定されていないが、ごみ収集車両等が走行する一般国道 284 号及び主要地方道弥栄金成線の沿道は、特例区域の要請限度が適用される。

表 3.2-29 自動車騒音の要請限度

区域の区分		車線数	昼間 (6:00～ 22:00)	夜間 (22:00～ 6:00)
区域	基本的なあてはめ地域			
a 区域	専ら住居の用に供される地域 第 1 種低層住居専用地域 第 2 種低層住居専用地域	1 車線	65dB 以下	55dB 以下
	第 1 種中高層住居専用地域 第 2 種中高層住居専用地域 田園住居地域	2 車線以上	70dB 以下	65dB 以下
b 区域	主として住居の用に供される地域 第 1 種住居地域 第 2 種住居地域	1 車線	65dB 以下	55dB 以下
	準住居地域	2 車線以上	75dB 以下	70dB 以下
c 区域	相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域 近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	車線を有する道路	75dB 以下	70dB 以下
特例	幹線交通を担う道路に近接する空間 高速自動車国道 一般道路 県道 4 車線以上の市町村道 自動車専用道路	2 車線以下の道路の端から 15m 2 車線を超える道路の端から 20m	75dB 以下	70dB 以下

出典等：「騒音規制法第 17 条第 1 項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」  
(平成 12 年 総理府令第 15 号)

「騒音規制法の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める総理府令別表の備考の区域」(平成 12 年 3 月 14 日 岩手県告示第 214 号)

b 生活環境保全条例による規制基準等

「生活環境保全条例」に規定される騒音発生施設を表 3.2-30 に示す。規制基準は、前出の表 3.2-26 に示すとおりである。

対象事業では、対象となる施設は設置しない。

表 3.2-30 条例に基づく騒音発生施設

番号	施設名	規模
1	金属加工用の旋盤（ベルト駆動式のものであること。）	すべてのもの
2	空気圧縮機及び送風機	原動機の定格出力が 3.75 キロワット以上 7.5 キロワット未満であること。
3	コンクリート製品製造用のコンクリートプラント	気泡コンクリートプラントを除き、混練機の混練容量が 0.45 立方メートル未満であること。
4	木材加工機械 (1) チッパー	原動機の定格出力が 2.25 キロワット未満であること。
	(2) 製材用帯のこ盤及び丸のこ盤	原動機の定格出力が 7.5 キロワット以上 15 キロワット未満であること。
	(3) 木工用の帯のこ盤及び丸のこ盤	原動機の定格出力が 1.5 キロワット以上 2.25 キロワット未満であること。
	(4) かな盤	原動機の定格出力が 1.5 キロワット以上 2.25 キロワット未満であること。
5	冷凍機	原動機の定格出力が 3.75 キロワット以上であること。
6	冷却塔	原動機の定格出力が 0.75 キロワット以上であること。
7	バーナー	燃料の消費能力が 1 時間当たり 50 リットル以上であること。

出典等：「県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則別表第 4」  
(平成 13 年 12 月 21 日 規則第 140 号)

### (3) 振動

#### ① 規制基準

「振動規制法」(昭和 51 年 6 月 10 日 法律第 64 号)では、住民の生活環境を保全する地域を知事が指定し、指定地域内の工場・事業場と建設工事に伴って発生する振動を規制するとともに、自動車から発生する振動についての許容限度を定めている。

#### a 特定工場等の規制基準等

「振動規制法」に規定されている特定施設の種別を表 3.2-31 に、特定施設を設置する特定工場等の規制基準を表 3.2-32 に示す。

対象事業実施区域は、地域指定されていない。

表 3.2-31 振動規制法に規定する特定施設の種別

番号	特定施設の種別
1	金属加工機械 イ. 液圧プレス (矯正プレスを除く。) ロ. 機械プレス ハ. せん断機 (原動機の定格出力が 1kW 以上のものに限る。) ニ. 鍛造機 ホ. ワイヤフォーミングマシン (原動機の定格出力が 37.5kW 以上のものに限る。)
2	圧縮機 (原動機の定格出力が 7.5kW 以上のものに限る。)
3	土石用又は鉱物用の破碎機、摩砕機、ふるい及び分級機 (原動機の定格出力が 7.5kW 以上のものに限る。)
4	織機 (原動機を用いるものに限る。)
5	コンクリートブロックマシン (原動機の定格出力の合計が 2.95kW 以上のものに限る。) 並びにコンクリート管製造機械及びコンクリート柱製造機械 (原動機の定格出力の合計が 10kW 以上のものに限る。)
6	木材加工機械 イ. ドラムバーカー ロ. チッパー (原動機の定格出力が 2.2kW 以上のものに限る。)
7	印刷機械 (原動機の定格出力が 2.2kW 以上のものに限る。)
8	ゴム練用又は合成樹脂練用のロール機 (カレンダーロール機以外のもので原動機の定格出力が 30kW 以上のものに限る。)
9	合成樹脂用射出成形機
10	鋳造型機 (ジョルト式のものに限る。)

出典等：「振動規制法施行令別表第 1」(昭和 51 年 10 月 22 日 政令第 280 号)

表 3.2-32 特定工場等の振動に係る規制基準

区域の区分		昼間 (7:00～20:00)	夜間 (20:00～7:00)
第1種区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域、田園住居地域	60 dB	55 dB
第2種区域	近隣商業地域、商業地域 準工業地域、工業地域	65 dB	60 dB

注1) 区域の区分は、原則として都市計画法第8条第1項第1号の用途地域の区分による。

注2) 下記施設敷地の周囲50m区域内は、同表の各欄の値から5デシベルを減じた値とする。

- (1) 学校教育法第1条に規定する学校
- (2) 児童福祉法第7条第1項に規定する保育所
- (3) 医療法第1条の5第1項に規定する病院及び同条第2項に規定する診療所のうち、患者を入院させるための施設を有するもの
- (4) 図書館法第2条第1項に規定する図書館
- (5) 老人福祉法第5条の3に規定する特別養護老人ホーム
- (6) 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園

出典等：「特定工場等において発生する振動の規制に関する基準」

(昭和51年11月10日 環境庁告示第90号)

「振動規制法の規定による地域及び規制基準等」

(昭和53年3月10日 岩手県告示第335号)

#### b 特定建設作業の規制基準等

「振動規制法」に規定される特定建設作業の種類を表 3.2-33 に、特定建設作業における規制基準を表 3.2-34 に示す。

対象事業実施区域は、地域指定されていない。

表 3.2-33 振動規制法に基づく特定建設作業の種類

番号	作業の種類
1	くい打機（もんけん及び圧入式くい打機を除く。）、くい打機（油圧式くい打機を除く。）又はくい打くい抜機（圧入式くい打機を除く。）を使用する作業
2	剛球を使用して建築物その他の工作物を破壊する作業
3	舗装版破碎機を使用する作業（作業地点が連続的に移動する作業にあつては、1日における当該作業に係る2地点間の最大距離が50mを超えない作業に限る。）
4	ブレーカー（手持式のものを除く。）を使用する作業（作業地点が連続的に移動する作業にあつては、1日における当該作業に係る2地点間の最大距離が50mを超えない作業に限る。）

出典等：「振動規制法施行令別表第1」（昭和51年10月22日 政令第280号）

表 3.2-34 特定建設作業に係る振動の規制基準

地域の区分	指定地域	基準値	作業禁止時間	1日の作業限度時間	連続作業限度時間	作業禁止日
第1号区域	指定地域のうち、次の区域とする。 (1)第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域及び田園住居地域 (2)第一種住居地域、第二種住居地域及び準住居地域 (3)近隣商業地域、商業地域及び準工業地域 (4)工業地域内に所在する学校、保育所、病院、診療所、図書館、特別養護老人ホーム、幼保連携型認定こども園の敷地の周囲80m区域内	75dB	19時～翌日7時	10時間	6日	日曜日その他の休日
第2号区域	指定区域のうち、上に掲げる区域以外の区域		22時～翌日6時	14時間		

注1) 基準値は特定建設作業の場所の敷地の境界線での値。

注2) 基準値を超えている場合に改善勧告または命令を行うにあたり、1日の作業時間を上記限度時間未満4時間以上の間において短縮させることができる。

注3) 作業禁止時間、1日の作業限度時間、連続作業限度時間、作業禁止日については、災害等非常事態発生の場合、人命身体の危険防止の場合はこの限りではないこと。

出典等：「振動規制法施行規則別表第1」（昭和51年総理府令第58号）

「振動規制法の規定による地域及び規制基準等」（昭和53年3月10日 岩手県告示第335号）

### c 道路交通振動の限度

「振動規制法」に基づく道路交通振動の要請限度を表3.2-35に示す。

対象事業実施区域及び周囲は、地域指定されていない。

表 3.2-35 道路交通振動の要請限度

区域の区分		昼間 (7:00～20:00)	夜間 (20:00～7:00)
第1種区域	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第2種住居地域	65dB	60dB
第2種区域	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	70dB	65dB

出典等：「振動規制法施行規則別表第2」（昭和51年11月10日 総理府令第58号）

「振動規制法の規定による地域及び規制基準等」（昭和53年3月10日 岩手県告示第335号）

#### (4) 悪臭

##### ① 規制基準

「悪臭防止法」(昭和46年6月1日 法律第91号)に基づく悪臭の規制は、規制地域内における工場・事業場に対して設定され、規制基準は敷地境界上における濃度、排出口における排出量、排出水中における濃度について定められている。

令和3年8月現在、岩手県では9市町について規制地域が指定されているが、一関市は指定地域となっていない。

##### a 敷地境界線上における規制基準

敷地境界線上における基準を表3.2-36に示す。

表 3.2-36 敷地境界線上における悪臭物質の規制基準

	悪臭物質名	規制基準 (ppm)	
		規制地域のうち工場地域及び工場専用地域	規制地域のうち工場地域及び工場専用地域以外の地域
1	アンモニア	2ppm	1ppm
2	メチルメルカプタン	0.004ppm	0.002ppm
3	硫化水素	0.06ppm	0.02ppm
4	硫化メチル	0.05ppm	0.01ppm
5	二硫化メチル	0.03ppm	0.009ppm
6	トリメチルアミン	0.02ppm	0.005ppm
7	アセトアルデヒド	0.1ppm	0.05ppm
8	プロピオンアルデヒド	0.1ppm	0.05ppm
9	ノルマルブチルアルデヒド	0.03ppm	0.009ppm
10	イソブチルアルデヒド	0.07ppm	0.02ppm
11	ノルマルバレルアルデヒド	0.02ppm	0.009ppm
12	イソバレルアルデヒド	0.006ppm	0.003ppm
13	イソブタノール	4ppm	0.9ppm
14	酢酸エチル	7ppm	3ppm
15	メチルイソブチルケトン	3ppm	1ppm
16	トルエン	30ppm	10ppm
17	スチレン	0.8ppm	0.4ppm
18	キシレン	2ppm	1ppm
19	プロピオン酸	0.07ppm	0.03ppm
20	ノルマル酪酸	0.002ppm	0.001ppm
21	ノルマル吉草酸	0.002ppm	0.0009ppm
22	イソ吉草酸	0.004ppm	0.001ppm
	臭気強度	3	2.5

出典等：「悪臭防止法施行規則別表第1」(昭和47年5月30日 総理府令第39号)

「悪臭防止法の規定による工場その他の事業場における事業活動に伴って発生する悪臭物質の排出を規制する地域及び規制地域における悪臭物質の排出に係る規制基準」

(平成7年3月31日 岩手県告示第350号)

## b 排出口における規制基準

「悪臭防止法」に基づく事業場の煙突その他の気体排出施設から排出する悪臭物質（メチルメルカプタン、硫化メチル、二硫化メチル、アセトアルデヒド、スチレン、プロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸及びイソ吉草酸は除く。）の規制基準は、次式により算出した悪臭物質の種類ごとの流量となる。

通常は敷地境界線上における規制基準のみに適用されるが、悪臭物質濃度が最も高くなる地点が敷地境界線以遠にある場合には、排出口における規制基準が適用される。

$$q = 0.108 \times He^2 \cdot Cm$$

ここにおいて、 $q$ ：流量 (Nm<sup>3</sup>/時)

$He$ ：補正された排出口の高さ (m)

$Cm$ ：当該事業場の敷地境界線上における規制基準値 (ppm)

ただし、 $He$ が5m未満となる場合については、この式は適用されない。

## c 排出水中における規制基準

「悪臭防止法」に基づく事業場から排出される排出水中に含まれる悪臭物質（ただし、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル及び二硫化メチルに限る。）の排出基準は、次式により算出した排出水中の濃度が適用される。

$$CLm = k \times Cm$$

ここにおいて、 $CLm$ ：排出水中の濃度 (mg/L)

$k$ ：表 3.2-37に示す値

$Cm$ ：敷地境界線上における規制基準値 (ppm)

表 3.2-37 排出水中の悪臭物質に係る  $k$  の値

悪臭物質名	流量 $Q$ (m <sup>3</sup> /秒)		
	$Q \leq 0.001$	$0.001 < Q \leq 0.1$	$0.1 < Q$
メチルメルカプタン	16	3.4	0.71
硫化水素	5.6	1.2	0.26
硫化メチル	32	6.9	1.4
二硫化メチル	63	14	2.9

注1) メチルメルカプタンについては、0.002 mg/Lを規制基準の下限とする。

注2) 流量 ( $Q$ ) は工場その他の事業場から敷地外に排出される排出水の量 (m<sup>3</sup>/秒) を表す。

出典等：「悪臭防止法施行規則別表第1」（昭和47年5月30日 総理府令第39号）

「悪臭防止法の規定による工場その他の事業場における事業活動に伴って発生する悪臭物質の排出を規制する地域及び規制地域における悪臭物質の排出に係る規制基準」

(平成7年3月31日 岩手県告示第350号)

## (5) 水質汚濁

### ① 環境基準

公共用水域の水質に係る環境基準は、「環境基本法」に基づき、人の健康の保護に関する環境基準、生活環境の保全に関する環境基準、ダイオキシン類については、「ダイオキシン類対策特別措置法」に基づく環境基準が設定されている。

また、地下水の水質汚濁に係る環境基準についても、人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準が定められている。

人の健康の保護に関する環境基準は表 3.2-38 に示すとおりであり、公共用水域及び地下水について一律に定められている。

生活環境の保全に関する環境基準は、河川、湖沼及び海域ごとに利用目的に応じて指定された水域類型別に定められている。河川の環境基準を表 3.2-39 に示す。

ダイオキシン類に関する環境基準は、表 3.2-40 に示すとおりであり、公共用水域について一律に定められている。

対象事業実施区域の周囲を流れる河川には、図 3.2-11 に示すとおり北上川及び砂鉄川にA類型、千厩川にC類型の類型指定があてはめられている。また、北上川、砂鉄川、千厩川には、水生生物の生息環境の適用性の生物A類型があてはめられている。

表 3.2-38 人の健康の保護に関する環境基準（公共用水域、地下水）

項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L 以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/L 以下
六価クロム	0.05mg/L 以下
砒素	0.01mg/L 以下
総水銀	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	検出されないこと
PCB	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/L 以下
チウラム	0.006mg/L 以下
シマジン	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	0.02mg/L 以下
ベンゼン	0.01mg/L 以下
セレン	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L 以下
ふっ素	0.8mg/L 以下
ほう素	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/L 以下

注1) 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。

注2) 「検出されないこと」とは、測定方法の項に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。

出典等：「水質汚濁に係る環境基準について」（昭和46年12月28日 環境庁告示第59号）

「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成9年3月13日 環境庁告示第10号）



表 3.2-39(1) 生活環境の保全に関する環境基準（湖沼を除く河川）

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン 濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級、自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	50MPN/ 100mL以下
A	水道2級、水産1級、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/ 100mL以下
B	水道3級、水産2級及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	25mg/L以下	5mg/L以上	5,000MPN/ 100mL以下
C	水産3級、工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L以下	50mg/L以下	5mg/L以上	—
D	工業用水2級、農業用水及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L以下	100mg/L以下	2mg/L以上	—
E	工業用水3級、環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。	2mg/L以上	—
<p>備考</p> <p>1. 基準値は、日間平均値とする（湖沼・海域もこれに準ずる）。</p> <p>2. 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする（湖沼もこれに準ずる）。</p>						

注1) 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

注2) 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの  
水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの  
水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

注3) 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用  
水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産3級の水産生物用  
水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

注4) 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの  
工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの  
工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの

注5) 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度  
出典等：「水質汚濁に係る環境基準について」（昭和46年12月28日 環境庁告示第59号）

表 3.2-39(2) 生活環境の保全に関する環境基準（湖沼を除く河川）

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生育する水域	0.03mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下
生物特 A	生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.0006mg/L 以下	0.02mg/L 以下
生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下
生物特 B	生物 A 又は生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.04mg/L 以下

注 1) 基準値は、年間平均値とする（湖沼・海域もこれに準ずる）。

出典等：「水質汚濁に係る環境基準について」

（昭和 46 年 12 月 28 日 環境庁告示第 59 号、平成 31 年 3 月 20 日最終改定 環境省告示第 46 号）

表 3.2-40 水質のダイオキシン類に係る環境基準

物質	環境上の条件
ダイオキシン類	1pg-TEQ/L 以下

注 1) 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。

注 2) 水質（水底の底質を除く。）の基準値は、年間平均値とする。

出典等：「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌汚染に係る環境基準」（平成 11 年 12 月 27 日 環境庁告示第 68 号）

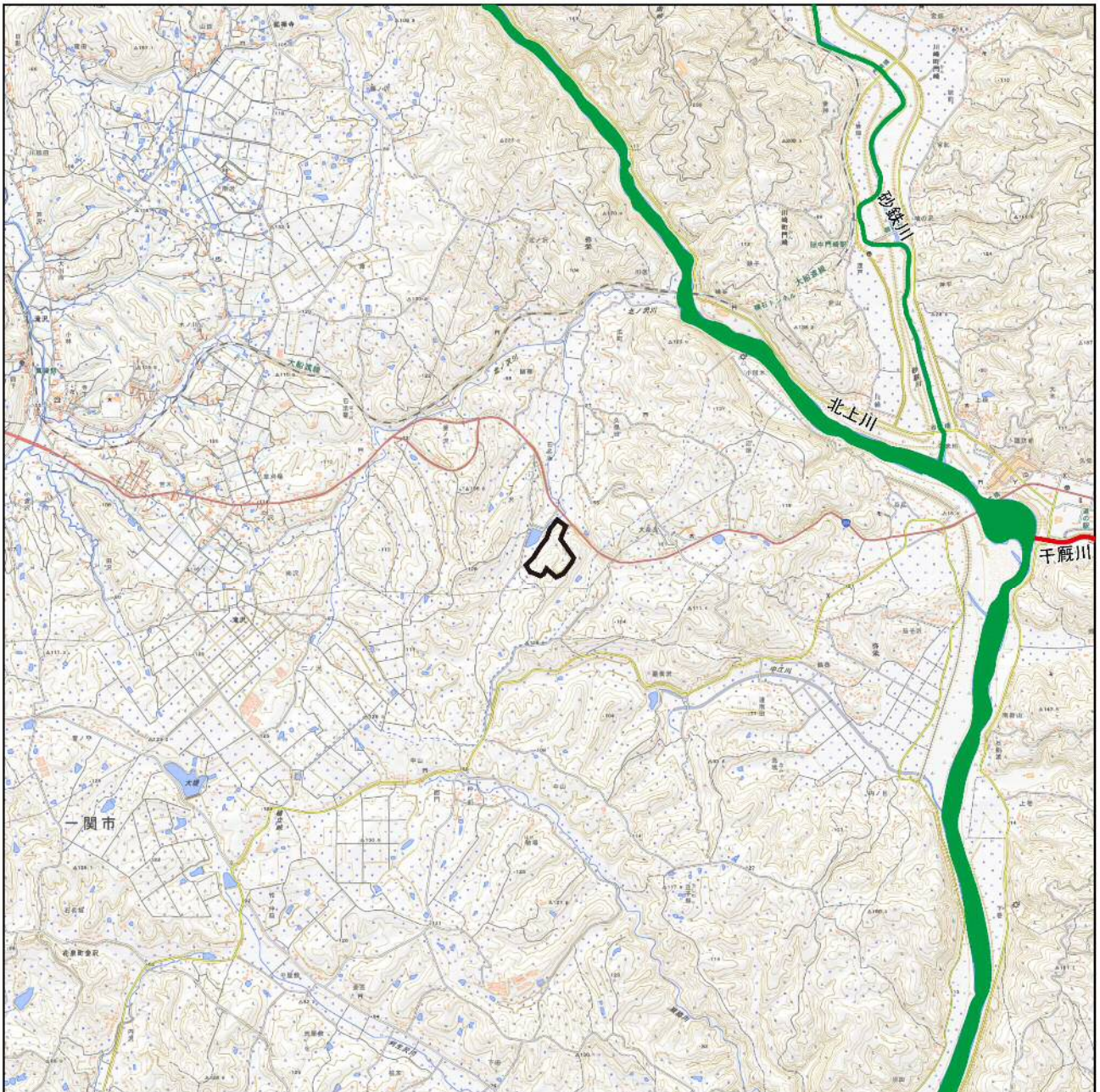



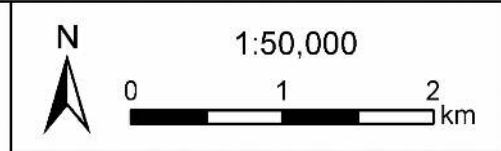


図 3.2-11 水域に係る環境基準の類型区分

凡例

-  対象事業実施区域
-  A類型
-  C類型



出典等: 「令和3年度公共用水域水質測定計画」(岩手県HP)、「国土数値情報(河川データ)」(国土地理院HP)、  
(閲覧: 令和3年8月)より作成

## ② 規制基準

工場や事業所からの排水については、「水質汚濁防止法」（昭和 45 年 12 月 25 日 法律第 138 号）、「生活環境保全条例」、「水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める条例」（昭和 48 年 3 月 30 日 岩手県条例第 31 号）により規制されている。

なお、湖沼を含む公共用水域の水質汚濁防止のため「湖沼水質保全特別措置法」（昭和 59 年 7 月 27 日 法律第 61 号）に基づき指定湖沼が指定されているが、対象事業実施区域及びその周囲では、同法に基づく湖沼の指定はない。

### a 水質汚濁防止法による規制基準

「水質汚濁防止法」では、全ての工場・事業場に適用される有害物質に係る排水基準、排水量が 50 m<sup>3</sup>/日以上の特定期間内に適用される生活環境項目に関する排水基準が定められている。

有害物質に係る排水基準を表 3.2-41 に、生活環境項目に係る排水基準を表 3.2-42 に示す。

表 3.2-41 有害物質に係る排水基準

一律排水基準		許容限度
種類又は項目		
カドミウム及びその化合物		0.03mg/L
シアン化合物		1mg/L
有機リン化合物（パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及び EPN に限る。）		1mg/L
鉛及びその化合物		0.1mg/L
六価クロム化合物		0.5mg/L
砒素及びその化合物		0.1mg/L
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物		0.005mg/L
アルキル水銀化合物		検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル		0.003mg/L
トリクロロエチレン		0.1mg/L
テトラクロロエチレン		0.1mg/L
ジクロロメタン		0.2mg/L
四塩化炭素		0.02mg/L
1,2-ジクロロエタン		0.04mg/L
1,1-ジクロロエチレン		1mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン		0.4mg/L
1,1,1-トリクロロエタン		3mg/L
1,1,2-トリクロロエタン		0.06mg/L
1,3-ジクロロプロペン		0.02mg/L
チウラム		0.06mg/L
シマジン		0.03mg/L
チオベンカルブ		0.2mg/L
ベンゼン		0.1mg/L
セレン及びその化合物		0.1mg/L
ほう素及びその化合物	海域	230mg/L
	その他	10mg/L
ふっ素及びその化合物	海域	15mg/L
	その他	8mg/L
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 （アンモニア性窒素に 0.4 を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量）		100mg/L
1,4-ジオキサン		0.5mg/L

注 1) 「検出されないこと」とは、府令第 2 条の規定に基づき環境大臣が定める方法により排出水の汚染状態を検定した場合において、その結果が当該検定方法の定量限界を下回ることをいう。

注 2) 砒(ひ)素及びその化合物についての排水基準は、水質汚濁防止法施行令及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令（昭和 49 年政令第 363 号）の施行の際現にゆう出している温泉（温泉法（昭和 23 年法律第 125 号）第 2 条第 1 項に規定するものをいう。以下同じ。）を利用する旅館業に属する事業場に係る排水については、当分の間、適用しない。

出典等：「排水基準を定める省令」（昭和 46 年 6 月 21 日 総理府令第 35 号）

表 3.2-42 生活環境項目に係る排水基準

一律排水基準			
種類又は項目		許容限度	
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	海域	5.0~9.0
		その他	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量(BOD)		160mg/L (日間平均 120mg/L)
	化学的酸素要求量(COD)		160mg/L (日間平均 120mg/L)
	浮遊物質(SS)		200mg/L (日間平均 150mg/L)
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(油分)	鉱油類含有量	5 mg/L
		動植物油脂類含有量	30 mg/L
	フェノール類含有量		5 mg/L
	銅含有量		3 mg/L
	亜鉛含有量		2 mg/L
	溶解性鉄含有量		10 mg/L
	溶解性マンガン含有量		10 mg/L
	クロム含有量		2 mg/L
	大腸菌群数		日平均 3,000 個/cm <sup>3</sup>
	窒素含有量		120mg/L (日間平均 60mg/L)
	りん含有量		16mg/L (日間平均 8mg/L)

注 1) 「日間平均」による許容限度は、1日の排出水の平均的な汚染状態について定めたものである。

注 2) この表に掲げる排水基準は、1日当たりの平均的な排出水の量が 50 立方メートル以上である工場又は事業場に係る排水水について適用する。

注 3) 水素イオン濃度及び溶解性鉄含有量についての排水基準は、硫黄鉱業（硫黄と共存する硫化鉄鉱を掘採する鉱業を含む。）に属する工場又は事業場に係る排水水については適用しない。

注 4) 水素イオン濃度、銅含有量、亜鉛含有量、溶解性鉄含有量、溶解性マンガン含有量及びクロム含有量についての排水基準は、水質汚濁防止法施行令及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行の際現にゆう出している温泉を利用する旅館業に属する事業場に係る排水水については、当分の間、適用しない。

注 5) 生物化学的酸素要求量についての排水基準は、海域及び湖沼以外の公共用水域に排出される排水水に限って適用し、化学的酸素要求量についての排水基準は、海域及び湖沼に排出される排水水に限って適用する。

注 6) 窒素含有量についての排水基準は、窒素が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域（湖沼であって水の塩素イオン含有量が 1 リットルにつき 9,000 ミリグラムを超えるものを含む。以下同じ。）として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される排水水に限って適用する。

注 7) 燐(りん)含有量についての排水基準は、燐(りん)が湖沼植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある湖沼として環境大臣が定める湖沼、海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある海域として環境大臣が定める海域及びこれらに流入する公共用水域に排出される排水水に限って適用する。

\* 「環境大臣が定める湖沼」=昭 60 環告 27 (窒素含有量又は燐含有量についての排水基準に係る湖沼)

\* 「環境大臣が定める海域」=平 5 環告 67 (窒素含有量又は燐含有量についての排水基準に係る海域)

注 8) 許容限度の数値は、水素イオン濃度については表に示した数値を含む範囲内、その他の項目については表に示した数値以下を許容限度とする。

出典等：「排水基準を定める省令」（昭和 46 年 6 月 21 日 総理府令第 35 号）

## b 生活環境保全条例による規制基準

「生活環境保全条例」では、「湿式集じん施設」又は「廃ガス洗浄施設」を汚水等排出施設として指定し、排水基準が定められているが、対象事業では、汚水等排出施設は設置しない。排水基準は、前出の表 3.2-41、表 3.2-42 と同様である。

## c 水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める条例による排水基準

「水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める条例」では、「水質汚濁防止法」で定められている排出基準より厳しい基準を設定しているが、対象事業実施区域及びその周囲の水域は対象外である。

岩手県内では、新井田川河口水域、釜石湾水域に設定されている。

## (6) 底質

### ① 環境基準

水底の底質については、「ダイオキシン類対策特別措置法」に基づき表 3.2-43 に示すダイオキシン類に係る環境基準が定められている。

表 3.2-43 底質のダイオキシン類に係る環境基準

物質	環境上の条件
ダイオキシン類	150 pg-TEQ/L 以下

注1) 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。

出典等：「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準」（平成11年12月27日 環境庁告示第68号）

## (7) 土壌汚染

### ① 環境基準

土壌汚染に係る環境基準は、「環境基本法」及び「ダイオキシン類対策特別措置法」に基づき全国一律に定められている。

「環境基本法」に基づく環境基準を表 3.2-44 に、「ダイオキシン類対策特別措置法」に基づく環境基準を表 3.2-45 に示す。

表 3.2-44 土壌の汚染に係る環境基準

項目	環境上の条件
カドミウム	検液 1L につき 0.003mg 以下であり、かつ、農用地においては、米 1kg につき 0.4 mg 以下であること。
全シアン	検液中に検出されないこと。
有機りん	検液中に検出されないこと。
鉛	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
六価クロム	検液 1L につき 0.05mg 以下であること。
砒素	検液 1L につき 0.01mg 以下であり、かつ、農用地(田に限る。)においては、土壌 1 kg につき 15mg 未満であること。
総水銀	検液 1L につき 0.0005mg 以下であること。
アルキル水銀	検液中に検出されないこと。
PCB	検液中に検出されないこと。
銅	農用地(田に限る。)において、土壌 1 kg につき 125mg 未満であること。
ジクロロメタン	検液 1L につき 0.02mg 以下であること。
四塩化炭素	検液 1L につき 0.002mg 以下であること。
クロロエチレン(別名 塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)	検液 1L につき 0.002mg 以下であること。
1,2-ジクロロエタン	検液 1L につき 0.004mg 以下であること。
1,1-ジクロロエチレン	検液 1L につき 0.1mg 以下であること。
1,2-ジクロロエチレン	検液 1L につき 0.04mg 以下であること。
1,1,1-トリクロロエタン	検液 1L につき 1mg 以下であること。
1,1,2-トリクロロエタン	検液 1L につき 0.006mg 以下であること。
トリクロロエチレン	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
テトラクロロエチレン	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
1,3-ジクロロプロペン	検液 1L につき 0.002mg 以下であること。
チウラム	検液 1L につき 0.006mg 以下であること。
シマジン	検液 1L につき 0.003mg 以下であること。
チオベンカルブ	検液 1L につき 0.02mg 以下であること。
ベンゼン	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
セレン	検液 1L につき 0.01mg 以下であること。
ふっ素	検液 1L につき 0.8mg 以下であること。
ほう素	検液 1L につき 1mg 以下であること。
1,4-ジオキサン	検液 1L につき 0.05mg 以下であること。

注 1) 環境上の条件のうち検液中濃度に係るものにあつては付表に定める方法により検液を作成し、これを用いて測定を行うものとする。

注 2) カドミウム、鉛、六価クロム、砒(ひ)素、総水銀、セレン、ふっ素及びほう素に係る環境上の条件のうち検液中濃度に係る値にあつては、汚染土壌が地下水水面から離れており、かつ、原状において当該地下水中のこれらの物質の濃度がそれぞれ地下水 1L につき 0.003mg、0.01mg、0.05mg、0.01mg、0.0005mg、0.01mg、0.8mg 及び 1mg を超えていない場合には、それぞれ検液 1L につき 0.009mg、0.03mg、0.15mg、0.03mg、0.0015mg、0.03mg、2.4mg 及び 3mg とする。

注 3) 「検液中に検出されないこと」とは、測定方法の欄に掲げる方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。

注 4) 有機リン(りん)とは、パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及び EPN をいう。

注 5) 1,2-ジクロロエチレンの濃度は、日本産業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.2 より測定されたシス体の濃度と日本産業規格 K0125 の 5.1、5.2 又は 5.3.1 より測定されたトランス体の濃度の和とする。

出典等：「土壌の汚染に係る環境基準」(平成 3 年 8 月 23 日 環境庁告示第 46 号)



表 3.2-45 ダイオキシン類に係る土壌の汚染に係る環境基準

物質	環境上の条件
ダイオキシン類	1,000 pg-TEQ/L 以下

注1) 基準値は、2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。

注2) 土壌に含まれるダイオキシン類をソックレー抽出又は高圧流体抽出し、高分解ガスクロマトグラフ質量分析計、ガスクロマトグラフ四重極形質量分析計又はガスクロマトグラフ三次元四重形質分析計により測定する方法(この表の土壌の欄に掲げる測定方法を除く。以下「簡易測定法」という。)により測定した値(以下「簡易測定値」という。)に2を乗じた値を上限、簡易測定値に0.5を乗じた値を下限とし、その範囲内の値をこの表の土壌の欄に掲げる測定方法により測定した値とみなす。

注3) 土壌にあっては、環境基準が達成されている場合であって、土壌中のダイオキシン類の量が250pg-TEQ/g以上の場合(簡易測定方法により測定した場合にあっては、簡易測定値に2を乗じた値が250pg-TEQ/g以上の場合)には、必要な調査を実施することとする。

出典等：「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁(水底の底質の汚染を含む。)及び土壌の汚染に係る環境基準」(平成11年12月27日 環境庁告示第68号)

## ② 規制基準

土壌汚染対策に関する規制は、「土壌汚染対策法」(平成14年5月29日 法律第53号)及び「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」(昭和45年12月25日 法律第139号)により、地域指定等の措置が取られている。

### a 土壌汚染対策法による規制

「土壌汚染対策法」では、土壌が汚染されている地域について都道府県知事が要措置区域及び形質変更時要届出区域として指定し、その情報を公開することが定められている。指定区域の要件を表3.2-46に示す。

対象事業実施区域及びその周囲には、「土壌汚染対策法」に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域に指定された地域はない。

### b 農用地の土壌の汚染防止等に関する法律による規制

岩手県には、「農用地の土壌の汚染防止等に関する法律」に基づく対象地域の指定はない。

表 3.2-46 土壤汚染対策法に基づく指定区域の要件

特定有害物質	地下水の摂取等による リスク	直接摂取による リスク
	土壤溶出量基準 (mg/L 以下)	土壤含有量基準 (mg/kg 以下)
カドミウム及びその化合物	0.003	45
六価クロム化合物	0.05	250
クロロエチレン	0.002	-
シマジン	0.003	-
シアン化合物	検出されないこと	50 (遊離シアンとして)
チオベンカルブ	0.02	-
四塩化炭素	0.002	-
1,2-ジクロロエタン	0.004	-
1,1-ジクロロエチレン	0.1	-
1,2-ジクロロエチレン	0.04	-
1,3-ジクロロプロペン	0.002	-
ジクロロメタン	0.02	-
水銀及びその化合物	水銀/0.0005	水銀/15
	アルキル水銀/検出されないこと	
セレン及びその化合物	0.01	150
テトラクロロエチレン	0.01	-
チウラム	0.006	-
1,1,1-トリクロロエタン	1	-
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	-
トリクロロエチレン	0.01	-
鉛及びその化合物	0.01	150
砒素及びその化合物	0.01	150
ふっ素及びその化合物	0.8	4,000
ベンゼン	0.01	-
ほう素及びその化合物	1	4,000
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと	-
有機りん化合物	検出されないこと	-

出典等：「土壤汚染対策法施行規則 別表第四、別表第5」（平成14年12月26日環境省令第29号）

## 2) 自然環境保全関係法令等

自然環境の保全に関する法令では、「自然公園法」（昭和 32 年 6 月 1 日 法律第 161 号）に基づく国立・国定公園、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」（平成 14 年 7 月 12 日 法律第 88 号）に基づく鳥獣保護区等を指定し、各種行為を規制している。

自然環境保全関係の主な法令等と対象事業との関連性の有無を表 3.2-47 に示す。

表 3.2-47 自然環境保全関係の主な法令等

法令名	定められている事項	事業との 関連性
自然公園法	国立公園、国定公園	無
県立自然公園条例	県立自然公園	無
自然環境保全法	自然環境保全地域	無
岩手県自然環境保全条例	自然環境保全地域、環境緑地保全地域	無
	自然環境保全指針 (優れた自然、身近な自然)	有
都市緑地法	緑地保全地域、特別緑地保全地区	無
生産緑地法	生産緑地地区	無
鳥獣の保護並びに管理及び狩猟の適正化に関する法律	鳥獣保護区、鳥獣保護特別保護区、休猟区、特定猟具使用禁止区域、猟区、指定猟法禁止区域	無
絶滅のおそれのある野生動植物の保存に関する法律	生息地等保護区	無
岩手県希少野生動植物の保護に関する条例	指定希少野生動植物、特定希少野生動植物	有
景観法	景観計画区域	有
都市計画法	風致地区	無
生物多様性基本法 (生物多様性国家戦略)	生物多様性保全上重要な里地里山	無
特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約	条約湿地	無

### (1) 自然公園の指定状況

岩手県には、「自然公園法」に基づく国立公園が 2 箇所と国定公園が 2 箇所、「県立自然公園条例」（昭和 33 年 12 月 26 日 岩手県条例第 53 号）に基づく県立自然公園が 7 箇所指定されている。

一関市には栗駒国定公園が指定されているが、対象事業実施区域及びその周囲には、「自然公園法」及び「県立自然公園条例」に基づく自然公園に指定されている地域はない。

### (2) 自然環境保全地域等の指定状況

岩手県には、「自然環境保全法」（昭和 47 年 6 月 22 日 法律第 85 号）に基づく国指定自然環境保全地域が 2 箇所指定されている。

また、「岩手県自然環境保全条例」（昭和 48 年 12 月 25 日 岩手県条例第 62 号）に基づき、自然環境保全地域が 12 箇所、環境緑地保全地域が 11 箇所指定されている。

対象事業実施区域及びその周囲には、「自然環境保全法」及び「岩手県自然環境保全条例」に基づく、自然環境保全地域、環境緑地保全地域に指定されている地域はない。

### (3) 緑地地区等の指定状況

岩手県には、「都市緑地法」（昭和 48 年 9 月 1 日 法律第 72 号）に基づく緑地保全地域及び特別緑地保全地区、「生産緑地法」（昭和 49 年 6 月 1 日 法律第 68 号）に基づく生産緑地地区に指定されている地域はない。

### (4) 鳥獣保護区等の指定状況

岩手県では、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」（平成 14 年 7 月 12 日 法律第 88 号）及び「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則」（平成 15 年 3 月 31 日 岩手県規則第 25 号）に基づき、鳥獣保護区、鳥獣保護特別保護区、休猟区、特定猟具使用禁止区域、猟区、指定猟法禁止区域を設定している。

一関市には、鳥獣保護区が 1 箇所、特定猟具使用禁止区域が 10 箇所、指定猟法禁止区域が 10 箇所設定されているが、対象事業実施区域には設定されていない。

### (5) 生息地等保護区の指定状況

岩手県には、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号）に基づく生息地等保護区に指定されている地域はない。

### (6) 希少野生動植物保護対策

岩手県では、「岩手県希少野生動植物の保護に関する条例」（平成 14 年 3 月 29 日 岩手県条例第 26 号）に基づき、指定希少野生動植物（捕獲、採取等を禁止する種）として 16 種、特定希少野生動植物（流通を監視する種）として 10 種を指定している。

一関市内には、指定希少野生動植物のゲイビゼキショウ、ホソバノシバナ、ヒメコザクラの 3 種の分布が確認されている（表 3.1-39 参照）。また、ヒメコザクラは特定希少野生動植物にも指定されている。

### (7) 景観計画区域の指定状況

岩手県では、「岩手の景観の保全と創造に関する条例」（平成 5 年 10 月 26 日 岩手県条例第 35 号）を交付し、地域の特性を生かした優れた景観の保全と創造を図り、県民が誇りと愛着を持つことができる美しい県土の実現が示されている。

また、平成 22 年には、「景観法」（平成 16 年 6 月 18 日 法律第 110 号）に基づき、「岩手県景観計画」（平成 22 年 10 月 15 日制定、岩手県）が策定され、市町村、事業者、県民と連携・協働し、美しく風格ある県土の形成の実現を図ること等が示されている。

一関市は、「景観法」に基づく景観行政団体として、本寺地区を除く市全域を景観計画区域と定めた「一関市景観計画」（平成 21 年 3 月、平成 30 年 7 月変更、一関市）を策定し、良好な景観形成の方針や行為の制限等をまとめている。

対象事業実施区域及びその周囲の景観計画区域の位置を図 3.2-12 に示す。

対象事業実施区域は、一般地域（農山漁村景観地区）に指定されている。

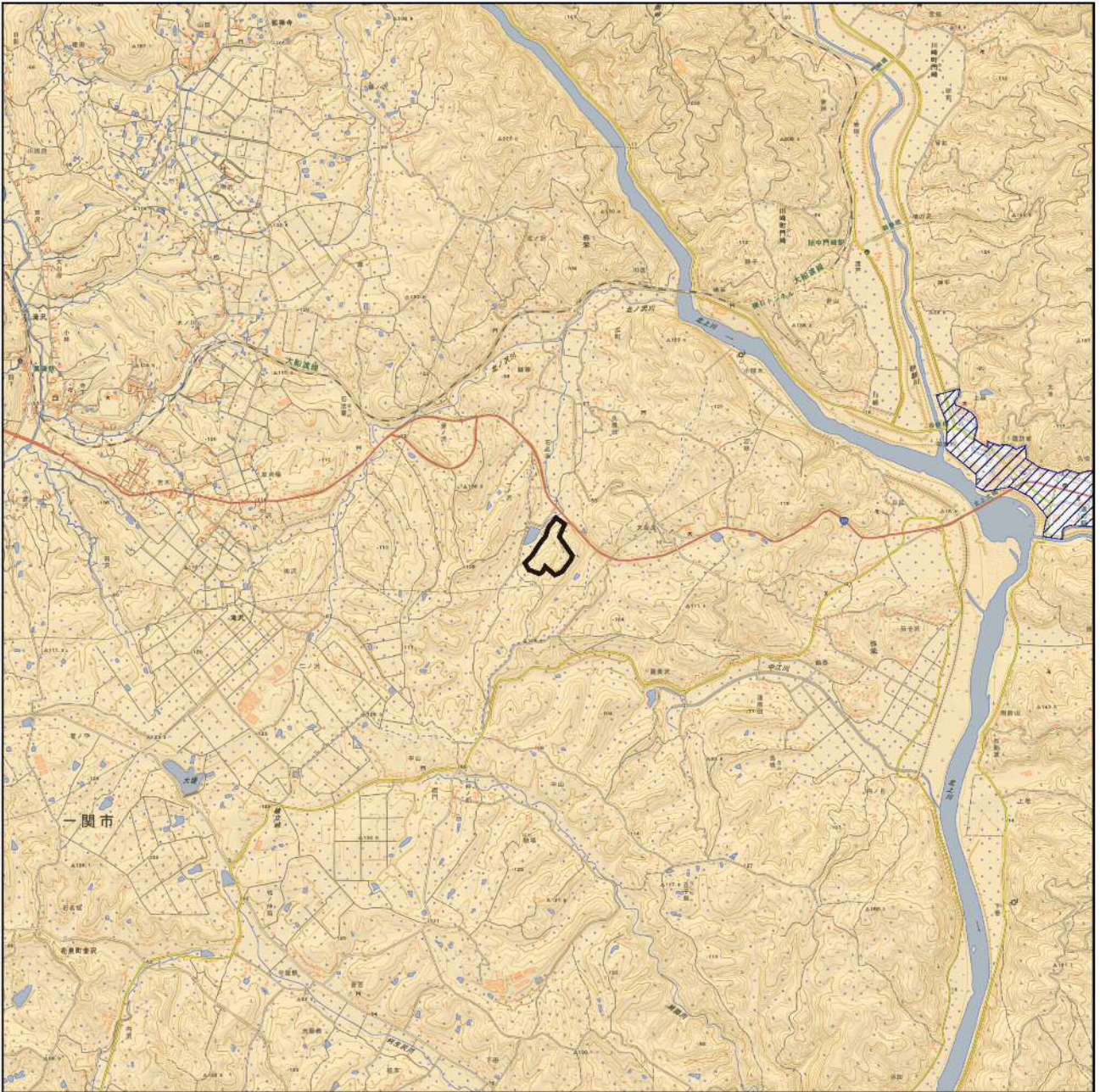


図 3.2-12 景観計画区域

凡例



対象事業実施区域

景観計画区域



一般地域 農山漁村景観地区



一般地域 市街地景観地区



1:50,000

0 1 2 km

出典等：「一関市景観計画（平成30年7月）」（一関市HP、令和3年8月閲覧）より作成

## (8) 岩手県自然環境保全指針

岩手県は、「岩手県自然環境保全条例」に基づき、岩手県の自然の現状を正確に把握するとともに、それぞれの自然の状況に即して計画的に保全施策を講じていくことを目的として、「岩手県自然環境保全指針」（平成 11 年 3 月策定、令和 3 年 3 月改定、岩手県（以下「本指針」という。)) を策定している。

本指針は、平成 11 年の策定後、「いわてレッドデータブック」や環境省の現存植生図が改訂・公表される等、新たな調査資料や情報、知見が蓄積されたことから、令和 3 年 3 月に見直されている。

本指針では、自然環境を学術的な重要性、希少性、貴重性という視点で捉えた「優れた自然」と、親しみやすさ、ふれあいという視点で捉えた「身近な自然」の 2 つに区分して取りまとめている。

### ① 優れた自然

優れた自然については、学術的に重要な植物群落、絶滅の危険性が指摘される動植物種の繁殖地や生息・生育地、貴重な地形・地質・自然景観等を対象とし、それぞれ 5 段階の保全区分にまとめられている。

優れた自然の保全区分に応じた内容、保全目標及び保全方向を表 3.2-48 に、対象事業実施区域及びその周囲における優れた自然の保全区分図を図 3.2-13 に示す。

対象事業実施区域の保全区分は「E」となっており、自然環境が強度に改変され、おおむね人為的な環境となっている。

表 3.2-48 優れた自然の内容及び保全目標・保全方向

保全区分	内容	保全目標	保全方向
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然度が高く、かつ偏在する特に重要な植生を含む地域</li> <li>・特に重要な動植物種が生息・生育する地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に重要な植生について、保護・保全を図る。</li> <li>・特に重要な動植物種について、その生息・生育環境も含めて保護・保全を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植生や動植物の生息・生育環境の改変は、原則として避ける。</li> <li>・事業の実施に当たっては、調査等により現況を把握し、保全に万全を期する。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然度の高い重要な植生を含む地域</li> <li>・重要な動植物種が生息・生育する地域</li> <li>・特に重要な地形・地質・自然景観が存在する地域</li> <li>・二次的自然環境の中でも、特に自然度が高いと判断される重要な植生を含む地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な植生について、最大限の保全を図る。</li> <li>・重要な動植物種について、その生息・生育環境も含めて最大限の保全を図る。</li> <li>・特に重要な地形・地質・自然景観について最大限の保全を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施に当たっては、調査等により現況を把握し、保全に万全を期する。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次的自然環境の中でも、比較的自然度が高いと判断される重要な植生を含む地域</li> <li>・重要な動植物種が生息・生育する地域</li> <li>・重要な地形・地質・自然景観が存在する地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な植生について、適正な保全を図る。</li> <li>・重要な動植物種について、その生息・生育環境も含めて適正な保全を図る。</li> <li>・重要な地形・地質・自然景観について適正な保全を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施に当たっては、調査等により現況を把握し、積極的な保全に努める。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次的自然環境の中でも、比較的人為性が強いと判断される環境を含む地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境と十分に調和した社会活動が営まれるよう配慮しながら、自然環境の保全を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施に当たっては、自然環境の保全に配慮する。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が強度に改変され、又はほとんど欠くことにより、おおむね人為的環境となっている地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残された自然の保全を図るとともに、自然環境と調和した生活空間の創出を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境に留意しながら適正な利用に努めるとともに、緑地等の自然環境の修復、育成に努める。</li> </ul>

出典等：「岩手県自然環境保全指針」（岩手県 HP、令和 3 年 8 月閲覧）より作成

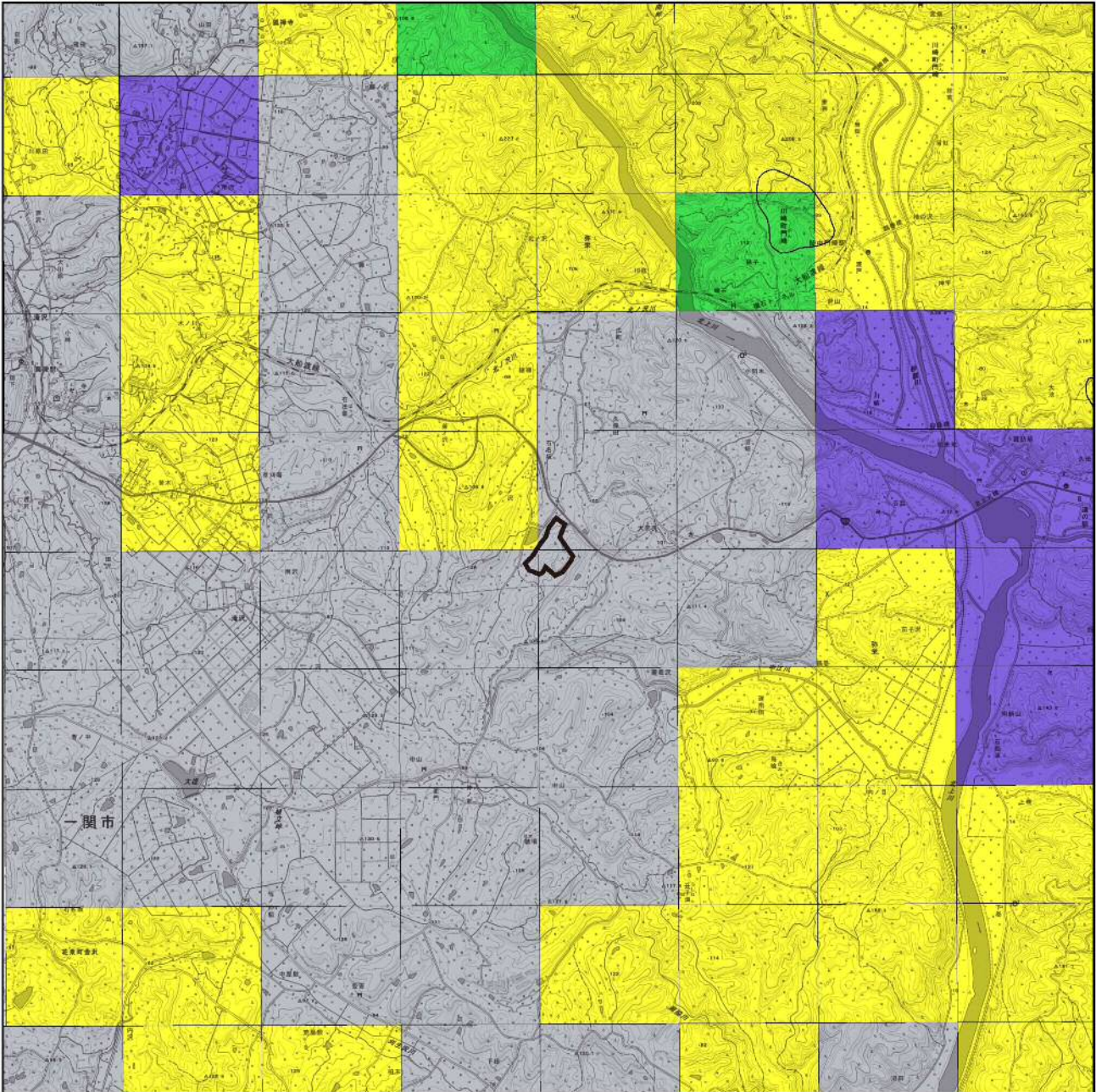


図 3.2-13 優れた自然の保全区分

凡例



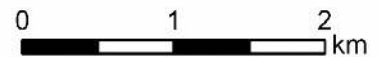
対象事業実施区域

優れた自然

- A
- B
- C
- D
- E



1:50,000



出典等：「岩手県自然環境保全指針」（岩手県 HP、令和 3 年 8 月閲覧）より作成



## ② 身近な自然

身近な自然については、身近な緑地や水辺、文化や信仰等を育んだ環境、自然の中のレクリエーションの場等を対象とし、それぞれの区分に応じた環境保全上の配慮事項が掲げられている。

身近な自然の内容及び配慮事項を表 3.2-49 に、対象事業実施区域及びその周囲における身近な自然の一覧を表 3.2-50 に、身近な自然の位置図を図 3.2-14 に示す。

対象事業実施区域には、身近な自然は存在しない。

表 3.2-49 身近な自然の内容及び配慮事項

区分	内容	配慮事項
身近なみどり	街角や建物周りのみどり、公園、田園、山林原野等で、並木や街路樹、社寺林や屋敷林、庭園や生け垣、まちはずれの一本杉、樹林と混在した田畑、丘陵地、野生生物の生息地、海岸林、河畔林等を含む。	街角や建物周りのみどりは、街並みを景観的に和らげ緑陰の形成や緑のネットワーク形成等の機能を有することから、その保全、育成及び整備が望ましい。 社寺林や屋敷林等のまとまりのある緑は線的な緑の多い市街地に景観的な核を形成すること、樹林と混在した田園等は原風景を感じさせる要素であること、丘陵地や自然草地等は豊かな自然との接点ともなることから、その維持が望ましい。 都市公園、緑地、広場等は、緑陰、散策、休憩等憩いの場としての拠点となることから、更なる整備・充実が望ましい。
身近な水辺	池や湖沼、河川、湧水、海岸等で、水鳥の集まる湖沼や干潟、鮭の遡る川、ホタルの飛ぶせせらぎ、湿地、溪谷、滝、浜辺等を含む。	野生生物の生息・生育の場であり、自然とふれあえる場であることから、周辺も含めた環境の保全と再生及び適切な活用が望ましい。 湖沼、溜池、湿原等については、周辺の樹林地の保全による水質の保全及び水量の確保が望ましい。 河川や水路等においては、緑の保全とともに野生生物の生息・生育環境の再生等が望ましい。 海岸部の中でも干潟については、野鳥をはじめ多様な野生生物が生息する場所であることから、積極的な保全が望ましい。
身近な文化	信仰の場や歴史的地区、伝説地、誇れる自然物等で、由緒ある寺社や街並み、遺跡、街角の小さな祠、伝説・伝承・文学作品等の舞台となっている場所、巨木、名木、巨岩、特異な地形等を含む。	日々の信仰、遊び、祭り、行事等を通じ、地域の誇りや一体感の醸成、精神的潤い等に大きな役割を持つことから、周辺環境も含めた保全、存続を図ることが望ましい。
身近な野外レクリエーション空間	散策地、休憩地、景勝地、保養地、自然探勝地、野外活動地等で、花見や紅葉狩りの場、湯治場や森林浴の森、昆虫採集・野鳥観察・野草観察等の場、キャンプ場等を含む。	地域での交流や家族・友人とのふれあい、自然とのふれあい等の場として重要であることから、基盤となる自然環境の維持と修復及び安全快適な諸活動を行うための整備が望ましい。 また、活動の場と自然環境を保全する場の明確な区分が望ましい。

出典等：「岩手県自然環境保全指針」（岩手県 HP、令和3年8月閲覧）より作成

表 3.2-50 身近な自然一覧表

No.	名称	みどり	水辺	文化	レク	法令指定等
1	北上川（北上大橋）	⑤	②		②④	
2	砂鉄川（砂鉄橋）		②		②④	
3	千厩川		②			
4	浪分神社			①		
5	熊野神社			①		
6	川崎の柵			②		

注1) 表中の①～⑤は、表 3.2-51 のとおり。

出典等：「岩手県自然環境保全指針」（岩手県 HP、令和3年8月閲覧）より作成

表 3.2-51 身近な自然一覧表（凡例）



みどり (身近なみどり)	①：街角のみどり
	②：建物周りのみどり
	③：緑豊かな公園等
	④：緑豊かな田園
	⑤：緑豊かな山林・原野等
水辺 (身近な水辺)	①：池、湖沼、湧水地などの水辺
	②：河川、水路などの水辺
	③：海辺
文化 (身近な文化)	①：身近な信仰地
	②：身近な歴史地区
	③：身近な伝説地
	④：自慢できる自然物
レク (身近な野外レクリエーション空間)	①：身近な散策休憩地
	②：身近な景勝地
	③：身近な保養地
	④：身近な自然探勝地
	⑤：身近な野外活動地

出典等：「岩手県自然環境保全指針」（岩手県 HP、令和3年8月閲覧）より作成

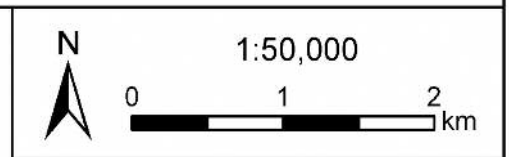


図 3.2-14 身近な自然の位置図

凡例

-  対象事業実施区域
-  身近な自然

※ 図中の No. は、表 3.2-50 に対応する。



出典等：「岩手県自然環境保全指針」（岩手県 HP、令和 3 年 8 月閲覧）より作成

## (9) 風致地区

「都市計画法」では、都市の風致を維持するため、風致地区内における建築物の建築等の行為に対して、市長村長等の許可を受けなければならないものとしている。

対象事業実施区域及びその周囲には、「都市計画法」に基づく風致地区に指定されている地域はない。

## (10) 生物多様性保全上重要な里地里山

一関市には、「生物多様性基本法」（平成 20 年 6 月 6 日 法律第 58 号）に基づき閣議決定された「生物多様性国家戦略 2012-2020」（平成 24 年 9 月 28 日、閣議決定）において、表 3.2-52 に示す「巖美町本寺地区」、「久保川イーハトーブ世界」の 2 地区が、「生物多様性保全上重要な里地里山」に指定されている。

対象事業実施区域及びその周囲には、指定区域は存在しない。

表 3.2-52 生物多様性保全上重要な里地里山の指定区域（一関市）

No.	名称	選定理由
1	巖美町本寺地区	曲がりくねった水路や不整形な水田、イグネ（屋敷林）に守られた家々など、800 年も昔から変わらない、自然を巧みに利用して築き上げてきた農村風景が広がっている。 伝統的な農業形態や土地利用により、昔ながらの土水路も多く、メダカやドジョウなど里地里山に特徴的な魚類のほか、トウホクサンショウウオなどの希少種も生息している。
2	久保川イーハトーブ世界	伝統的な営みと景観が残る地域であり、水田やため地、雑木林といった様々な環境がモザイク状に広がる久保川流域の里地里山を「久保川イーハトーブ世界」と名付けている。 伝統的な維持管理手法によって水田環境や雑木林などモザイク状の土地利用が維持されており、サクラソウやカタクリなど里地里山の植物群落が残存している。また、600 を超すため池が点在する独特な景観が形成されており、多様な水生生物の棲みかとなっている。

出典等：「生物多様性保全上重要な里地里山」（環境省 HP、令和 3 年 8 月閲覧）より作成

## (11) ラムサール条約湿地

対象事業実施区域及びその周囲には、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」（ラムサール条約）（昭和 55 年 9 月 22 日 条約第 28 号）により指定された湿地の区域はない。

### 3) 災害防止関係法令等

災害防止関係に関する法令では、「森林法」(昭和26年6月26日 法律第249号)に基づく各種保安林、「地すべり等防止法」(昭和47年7月1日 法律第57号)に基づく地すべり防止区域等を指定し、各種行為を規制している。

災害防止関係の主な法令等と対象事業との関連性の有無を表3.2-53に示す。

表 3.2-53 災害防止関係の主な法令

法令名	定められている事項	事業との関連性
森林法	保安林	無
土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	土石流危険渓流	無
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域	無
砂防法	砂防指定地	無
地すべり等防止法	地すべり防止区域	無
河川法	河川区域	無

#### (1) 保安林

「森林法」に基づく「保安林」の指定状況を図3.2-15に示す。

対象事業実施区域内には、保安林の指定はない。

#### (2) 土石流危険渓流

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」(平成12年5月8日 法律第57号)に基づく、土石流危険渓流の指定状況を図3.2-15に示す。

対象事業実施区域内には、土石流危険渓流の指定はない。

#### (3) 急傾斜地崩壊危険区域

「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」(昭和44年7月1日 法律第57号)に基づく、急傾斜地崩壊危険区域の指定状況を図3.2-15に示す。

対象事業実施区域内には、急傾斜地崩壊危険区域の指定はない。

#### (4) 砂防指定地

「砂防法」(明治30年3月31日 法律第29号)に基づく、砂防指定地の位置を図3.2-15に示す。

対象事業実施区域内には、砂防指定地の指定はない。

#### (5) 地すべり防止区域

対象事業実施区域及びその周囲には、「地すべり等防止法」に基づく地すべり防止区域の指定はない。

#### (6) 河川区域

対象事業実施区域及びその周囲を流れる北上川、砂鉄川、千厩川、中江川、瀬脇川、刈生沢川、滝沢川に「河川法」(昭和39年7月10日 法律第167号)に基づく河川区域が指定されている。

河川区域の指定がある河川を図 3.2-16 に示す。

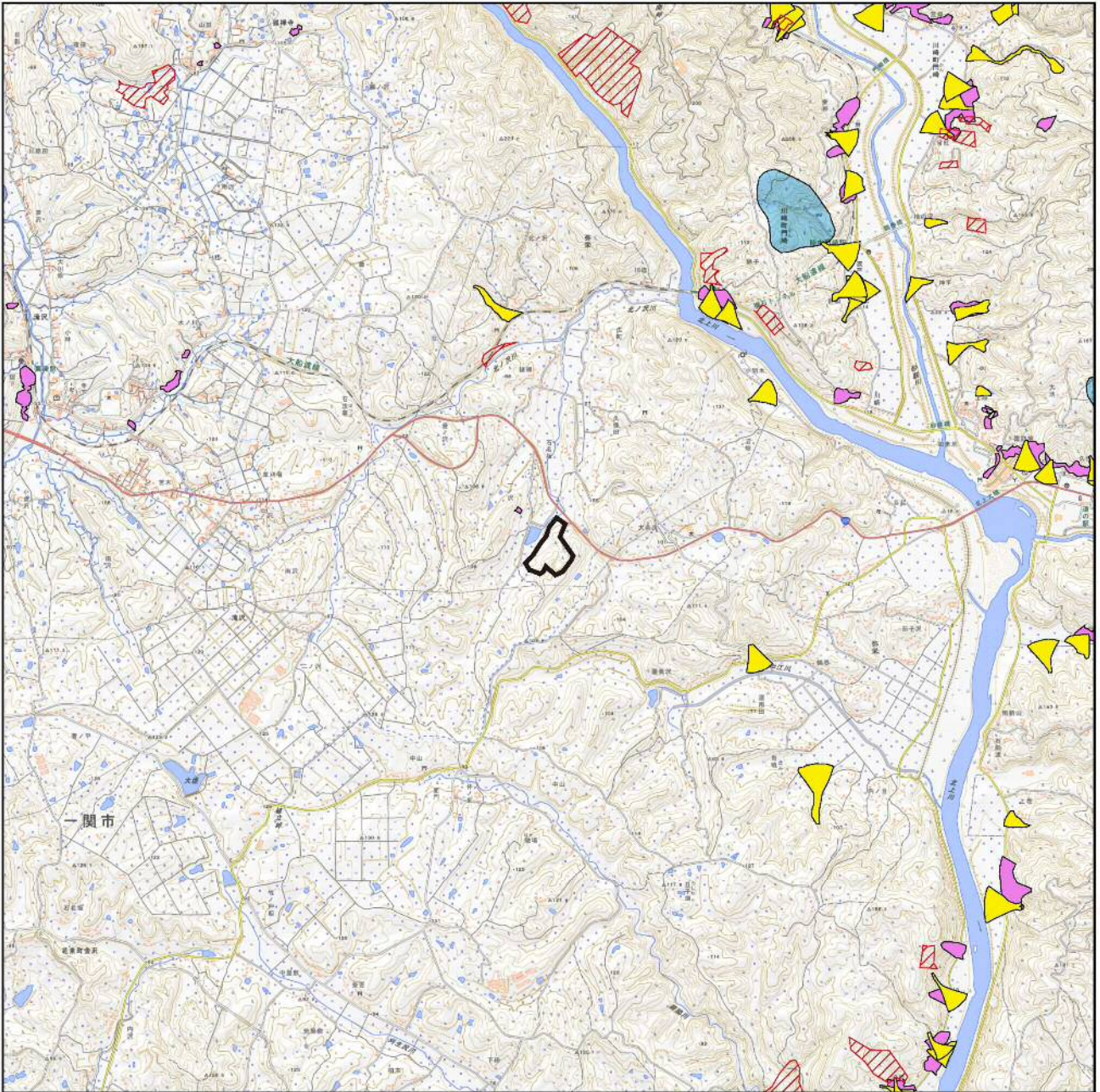
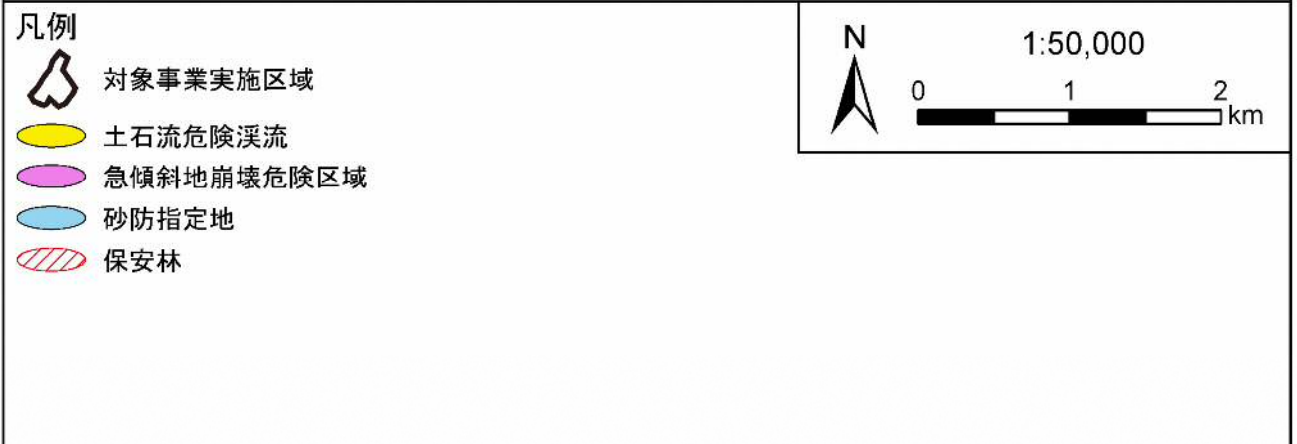


図 3.2-15 災害防止に関する指定状況



出典等: 「いわてデジタルマップ」(岩手県 HP)、 「国土数値情報ダウンロード 森林地域」(国土交通省 HP)、  
 (閲覧: 令和 3 年 8 月)より作成

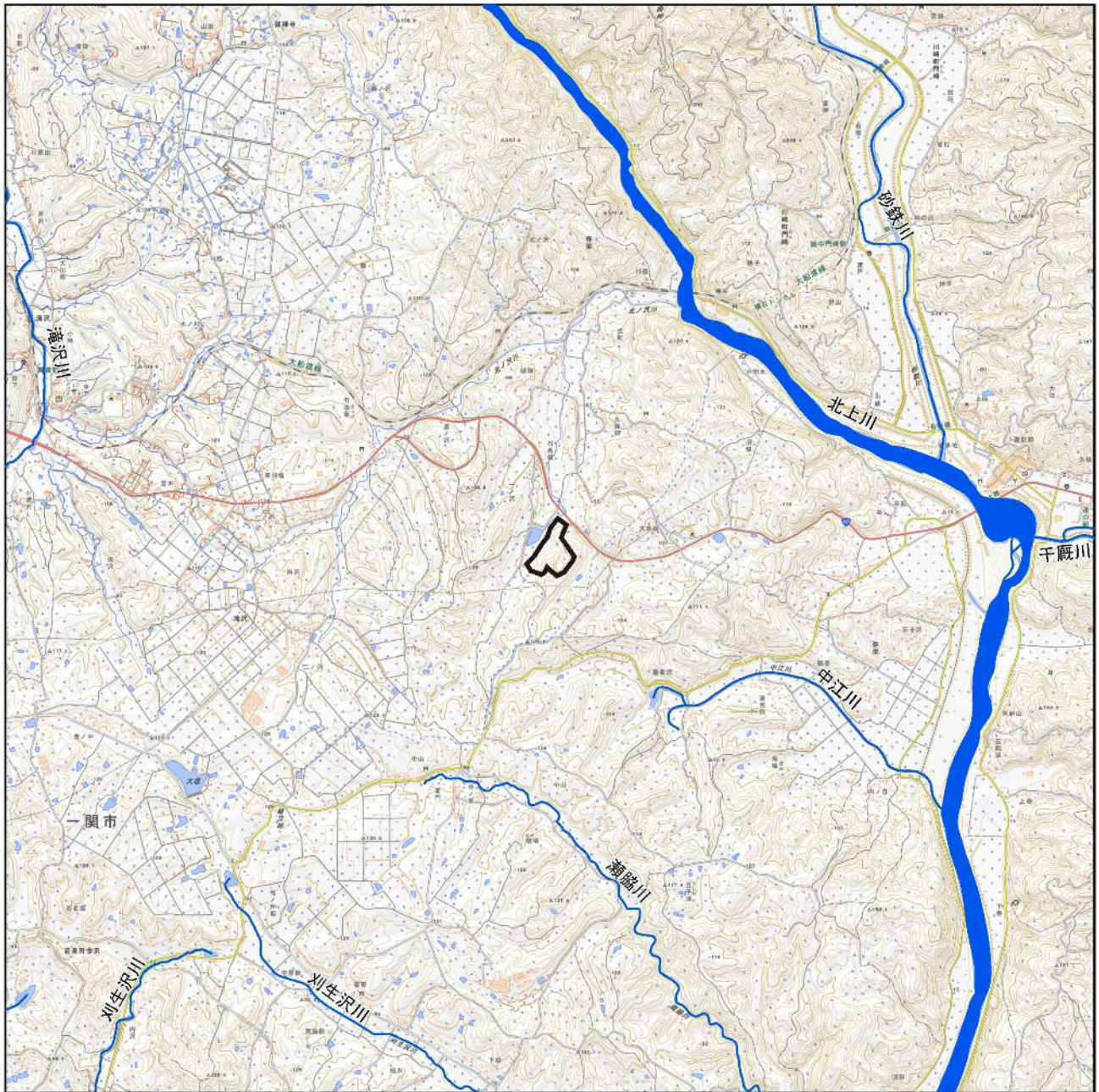


図 3.2-16 河川区域が指定されている河川

凡例



対象事業実施区域



河川区域



1:50,000

0 1 2 km

出典等：「いわてデジタルマップ」（岩手県 HP）、「国土数値情報ダウンロード 河川」（国土交通省 HP）、  
（閲覧：令和 3 年 8 月）より作成



#### 4) 文化財関係法令

##### (1) 史跡名勝文化財

一関市には国の史跡名勝として、巖美溪及び猊鼻溪が指定されている。また、一関市の指定史跡が 18 箇所存在する。

対象事業実施区域及びその周囲には、史跡はない。

##### (2) 埋蔵文化財包蔵地

一関市には 922 箇所の埋蔵文化財包蔵地が存在する。

対象事業実施区域及びその周囲における埋蔵文化財包蔵地の位置図を図 3.2-17 に示す。

対象事業実施区域内には、埋蔵文化財包蔵地はない。

##### (3) 指定文化財

一関市には、国指定 7 件、県指定 37 件、市指定 117 件の指定文化財が存在する。

このうち、対象事業実施区域及びその周囲には、表 3.2-54 及び図 3.2-18 に示すとおり、県指定 1 件、市指定 4 件の指定文化財が存在する。

対象事業実施区域内には、指定文化財はない。

表 3.2-54 対象事業実施区域及びその周囲の指定文化財

No.	区分	名称	種別	所在地	指定年月日
1	県指定	大乘寺のオシラサマ	民族	一関市川崎町薄衣字上段	平成 20 年 11 月 7 日
2	市指定	日吉神社社殿 (三殿一体)	建造物	一関市弥栄内ノ目	平成 15 年 4 月 1 日
3		梵鐘	工芸品	一関市川崎町門崎字館畑	平成 16 年 11 月 1 日
4		波分神社の算額 5 面	歴史	一関市川崎町薄衣字諏訪前	平成 23 年 6 月 27 日
5		木造阿弥陀如来像	彫刻	一関市川崎町薄衣字畑の沢	平成 16 年 11 月 1 日

出典等：「一関の文化財 平成 29 年度版」（一関市教育委員会、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成

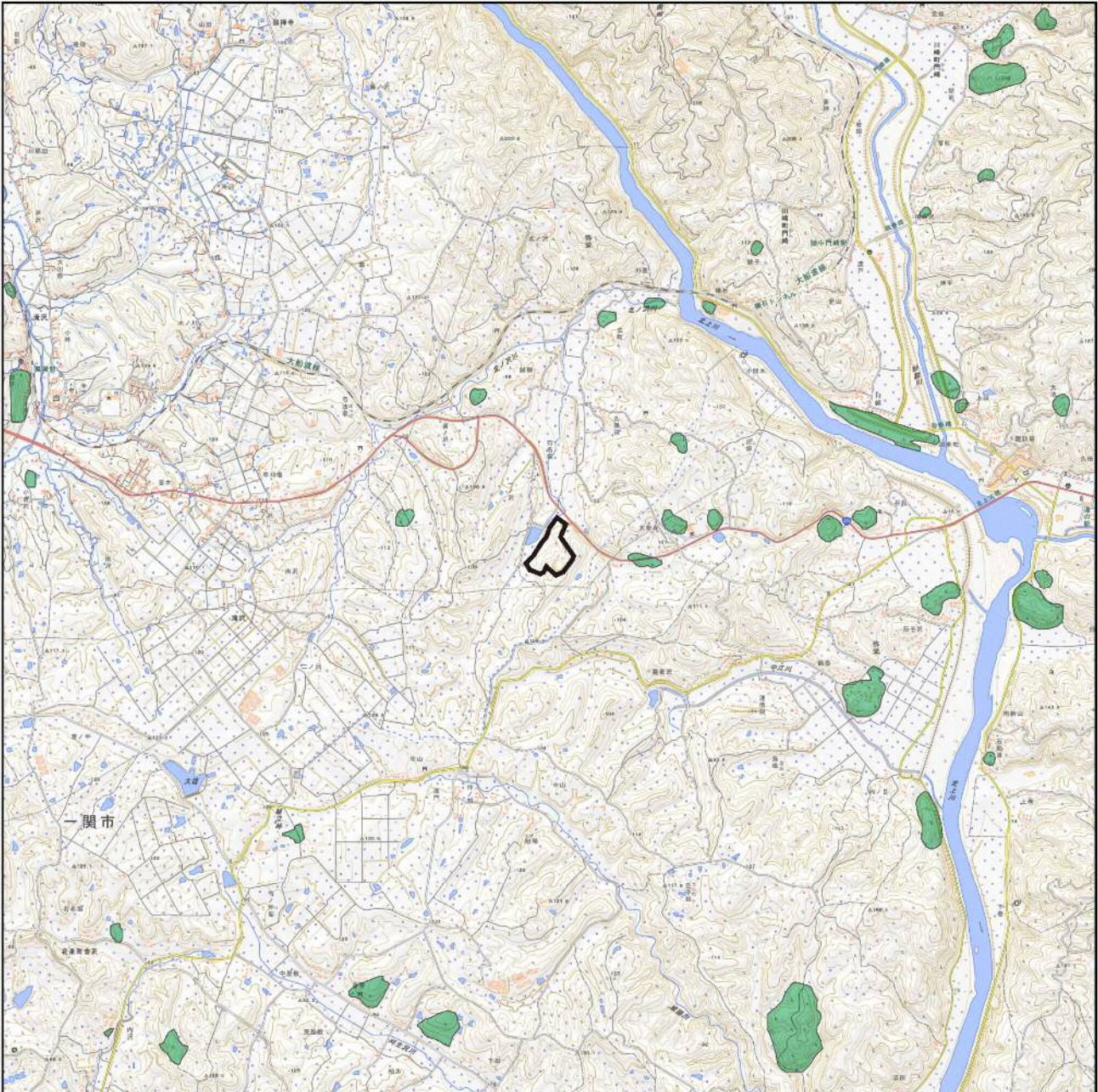


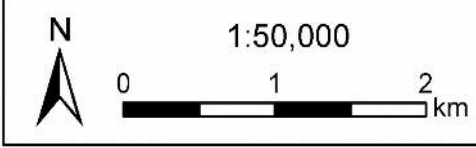


図 3.2-17 対象事業実施区域及びその周囲の埋蔵文化財

凡例

-  対象事業実施区域
-  埋蔵文化財包蔵地



出典等：「いわてデジタルマップ（埋蔵文化財包蔵地）」（岩手県 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成

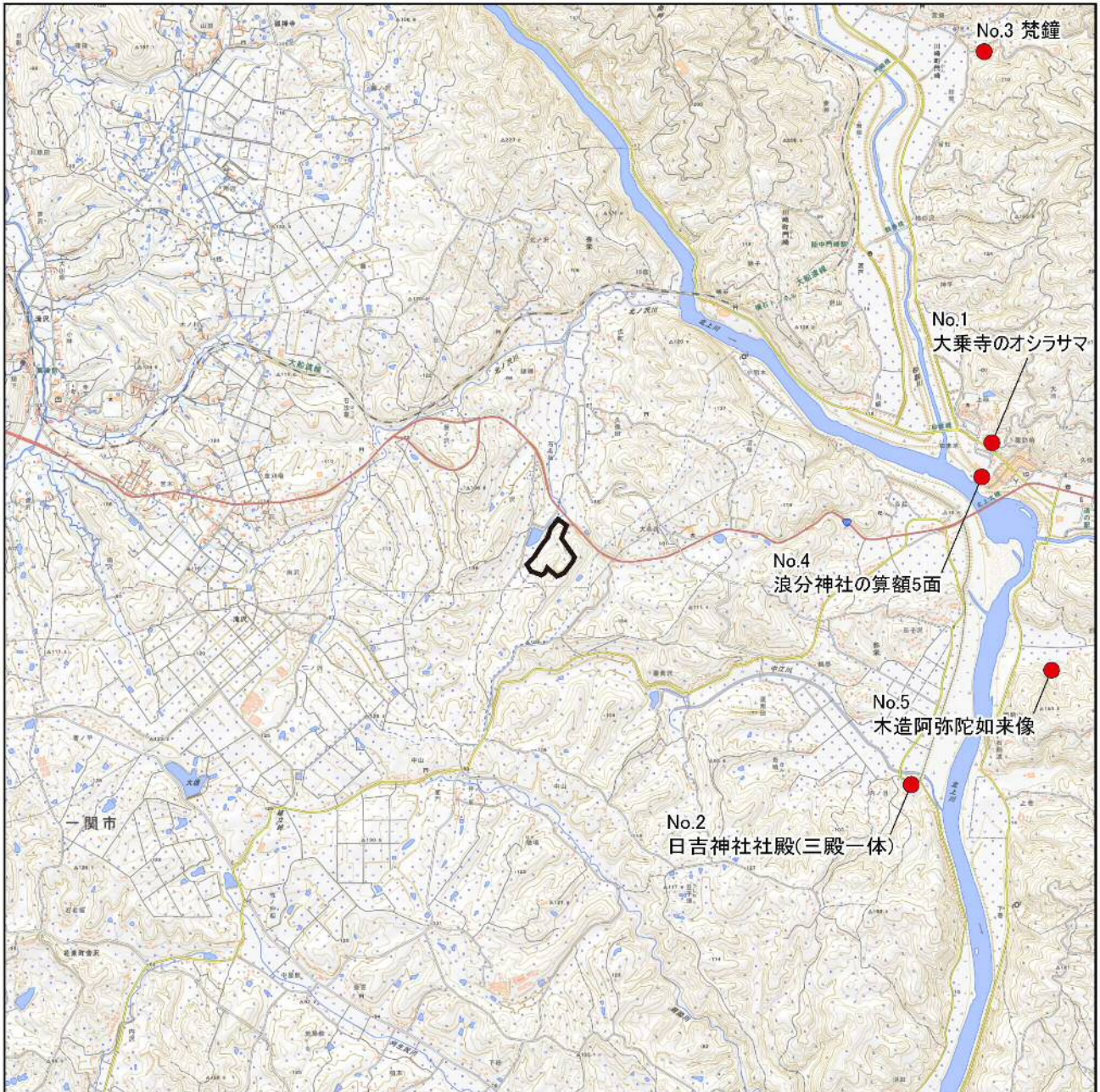


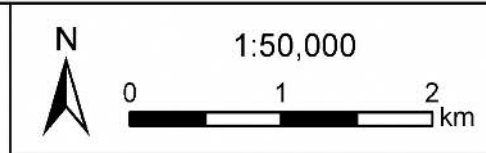


図 3.2-18 対象事業実施区域及びその周囲の指定文化財

凡例

-  対象事業実施区域
-  指定文化財

※ 図中の No. は、表 3.2-54 に対応する。



出典等：「一関の文化財 平成 29 年度版」（一関市教育委員会、閲覧：令和 3 年 8 月）より作成

### 3.2.8 一般廃棄物処理の状況

#### 1) 廃棄物処理の状況

対象事業実施区域及びその周囲における廃棄物の収集・処理の状況については、一関市及び隣接する平泉町の状況を調査した。

一関市及び平泉町の過去5年間の廃棄物の収集・処理状況を表 3.2-55 及び図 3.2-19 に示す。

「一般廃棄物処理実態調査結果」(環境省)によると、総排出量は一関市及び平泉町ともに減少傾向にあるが、一人1日当たりの廃棄物排出量は前年度から微増している。

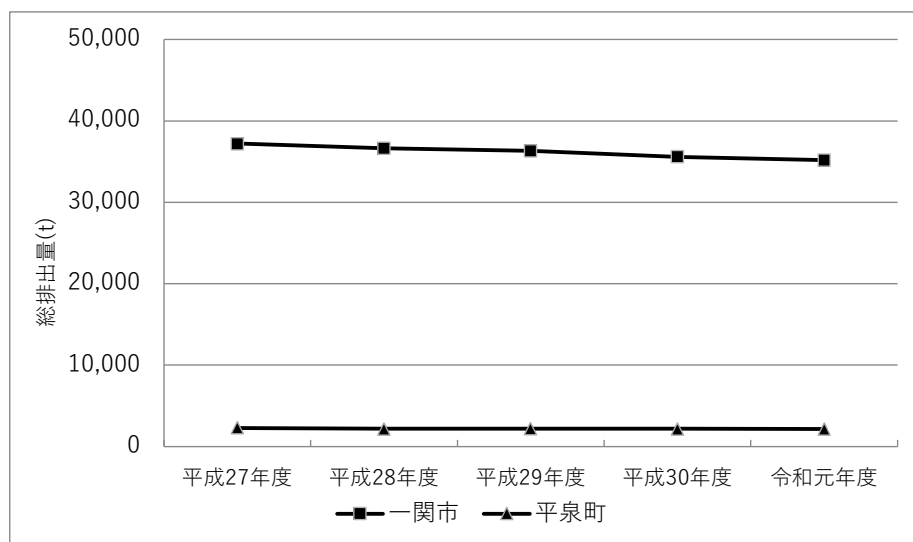
表 3.2-55 一関市及び平泉町の廃棄物の収集・処理の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度 (令和元年度)	
	一関市	平泉町	一関市	平泉町	一関市	平泉町	一関市	平泉町	一関市	平泉町
市町村										
人口(10/1時点) ①	122,919	8,001	121,411	7,909	119,655	7,800	117,814	7,685	115,822	7,511
総排出量(t) ②	37,211	2,294	36,646	2,167	36,317	2,187	35,607	2,165	35,189	2,144
うち生活系廃棄物(t)	25,642	1,677	24,906	1,548	24,701	1,573	24,481	1,560	24,264	2,021
うち事業系廃棄物(t)	9,411	568	9,648	575	9,636	573	9,359	573	9,244	879
うち集団回収量(t)	2,158	49	2,092	44	1,980	41	1,767	32	1,681	24
一人1日当たりの排出量(g)*1	827	783	827	751	832	768	828	772	830	780
資源化量(t) ③	5,880	231	5,530	301	5,436	212	5,991	313	5,628	229
リサイクル率(%)*2	15.8	10.1	15.1	13.9	15	9.7	16.8	14.5	16	10.7

\*1. ②÷①÷365日×1,000,000(平成27年度、令和元年度は366日)

\*2. ③÷②×100

出典等:「令和2年度 環境報告書」(一関市HP)、「一般廃棄物処理実態調査結果」(環境省HP)、  
(閲覧:令和3年8月)より作成



出典等:「一般廃棄物処理実態調査結果」(環境省HP)、(閲覧:令和3年8月)より作成

図 3.2-19 廃棄物総排出量の推移

## 2) 一般廃棄物処理施設の状況

一関地区広域行政組合が管理している一般廃棄物処理施設は6箇所が存在するが、対象事業では、一関清掃センターと大東清掃センターの2つのごみ焼却施設、並びに一関清掃センターのリサイクルプラザ及び大東清掃センターの粗大ごみ処理施設を統合し、新たにごみ焼却施設及びリサイクル施設を整備する。

対象事業実施区域及びその周囲における一般廃棄物処理施設の位置を図 3.2-20 に示す。

表 3.2-56 一般廃棄物処理施設の状況

名称	施設の種別	住所
一関清掃センター	ごみ焼却施設	一関市狐禅寺字草ヶ沢 36 番地 41
	リサイクルプラザ	
	し尿処理施設	
大東清掃センター	ごみ焼却施設	一関市大東町摺沢字南長者 101 番地 1
	粗大ごみ処理施設	
川崎清掃センター	し尿処理施設	一関市川崎町薄衣字石船渡 133
舞川清掃センター	最終処分場	一関市舞川字河岸 101 番地 2
花泉清掃センター	最終処分場	一関市花泉町金沢字滝ノ沢 40 番地 4
東山清掃センター	最終処分場	一関市東山町松川字吉兆所 52 番 1

出典等：「一関地区広域行政組合施設一覧」（一関地区広域行政組合 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より

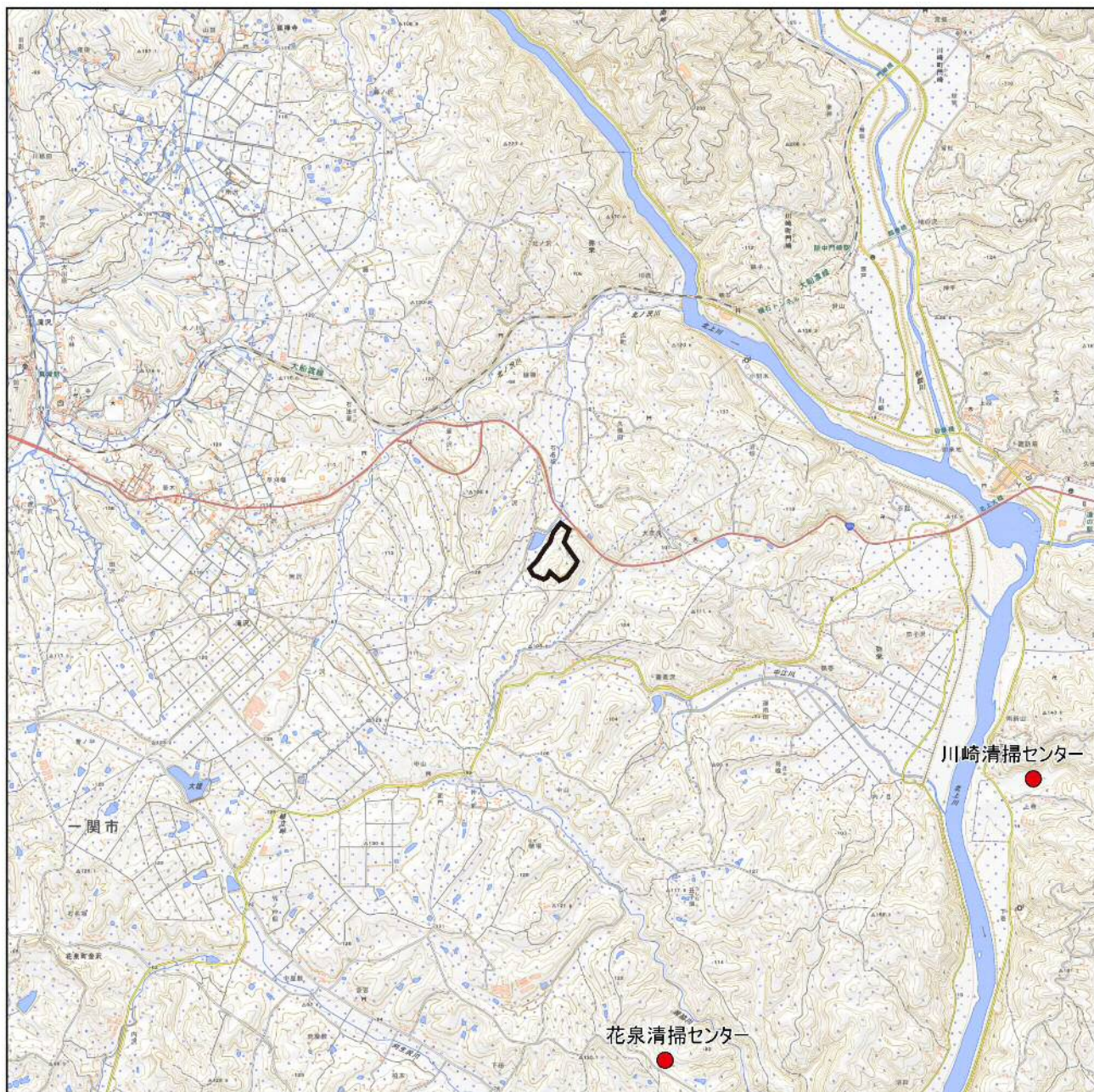


図 3.2-20 一般廃棄物処理施設の状況

凡例



対象事業実施区域



一般廃棄物処理施設



1:50,000



出典等：「一関地区広域行政組合施設一覧」（一関地区広域行政組合 HP、閲覧：令和 3 年 8 月）より